

# 高崎市美術館年報

2016—2020

## 目次

1. 展覧会事業	
開館からの展覧会一覧.....	2
展覧会および関連事業・刊行物一覧.....	6
2016年度.....	8
2017年度.....	22
2018年度.....	41
2019年度.....	56
2020年度.....	71
2. 教育普及事業	
講演会.....	85
ワークショップ／作家による作品解説等.....	86
美術館コンサート.....	88
学校との連携.....	89
学校教育活動による利用状況.....	90
生涯学習活動による利用状況.....	90
博物館実習.....	90
研修／職場体験／ボランティア等の受入.....	90
講師派遣.....	90
3. 収集保存管理事業	
収集状況.....	91
新規収集作品一覧.....	91
収集作品貸出状況.....	96
4. 入館者統計	
年度別入館者一覧.....	97

## 凡例

- 1.事業報告の項目やデータは、原則として各事業開催時のデータ(印刷物等)に準じている。
- 2.事業報告の作家名、講師名等はすべて敬称略とした。また肩書きは開催当時のものである。
- 3.展覧会事業報告中の関連事業の表記は、原則として開催月日順に、事業名、講師名、日時、会場の順に表記し、ギャラリートークやミュージアムコンサートなど会場が高市美術館の場合は、原則として会場の表記を省略した。

# 1. 展覧会事業

## 開館からの展覧会一覧

年度	展覧会名	会場(高崎市美術館以外もしくは同時開催の場合)	会期
1991	1 高崎市美術館開館記念展 多彩な表現の展開 たかさきの美術・今		7/2-9/7
H3	2 常設展 第1期		9/22-10/20
	3 常設展 第2期		10/22-11/4
	4 會津八一 吉野秀雄		11/6-11/17
	5 常設展 第3期		11/21-12/11
	6 豊田一男回顧展		12/17-1/26
	7 常設展 第4期		1/30-3/1
	8 常設展 第5期		3/3-4/14
1992	9 中村節也展	群馬県立近代美術館／高崎市美術館	4/18-5/24
H4	10 常設展 第1期		5/28-7/1
	11 姉妹都市の作家達による The 3 Artists		7/5-8/6
	12 常設展 第2期		8/9-10/15
	13 現代美術への招待 深井隆 吉田富久一 二人展		10/20-11/29
	14 常設展 第3期		12/5-1/31
	15 高崎市文化賞受賞書作家 山本聿水 金澤子卿展		2/7-2/21
	16 常設展 第4期		2/25-4/18
1993	17 グラフィック・デザインの奔流 ポーランド・ポスター100年展		4/24-5/23
H5	18 常設展 第1期		5/29-6/20
	19 常設展 第2期		6/26-7/17
	20 ようこそ。ここは光のワンダーランド ライト・アート展		7/24-8/22
	21 常設展 第3期		8/29-10/17
	22 現代美術への招待 加藤アキラ 金井訓志展		10/24-11/23
	23 常設展 第4期		11/30-1/30
	24 常設展 第5期		2/6-4/3
1994	25 万象万物の記憶 田中栄作彫刻展		4/16-5/29
H6	26 常設展 第1期		6/5-6/26
	27 常設展 第2期		7/2-8/14
	28 近代版画の革命 ドイツ表現主義の版画展		8/20-9/18
	29 常設展 第3期		9/23-10/23
	30 現代美術への招待 岡本健彦 山田展也展		10/29-12/11
	31 田村仁写真展 印度人間曼陀羅界		12/17-1/22
	32 常設展 第4期		1/28-2/26
	33 常設展 第5期		3/4-4/19
1995	34 ホログラフィインスタレーション 自然を紡ぐひかりたち 石井勢津子展		4/29-6/7
H7	35 レジェの版画の世界 収蔵作品展1		6/14-7/5
	36 たかさき市制95周年記念事業 ボヘミアガラスの100年 アールヌーヴォーから現代まで		7/15-8/27
	37 駒井哲郎の銅版画と日本現代版画 収蔵作品展2		9/3-10/10
	38 たかさき市制95周年記念事業 ゴッホと19世紀オランダ絵画展	高崎シティギャラリー	10/14-11/12
	ーアムステルダム国立美術館コレクションよりー		
	高崎市美術館コレクション展	高崎市美術館／高崎シティギャラリー	
	39 福井良之助の孔版画:小さな世界 収蔵作品展4		11/19-12/24
	40 たかさき市制95周年記念事業 はな展 23流派181人による生け花		1/6-1/15
	41 阪神大震災復興支援展覧会・小磯良平から東山魁夷まで 神戸・芦屋・西宮を愛した画家たち		1/27-3/3
	42 アメリカン・プリントワークス 新収蔵作品展		3/10-4/14
1996	43 オノレドームエ版画展 バリッ子の暮らしー19世紀		4/20-5/19
H8	44 収蔵作品展I トルソ〜具象と抽象のワクを越えて〜宮崎進		5/25-6/16
	45 収蔵作品展II 色彩の画家 中村節也		6/22-7/13
	46 ようこそ。ここは光のワンダーランド。ライト・アート展		7/20-8/25
	47 収蔵作品展III ピカソの「闘牛」		9/1-9/28
	48 イメージの自由空間 U.G.サトーの「面白創庫」		10/5-11/4
	49 飛翔する鉄ー下田治 彫刻展		11/16-12/8
	50 平成8年度新収蔵作品展 1950年代後半から60年代を中心に		12/14-1/19
	51 群馬県立近代美術館所蔵作品による コレクション展	高崎市美術館／高崎シティギャラリー	1/26-3/30
1997	52 ドイツ・ウルム美術館所蔵作品展 紙と表現 ピカソ・ブラック・カンディンスキー・クレー…48作家による		4/19-5/18
H9	53 高崎市美術館コレクションより 伊藤富太郎写真展 60余年の軌跡		5/25-7/6
	54 マルク・シャガール展	高崎市美術館／高崎シティギャラリー	7/15-8/17
	55 高崎市美術館コレクションより 作家たちの描いた母子像		8/24-9/27
	56 ロートレックやカッサンドルたちが彩るパリの街かど 黄金時代のポスター芸術		10/4-11/3
	57 高崎市美術館コレクションより 松本忠義展 画業の変遷		11/16-1/15
	58 風と光のデイトリップー 鈴木英人展		1/25-3/8
	59 高崎市美術館コレクションより プリントワークス 池田満寿夫・ウオーホルら新収蔵作品を中心に		3/15-4/11
1998	60 高崎市美術館コレクションより 豊田一男展ー地球劇場ー		4/18-6/3
H10	61 世界の文化遺跡を描く 平山郁夫展	高崎シティギャラリー	4/29-5/31
	62 高崎市美術館コレクションより 山本聿水展ー墨象の世界ー		6/13-7/18

年度	展覧会名	会場(高崎市美術館以外もしくは同時開催の場合)	会期
1998	63 ようこそ。ここは光のワンダーランド ライト・アート展		7/26-8/30
H10	64 バトロンと芸術家ー井上房一郎の世界ー	群馬県立近代美術館／高崎市美術館	9/19-11/3
	65 高崎市美術館コレクションより ひとを見つめてーピカソ、ルオーらの作品を中心にー		11/10-12/27
	66 幻想と静謐の空間 ポール・デルヴォー展		1/15-2/14
	67 高崎市美術館コレクションより 詩と作家たちー宮崎進『トルソ』を中心にー		2/21-4/18
1999	68 「超東洋」佐藤晃一ポスターの世界展		4/29-6/27
H11	69 高崎市美術館コレクション 変革へ 1950-1969		7/13-9/12
	70 印象派前夜から 20 世紀への流れ ポイマンス美術館名品展 モネ、ゴッホからピカソまで	高崎シティギャラリー	9/19-10/17
	71 子どもと楽しむ人物画展ー探検しよう絵の世界ー		9/29-10/18
	72 高崎市美術館コレクション アメリカ現代版画を中心に		11/2-12/26
	73 ウィリアム・ブレイクと英国ロマン主義版画展		1/15-2/29
	74 高崎市美術館コレクション ポスターで見る映画史		3/14-4/12
2000	75 ロバート・キャバ賞展 20 世紀と人間		4/22-5/28
H12	76 高崎市美術館コレクション Find YOUR Kind of Art! Part1		6/4-8/13
	77 高崎市制 100 周年記念 日蘭交流 400 周年記念 オランダ王室 知られざるロイヤル・コレクション	高崎シティギャラリー	6/11-7/12
	78 文化遺産としてのモダニズム建築展ードコモモ 20 選 in 高崎ー		8/27-10/8
	79 カナダモントリオール美術館所蔵 クレマンソー・コレクションより 香合の美展ー小さき香りの器ー		10/21-11/26
	80 高崎市美術館コレクション Find YOUR Kind of Art! Part2 20 世紀の版画		12/7-12/27
	81 眼で触れる、手で触れるーいのちのかたち。柳原義達展		1/14-2/28
	82 高崎市美術館コレクション Find YOUR Kind of Art! Part3 高崎ゆかりの作家たち		3/15-4/15
2001	83 グラフィック・デザイナー300 人による ポスターの現在		4/28-6/10
H13	84 高崎市美術館コレクションⅠ 新収蔵品から シャガールの「ポエム」		6/17-7/8
	85 リアルなココローぬかづけなココロ 上原三千代展		7/20-9/2
	86 高崎市美術館コレクションⅡ 逃げっばなし。ーあらゆる形式から逃れつづけた男 鶴岡政男とその時代		9/11-12/16
	87 高崎市・ブルゼニ市交流記念／高崎市美術館開館 10 周年記念 チェコの工芸 300 年の光彩	高崎シティギャラリー	9/21-10/19
	88 ピカソ、ミロ、キリコからウォーホルまで 20 世紀の巨匠による版画展		1/13-2/24
	89 高崎市美術館コレクションⅢ アート技法事典		3/9-4/7
2002	90 フェリシアン・ロップス展 君のまなざしは、地獄のものか神のものか		4/20-5/26
H14	91 高崎市美術館コレクションⅠ 響きあう色とかたち 抽象と具象のはざま		6/8-7/21
	92 逃れゆく思念 深井隆展		8/3-9/23
	93 高崎市美術館コレクションⅡ 人と動物ー生命をみつめてー		9/29-10/27
	94 モダンアートの旗手たち 村井正誠・矢橋六郎・山口薫		11/2-11/24
	95 松本忠義展 画業 80 年の軌跡		12/14-3/30
2003	96 新井淳一 布展 透明と反射		4/12-6/1
H15	97 コレクションをみる 鼓動する絵画 1950-60 年代		6/7-7/6
	98 山口啓介展 空気柱 光の回廊		7/26-9/11
	99 パピエ造像展ー紙に描かれた世界ーアーカンソー・アーツ・センター所蔵 巨匠たちの水彩・素描 レンブラント、セザンヌ、ゴッホから現代まで		9/20-10/26
	100 コレクションをみる 日本の版画より Ⅰ期 こころの花		11/8-12/14
	101 コレクションをみる 日本の版画より Ⅱ期 小さな世界		12/20-2/1
	102 子どもと楽しむ静物・風景画展ー地球を切り取った世界発見！ー	高崎市美術館／高崎市タワー美術館	2/15-3/9
	103 コレクションをみる LOVE-愛について		3/20-4/18
2004	104 ガラスのある風景ー酒器・水コップから彫刻までー和南城孝志ーイメージの扉をたたくー		4/24-6/27
H16	+新収蔵品を中心にー鶴岡政男、上原三千代の作品世界ー		
	105 デザインの解剖		7/10-9/5
	106 清宮賢文のまなざし		9/18-10/31
	107 ヨーロッパ幻想の系譜		11/6-12/15
	108 作家王国 芦村早苗・茂木康一+新収蔵品ゾルジュ・ブラックを中心にー20 世紀欧米の版画ー		12/21-1/30
	109 刻む人ー富田文隆 平出豊 三谷慎 展	高崎市美術館／高崎哲学堂(現・旧井上房一郎邸)	2/11-4/3
2005	110 福井良之助 孔版画展		4/19-5/22
H17	111 絵は愛なり 中村節也生誕 100 年		5/29-7/6
	112 百年の愚行		7/16-9/10
	113 異形の幻視力 小山田二郎展		9/17-11/3
	114 天空へのはばたきー小倉ボオの世界ー		11/12-12/25
	115 作家王国 新井智・糸井千恵美		1/8-1/29
	116 新市誕生記念展 高崎アートフェスター高崎ゆかりの作家たちー洋画／彫刻・書	高崎市美術館／高崎市タワー美術館	2/5-3/31
2006	117 田中栄作所蔵コレクション 19 世紀フランス諷刺版画 オノレ・ドゥーミエ展 LE CHARIVARIとドゥーミエ展		4/9-5/28
H18	118 高崎市文化賞受賞記念 町田洋二展ー旅から旅絵ー		6/4-7/5
	119 トリック・アートの世界ーだまされる楽しさー		7/16-9/6
	120 迷宮+美術館ーコレクター砂皿富男が見た 20 世紀美術ー	群馬県立近代美術館(群馬県庁昭和庁舎)／高崎市美術館	9/17-10/22
	121 呼吸する翼 高田洋一展		11/1-12/24
	122 作家王国 新井コー児・水野暁		1/8-1/31
	123 高橋由一から藤島武二までー山岡コレクションを中心に 日本近代洋画への道	高崎市美術館／高崎市タワー美術館	2/10-3/31
2007	124 ピカソが好き!高崎市美術館コレクションより		4/15-5/20
H19	125 山口薫と故郷の人々ー生誕 100 年を記念してー		5/27-7/1
	126 中村征夫写真展 海中 2 万 7000 時間の旅		7/15-8/29
	127 三沢厚彦 アニマルズ+		9/8-10/28
	128 石井忠樹映画ポスターコレクションより シネマの世界ーそうだ、昭和を見にいこうー		11/3-12/24

年度	展覧会名	会場(高崎市美術館以外もしくは同時開催の場合)	会期
2007	129 作家王国 根岸陽子・水村綾子-こころのかたち		1/6-2/3
H19	130 ふれあう展覧会 タッチ・ハート		2/10-3/20
2008	131 アントニン&/エミ・レーモンド展 建築と暮らしの手作りモダン	高崎市美術館/高崎哲学堂(現・旧井上房一郎邸)/ 群馬音楽センター	4/5-5/25
H20	132 高崎市美術館彫刻展 彫刻をめぐる空間 Three Dimensions	高崎哲学堂(現・旧井上房一郎邸)	6/21-9/21
	133 深井隆展 一月の森へ	高崎シティギャラリー	10/3-10/14
	134 高崎市美術館コレクションより イン☆アメリカ		10/28-12/10
	135 作家王国 下山直紀・柳澤裕貴-ココではないドコカ-		12/21-1/31
	136 島崎庸夫展 見る目、生きた手、感ずるこころ。		2/8-3/29
2009	137 魯山人の宇宙		4/12-5/31
H21	138 生誕100年記念 松本忠義 画家たちと青春+田部井康修写真展		6/7-7/8
	139 ゆっくり生きる、自分を生きる“手づくりのライフスタイル”ターシャ・テューダー展	高崎市美術館/旧井上房一郎邸	7/19-8/30
	140 谷内六郎展 想い出の散歩		9/9-11/8
	141 高崎市・チェコ共和国ブルゼニ市 姉妹都市提携20周年記念プロジェクト ボヘミアの山と心 ヨゼフ・ヴァーナルとイジー・コルナトフスキーの作品展	高崎シティギャラリー	9/26-10/12
	142 魔法の美術館 ようこそ。ここは光のワンダーランド		11/15-1/11
	143 作家王国 横田尚×渡辺香奈 ウォーターガール		1/17-2/21
	144 原一雄コレクション-魂の印象派 木村忠太の世界展		2/28-4/17
2010	145 5つの部屋+		4/25-6/30
H22	146 高崎市制施行110周年記念事業 魅惑の万華鏡展+佐藤晃一デザインと俳句		7/11-9/7
	147 高崎市制施行110周年記念事業/高崎市・ブルゼニ市姉妹都市提携20周年 記念事業 生誕150年記念 アルフォンソ・ミュシャ展	高崎市美術館/高崎市タワー美術館	9/18-11/7
	148 高崎市制施行110周年記念事業 細密画家 プチファール 熊田千佳慕展		11/14-12/26
	149 作家王国 ましもゆき/ゆめのおくそ+I氏コレクション展		1/8-2/20
	150 やさしきもの達への讃歌 正田壤展		2/27-3/31
2011	151 ねこ 岩合光昭写真展		4/9-6/12
H23	152 中核市・高崎誕生記念 古代エジプト 神秘のミイラ展 オランダ国立古代博物館コレクション	高崎シティギャラリー	4/21-6/12
	153 美術館に行こう! ティック・ブルーナに学ぶ モダン・アートの楽しみ方		6/26-9/4
	154 心のなかの暖かな部屋 脇田和		9/14-11/10
	155 アニマル・ライフ 朝倉文夫と動物たち+福井良之助-孔版画の世界		11/20-1/29
	156 20年。開館20周年記念/コレクション展		2/8-3/30
2012	157 ユーモアのすすめ 福田繁雄 大回顧展		4/14-6/24
H24	158 レオナルド・ダ・ヴィンチ もう一つの遺産		7/5-9/17
	159 アート・ツリーズ つながっていく、樹々の物語		9/26-11/28
	160 魔法の美術館 ようこそ。ここは光のワンダーランド+企画の遊戯'12-'13	高崎市美術館/旧井上房一郎邸	12/5-2/17
	161 高崎市文化賞受賞作家展+高崎市美術館コレクション展	高崎市美術館/高崎市タワー美術館	2/24-3/24
2013	162 ジバング展 沸騰する日本の現代アート		4/7-6/16
H25	163 ダンボールアート遊園地		6/29-9/8
	164 サルバドール・ダリ展 多彩な版画作品を中心に+ピカソ、ミロ、エリュアール・ダリをめぐる芸術家たち		9/15-10/28
	165 生誕100周年記念 中原淳一展		11/9-1/26
	166 自然への語り-石澤久夫の仕事 +高崎市美術館コレクション展 日本版画の小世界/抽象・心象を描く日本の絵画	高崎市美術館/旧井上房一郎邸	2/8-3/23
2014	167 渡辺おさむ展 お菓子の王国~スイート・ファンタジー・クエスト~	高崎市美術館/旧井上房一郎邸	4/12-6/22
H26	168 ナショナル ジオグラフィック展-写真で伝える地球の素顔-		7/6-9/30
	169 アンリ・マティスの JAZZ!! ヨーロッパ版画の黄金時代		10/15-11/30
	170 有元利夫展 天空の音楽		12/14-2/15
	171 新収蔵作品初公開!ふるさと高崎が育む美の夢		2/22-4/12
2015	172 世界をポップに!! ポップアート in アメリカ		4/25-6/14
H27	特集展示 横野健一	旧井上房一郎邸	
	173 たかさき発! 鉄道とアートの旅 ウルトラハッピーな夏休み		6/28-9/27
	174 山名将夫・泉澤守・小林正 三人旅	高崎市美術館/旧井上房一郎邸	10/11-11/23
	175 犬塚勉展 永遠の光、一瞬の風。		12/4-1/31
	176 『描く!』マンガ展~名作を生む画技に迫る-描線・コマ・キャラ~		2/11-4/10
2016	177 今森光彦展 自然と暮らす切り紙の世界		4/17-6/26
H28	178 森竹巴の百均造形 みちかなモノでおもしろアート		7/7-9/4
	179 愛のなかの女性たち ムンク、ピカソ、山口薫 芸術家が捧げるイメージ		9/17-11/18
	180 高崎市美術館コレクション 5つの部屋+I	高崎市美術館/旧井上房一郎邸	12/2-1/21
	181 生誕100年 木村忠太展 光に抱かれ、光を抱いて。		1/29-3/26
2017	182 北澤美術館所蔵 ルネ・ラリックの香水瓶 アール・デコ香りと装いの美-		4/15-6/25
H29	183 ウィリアム・ブレイクと神の世界 郡山市立美術館所蔵 ローダー・コレクションの版画作品を中心に		7/8-8/31
	184 グラフィックデザイナー 佐藤晃一展	高崎市美術館/旧井上房一郎邸	9/16-11/26
	185 生誕100年 清宮賢文 あの夕日の彼方へ		12/10-1/31
	186 特集展示 生誕110年 人、鶴岡政男		2/10-3/25
2018	187 水野暁-リアリティの在りか	高崎市美術館/旧井上房一郎邸	4/15-7/1
H30	188 萩尾望都 SF 原画展 宇宙にあそび、異世界にはばたく		7/14-9/9
	189 没後50年 山口薫先生からきみたちへ	高崎市美術館/旧井上房一郎邸	9/23-12/2
	190 アナザー・ストーリー 人の数だけ、物語がある。		12/15-1/20
	191 モダンデザインが結ぶ暮らしの夢 生活デザインの原点をめぐる5つの可能性	高崎市美術館/旧井上房一郎邸	2/2-3/31

年度	展覧会名	会場(高崎市美術館以外もしくは同時開催の場合)	会期
2019	192 生誕 110 周年 松本忠義・豊田一男 2 人展 + AOKIT/3D になった絵画世界/by 青木世一		4/14-6/23
H31/ R1	193 3 は魔法の数字 three is a magic number 14 アートユニット 3 とつくる ポップでカラフルがいっぱいの世界		7/13-9/1
	194 詩をかたどる、詩をきざむ一祈りの庭へ。	高崎市美術館 / 旧井上房一郎邸	9/14-11/24
	195 60s→80s ぼくらのアメリカン・ストーリー		12/7-1/19
	196 マルク・シャガール 愛と祈りと冒険と。8 つの版画物語		2/1-3/29
2020	197 秋山コレクション 人間のいる風景 ラインハルト・サビエ、深井克美を中心に		5/16-6/21
R2	198 FLOWER 今をいろどる花たち		7/4-8/30
	199 特集展示 4 つの革命 オーブリー・ビアズリーからサルバドール・ダリまで		9/12-10/18
	200 高崎市美術館コレクション 追悼特集 時代(とき)への花束 1917→2020		10/28-1/10
	201 画業 30 周年記念 小畑健展 NEVER COMPLETE		1/17-3/28

# 展覧会および関連事業・刊行物一覧

高崎市美術館が発行または発行にかかわった刊行物のタイトル/作者/編集者を記載。

年度-no.	展覧会名・会期	関連事業	刊行物(無印:販売物、*:配布物など)
2016-1 企画展	今森光彦展 自然と暮らす切り紙の世界 2016年4月17日(日)~6月26日(日)	今森光彦アーティストトーク&サイン会 4/23 今森光彦ワークショップ 4/24 ワークショップ 5/14、6/11	
2016-2 企画展	森竹巳の百均造形 みぢかなモノでおもしろアート 2016年7月7日(木)~9月4日(日)	作家によるギャラリートーク 7/10 こどもワークショップ 7/30 講演会 7/31 作家による親子ワークショップ 8/6	『森竹巳の百均造形 みぢかなモノでおもしろアート』 「百均造形 モノ×動作×言葉」/谷津淑恵 「森竹巳インタビュー」/谷津淑恵 *『森竹巳の百均造形 みぢかなモノでおもしろアート』子 供向けチラシ(クイズシート)
2016-3 企画展	愛のなかの女性たち ムンク、ピカソ、山口薫 芸術家が捧げるイメジェリー 2016年9月17日(土)~11月18日(金)	ギャラリートーク 9/22、10/8、11/13 南小学校連携授業 10/11・18 アーティストトーク 10/23、11/3	*『愛のなかの女性たち ムンク、ピカソ、山口薫 芸術家 が捧げるイメジェリー』編集/柴田純江
2016-4 収蔵展	高崎市美術館コレクション 5つの部屋+I 2016年12月2日(金)~2017年1月21日(土)	リレーギャラリートーク 12/3、1/14 齋木三男ギャラリートーク 12/10 お気に入りスケッチ 12/11、1/15 コンサート 12/16 ワークショップ 12/17	
2016-5 企画展	生誕100年 木村忠太展 光に抱かれ、光を抱いて。 2017年1月29日(日)~3月26日(日)	ギャラリートーク 2/4・18、3/4・18 著名人ギャラリートーク 2/5、3/5 ワークショップ 2/25 金曜夜おしゃべりミュージアム 3/10・24 春のエンディングコーヒーサービス 3/26	『KIMURA 生誕100年 木村忠太展』 「魂の在り処-木村忠太の外なる光と内なる光と」/ 住田常生
2017-1 企画展	北澤美術館所蔵 ルネ・ラリックの香水瓶 アール・デコ-香りと装いの美- 2017年4月15日(土)~6月25日(日)	講演会 4/29 ガラス作家によるギャラリートーク 6/3	*『北澤美術館所蔵 ルネ・ラリックの香水瓶 アール・デ コ-香りと装いの美-』編集/柴田純江
2017-2 企画展	ウィリアム・ブレイクと神の世界 郡山市立美術館所蔵 ローダー・コレクションの版画作品を中心に 2017年7月8日(土)~8月31日(木)	ワークショップ 7/22・29 スペシャルギャラリートーク 8/11	*『ウィリアム・ブレイクと神の世界 郡山市立美術館所蔵 ローダー・コレクションの版画作品を中心に』 編集/谷津淑恵 *『ウィリアム・ブレイクと神の世界 郡山市立美術館 所蔵 ローダー・コレクションの版画作品を中心に』子 供向けチラシ(クイズシート)
2017-3 企画展	グラフィックデザイナー 佐藤晃一展 2017年9月16日(土)~11月26日(日)	ギャラリートーク 9/30、10/14、11/25 アシスタントによるギャラリートーク 10/28 講演会 11/5	『学生たちに書き残す本』執筆/佐藤晃一 編集/糸藤隆弘・村松文彦(グラフィックデザイナー)
2017-4 企画展	生誕100年 清宮質文 あの夕日の彼方へ 2017年12月10日(日)~2018年1月31日(水)	ギャラリートーク 12/16・23、1/27 著名人スライドトーク 12/17、1/14 金曜夜おしゃべりミュージアム 12/22、1/12 ワークショップ 12/24、1/21 クロストーク 1/13 南小学校連携授業 1/19・23	『生誕100年 清宮質文 あの夕日の彼方へ』 「夢のモニュマン」/清宮質文(再録) 「彼方へ開かれたページ」/住田常生 「清宮質文は水戸っぼだったか」/ 井野功一(茨城県近代美術館首席学芸員) *『生誕100年 清宮質文 あの夕日の彼方へ かん たんガイド』編集/住田常生
2017-5 収蔵展	特集展示 生誕110年 人、鶴岡政男 2018年2月10日(土)~3月25日(日)	ギャラリートーク 2/17・24、3/10・17 ワークショップ 2/18・25 スライドトーク 3/11 よしだひろこさんクロストーク 3/21	*『生誕110年 人、鶴岡政男』 編集/住田常生・笠原晶子
2018-1 企画展	水野暁-リアリティの在りか 2018年4月15日(日)~7月1日(日)	アーティストトーク 4/22、6/3 公開制作 5/4・5 作家によるワークショップ 5/13 おしゃべりギャラリートーク 5/27、6/24 クロストーク 6/16	『水野暁-リアリティの在りか』 「水野暁の絵画について」/ 土方明司(平塚市美術館館長代理) 「水野暁インタビュー」/柴田純江
2018-2 企画展	萩尾望都 SF 原画展 宇宙にあそび、異世界にはばたく 2018年7月14日(土)~9月9日(日)	ワークショップ 7/28・29 萩尾望都トークショー 8/4	
2018-3 企画展	没後50年 山口薫先生からきみたちへ 2018年9月23日(日・祝)~12月2日(日)	箕輪小学校連携授業 5/25、9/26、11/1 スライドトーク 10/7 金曜夜おしゃべりミュージアム 10/12、11/16 ギャラリートーク 10/13・27、11/10、12/1 ワークショップ 10/14 詩の朗読&トーク 10/21 著名人ギャラリートーク 11/18	*『没後50年 山口薫先生からきみたちへ』 編集/住田常生 *山口薫バレットシール(メッセージシート)
2018-4 収蔵展	アナザー・ストーリー 人の数だけ、物語がある。 2018年12月15日(土)~2019年1月20日(日)	アーティストトーク 12/24、1/12 福袋プレゼント 1/5・6 南小学校連携授業 1/11 ギャラリートーク 1/19	*『アナザー・ストーリー 人の数だけ、物語がある。』 編集/柴田純江
2018-5 企画展	モダンデザインが結ぶ暮らしの夢 生活デザインの原点をめぐる5つの可能性 2019年2月2日(土)~3月31日(日)	竹皮編織コーナー 2/13・22、3/6・15・20・27・29 ギャラリートーク 2/16、3/2・30 ワークショップ 2/17 シリーズ講座てつがく堂+茶話 2/24、3/24 水原冬美さんギャラリートーク 3/16	『モダンデザインが結ぶ暮らしの夢』 「失われた夢を、私たちの夢に変えるための旅」/ 住田常生 「モダンデザインを生み出した商工省工芸指導所」/ 小谷竜介(東北歴史博物館学芸員)

年度-no.	展覧会名・会期	関連事業	刊行物(無印:販売物、*:配布物など)
2019-1 企画展	生誕110周年 松本忠義・豊田一男2人展+AOKIT/ 3Dになった絵画世界/by 青木世一 2019年4月14日(日)~6月23日(日)	アートレクチャー 5/11、6/16 ワークショップ 5/12 南小学校連携授業 6/11	*『生誕110周年 松本忠義・豊田一男2人展+AOKIT/ 3Dになった絵画世界/by 青木世一』 編集/柴田純江
2019-2 企画展	3は魔法の数字 three is a magic number 14 アートユニット 3 とつくる ポップでカラフルがいっぱいの世界 2019年7月13日(土)~9月1日(日)	イベント トーク&ライブ 7/12 threeによるギャラリートーク 7/13・27、8/11 ワークショップ 8/10・24	『3は魔法の数字 three is a magic number 14』 「three is a magic number」/谷津淑恵 「three インタビュー」(three 代表 川崎弘紀)/ 谷津淑恵
2019-3 企画展	詩をかたどる、詩をきざむー祈りの庭へ。 2019年9月14日(土)~11月24日(日)	シリーズ講座つづく堂+茶話 9/15、10/20 アーティストワークショップ 9/16・23、10/22、11/17 アーティストクロストーク 9/22、11/24 ギャラリートーク 10/12・26、11/9 金曜夜まおしやべりミュージアム 11/1・8 句会 11/12 クロストーク 11/23	『詩をかたどる、詩をきざむー祈りの庭へ。』 「祈りと詩と庭とーひとしくまだ見ぬ世を前に。」/ 住田常生 「深井隆インタビュー」「山中現インタビュー」「丸尾康弘イ ンタビュー」「木村繁之インタビュー」/住田常生
2019-4 収蔵展	60s→80s ぼくらのアメリカン・ストーリー 2019年12月7日(土)~2020年1月19日(日)	ギャラリートーク 12/14、1/18 福袋プレゼント 1/5・7 ワークショップ 1/11	*『60s→80s ぼくらのアメリカン・ストーリー』 編集/笠原晶子
2019-5 企画展	マルク・シャガール 愛と祈りと冒険と。8つの版画物語 2020年2月1日(土)~3月29日(日)	ギャラリートーク 2/24	*『マルク・シャガール物語 愛と野望とエグザイル。 激動の97年間』 編集/柴田純江
2020-1 企画展	秋山コレクション 人間のいる風景 ラインハルト・サビエ、深井克美を中心に 2020年5月16日(土)~6月21日(日)	新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う緊 急事態宣言による臨時休館 4/25~5/15 同感染症拡大防止のため関連事業中止	『秋山コレクション 人間のいる風景 ラインハルト・サビ エ、深井克美を中心に』 秋山氏からのメッセージ/MA 編集/柴田純江
2020-2 企画展	FLOWER 今をいろどる花たち 2020年7月4日(土)~8月30日(日)	作家による解説YouTube チャンネル配信) 公開日 7/22・29・30・31	『FLOWER 今をいろどる花たち』 執筆(作家)/新恵美佐子/ホセ・マリア・シシリア(再録)/ 渡辺香奈/大竹夏紀/ましもゆき/大村雪乃 編集/谷津淑恵
2020-3 企画展	特集展示 4つの革命 オーブリー・ピアズリーからサルバドール・ダリまで 2020年9月12日(土)~10月18日(日)		*『4つの革命 オーブリー・ピアズリーからサルバド ール・ダリまで』 編集/柴田純江
2020-4 収蔵展	高崎市美術館コレクション 追悼特集 時代への花束 1917→2020 2020年10月28日(水)~2021年1月10日(日)	時代への花束へー句(投句、講評発表) 10/28~1/10 みじかい解説会 11/21、12/19、1/9	*『高崎市美術館コレクション 追悼特集 時代への 花束 1917→2020』 「ことばに灯がとる」/水野真由美(俳人) 編集/住田常生
2020-5 企画展	画業30周年記念 小畑健展 NEVER COMPLETE 2021年1月17日(日)~3月28日(日)		

## 今森光彦展 自然と暮らす切り紙の世界

国内外で「里山」をキーワードに身近な生物や大自然の生態系を取材してきた写真家、今森光彦。30年前からは、琵琶湖をのぞむ田園にアトリエを構え、「生きものの集まる庭づくり」を実践している。今森はまた、ペーパーカット(切り紙)アーティストとしても活動しており、世界各地の鳥や昆虫たちをモチーフに精緻にカットした作品は、切り紙という概念を超えるものとしてテレビ番組でも紹介され、一躍知られるようになった。本展では、切り紙の初期作から独特な多色立体昆虫最新作品まで125点と、「里山での生命のつながり」という静かなドラマをとらえる写真作品57点の計182点に映像を交え、その里山でのライフスタイルを紹介した。参加者との交流の機会となった、今森を講師に招いたアーティストトーク&サイン会や切り紙ワークショップをはじめ、当館スタッフによる切り紙ワークショップ、高崎市染料植物園スタッフによる草木染めワークショップなど多彩な関連事業を開催し、好評を得た。

会 期 2016年4月17日(日)～6月26日(日) 61日間

主催会場 高崎市美術館

企画協力 クレヴィス、(有)おうれりあん

後 援 朝日新聞前橋総局、共同通信社前橋支局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J:COM群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎

関連事業 「今森光彦アーティストトーク&サイン会」 講師:今森光彦(写真家・切り紙作家) 4/23(土)午後2時～

「今森光彦切り紙ワークショップ」 講師:今森光彦 4/24(日)午前10時～12時 会場:高崎市南公民館

「親子で楽しむ切り紙ワークショップ」 講師:当館スタッフ 5/14(土)午後2時～3時30分 会場:高崎市南公民館

「身近な植物をもちいた草木染めワークショップ」 講師:高崎市染料植物園スタッフ

6/11(土)午後1時～3時30分 会場:高崎市南公民館

関連記事 「今森光彦展 自然と暮らす切り紙の世界」(広報高崎 4月1日)

「命の息吹 豊かな色彩で 高崎市美術館 今森光彦展」(TAKATAI 4月29日)

「鳥や昆虫の切り紙作品 高崎市美術館「今森光彦展」」(上毛新聞 5月10日)

「文化紀行/今森光彦展－自然と暮らす切り紙の世界」(朝日ぐんま 5月20日)

入 場 者 7,040名

No.	種別	切り紙作品名/写真作品キャプション	寸法(H×W)cm	制作年(作品集タイトル・刊行年)
1	切り紙	今森光彦ポートレート	23×31	2011
2	写真	レンゲとミツバチ	60×76	《『里山物語』・1995》
3	写真	ナナホシテントウとツユクサ	90×60	《『里山の日 夏の日』・2007》
4	写真	田んぼから顔を出したトノサマガエル	90×60	《『里山の日 夏の日』・2007》
5	写真	黄昏の田園	60×76	《『里山物語』・1995》
6	写真	ツバメシジミとガクアジサイ	60×76	《『里山物語』・1995》
7	写真	クモの巣	100×120	《『里山物語』・1995》
8	写真	モナルダは、収穫して干しておく、とてもいい香りがする。	20×30	
9	写真	カモミールは、ハーブティーに入れるために摘みとる。	20×30	
10	写真	土手のノアザミを生けてみた。	20×30	
11	写真	あちこちに薪置き場がある。	20×30	
12	写真	地鶏のソテーは、アトリエ料理の定番。	20×30	
13	写真	ピワスのグリル。いろいろな野菜をそえていただく。	20×30	
14	写真	焼きたては、最高に美味しい。	20×30	
15	写真	手作りのピザは、いつもマルゲリータ。	20×30	
16	写真	青い大気につつまれた早朝のアトリエ。周辺は田園がひろがり、背後には、比良山系が見える。 ひと冬に数回だけだけれど、このような雪景色になる。	80×120	
17	写真	アトリエへのアプローチには、クヌギの稲木が立ち並び、周囲には季節折々に花が咲く。 土手は、300年以上前につくられたものをそのまま受け継いでいて、生えている植物は、ほとんどが在来種。	90×60	
18	切り紙	シャガ	20×28	2012
19	切り紙	コバイモ	15×20	2011
20	切り紙	ウバユリ	16×27	2011
21	写真	木々に囲まれたアトリエ。	20×30	
22	写真	ドアを開けたら、風の音が舞い込んできた。葉の香りが、私を雑木林へと誘う。	20×30	
23	写真	雑木林の中で一息。	20×30	
24	切り紙	クロヒカゲ	17×17	2012
25	切り紙	ゴマダラチョウ	17×24	2011
26	切り紙	シジュウカラ	19×20	2011
27	切り紙	ホオジロ	20×20	2011
28	写真	アトリエの近くにある桜の古木。棚田を見渡せる気持ちがいい場所があるので「棚田桜」と呼んでいる。	80×120	
29	写真	春の匂いを運ぶナノハナ。	20×30	
30	写真	キアゲハは、花が大好きだ。	20×30	
31	写真	アセビの花にやってきたアカタテハ。	20×30	
32	写真	タンポポの花を歩くナナホシテントウ。	20×30	
33	切り紙	ベニシジミ	16×16	2011



No.	種別	切り紙作品名／写真作品キャプション	寸法(H×W)cm	制作年(作品集タイトル・刊行年)
34	写真	花々が咲くガーデンエリアの背後は、クヌギやコナラを主体とする雑木林でおおわれている。この小さな森があるから、生きものたちの顔ぶれが豊かになる。	60×90	
35	写真	初夏から夏にかけては、昆虫たちの集まる花でにぎわう。	20×30	
36	写真	ガーデニングは、いつも長靴をはいて、動きやすい姿でおこなう。	20×30	
37	写真	庭をめぐる4輪車には、スコップ、ハサミなどひとつ通りのものが入っている。	20×30	
38	切り紙	カブトムシ	17×26	2013
39	切り紙	泳ぐクサガメ	24×37	2010
40	切り紙	手をあげるカブトムシ	31×42	2012
41	切り紙	飛ぶオニヤンマ	33×49	2012
42	写真	セイヨウニンジンボクに巣をつくったクモ。	30×20	
43	写真	アトリエの庭には、クチベニマイマイも姿をあらわす。	20×30	
44	写真	大型のアゲハチョウがやってくるボタンクサギ。	20×30	
45	写真	ため池に棲むクロイトトンボ。	20×30	
46	写真	ハスのピンク色は美しい。	30×20	
47	切り紙	コゲラ	24×34	2011
48	切り紙	ヤツガシラ	20×20	2011
49	切り紙	コジュケイ	18×26	2011
50	切り紙	コガモ	18×23	2012
51	切り紙	ハシビロガモ	19×25	2011
52	写真	200年前の博物学書と熱帯で採集した昆虫たち。	20×30	
53	写真	ハサミは、繊細な線も切ることができる魔法の道具。	20×30	
54	写真	フランスの古いタイトルとできたばかりの作品。	20×30	
55	写真	夏、部屋の中は、木々の葉におおわれ、木漏れ日がまぶしい。早朝は鳥の声、日が高くなるとセミの音が響きわたる。	80×120	
56	写真	ファーブル昆虫記、全巻のオリジナル。	20×30	
57	写真	ファーブル昆虫記のフニコロガシのページを開く。	20×30	
58	写真	ブロンズのフクロウ。ずいぶん前にフランスの骨董屋で手に入れたもの。	20×30	
59	切り紙	ムシカリの葉	18×24	2011
60	切り紙	キンマメザクラの葉	18×24	2012
61	切り紙	ダンコウバイの葉	18×24	2012
62	切り紙	松ボックリ	13×17	2011
63	写真	ホオズキは、実が美しいので刈り取って干しておく。	30×20	
64	写真	サルトリイバラは、晩秋に実が赤く色づく。	30×20	
65	写真	アトリエにほど近い田園風景。秋のはじまりは、田んぼが黄金色で美しい。	80×120	
66	写真	土手には、カキの枯木があり、たわわに実る。	20×30	
67	写真	アトリエの雑木林でとれたヤマグリ。	20×30	
68	写真	イギリスの骨董街でみつけたホシハジロのデコイ。	20×30	
69	写真	刈り取った草を焼く農家の人。アトリエに近い田んぼの土手で。	80×120	
70	写真	窯に薪をいれる。	20×30	
71	写真	窯は、ピザをはじめ、いろいろなものに使う。	20×30	
72	写真	収穫したユズ。他に、レモン、ナツミカンなども実る。	20×30	
73	写真	雑木林の周辺には、ゼンマイやワラビが顔を出す。	20×30	
74	写真	アトリエの雑木林で、野鳥を観察する。	20×30	
75	写真	熟きったカキを食べにやってきたヒヨドリ。	20×30	
76	写真	降雪の日のアプローチ。ちょっと幻想的な風景。	20×30	
77	切り紙	オーレリアンの庭	56×75	2013
78	写真	朝焼けのはさ木 土手に並ぶはさ木が焼けた空に影となって浮かび上がる。農家の人はもう働いている。	1000×2150	(『里山物語』・1995)
79	写真	ヤナギの森とヨシ原 人が管理しないヨシ原は、原生の森へとかえてゆく。人を拒む厳しい風景。	1000×2150	(『湖辺 生命の水系』・2004)
80	切り紙	アゲハチョウの孵化(ふか)	50×60	2014
81	切り紙	アゲハチョウの若齢幼虫	42×50	2014
82	切り紙	アゲハチョウの幼虫の脱皮	45×57	2014
83	切り紙	アゲハチョウの終齢幼虫	44×47	2014
84	切り紙	アゲハチョウの幼虫の威嚇(いかく)	40×44	2014
85	切り紙	アゲハの蛹(さなぎ)	45×53	2014
86	切り紙	アゲハの羽化前の蛹(さなぎ)	45×53	2014
87	切り紙	アゲハの羽化	45×53	2014
88	切り紙	飛ぶアゲハチョウ	47×57	2014
89	切り紙	ヨナグニサン	35×45	2012
90	切り紙	オオムラサキ	33×44	2011
91	切り紙	カギバアオシャク	33×44	2012
92	切り紙	キネヤガ	33×44	2013
93	切り紙	クマバチ	33×44	2012
94	切り紙	クロシタアオイラガ	33×44	2012
95	切り紙	ドクガ	33×44	2013
96	切り紙	トモエガ	33×44	2013
97	切り紙	トリバガ	33×44	2013
98	切り紙	ヒトリガ	33×44	2014
99	切り紙	アカオビスズメ	33×44	2011
100	切り紙	ホタルガ	33×44	2012

No.	種別	切り紙作品名／写真作品キャプション	寸法(H×W)cm	制作年(作品集タイトル・刊行年)
101	切り紙	マダラモドキガ	33×44	2012
102	切り紙	メキシコフクロウチョウ・表	33×44	2013
103	切り紙	メキシコフクロウチョウ・裏	33×44	2013
104	切り紙	メスシロキチョウ・オス	33×44	2011
105	切り紙	メスシロキチョウ・メス	33×44	2011
106	切り紙	オオクジャクヤママユ	33×44	2014
107	切り紙	スジボソヤマキチョウ	78×108	2014
108	切り紙	ソテツシジミ	54×97	2014
109	切り紙	カザリハチドリ	大衣(394×509)	2011
110	切り紙	飛ぶカザリハチドリ	大衣(394×509)	2011
111	切り紙	ラケットハチドリ	大衣(394×509)	2011
112	切り紙	オナガタイマイ		2014
113	切り紙	タテハモドキ		2014
114	切り紙	モルフオチョウ	49×64	2014
115	切り紙	ツマベニチョウ	49×64	2014
116	切り紙	オオムラサキ	多色立体昆虫・長辺 19	2014
117	切り紙	ヘラクレスオオカブトムシ	多色立体昆虫・長辺 21.2	2014
118	切り紙	アサギマダラ	多色立体昆虫・長辺 16	2014
119	切り紙	アケビコノハ	多色立体昆虫・長辺 25.4	2014
120	切り紙	オオミズアオ	多色立体昆虫・長辺 18	2014
	映像	映像資料:「多色立体昆虫を作る」	約7分	
121	切り紙	チャマダラセセリとキジムシロ	45×58	2014
122	切り紙	クモマベニヒカゲとマツムシソウ	72×94	2013
123	切り紙	クモマツマキチョウとイチゲ	45×56	2014
124	切り紙	ハチドリとトケイソウ	66×95	2013
125	切り紙	ハチドリとアナナス	58×93	2012
126	切り紙	アレキサンドラトリバネアゲハとハイビスカス	61×92	2013
127	切り紙	キマダラセセリとヒマワリ	74×100	2012
128	切り紙	ビクトリアトリバネアゲハとブルメリア	63×98	2014
129	切り紙	アカカザリフウチョウ	62×92	2013
130	習作	ビクトリアトリバネアゲハの習作	29.7×21	
131	習作	アカカザリフウチョウの習作	43×31.2	
132	切り紙	ファルキドンアグリアスとカシューナッツ	63×96	2014
133	切り紙	ウラモジタテハとカカオ	63×98	2012
134	切り紙	コノハズクとニシキギ	64×94	2013
135	切り紙	ホウジャクとヤマユリ	64×94	2014
136	切り紙	ロスチャイルドヤママユガとトランペットツリー	64×95	2012
137	切り紙	トビトカゲとバナナ	71×103	2014
138	切り紙	キバタンとバンクシア	74×98	2014
139	切り紙	ヘレノールモルフオとハマユウ	75×102	2014
140	切り紙	トンボマダラとバイナツブル	76×104	2013
141	切り紙	オニオオハシ	77×106	2014
142	切り紙	ヤシオウムとユーカリ	66×90	2011
143	切り紙	ウンとコブシ	96×108	2014
144	切り紙	カワセミとヤマザクラ	61×92	2012
145	切り紙	スカラベ	多色立体昆虫・長辺 14	2014
146	切り紙	メダマカレハカマキリ	多色立体昆虫・長辺 21	2014
147	切り紙	オウゴンオニクワガタ	多色立体昆虫・長辺 13.5	2014
148	切り紙	ニジイロクワガタ	多色立体昆虫・長辺 18.7	2014
149	切り紙	ゴライアスオオツノハナムグリ	多色立体昆虫・長辺 26	2014
150	切り紙	アフリカメダマカマキリ	多色立体昆虫・長辺 12	2014
151	切り紙	里山の生態系	36×40	2010
152	切り紙	里山の生態系 2	36×43	2010
153	切り紙	シナカブリモドキ	30×35	2012
154	切り紙	シボリアゲハ	36×46	2011
155	切り紙	シジュウカラとカエデ	38×56	2009
156	切り紙	オニグモ	50×69	2011
157	切り紙	タシギとイグサ	53×68	2012
158	切り紙	カケスとクロウメモドキ	52×79	2011
159	切り紙	オナガガモ	52×85	2012
160	切り紙	杭にとまるコガモ	68×102	2013
161	切り紙	アフリカクサリヘビ	52×76	2012
162	写真	真夏の田園 濃緑色の田んぼがつづく田園。光と影の強いコントラストが真夏を演出する。	175×380	『里山物語』・1995)
163	切り紙	昆虫採集 1	32×45	2010
164	切り紙	昆虫採集 2	33×53	2009
165	切り紙	昆虫採集 3	42×57	2008
166	切り紙	昆虫採集 4	44×57	2008
167	切り紙	昆虫採集 5	34×45	2008
168	切り紙	ワシミズクとヒマラヤスギ	54×71	2013

No.	種別	切り紙作品名／写真作品キャプション	寸法(H×W)cm	制作年(作品集タイトル・刊行年)
169	切り紙	ワシミズクとオークツリー	54×83	2013
170	切り紙	コシミズクと道標	74×105	2010
171	切り紙	走るワシミズク	56×78	2013
172	切り紙	カブトムシ	多色立体昆虫・長辺 15	2014
173	切り紙	ノコギリクワガタ	多色立体昆虫・長辺 17	2014
174	切り紙	タマムシ	多色立体昆虫・長辺 14	2014
175	切り紙	オニヤンマ	多色立体昆虫・長辺 18.2	2014
176	切り紙	ゲンジボタル	多色立体昆虫・長辺 12.7	2014
177	切り紙	タガメ	多色立体昆虫・長辺 19	2014
178	切り紙	ゲンゴロウ	多色立体昆虫・長辺 10.6	2014
179	切り紙	ナナホシテントウ	多色立体昆虫・長辺 13.4	2014
180	切り紙	ニシキキンカメムシ	多色立体昆虫・長辺 12.7	2014
181	切り紙	ルリボシカミキリ	多色立体昆虫・長辺 25.3	2014
182	切り紙	モンキチョウ オスとメス	多色立体昆虫・長辺 12	2014

## 森竹巳の百均造形 みちかなモノでおもしろアート

本展は、幾何学的抽象を主とする造形表現を展開する太田市出身の造形作家、森竹巳の活動から、「百均造形」シリーズに焦点をあてて夏休み企画とした。「百均造形」は森の造語で、百円ショップやホームセンターで入手できるストロー、輪ゴム、ガムテープ、綿棒などが驚くような作品に変貌するシリーズ。理論に裏づけされた手法と効果で身近な材料が造形作品となる。今回は「はる」「さす」「かける」などの身近な言葉をキーワードに91点を紹介し、「参加してみよう」と題した体験コーナー4か所では来館者の自由な参加と共同作業により、日々変化する展覧会とした。展示と併せ森自身による講演やギャラリートーク、ワークショップなど多彩な関連事業を通じて、常に新たな表現を求めて意欲的な取り組みを続ける森の作品世界を立体的に紹介することで、夏休みの親子連れを中心に、発見する喜び、造形の楽しさを改めて感じてもらう内容となった。来館者からは、今後も参加型イベントを期待する声が多数寄せられた。

会 期 2016年7月7日(木)～9月4日(日) 52日間

主催会場 高崎市美術館

後 援 高崎市教育委員会、朝日新聞前橋総局、共同通信社前橋支局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J:COM群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎

関連事業 森竹巳による「みんなのギャラリートーク」講師:森竹巳(造形作家・筑波大学大学院教授) 7/10(日)午後2時～3時

子どもワークショップ「白色プラ板でバジツづくり」講師:当館スタッフ 7/30(土)午前10時30分～12時 会場:高崎市南公民館

森竹巳講演会「百均造形のススメ」講師:森竹巳 7/31(日)午後2時～3時30分 会場:高崎市南公民館

親子ワークショップ「スタート!」講師:森竹巳 8/6(土)午前10時30分～12時 会場:高崎市南公民館

関連記事 「森竹巳の百均造形 みちかなモノでおもしろアート」(広報高崎 6月15日)

「身近な素材でアート 森竹巳さん「百均造形」展」(上毛新聞 6月28日)

「身近な材料で驚きのアート 市美術館 森竹巳さん作品展」(TAKATAI 8月12日)

「百均材料活用アート 高崎 作品90点展示」(読売新聞 8月18日)

入 場 者 10,752名

印刷物 『森竹巳の百均造形 みちかなモノでおもしろアート』図録

『森竹巳の百均造形 みちかなモノでおもしろアート』子供向けチラシ(クイズシート)

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	
1F 〈百均造形〉第1展示室					*すべて作家蔵
1	Construction '16-S3	2016	ストロー・天蚕糸	137×36×36	
2	Relief Construction '13-Y1	2013	楊枝・パネル	182×227	
3	Construction '11BT-1	2011	ビニールテープ・パネル	182×227	
4	Construction '11CT-1	2011	ビニールテープ・パネル	182×227	
5	Construction '16-S4	2016	ストロー・天蚕糸	700×360×360	
6	hanger cube	2014	ハンガー・天蚕糸	45×45×45	
7	螺旋香	2016	蚊取り線香・虫ピン	270×360	
8	Construction '16-S1	2016	ストロー・天蚕糸	48×54×54	
2F 〈百均造形〉2階ブリッジ					
9	マッチボール	2014	マッチ棒	23×23×21	
10	ヨーヨーボール	2014	楊枝・発泡スチロール	22×22×22	
11	いしかんてつ	2016	色鉛筆・石	19×16×12	
〈はる〉第2展示室					
12	Construction '12MT-1	2012	マスキングテープ・パネル	182×182	
13	Construction T	2004	マスキングテープ・パネル	182×227	
14	max de bibill	2016	色鉛筆・パネル	61×61	
15	いろいろ鉛筆 2	2016	色鉛筆・パネル	53×53	
16	いろいろ鉛筆 1	2016	色鉛筆・パネル	53×53	
17	ふせんしよう	2016	付箋・パネル	72.8×103	
18	Construction '14MT-1	2014	マスキングテープ・パネル	73.7×73.7	
19	Construction '13S-1	2013	マスキングテープ・パネル	70×70	
20	Construction '14MT-4	2014	マスキングテープ・パネル	30×30	
21	Construction '14MT-3	2014	マスキングテープ・パネル	40×40×3枚	
22	Construction '14MT-2	2014	マスキングテープ・パネル	25×50×2枚	
23	Construction '14-CT1	2014	クラフトテープ・パネル	91×91	
24	Construction '16-GT1	2016	ガムテープ・パネル	91×45.5	
25	Construction '15-CT1	2015	クラフトテープ・パネル	182×273	
〈百均造形〉2階渡り廊下					
26	strart 5	2016	ストロー・天蚕糸	30×30×30	
27	strart 1	2016	ストロー・天蚕糸	30×36×36	
28	strart 7	2016	ストロー・天蚕糸	26×26×26	
29	strart 3	2016	ストロー・天蚕糸	30×34×34	
30	strart 8	2016	ストロー・天蚕糸	33×33×33	
31	strart 2	2016	ストロー・天蚕糸	30×30×30	
32	strart 6	2016	ストロー・天蚕糸	25×28×28	
33	strart 4	2016	ストロー・天蚕糸	20×20×20	

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm
〈かける〉第3展示室				
34	hanger wall	2016	ハンガー・釘	290×480
35	Relief Construction '15-G1	2015	輪ゴム・釘・パネル	182×182
36	Relief Construction '13-G1	2013	輪ゴム・釘・パネル	182×182
37	Relief Construction '16-G1	2016	輪ゴム・釘・パネル	45.5×45.5
38	Relief Construction '16-G1	2016	輪ゴム・釘・パネル	91×91
39	Relief Construction '16-G2	2016	輪ゴム・釘・パネル	91×91
40	紆余曲折	2016	荷台ゴム・パネル	55×55
41	正三・四・五・六・七・八角形	2016	ヘアーゴム・パネル	91×91
42	12の三角形と12の四角形	2016	ヘアーゴム・パネル	128.5×128.5
43	五つの多角形	2016	ヘアーゴム・パネル	45.5×45.5
44	Construction L	1996	糸・釘・パネル	182×91×3枚
3F 〈百均造形〉3階ブリッジ				
45	フオークボール	2016	竹フオーク	35×35×35
46	モールボール	2014	モール	23×23×23
47	モールボール	2016	モール	21×23×25
48	ヨージーボール	2014	楊枝・発泡スチロール	22×22×22
49	カラビニテストーン	2013	ビニールテープ・石	12×21×14 7×15×9 4.5×11×4.5
〈さす〉第4展示室				
50	Relief Construction '01-C1	2001	ゼムクリップ・パネル・ドローイング	182×182
51	Relief Construction '01-S1	2001	紙ひも・パネル・ドローイング	182×182
52	Construction '12S-1	2012	ステーブル・パネル	182×182
53	Relief Construction '99-W1	1999	ニクロム線・パネル・ドローイング	91×91
54	Relief Construction '99-S1	1999	ステーブル・ドローイング・パネル	91×91
55	Relief Construction '14-C1	2014	カラークリップ・パネル	91×91
56	Relief Construction '14-E	2014	ピン・ヒートン・釘・ネジ他・パネル	91×91
57	Relief Construction '14-Y1	2014	楊枝・パネル	72.8×103
58	Relief Construction '14-Y1	2014	綿棒・パネル	80×113
59	Relief Construction '09-M1	2009	綿棒・パネル	182×182
60	Construction '08-T1	2008	籐・パネル	52×58×58
61	Relief Construction '09-T1	2009	籐・パネル	182×364
〈身近なモノ いつものことば〉第5展示室				
62	神の杯(3×3)	2016	紙コップ・パネル	53×53
63	神の杯(5×5)	2016	紙コップ・パネル	91×91
64	速旋回	2016	洗濯バサミ・パネル	91×91
65	Construction '16-G1	2016	画鋸・パネル	72.8×72.8
66	Construction '16-G2	2016	画鋸・パネル	72.8×72.8
67	尖ったカミオカンデ(M1)	2016	画鋸・紙立方体	19×19×19
68	尖ったカミオカンデ(M2)	2016	画鋸・紙立方体	19×19×19
69	Construction '16S-1	2016	カラーステーブル・パネル	80×113
70	Twist & Shout	2016	メタリックタイ・ワイヤーネット・パネル	38.5×58.9
71	Construction '16-M1	2016	モール・パネル	60.5×60.8
72	ツイストモール	2016	モール・ワイヤーネット・パネル	53×53
73	メンボーズ	2016	綿棒	
74	神の杯	2016	紙コップ・ブッシュピン	290×480
75	神の紐	2016	紙ひも	30×40×25
76	屈折	2016	ストロー・パネル	53×53
77	赤と青のボレロ	2016	インデックスラベル・パネル	53×53
78	類似の法則	2016	デコレーションボール・パネル	90×90
79	リンクするリング	2016	とじ穴補修シール・パネル	65×65
80	あっちむいたピック	2016	ピック	65×65
81	円弧のリズム	2016	洗濯バサミのフック	65×65
82	尖ったカミオカンデ(L)	2016	画鋸・紙立方体	32×32×32
83	長いモノには巻かれるシリーズ	2016	紙ひも・綿ひも・石	
84	重ねられた五つの八面体	2016	アルミパイプ・天蚕糸	56×15×15
85	星形二十面体	2016	アルミパイプ・天蚕糸	45×45×45
86	10(テン)セグリティーズ	2016	ストロー・輪ゴム・ゴム紐	
87	5つのいろいろ四面体	2016	色鉛筆・輪ゴム	
88	Construction '16-S2	2016	ストロー・天蚕糸	39×45×45
89	立方体による歪んだ立方体	2016	スポンジ	30×30×30
90	ヨージーボール(小)	2016	楊枝・発泡スチロール	18×16×16
91	ワイヤーボール	2016	カラーワイヤー	16×16×16

## 愛のなかの女性たち ムンク、ピカソ、山口薫 芸術家が捧げるイメージリー

古今東西、愛あふれる女性像は芸術のインスピレーションであり続け、絵画・彫刻作品に繰り返し表現されてきた。本展では、生と死のはざまの愛を象徴化したエドヴァルト・ムンクの女性像や、ヘンリー・ムアが終生のテーマとした母子像、ピカソが若き時代に描いた寄りそう男女像、そして山口薫、鶴岡政男、松本忠義など地域ゆかりの作家たちによる情感あふれる女性像 128 点を「愛の中の女性たち」「母と子と」「少女時代」「恋人のいる風景」「愛と死の聖女たち」「躍動する女性たち」「女性を象る」「群馬県在住作家によるユニークな女性表現」の 8 コーナーに分け、さまざまな国と時代の芸術家たちが生み出した女性をめぐるイメージリーを紹介した。コレクションを中心に一部群馬県立近代美術館コレクションを加え、関連事業として県内在住の出品作家、新井コー児、三輪途道によるアーティストトークを実施したことは、地域公立美術館として有意義であり、これまで紹介する機会の少なかった女性モチーフのコレクション作品を多くの市民に見ていただく機会にもなった。また新井コー児を講師に招き、高崎市立南小学校との連携授業として初の試みとなる鑑賞授業を、4 年生を対象に行った。

**会 期** 2016 年 9 月 17 日(土)～ 11 月 18 日(金) 52 日間

**主催会場** 高崎市美術館

**後 援** 朝日新聞前橋総局、共同通信社前橋支局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、J:COM群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎

**関連事業** 学芸員によるギャラリートーク 担当：柴田純江(当館学芸員)

9/22(木・祝)、10/8(土)、11/13(日)午後 2 時～

高崎市立南小学校連携授業「子どもたちと作品鑑賞」講師：新井コー児(画家)

事前授業：10/11(火)午後 1 時 55 分～3 時 30 分 場所：高崎市立南小学校

鑑賞授業：10/18(火)午前 11 時～午後 3 時 30 分

アーティストトーク

「絵画になった女性たち」講師：新井コー児 10/23(日)

「彫刻になった女性たち」講師：三輪途道(彫刻家) 11/3(木・祝)各日午後 2 時～3 時

**関連記事** 「文化紀行／「愛のなかの女性たち」愛と死の女神たちー多彩な女性像を読み解く」(朝日ぐんま 10 月 21 日)

「アートを愉しむ／「愛のなかの女性たち」より①」(上毛新聞ばれっと 11 月 1 日、以下 5 回まで学芸員の記事を掲載)

**入 場 者** 5,696 名

**印 刷 物** 『愛のなかの女性たち ムンク、ピカソ、山口薫 芸術家が捧げるイメージリー』リーフレット

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵	前/後
1F	〈愛の中の女性たち〉第 1 展示室 ●…前期:9/17～10/30 ○…後期:11/1～11/18				空欄…高崎市美術館	
1	和南城孝志	奔馬	1977	ブロンズ		
2	宮崎進	花かざりの女	1976	油彩・キャンバス		
	フェルナン・レジェ	『サーカス』挿画(63 枚組)より	1950 年刊	リトグラフ・紙		
3	フェルナン・レジェ	『サーカス』《軽業師たち》	1950 年刊	リトグラフ・紙		
4	フェルナン・レジェ	『サーカス』《踊り子》	1950 年刊	リトグラフ・紙		
5	松本忠義	鍊金通りにて	1984	油彩・キャンバス		
6	脇田和	鳥に話す	1953	油彩・キャンバス		
7	森芳雄	化粧	1968	油彩・キャンバス		
8	本郷新	鶏を抱く女	1962	ブロンズ		
9	本郷新	鶏を抱く女	1977	リトグラフ・紙		
10	オシップ・ザツキン	母性愛	1946	ブロンズ		
	ヘンリー・ムア	『母子』(30 枚組)より	1987 年刊	エッチング・アクアチント・ルーレット・紙		
11	ヘンリー・ムア	母子 XXIII	1987 年刊	エッチング・アクアチント・ルーレット・紙		
12	ヘンリー・ムア	母子 XII	1987 年刊	エッチング・アクアチント・ルーレット・紙		
13	ヘンリー・ムア	母子 XV	1987 年刊	エッチング・アクアチント・ルーレット・紙		
14	井上長三郎	鳩と少女	1978	油彩・キャンバス		
15	井上長三郎	少女	1980	油彩・キャンバス		
	マルク・シャガール	『ボエム』挿画(24 枚組)より	1968 年刊	木版・紙		
16	マルク・シャガール	『ボエム』私の母	1968 年刊	木版・紙		
17	マルク・シャガール	『ボエム』僕の思い出の中で	1968 年刊	木版・紙		
18	穀嘯	レインボーキス	1968	シルクスクリーン・手彩色・紙・木		
2F	ブリッジ					
19	樋口裕子	吉祥の系譜・松子	2009	アクリルガッシュ・胡粉・古布・ 金箔・パステル・キャンバス	個人	
20	樋口裕子	吉祥の系譜・竹子	2009	アクリルガッシュ・胡粉・古布・ 金箔・パステル・キャンバス	個人	
21	樋口裕子	吉祥の系譜・梅子	2009	アクリルガッシュ・胡粉・古布・ 金箔・パステル・キャンバス	個人	
22	金子奈央	秋によせて	2008	油彩・キャンバス	個人	
23	金子奈央	ロマンス	2009	油彩・キャンバス	個人	
	〈母と子と〉第 2 展示室					
24	ヘンリー・ムア	母子 III	1987 年刊	エッチング・アクアチント・ルーレット・紙		
25	ヘンリー・ムア	母子 XXX	1987 年刊	エッチング・アクアチント・ルーレット・紙		
26	ヘンリー・ムア	母子 VIII	1987 年刊	エッチング・アクアチント・ルーレット・紙		

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵	前/後
27	ヘンリー・ムア	母子 XVI	1987 年刊	エッチング・アクアチント・ルーレット・紙		
28	ヘンリー・ムア	母子 VII	1987 年刊	エッチング・アクアチント・ルーレット・紙		
29	ヘンリー・ムア	母子 VI	1987 年刊	エッチング・アクアチント・ルーレット・紙		
30	ヘンリー・ムア	母子 XXIX	1987 年刊	エッチング・アクアチント・ルーレット・紙		
31	ヘンリー・ムア	半身像 母子	1983	ブロンズ		
32	オーギュスト・ロダン	若い夫人と子供	1865-70	ブロンズ		
33	本郷新	嵐の中の母子像	1953	ブロンズ		
34	デイヴィッド・ホックニー	カイザリオンとその美のすべて	1961	エッチング・アクアチント・紙		
35	デイヴィッド・ホックニー	鏡よ、鏡よ、壁の上の	1961	エッチング・アクアチント・紙		
36	国吉康雄	母娘	1945	インク・紙		
37	塚田とほる	ラ・メール	1989	油彩・キャンバス		
38	豊田一男	招かざる客	1981	油彩・ワックス・キャンバス		
39	島崎庸夫	母子	1986	油彩・キャンバス		
〈少女時代〉						
	福井良之助	『福井良之助 孔版画集』(13 枚組)より	1957	ミメオグラフ・紙		
40	福井良之助	『福井良之助 孔版画集』小花の少女	1957	ミメオグラフ・紙		
41	福井良之助	横顔	1962	ミメオグラフ・紙		
42	町田久美	装置 2	2006	手彩色・デジタルプリント・紙	高崎市美術館寄託	
43	町田久美	Betty	2005	デジタルプリント・紙	高崎市美術館寄託	
44	脇田和	カレンダー原画(12 枚組)	不詳	水彩・紙		
〈恋人のいる風景〉第 3 展示室						
45	福井良之助	『福井良之助 孔版画集』愛	1957	ミメオグラフ・紙		
46	鶴岡政男	ふたり	1948	油彩・板		
47	パブロ・ピカソ	貧しき食事	1904	エッチング・紙		
	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』(42 枚組)より	1961 年刊(1957-60)	リトグラフ・紙	群馬県立近代美術館	
48	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』XIV ニンフたちの洞窟	1961 年刊(1957-60)	リトグラフ・紙	群馬県立近代美術館	●
49	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』XVI フィレータースの果樹園	1961 年刊(1957-60)	リトグラフ・紙	群馬県立近代美術館	●
50	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』XXXVI 荒らされた花々	1961 年刊(1957-60)	リトグラフ・紙	群馬県立近代美術館	●
51	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』XII つばめ	1961 年刊(1957-60)	リトグラフ・紙	群馬県立近代美術館	○
52	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』XXXI 夏の季節	1961 年刊(1957-60)	リトグラフ・紙	群馬県立近代美術館	○
53	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』XXXIX クリアリスティエに 着物を着せられ髪を結ってもらうクロエ	1961 年刊(1957-60)	リトグラフ・紙	群馬県立近代美術館	○
54	マルク・シャガール	『ポエム』表紙	1968 年刊	木版・紙		
55	マルク・シャガール	『ポエム』私は私の生を生きる	1968 年刊	木版・紙		
56	マルク・シャガール	『ポエム』この日を	1968 年刊	木版・紙		
57	マルク・シャガール	『ポエム』私は私の生を生きる(続き)	1968 年刊	木版・紙		
58	マルク・シャガール	『ポエム』庭	1968 年刊	木版・紙		
59	三輪途道	おじいのトルソ	2003	檜・漆・白土・彩色		
60	三輪途道	おばあのトルソ	2003	檜・漆・白土・彩色		
61	鶴岡政男	飯面(マスク)	1958-59 年頃	織物・毛糸		
62	松本忠義	台所風景	2006 年頃	油彩・キャンバス		
〈愛と死の聖女たち〉						
63	山口薫	ユウロップ	1961	油彩・キャンバス		
64	山口薫	緑の花嫁	1956	油彩・キャンバス		
65	オーギュスト・ロダン	蛇と少女	1885	ブロンズ		
66	エドヴァルト・ムンク	女・三相	1899	リトグラフ・紙	群馬県立近代美術館	●
67	エドヴァルト・ムンク	マドンナ	1895/1902	リトグラフ・木版・紙	群馬県立近代美術館	●
68	エドヴァルト・ムンク	女の髪の中の男	1896	木版・紙	群馬県立近代美術館	●
69	エドヴァルト・ムンク	宇宙での出逢い	1895-99	木版・紙	群馬県立近代美術館	●
70	エドヴァルト・ムンク	病める少女	1894	ドライポイント・ルーレット・紙	群馬県立近代美術館	○
71	エドヴァルト・ムンク	離別 II	1896	リトグラフ・紙	群馬県立近代美術館	○
72	エドヴァルト・ムンク	嫉妬	1914	エッチング・ドライポイント・紙	群馬県立近代美術館	○
73	エドヴァルト・ムンク	棧橋の少女たち	1918-20	木版・リトグラフ・紙	群馬県立近代美術館	○
74	舟越保武	聖セシリア	1984	リトグラフ・紙		
75	舟越保武	聖ペロニカ	1978	ブロンズ		
3F ブリッジ						
76	佐藤忠良	ミーマ(MIMA)	1984	ブロンズ		
77	ジャン＝バティスト・カルポー	ナポリの女	不詳	ブロンズ		
〈躍動する女性たち〉第 4 展示室						
78	谷中安規	無題(天駆ける女)『白と黒』47 号	1934	木版・紙		
79	浜田知明	『小さな版画集』(15 枚組)より 女	1992	エッチング・アルシュ紙・雁皮紙貼り		
80	浜田知明	『小さな版画集』(15 枚組)より 走る女	1992	エッチング・アルシュ紙・雁皮紙貼り		
81	池田満寿夫	シンデレラの広告	1966	ドライポイント・ルーレット・紙		
82	池田満寿夫	ロマンチックな風景	1965	ドライポイント・ルーレット・エッチング・紙		
83	池田満寿夫	花園にて	1965	ドライポイント・ルーレット・エッチング・紙		
84	池田満寿夫	ファッション	1969	ルーレット・メゾチント・ドライポイント・紙		
85	池田満寿夫	海のスカート	1965	ドライポイント・ルーレット・紙		
86	マリー・ローランサン	扇を持つ若い女	1913	水彩・紙		
87	ソニア・ドロローネ	イボカンブ	1971	リトグラフ・紙		

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵	前/後
88	ソニア・ドローネ	オリンピック	1970	リトグラフ・紙		
89	ソニア・ドローネ	サーカス	1971	リトグラフ・紙		
90	ソニア・ドローネ	アルルカン	1970	リトグラフ・紙		
91	フェルナン・レジェ	『サーカス』《パレード》	1950年刊	リトグラフ・紙		
92	フェルナン・レジェ	『サーカス』《踊り子》	1950年刊	リトグラフ・紙		
93	フェルナン・レジェ	『サーカス』《曲芸師》	1950年刊	リトグラフ・紙		
94	フェルナン・レジェ	『サーカス』《綱渡り》	1950年刊	リトグラフ・紙		
95	フェルナン・レジェ	『サーカス』《ラ・グランド・ジュリー》	1950年刊	リトグラフ・紙		
	ジョルジュ・ルオー	『サーカス』挿画(8枚組)より	1930年刊	アクアチント・紙		
96	ジョルジュ・ルオー	『サーカス』バレリーナ	1930年刊	アクアチント・紙		
97	ジョルジュ・ルオー	『サーカス』見世物小屋の呼び込み	1930年刊	アクアチント・紙		
98	ジョルジュ・ルオー	『サーカス』アマゾン	1930年刊	アクアチント・紙		
99	ブランカ・アデンサモヴァー	Work 2001	2001年頃	熔解ガラス・カット		
100	ジョアン・ミロ	縄飛びをする少女と女と鳥	1947	エッチング・紙		
101	ジョアン・ミロ	某夫人とその夫	1970	ドライポイント・アクアチント・カーボランダム・紙		
102	木内克	牧神の午後B	1949年頃	ブロンズ		
〈女性を象る〉第5展示室						
103	松本忠義	デッサン(スケッチブック)		木炭・紙		
104	塚田とほる	裸婦デッサン	1979	パステル・鉛筆・紙		
105	塚田とほる	裸婦デッサン	1986	パステル・鉛筆・紙		
106	中村節也	裸婦習作	1927	油彩・キャンバス		
107	麻生三郎	手をうしろにした人	1965	油彩・キャンバス		
108	麻生三郎	胴体 A	1986	水彩・インク・鉛筆・木炭・パステル・紙		
109	麻生三郎	人-6	1990	水彩・鉛筆・パステル・紙		
110	柳原義達	裸婦	1977	リトグラフ・紙		
111	柳原義達	黒人の女	1956	ブロンズ		
112	山口薫	裸婦	1925	油彩・ボード		
113	山口薫	無題(裸婦 椅子横向き)	1930-33	鉛筆・紙		
114	山口薫	無題(裸婦 横臥)	1931-33	鉛筆・紙		
115	山口薫	無題(裸婦 二人)	1930-33	鉛筆・紙		
116	鶴岡政男	裸婦	不詳	コンテ・紙		
117	鶴岡政男	裸婦	1946年頃	コンテ・紙		
118	鶴岡政男	裸婦	1943年頃	インク・紙		
	バプロ・ピカソ	『知られざる傑作』挿画(13枚組)より	1931年刊(1927)	エッチング・紙		
119	バプロ・ピカソ	『知られざる傑作』画家と編み物をするモデル	1931年刊(1927)	エッチング・紙		
120	バプロ・ピカソ	『知られざる傑作』ヌードのモデルと制作中の画家	1931年刊(1927)	エッチング・紙		
121	高田博厚	空 C	1977	リトグラフ・紙		
122	高田博厚	空 A	1977	リトグラフ・紙		
123	高田博厚	女のトルソ	1963	ブロンズ		
124	山名將夫	思	1983	油彩・アクリル・色鉛筆・シナベニヤパネル		
125	島崎庸夫	立つ女	1989	油彩・キャンバス		
〈群馬県在住作家によるユニークな女性表現〉						
126	新井コー児	セピア色のラブレター	2004	油彩・キャンバス		
127	新井コー児	Base ball	2013	油彩・キャンバス	個人	
128	三輪途道	乳母と私	2007	檜・漆・白土・彩色	個人	



## 高崎市美術館コレクション 5つの部屋+I

本展は2016年度コレクション展として、平成3年の開館前後より収集してきた国内外の美術作品約1,300点の中から、当館の建物の特徴である5つの展示室と併設された旧井上房一郎邸に「動物たちの部屋」「顔のある部屋」「いろとかたちの部屋」「木の部屋—深井隆の世界」「孔版画の部屋—没後30年 福井良之助」「美術とくらす家」といったテーマごとに作品を選び、所蔵作品それぞれの個性や、テーマによる意外なつながりを最大限に生かす展示を行った。闘牛の緊張と興奮の一連の場面を、墨絵のような濃淡で描いたパブロ・ピカソ、既成概念を大胆に覆し、新しい絵画空間の創造を試みようと変貌を続けるフランク・ステラ、伝統的な木彫を現代の視点で表現する深井隆、没後30年となる画家、福井良之助の初期孔版画作品など当館コレクションを中心に、多彩な角度から美術鑑賞を提案し、コレクションの新たな魅力を紹介した。また解説パネルだけでなく「学芸員のつぶやきコラム」という読み物パネルを用意する初の試みも好評だった。

会 期 2016年12月2日(金)～2017年1月21日(土) 37日間

主催会場 高崎市美術館(旧井上房一郎邸)

企画協力 株式会社アートシード

関連事業 学芸員によるリレーギャラリートーク 担当:当館学芸員

「動物たちの部屋」「顔のある部屋」 谷津淑恵 12/3(土)

「木の部屋—深井隆の世界」「孔版画の部屋—没後30年 福井良之助」 住田常生 1/14(土) 各日午後2時～3時

齋木三男によるギャラリートーク 講師:齋木三男(彫刻家) 12/10(日)午後2時～3時 会場:旧井上房一郎邸

お気に入りスケッチ 12/11、1/15(日)午前10時～午後5時

ミュージアムサロンコンサート 演奏:唐澤真幸(ヴァイオリニスト)、丸山厚子(ピアニスト) 12/16(金)午後6時30分～7時30分

ワークショップ「クリスマス・ブレスレット作り」講師:当館スタッフ 12/17(土)午後2時～3時30分 会場:高崎市南公民館

関連記事 「市美術館コレクション 5つの部屋+I」(広報高崎 11月15日)

「動物」「顔」「いろとかたち」…6テーマで絵や彫刻」(上毛新聞 12月13日)

入 場 者 2,410名

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
〈動物たちの部屋〉第1展示室					*…高崎市美術館
1	下田治	コウモリ	1984	鉄	*
2	柳原義達	道標 鳩	1973	ブロンズ	*
3	中島浩	山羊	不詳	銀	*
4	正田壤	アイオ(眼のない牛)	1999	油彩・キャンバス	*
5	山口薫	牛の頭	1954	油彩・キャンバス	*
6	中村節也	天馬誕生	1973	油彩・キャンバス	*
7	松本忠義	犬達の窓	1976	油彩・キャンバス	*
8	松本忠義	鳥籠	1968	油彩・キャンバス	*
9	糸井千恵美	青い鳥とバラ	2008	エッチング・アクアチント	*
10	糸井千恵美	楽園に住む猫-blue moon	2000	エッチング・メゾチント	*
11	松本忠義	秋の立像	1949	油彩・キャンバス	*
12	松本忠義	牛(素描)	1945	クレヨン・紙	*
13	松本忠義	仔牛と犬	1947	油彩・キャンバス	*
	パブロ・ピカソ	『闘牛』(26枚組)より			*
14	パブロ・ピカソ	2 闘牛場へ	1959年刊(1957)	アクアチント・紙	*
15	パブロ・ピカソ	3 闘牛士たちの入場	1959年刊(1957)	アクアチント・紙	*
16	パブロ・ピカソ	5 囲いから放たれた牛	1959年刊(1957)	アクアチント・紙	*
17	パブロ・ピカソ	6 マントを手にし牛に向かう	1959年刊(1957)	アクアチント・紙	*
18	パブロ・ピカソ	11 雄牛に犬をけしかける	1959年刊(1957)	アクアチント・紙	*
19	パブロ・ピカソ	12 ピカドールによる槍の強い一撃	1959年刊(1957)	アクアチント・紙	*
20	パブロ・ピカソ	17 ムレタという技	1959年刊(1957)	アクアチント・紙	*
21	パブロ・ピカソ	18 角で突く牛	1959年刊(1957)	アクアチント・紙	*
22	パブロ・ピカソ	20 とどめの一突き	1959年刊(1957)	アクアチント・紙	*
23	パブロ・ピカソ	21 とどめをさす闘牛士、牛の死を予感する	1959年刊(1957)	アクアチント・紙	*
24	パブロ・ピカソ	22 雄牛の死	1959年刊(1957)	アクアチント・紙	*
25	パブロ・ピカソ	23 雄牛をひきまわす	1959年刊(1957)	アクアチント・紙	*
26	パブロ・ピカソ	24 観客の肩にのり退場する闘牛士	1959年刊(1957)	アクアチント・紙	*
2Fブリッジ					
27	伊藤富太郎	プロフィール故桜井伊兵衛先生	1961	白黒・ネガプリント	*
28	伊藤富太郎	竹馬の友	不詳	白黒・ネガプリント	*
29	伊藤富太郎	海の子等	1937	白黒・ネガプリント	個人
30	伊藤富太郎	跳ぶ	1937	白黒・ネガプリント	*
31	伊藤富太郎	仔山羊も一緒に	1937	白黒・ネガプリント	*
32	伊藤富太郎	幼な友達	1938	白黒・ネガプリント	*
〈顔のある部屋〉第2展示室					
33	アンディ・ウォーホル	マリリン・モンロー(マリリン)	1967	シルクスクリーン・紙	*
34	アンディ・ウォーホル	マリリン・モンロー(マリリン)	1967	シルクスクリーン・紙	*
35	アンディ・ウォーホル	マリリン・モンロー(マリリン)	1967	シルクスクリーン・紙	*
36	ロイ・リクテンスタイン	泣く少女	1963	オフセットリトグラフ・紙	*

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
37	ベン・シャーン	Hon.Bourke Cockran	1930 年代	テンペラ・アカデミーボード	*
38	郭徳俊	フォードと郭 B	1974	リトグラフ・紙	*
39	バプロ・ピカソ	首飾りをつけたジャクリースの肖像	1959	リノカット・紙	*
40	デイヴィッド・ホックニー	画学生:ピカソ讃	1973	リトグラフ・紙	*
41	金井訓志	アブラムの丘	1995	膠テンペラ・アクリル・箔・石膏・板	*
42	金井訓志	サライの夢	1995	膠テンペラ・アクリル・箔・石膏・板	*
43	金子英彦	テレビ(ホームドラマ?)	1966	水彩・紙	*
44	金子英彦	テレビ(連続・人気ドラマ)	1966	水彩・鉛筆・コラーージュ・紙	*
45	金子英彦	睨む	1966	水彩・紙	*
46	坂本友由	お庭いじり	2008	アクリル・キャンバス	個人
47	坂本友由	カラシ	2009	アクリル・キャンバス	個人
48	小林孝亘	Portrait-White-Shirt '07	2007	リトグラフ・紙	個人
49	小林孝亘	sleeping bag(green)	2009	鉛筆・色鉛筆・紙	個人
50	小山田二郎	顔 III	1978	水彩・紙	*
51	小山田二郎	夜	1980	水彩・紙	*
52	小山田二郎	娘	1981	水彩・紙	*
53	小山田二郎	坐像	1981	水彩・紙	*
54	三岸好太郎	少年道化	1932 年頃	油彩・板	*
55	峯孝	鶴さん	1970	ブロンズ	*
56	松本忠義	自画像	1934	油彩・キャンバス	*
57	豊田一男	自画像	不詳	油彩・板	*
58	塚田とほる	自画像	1946	油彩・キャンバス	*

〈いろいろかたちの部屋〉第 3 展示室

	フランク・ステラ	ポーラー・コーディネイツ(フォア・ロニー・ピーターソン)(8 枚組)より			*
59	フランク・ステラ	II	1978	オフセットリトグラフ・シルクスクリーン・レタープレス・紙	*
60	フランク・ステラ	I	1978	オフセットリトグラフ・シルクスクリーン・レタープレス・紙	*
61	フランク・ステラ	IV	1978	オフセットリトグラフ・シルクスクリーン・レタープレス・紙	*
62	菅井汲	10 の多色銅版画	1963	エッチング・紙	*
63	菅井汲	10 の多色銅版画	1963	エッチング・紙	*
64	菅井汲	10 の多色銅版画	1963	エッチング・紙	*
65	菅井汲	10 の多色銅版画	1963	エッチング・紙	*
66	菅井汲	10 の多色銅版画	1963	エッチング・紙	*
67	菅井汲	10 の多色銅版画	1963	エッチング・紙	*
68	菅井汲	10 の多色銅版画	1963	エッチング・紙	*
69	菅井汲	10 の多色銅版画	1963	エッチング・紙	*
70	菅井汲	10 の多色銅版画	1963	エッチング・紙	*
71	菅井汲	10 の多色銅版画	1963	エッチング・紙	*
72	菅井汲	パーキング B	1970	シルクスクリーン・紙	*
73	菅井汲	パーキング C	1970	シルクスクリーン・紙	*
74	大沢昌助	そうぐう A	1989	リトグラフ・紙	*
75	大沢昌助	そうぐう C	1989	リトグラフ・紙	*
76	大沢昌助	そうぐう G	1989	リトグラフ・紙	*
77	大沢昌助	そうぐう H	1989	リトグラフ・紙	*
78	村井正誠	鐘の人	1959	油彩・キャンバス	*
79	山口長男	区	1966	油彩・ボード	*
80	岡本健彦	Untitled(1966 年制作作品の再制作)	1999	アクリル・キャンバス	*
81	岡本健彦	Untitled(1966 年制作作品の再制作)	1999	アクリル・キャンバス	*
82	小倉ボオ	「気」象-青	1987	油彩・キャンバス	*
83	瑛九	作品	1959	油彩・キャンバス	*
84	オノサト・トシノブ	2 つの丸	1958	油彩・キャンバス	*
85	鶴岡政男	香り	1963 年頃	油彩・キャンバス	*
86	建畠覚造	Waving Figure-142A	1991	木・ウレタン塗装	*

〈木の部屋—深井隆の世界〉3F ブリッジ

87	深井隆	月の庭	2000	陶・樟	
88	深井隆	《月の庭》のために	2000	アクリル・金箔・鉛筆・和紙	
89	深井隆	《月の庭》のために	2000	パステル・金箔・鉛筆・和紙	
90	深井隆	月の庭	2000	陶・樟	

〈木の部屋—深井隆の世界〉第 4 展示室

91	深井隆	内なる楽園—夢想の旅—	1991	樟・金箔・大理石	*
92	深井隆	時の庭	1999	ブロンズ・樟・金箔	
93	深井隆	羊の手 99	1999	大理石・金箔	
94	深井隆	風の声	1999	陶・木(イチイ)	
95	深井隆	風に聞く B	2000	陶・樟	
96	深井隆	逃れゆく思念—黙約—	2000	樟・金箔	
97	深井隆	《逃れゆく思念》のために	2000	パステル・鉛筆・紙	
98	深井隆	夜気 2001	2001	パステル・金箔・鉛筆・和紙	
99	深井隆	垂直の時間に	2000	モノタイプ	
100	深井隆	風に聞く	2000	モノタイプ	
101	深井隆	逃れゆく思念—カノン—	2007	桶・金箔・銀箔	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
102	深井隆	詩よりも遠く I	2000	陶・木	
〈孔版画の部屋—没後 30 年 福井良之助〉第 5 展示室					
	福井良之助	『福井良之助孔版画集』(13 枚組)			*
103	福井良之助	こわれた家	1957	メモグラフ・紙	*
104	福井良之助	小さな世界	1957	メモグラフ・紙	*
105	福井良之助	愛	1957	メモグラフ・紙	*
106	福井良之助	海の生物	1957	メモグラフ・紙	*
107	福井良之助	建設	1957	メモグラフ・紙	*
108	福井良之助	小花の少女	1957	メモグラフ・紙	*
109	福井良之助	いちじく	1957	メモグラフ・紙	*
110	福井良之助	枯木	1957	メモグラフ・紙	*
111	福井良之助	実	1957	メモグラフ・紙	*
112	福井良之助	汽車の家	1957	メモグラフ・紙	*
113	福井良之助	風船と子供	1957	メモグラフ・紙	*
114	福井良之助	教会	1957	メモグラフ・紙	*
115	福井良之助	母子	1957	メモグラフ・紙	*
116	福井良之助	河岸風景	1957	メモグラフ・紙	*
117	福井良之助	さくらんぼ	1959 年頃	メモグラフ・紙	*
118	福井良之助	海	不詳	メモグラフ・紙	*
119	福井良之助	荷車	1955-65 年頃	メモグラフ・紙	*
120	福井良之助	樹のある風景	1960	メモグラフ・紙	*
121	福井良之助	木立の風景	不詳	メモグラフ・紙	*
122	福井良之助	横顔	1962	メモグラフ・紙	*
123	福井良之助	少女	1950 年代	メモグラフ・紙	*
124	福井良之助	わらび	1955-65 年頃	メモグラフ・紙	*
125	福井良之助	けし	1962	メモグラフ・紙	*
126	福井良之助	岩礁	1962	メモグラフ・紙	*
127	福井良之助	紫陽花	不詳	メモグラフ・紙	*
128	福井良之助	ひまわり	不詳	メモグラフ・紙	*
129	福井良之助	凝固した愛	1964	メモグラフ・紙	*
〈美術とくらす家〉旧井上房一郎邸					
130	齋木三男	Place	2012	黒御影石	作家
131	齋木三男	Rhythm	2005	黒御影石	作家
132	齋木三男	Shinka Shinka-evolution/deepening	2006	黒御影石	作家
133	齋木三男	無題	2016	黒御影石	作家
134	齋木三男	Move	2010	黒御影石	作家
135	齋木三男	跡	2016	白大理石	作家
136	齋木三男	記憶の跡	2010	黒御影石	作家
137	齋木三男	跡	2011	黒御影石	作家

## 生誕 100 年 木村忠太展 光に抱かれ、光を抱いて。

1953年の渡仏以来、亡くなる1987年まで一度の帰国をのぞき、フランスの自然の光をみつめ続けた木村忠太。香川県高松市出身で群馬県にゆかりはないが、高崎市の事業家、井上房一郎が木村作品を愛した縁から、2017年2月の生誕100年を記念し、高崎市美術館所蔵作品37点を中心とする油彩、パステル、鉛筆デッサン、リトグラフ計95点やパレット、スケッチブック、写真など作家資料11点、計106点を「I 中心が動く 1957年から」「II 内なる光と「魂の印象派」 1967年から」「III 魂に光を焼きつける 1969年から」「IV 真実とは？内なる光から夢へ 1978年から」という画風変化の画期ごとの4章に分け、木村が描こうとした「内なる光」を、点描から線描、色面へと折々変化する光の表現に辿り、東洋と西洋、内と外を巡る木村の思考と制作を手がかりとしながら、心象のリアリティを追求し「魂の印象派」を名乗った画業を紹介した。また著名人ギャラリートークなど多数開催した関連事業は、リピーターも多く好評を博した。

会 期 2017年1月29日(日)～ 3月26日(日) 49日間

主催会場 高崎市美術館

企画協力 (公財)日動美術財団

後 援 朝日新聞前橋総局、共同通信社前橋支局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J:COM群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎

関連事業 学芸員によるギャラリートーク(3/4は塚越潤(当館館長)とのクロストーク) 担当:住田常生(当館学芸員) 2/4・18、3/4・18(土)午後2時～  
著名人ギャラリートーク「あの人トーク!木村忠太」

「絵と歩くー言葉をもって、言葉をこえて」講師:糸山秋子(小説家) 2/5(日)

「木村忠太作品と風土(フード)」講師:堀井和子(テーブルスタイリスト) 3/5(日)各日午後2時～

ワークショップ「かたちとひかりでかく自画像」担当:住田常生 2/25(土)午後1時～3時 会場:高崎市南公民館

対話鑑賞イベント「金曜夜はおしゃべりミュージアム」担当:住田常生 3/10・24(金)午後6時30分～7時30分

春のエンディングコーヒーサービス 3/26(日)午後1時～5時 会場:高崎市美術館ラウンジ

関連記事 「時の余白に／絵をかく人、輝きを放って」編集委員 芥川喜好(読売新聞 2月25日)

「文化紀行／生誕100年 木村忠太展 光に抱かれ、光を抱いて。」(朝日ぐんま 3月17日)

入 場 者 5,205名

印刷物 『KIMURA 生誕100年 木村忠太展』図録

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W)cm	所蔵
〈I 中心が動く 1957年から〉					
1	自画像	1974	油彩・キャンバス	100.0×100.0	(公財)日動美術財団
2	リュクサンブール公園A	1958	油彩・キャンバス	60.0×81.0	
3	レジエ家の裏のキャベツ島	1958	油彩・キャンバス	49.5×64.0	
4	牛とリンゴの木	1965	油彩・キャンバス	50.0×65.0	
5	ヴェリエール風景	1966	油彩・キャンバス	49.0×64.5	高崎市美術館
6	馬	1967	油彩・キャンバス	18.0×23.0	高崎市美術館
7	デュルシュ通り	1967	油彩・キャンバス	120.0×120.0	
8	デュルシュ通り	1967	鉛筆・紙	16.0×24.0	
〈II 内なる光と「魂の印象派」 1967年から〉					
9	木の間越しの夕日	1970	油彩・キャンバス	100.0×100.0	
10	風景	1970	油彩・キャンバス	30.0×30.0	
11	憩う婦人	1971	油彩・キャンバス・ボード	19.0×26.5	高崎市美術館
12	コンコルド広場	1971	油彩・キャンバス・ボード	19.0×24.0	高崎市美術館
13	セーヌ河岸	1971	油彩・キャンバス	60.1×73.1	
14	メゾン・ラフィットの朝	1971	油彩・キャンバス	73.0×91.8	
15	ロケット・シュル・シアヌの柿の木	1971年頃	油彩・キャンバス	46.0×50.5	
16	カプリ	1973	油彩・キャンバス	46.2×65.0	
17	ニースの公園	1973	油彩・キャンバス	38.2×46.0	
18	流れ	1974	油彩・キャンバス	130.0×162.0	
19	南仏ベゴマ	1974	油彩・キャンバス	120.7×120.5	
20	茂み	1975	油彩・キャンバス	18.0×26.0	高崎市美術館
21	樹の下で	1976	油彩・キャンバス	100.0×100.0	豊橋市美術博物館
22	ファイアンス風景	1976	油彩・キャンバス	44.0×53.5	
23	村	1977	油彩・キャンバス	59.0×59.0	高崎市美術館
〈III 魂に光を焼きつける 1969年から〉					
24	初夏	1973	リトグラフ・紙	54.0×46.5	高崎市美術館
25	コンフラン・サン・トノリーの公園	1974	リトグラフ・紙	56.0×70.5	高崎市美術館
26	クロ・サン・ピエールの庭	1982	リトグラフ・紙	62.8×48.0	高崎市美術館
27	クロ・サン・ピエールの坂道	1986	リトグラフ・紙	51.0×73.0	高崎市美術館
28	クロ・サン・ピエール	1975	パステル・紙	50.0×63.0	
29	風景	1976	パステル・紙	50.2×65.2	
30	庭	1977	パステル・紙	49.0×63.0	
31	クロ・サン・ピエール	1977年頃	パステル・紙	48.8×63.8	
32	クロ・サン・ピエール	1979	パステル・紙	49.0×64.0	高崎市美術館
33	クロ・サン・ピエール	1983	パステル・紙	50.0×64.5	

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W)cm	所蔵
34	クロ・サン・ピエールの庭	1984	パステル・紙	74.6×98.1	埼玉県立近代美術館
35	クロ・サン・ピエールの庭	1984	パステル・紙	74.6×99.3	埼玉県立近代美術館
36	クロ・サン・ピエール	1985	パステル・紙	74.0×110.0	高崎市美術館
37	クロ・サン・ピエール	1986	パステル・紙	75.0×87.0	群馬県立近代美術館寄託
38	クロ・サン・ピエールの森	1986	パステル・紙	74.0×86.0	高崎市美術館
39	風景	1967	鉛筆・紙	62.0×48.0	
40	クロ・サン・ピエール	1973年頃	鉛筆・紙	65.2×50.0	
41	クロ・サン・ピエール 資料:スケッチブック	1981 1970年代後半	鉛筆・紙	50.0×64.0	
(IV 真実とは?内なる光から夢へ 1978年から)					
42	アリスとリリアンヌ	1978	油彩・キャンバス・ボード	15.5×21.5	高崎市美術館
43	オルレアン教会	1978	油彩・キャンバス	46.9×55.1	高崎市美術館
44	自転車のある風景	1978	油彩・キャンバス	50.0×61.0	
45	ファイアンス	1978	油彩・キャンバス	81.0×116.0	豊橋市美術博物館
46	自転車のある風景	1979	油彩・キャンバス	60.4×60.0	
47	夏の日暮れ	1980	油彩・キャンバス	130.0×162.0	
48	風景:噴水	1980	油彩・キャンバス	130.0×162.0	群馬県立近代美術館
49	カイアン風景	1981	油彩・キャンバス	65.0×81.0	高崎市美術館
50	黄色い壁	1981	油彩・キャンバス・ボード	21.0×26.0	高崎市美術館
51	もみ	1981	油彩・キャンバス	16.0×22.0	高崎市美術館
52	夕日	1981	油彩・キャンバス	53.0×53.0	
53	ヴァロン	1982	油彩・キャンバス	130.0×162.0	
54	クロ・サン・ピエール	1982	油彩・キャンバス	60.2×73.1	
55	クロ・サン・ピエール	1982	油彩・キャンバス	27.0×35.0	
56	プロヴァンスの旅	1982	油彩・キャンバス	16.0×24.0	高崎市美術館
57	小陰	1983	油彩・キャンバス	60.0×60.0	高崎市美術館
58	木陰	1983	油彩・キャンバス	19.0×24.0	高崎市美術館
59	南仏	1983	油彩・キャンバス	130.0×162.0	茨城県近代美術館
60	春	1983	油彩・キャンバス・ボード	16.0×22.0	高崎市美術館
61	村に入る石階段	1983	油彩・キャンバス	80.0×80.0	
62	村の入口	1983	油彩・キャンバス	80.0×80.0	リョービ株式会社
63	カブリ	1984	油彩・キャンバス	39.0×39.0	
64	樹木	1984	油彩・キャンバス	30.0×30.0	高崎市美術館
65	南仏の田舎道	1984	油彩・キャンバス	54.0×72.5	リョービ株式会社
66	南仏の夏	1984	油彩・キャンバス	22.0×27.0	高崎市美術館
67	庭	1984	油彩・キャンバス・ボード	19.0×24.0	高崎市美術館
68	プロヴァンスの野道	1984	油彩・キャンバス	27.0×35.0	高崎市美術館
69	パリ風景	1980年代前半	油彩・キャンバス	59.9×60.3	
70	雲	1985	油彩・キャンバス	100.0×100.0	群馬県立近代美術館
71	雲	1985	油彩・キャンバス	80.0×79.8	
72	小陰	1985	油彩・キャンバス	30.0×30.0	高崎市美術館
73	五月	1985	油彩・キャンバス	27.0×35.0	高崎市美術館
74	自転車	1985	油彩・キャンバス	45.5×53.0	リョービ株式会社
75	畑道	1985	油彩・キャンバス	19.0×23.8	高崎市美術館
76	田舎道	1986	油彩・キャンバス	14.3×22.2	
77	クロ・サン・ピエールの家	1986	油彩・キャンバス	80.0×80.0	リョービ株式会社
78	初夏	1986	油彩・キャンバス	46.0×55.0	
79	小溪(あるいは谷間)	1986	油彩・キャンバス	130.0×162.0	茨城県近代美術館
80	庭の椅子	1986	油彩・キャンバス	40.0×40.0	
81	冬の丘	1986	油彩・キャンバス	50.0×50.0	高崎市美術館
82	プロヴァンス	1986	油彩・キャンバス	80.0×80.3	
83	ベンチに座る人	1986	油彩・キャンバス	79.5×80.0	高崎市美術館
84	リスボン	1986	油彩・キャンバス	30.0×30.0	高崎市美術館
85	冬のセーヌ	1986-87	油彩・キャンバス	19.0×24.0	高崎市美術館
86	丘の上の農家B(ボルトガル)	1987	油彩・キャンバス	99.0×99.0	茨城県近代美術館
87	木陰	1987	油彩・キャンバス	27.0×35.0	高崎市美術館
88	夏の雲	1987	油彩・キャンバス	130.0×162.2	世田谷美術館
89	プロヴァンス地方の家	1987	油彩・キャンバス	128.8×161.0	茨城県近代美術館
90	プロヴァンスの丘	1987	油彩・キャンバス	22.0×27.0	高崎市美術館
91	ポプラ	1987	油彩・キャンバス	130.0×162.0	群馬県立近代美術館
92	ボン・ヌフ	1987	油彩・キャンバス	130.0×162.0	茨城県近代美術館
93	カフェにて	1977	油彩・キャンバス	18.0×23.0	高崎市美術館
94	ファイアンス風景	不詳	油彩・キャンバス	130.0×162.0	
95	ベンチ 資料:パレット	1981	油彩・キャンバス	27.0×35.0 11.0×75.0×60.0	高崎市美術館 (公財)日動美術財団

## 北澤美術館所蔵 ルネ・ラリックの香水瓶 アール・デコ―香りと装いの美―

1890 年代にジュエリー・デザイナーとして名声を確立していたフランスのルネ・ラリックは、香水商コティとのコラボレーションを皮切りとして 1910 年頃からガラスの香水瓶のデザインを始めた。優美な香りをヴィジュアル化したラリックの香水瓶は瞬間に大ブームを巻き起こす。その後ラリックはガラスを素材としてアクセサリやインテリアの分野でも多彩な活躍をみせ、アール・デコ・スタイルを代表するガラス・デザイナーとして確固たる地位を築いた。本展では、世界的なガラス・コレクションで知られる北澤美術館コレクションからラリックの香水瓶やアクセサリ、化粧品容器を選りすぐり、あわせて神戸ファッション美術館コレクションからアール・デコ・スタイルのドレスやファッション・プレートを加え、「第 1 章 ガラスの世界へ」「第 2 章 挑戦的デザイン」「第 3 章 アール・デコの装い」「第 4 章 モダン・デザインへ」の 4 章で、アール・ヌーヴォーからアール・デコ、さらにモダン・デザインへの展開を計 146 点で紹介した。また本展監修者である北澤美術館(長野)学芸員池田まゆみによる講演会や、ガラス作家小林大輔を招いたギャラリートークなどの関連事業を開催し、好評を得た。

会 期 2017 年 4 月 15 日(土)～ 6 月 25 日(日) 63 日間

主催会場 高崎市美術館

特別協力 公益財団法人北澤美術館

協 力 神戸ファッション美術館、ラリック S.A.、ジーケー・ジャパンエージェンシー株式会社

監 修 池田まゆみ(北澤美術館 館長学芸員)

企画制作 imura art planning

後 援 朝日新聞前橋総局、共同通信社前橋支局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、J:COM群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎

関連事業 講演会「ルネ・ラリック―香水瓶に見るデザインの革命」講師:池田まゆみ 4/29(土・祝)午後 2 時～3 時 30 分 会場:高崎市南公民館

ガラス作家によるギャラリートーク 講師:小林大輔(ガラス工房メルハバ代表) 6/3(土)午後 2 時～

関連記事 「ルネ・ラリックの香水瓶 アール・デコ―香りと装いの美―」(広報高崎 3 月 15 日)

「「香りと装いの美」ラリックの香水瓶」(TAKATAI 4 月 14 日)

「アート楽しみ心豊かに「美術館巡り(高崎市)」」(読売新聞 4 月 22 日)

入 場 者 6,913 名

印 刷 物 『北澤美術館所蔵 ルネ・ラリックの香水瓶 アール・デコ―香りと装いの美―』リーフレット

No.	作品名	制作年	寸法(H×W×D)cm	所蔵
〈第 1 章 ガラスの世界へ〉				
1. コティとの出会い				
1	香水テスターケース(コティの香水)コティ社 ルネ・ラリック製プレート付	1911	8.0×25.5×10.5 プレート:5.0×7.8 瓶:5.5×3.0×1.7(各)	* 公益財団法人北澤美術館 * 神戸ファッション美術館
2	ラリック製ガラス・プレート付香水瓶(レフルール)コティ社(瓶はバカラ社製)	1908	14.0×6.4×4.5	*
3	香水瓶(レフルール)コティ社	1912	11.0×5.1×3.4	*
4	香水瓶(シクラメン)コティ社 共箱付	1909	13.5×5.0×4.5 共箱 5.7×16.0×5.5	*
5	香水瓶(アンブル・アンティーク)コティ社	1910	15.3×4.0	*
6	香水テスター(コティの香水)コティ社	1913	5.4×20.7×13.2	*
7	円形クリームケース(ロリガン)コティ社	1912	5.5×9.0	*
8	三角形クリームケース(女性の顔)コティ社	1912	9.5×6.2×6.1	*
2. 別れ―愛の女神アリス				
9	ブロンズ製メダル型招待状	1905	高さ 6.7×幅 6.2×厚さ 1.2	*
10	ガラス製メダル型招待状 Rラリック・ガラス作品展	1912	直径 6.7×厚さ 0.9	*
11	香水瓶(シダ)あるいは《女性の胸像》	1912	9.3×7.0×3.0	*
3. 香水メーカーとのコラボレーション				
ドルセイ社				
12	香水瓶(ドルセイの詩情)ドルセイ社	1914	高さ 14.8×直径 4.5	*
13	香水瓶(ゆり)ドルセイ社	1920	25.0×17.5×6.5	*
14	香水テスター(ドルセイの名声)ドルセイ社	1920	4.2×22.3×5.2	*
15	クリームケース《三人の人物》ドルセイ社	1913	高さ 4.0×直径 9.5	*
16	パウダーケース(シュヴァリエ・ドルセイ)あるいは《二人のシレーヌ》ドルセイ社	1920	高さ 3.0×直径 8.2	*
その他				
17	香水瓶(ダナエ)ルーヴル百貨店	1913	8.3×7.5×2.4	*
モデル台帳登録 1930 年				
18	香水瓶(翡翠(ひすい))ロジェ&ガレ社	1926	8.2×6.0×2.9	*
19	香水瓶(すみれ)ガピラ社	1925	8.0×6.8×3.6	*
20	香水瓶(マオニ)ヴォルネ社	1919	高さ 10.0×直径 3.5	*
〈第 2 章 挑戦的デザイン〉				
1. 貼りあわせ				
21	香水瓶(カーネーション)	1912	10.5×8.8×2.0	*
22	香水瓶(牧歌)コティ社	1911	9.0×6.0×2.3	*
2. 型吹きプレス同時成形				
23	香水瓶(二人の人物、小像のある柱)	1912	13.5×11.5×3.6	*
24	香水瓶(シレーヌ)ピュルマン社	1912	10.0×7.8×3.4	*

No.	作品名	制作年	寸法(H×W×D)cm	所蔵
3. 扁平				
25	香水瓶《蝶》	1911	高さ 6.0×直径 6.0	*
26	香水瓶《三組のペアダンサー》	1912	高さ 5.7×直径 9.0	*
4. 彫刻的な造形				
27	香水瓶《バラ》ドルセイ社	1914	高さ 10.0×直径 5.5	*
28	香水瓶《アンフィトリート》	1920	9.7×6.5×4.6	*
5. 同形のヴァリエーション				
29	香水瓶《バラ窓形の人物像》ガラスに金彩	1912	11.0×8.2×5.0	*
30	香水瓶《バラ窓形の人物像》	1912	11.2×8.2×5.0	*
31	香水瓶《バラ窓形の人物像》二人の人物像の柱	1912	13.0×8.0×5.0	*
6. ティアラ形				
32	香水瓶《彼女らの魂》ドルセイ社	1914	13.0×11.0×5.0	*
33	デザイン画《櫛・クロッカス》	1912 年以前	28.1×22.4	*
34	デザイン画《櫛・あじさい》	1912 年以前	28.3×22.4	*
35	香水瓶《ユーカリ》	1919	13.5×8.3×3.0	*
36	香水瓶《三羽のツバメ》	1920	12.0×12.5×4.4	*
37	香水瓶《カシス》赤	1920	11.5×8.8×4.0	*
38	香水瓶《カシス》青	1920	11.3×8.7×4.2	*
39	香水瓶《ひな菊》ロジェ&ガレ社	1913	8.2×8.3×3.8	*
7. ティアラ形ランプ				
40	小型常夜灯《忘れな草》、ほやは《小さな葉》	1919	12.5×10.4×5.4(台含む)	*
41	中型常夜灯《キュービッド》	1920	21.5×10.5×9.9(台含む)	*
〈第3章 アール・デコの装い〉				
1. 化粧台				
42	円形大鏡《野ばら》	1921	高さ 4.0×直径 43.5×厚さ 4.6	*
43	手鏡《二人の人物》	1912	長さ 30.3×幅 15.5×厚さ 1.6 共箱 5.5×19.0×34.0	*
44	円形鏡《二羽の鳥》	1914	高さ 3.3×直径 16.3	*
45	円形鏡《二頭の山羊》	1919	高さ 3.3×直径 16.3	*
46	飾箱《ルナリア》5 枚プレート	1914	14.0×32.6×21.0	*
47	香水スプレー《人物像 No.2》マルカス・エ・バルデル社	1924	高さ 15.8×直径 5.0	*
モデル台帳登録 1926 年				
48	ペンダント式香水瓶《ユーカリ》	1920	高さ 4.6×幅 4.2×厚さ 1.7	*
49	円形灰皿《ナイアード》	1930	高さ 10.0×直径 10.0	*
50	香水瓶《牧羊神》	1920	高さ 12.7×直径 4.2	*
2. アクセサリー				
51	ブローチ《四つのマーガレット》共箱入り	1922 年頃	長さ 5.3×幅 1.6 共箱 3.7×9.1×5.2	*
52	角型ペンダント《二人の人物と花》	1920	高さ 3.5×幅 3.0×厚さ 0.4 モチーフ:高さ 3.5×幅 1.8×厚さ 1.0	*
53	ネックレス《頭を上げた雀》	1929	直径 21.0	*
54	楕円形ペンダント《ぶらんこ遊び》	1919	高さ 6.0×幅 4.5×厚さ 0.4	*
55	楕円形ペンダント《翼のある人物》	1919	高さ 6.0×幅 4.2×厚さ 0.5	*
56	円形ペンダント《二人の人物と花》あるいは《二人の人物と花瓶の彫り込み》	1919	直径 5.5×厚さ 0.5	*
57	ハート形ペンダント《翼のある人物》	1911	高さ 4.6×幅 3.4×厚さ 0.3	*
58	楕円形ペンダント《ショールを持つ人物》正面向	1920	高さ 6.5×幅 2.4×厚さ 0.3	*
59	円形ブローチ《カボッション日本のりんごの木》	1920	直径 3.1×厚さ 1.3(ピン含まず)	*
60	ブローチ《背中合わせの二人の人物》	1913	高さ 3.1×幅 5.4×厚さ 0.9(ピン含まず)	*
61	円形ペンダント《マーガレット》	1919	直径 3.0×厚さ 1.0	*
62	楕円形ペンダント《すずらん》	1921	高さ 4.5×幅 2.5×厚さ 0.6	*
63	ブローチ《四つのカボッションと矢車菊》	1913	高さ 2.8×幅 8.1×厚さ 1.1(ピン含まず)	*
64	ブローチ《渦巻形の矢車菊》	1913	高さ 2.7×幅 8.0×厚さ 1.2(ピン含まず)	*
65	ブローチ《花瓶の矢車菊》	1913	高さ 2.4×幅 7.4×厚さ 1.0(ピン含まず)	*
66	ブローチ《二羽の鷺》	1911	高さ 2.0×幅 9.6×厚さ 0.6(ピン含まず)	*
67	棒形ブローチ《とかげ》赤紫	1912 年頃	高さ 1.0×幅 7.0×厚さ 0.6(ピン含まず)	*
68	指輪《羚羊と葉》	1931	高さ 3.0×幅 2.5	*
69	棒形ブローチ《とかげ》青	1912 年頃	高さ 1.0×幅 7.0×厚さ 1.1(ピン含まず)	*
70	棒形ブローチ《鳥》オレンジ	1912 年頃	高さ 1.0×幅 7.0×厚さ 1.1(ピン含まず)	*
71	棒形ブローチ《鳥》緑	1912 年頃	高さ 1.0×幅 7.0×厚さ 1.0(ピン含まず)	*
72	棒形ブローチ《西洋さんざし》	1912 年頃	高さ 1.0×幅 6.0×厚さ 1.1(ピン含まず)	*
73	ブレスレット《市松模様》青	1919	高さ 1.1×直径 6.5×厚さ 0.4-0.8	*
74	ブレスレット《市松模様》透明	1919	高さ 1.1×直径 6.5×厚さ 0.6	*
75	ブレスレット《つた》	1919	高さ 1.2×直径 6.5×厚さ 0.6	*
76	伸縮式ブレスレット《さくらんぼの木》	1928	高さ 2.9×直径 6.5 モチーフ:高さ 2.9×幅 1.4	*
77	伸縮式ブレスレット《ルネサンス》	1928	高さ 3.3×直径 7.0 モチーフ:高さ 3.3×直径 1.0	*
78	伸縮式ブレスレット《えんじゅ》	1928	高さ 3.6×直径 6.0 モチーフ:高さ 3.8×幅 1.4	*
79	円形小型ブローチ《天使》青緑	1912 年頃	直径 3.0×厚さ 0.9(ピン含まず)	*
80	円形小型ブローチ《天使》青	1912 年頃	直径 3.0×厚さ 0.9(ピン含まず)	*
81	円形小型ブローチ《つたの葉》	1912 年頃	直径 3.0×厚さ 1.0(ピン含まず)	*
82	円形大型ブローチ《蝶》	1911	直径 4.3×厚さ 1.2(ピン含まず)	*
83	円形大型ブローチ《魚》紫	1911	直径 4.3×厚さ 1.2(ピン含まず)	*
84	円形大型ブローチ《バッタ》	1911	直径 4.3×厚さ 1.3(ピン含まず)	*

No.	作品名	制作年	寸法(H×W×D)cm	所蔵
85	円形大型ブローチ《とかげ》緑	1911	直径 4.3×厚さ 1.2(ピン含まず)	*
86	円形大型ブローチ《とかげ》オレンジ	1911	直径 4.3×厚さ 1.0(ピン含まず)	*
3. 印章				
87	印章《シャモウ》	1931	4.8×4.0×1.9	*
88	印章《花瓶の花》	1919	6.0×6.0×1.5	*
89	印章《ニース》	1930	7.0×4.5×1.8	*
90	印章《布をまとう女》	1913	高さ 6.4×直径 3.4	*
91	楕円形印章《ぶらんこ遊び》	1919	7.0×4.2×2.2	*
92	楕円形印章《翼のある人物》	1919	7.0×4.4×2.2	*
93	楕円形印章《二人の人物と花》	1919	6.3×5.3×2.1	*
4. 蓋物				
94	円形蓋物《ルーヴシエンヌ》あるいは《腕を組む二人の人物》	1910	高さ 5.0×直径 8.5	*
95	円形蓋物《フォントネー》あるいは《踊る二人の人物》	1910	高さ 3.0×直径 6.8	*
96	円形蓋物《四匹の蝶》	1911	高さ 4.6×直径 8.0	*
97	円形蓋物《はこねそう》	1910	高さ 5.0×直径 6.7	*
98	円形蓋物《孔雀》	1910	高さ 3.0×直径 12.0	*
99	円形蓋物《二人の天使と香炉》	1910	高さ 4.0×直径 8.0	*
100	楕円形蓋物《キュービッド》	1919	4.0×8.5×6.1	*
101	円形パウダーケース《日本のりんごの木》アリス社	1919	高さ 4.2×直径 8.5	*
5. ルームフレグランス				
102	電気式常夜灯/パヒューム・ランプ《バラ》	1921	18.0×14.0×9.9(台含む)	*
103	アルコール式パヒューム・バーナー《シレーヌ》	1920	高さ 17.3×直径 8.8	*
104	アルコール式パヒューム・バーナー《きんぽうげ》	1928	高さ 15.5×直径 10.0	*
衣裳	イヴニング・ドレス/ポール・ボワレ(1879-1944)	1920 年頃		**
	イヴニング・ドレス/マドレーヌ・ヴィオネ(1876-1975)	1923		**
	イヴニング・ドレス/ジャンヌ・ランヴァン(1867-1946)	1936		**
写真	《手を上げてポーズをとる女性》/アドルフ・G・ド・メイヤー(1868-1946)	1920 年代		**
	《ボワレのコートをまとったビビ》/ジャック=アンリ・ラルティエグ(1894-1986)	1922		**
	《キツネの毛皮の女あるいは「アンナ・ラ・ブラドヴィナ」ことアルレット・プレヴォ、ブローニウの森(アカシア大通り)にて、飼い犬コゴとシシと共に》	1911		
	パリ/ジャック=アンリ・ラルティエグ(1894-1986)			
	《放送局の秘書》/アウグスト・ザンダー(1876-1964)	1931		**
ジョルジュ・バルビエ ファッション・プレート				
	《美しいひと》ウォルトのイヴニング・ドレス/ジョルジュ・バルビエ(1882-1932)	1924-1925		**
	《コロマンデル》イヴニング・ドレスとコート/ジョルジュ・バルビエ(1882-1932)	1914		**
	《貝殻の噴水》パキヤンのイヴニング・ドレス/ジョルジュ・バルビエ(1882-1932)	1914		**
	《魔術》ペールのイヴニング・ドレス/ジョルジュ・バルビエ(1882-1932)	1922		**
	《ウォルトの椿姫の舞台衣装を着たイダ・ルビンシュタイン》	1923		**
	《小さな魚をびっくりさせて》夏の服	1914		**
	《見晴らし台》ウォルトのコート	1924		**
	《イヌサフラン》パキヤンの旅行用コート	1914		**
〈第4章 モダン・デザインへ〉				
1. ラリック・スタイル				
105	香水瓶《美しい季節》ウピガン社 共箱付	1920	10.3×7.0×3.0 共箱:11.2×8.2×4.3	*
106	香水瓶《バラ》ウォルト社	1937	9.5×5.5×3.7	*
107	香水瓶《リラ》ウォルト社 共箱付	1937	8.3×4.5×2.5 共箱:9.4×6.3×3.7	*
108	香水瓶《青い目》カナリナ社 共箱付	1928	5.3×3.9×1.4 共箱:5.8×4.3×1.8	*
109	香水瓶《すみれ》ウピガン社 共箱付	1919	8.0×6.5×2.2 共箱:8.8×7.2×3.1	*
モデル台帳登録 1925 年				
110	香水瓶《5つの花》フォルヴィル社 *レゾネ前掲の旧名《三つのワルツ》	1929	9.0×3.3×3.3	*
111	香水瓶《エレガンス》ドルセイ社	1923	9.8×7.0×2.1	*
112	香水瓶《カランダール》モリナール社	1930	11.5×8.0×4.8	*
113	香水瓶《牧神のくちづけ》モリナール社	1928	15.0×11.3×3.7	*
2. 蓋物				
114	卵型蓋物《つるにちに草》	1929	7.5×11.5×8.3	*
115	卵型蓋物《雛鳥》	1929	7.5×11.5×8.0	*
116	円形蓋物《ドガ》あるいは《バレーリーナ》	1921	高さ 7.0×直径 8.0	*
117	楕円形蓋物《ディナール》あるいは《バラ》	1927	7.8×13.0×10.2	*
118	パウダーケース《デュ・バリー》あるいは《パフ》	1924	高さ 24.5×直径 19.0	*
119	円形蓋物《パフ》	1921	高さ 5.5×直径 14.0	*
120	円形蓋物《トウキョウ》あるいは《菊》	1921	高さ 5.0×直径 17.0	*
121	円形蓋物《ロジェ》あるいは《キジとカボッション》	1926	高さ 5.0×直径 13.0	*
122	シガレットケース《ねこ》	1932	5.7×10.5×9.5	*
3. トランスバランス				
123	香水瓶《シレーヌ》	1924	12.0×9.2×2.8	*
124	香水瓶《クレールフォンテーヌ》	1931	11.8×9.5×5.5	*
125	香水瓶《すずらん》	1931	10.0×7.5	*
126	香水瓶《青春》	1933	高さ 10.2×直径 5.0	*
127	香水瓶《サチュロス》	1933	高さ 9.1×直径 5.6	*



No.	作品名	制作年	寸法(H×W×D)cm	所蔵
128	香水瓶《二つのアネモネと花瓶》	1935	16.2×13.0×9.0	*
129	装飾品《開いたアネモネ》2点	1931	・10.5×10.7×11.0 ・10.2×10.2×11.0	*
130	装飾品《閉じたアネモネ》3点	1931	・9.2×8.5×11.8 ・9.0×8.3×11.6 ・9.0×8.5×11.5	*
131	香水瓶《グレゴワール》あるいは《メロンの筋》	1927	高さ 9.5×直径 6.5	*
132	香水瓶《二つの花》	1935	9.2×9.0×2.6	*
4. シンプル・イズ・ビューティフル				
133	パウダーケース《真夜中》ウォルト社	1926	高さ 12.7×直径 10.2	*
134	香水瓶《真夜中》ウォルト社	1924 年以降	高さ 24.5×直径 17.0	*
135	香水瓶《真夜中》ウォルト社	1924	高さ 13.5×直径 9.5	*
136	香水瓶《真夜中》ウォルト社	1924	高さ 8.0×直径 5.0	*
137	香水瓶《真夜中》ウォルト社	1931 年以降	24.5×17.5×6.0	*
138	香水瓶《ジュ・ルヴィアン》ウォルト社	1931 年以降	10.4×7.3×2.6	*
139	香水瓶《ジュ・ルヴィアン》ウォルト社	1931 年以降	8.3×5.5×2.3	*
140	香水瓶《アンブリュダンス》ウォルト社	1938	高さ 6.0×直径 4.0	*
141	香水瓶《ヴェール・ル・ジュール》ウォルト社	1931 年以降	7.3×5.5×2.1	*
5. デザイン画				
142	デザイン画《香水瓶、騎馬行列》	1908-45	22.7×25.7	*
143	デザイン画《蓋物、四匹の蛇》	1900-10	11.7×17.8	*
144	デザイン画《香水瓶、バラの枝》	1908-45	21.0×26.5	*
145	デザイン画《香水瓶、マーガレット》	1908-45	21.2×27.2	*
146	R.ラリック社英国総代理店商品図録《ラリックの芸術》 ブレース・ラリック・ギャラリーズ(ロンドン)刊	1928 年以降	18.5×25.5	*

## ウィリアム・ブレイクと神の世界 郡山市立美術館所蔵 ローダー・コレクションの版画作品を中心に

ギリシア神話や聖書は、西欧芸術の2大源流として、今日なお主題やイメージソースであり続けている。またダンテ＝アリギエーリ長編叙事詩『神曲』、ジョン・ミルトンの『失樂園』などの名著もギリシア神話や聖書の世界観をベースとしており、以後多くの芸術家たちの靈感源となり、さまざまなジャンルで踏襲され描き継がれてきた。本展では郡山市立美術館(福島)所蔵ローダー・コレクションのウィリアム・ブレイク(『ヨブ記』の挿絵)《ダンテの『神曲』のための連作》のほか、ジョン・マーティン(ミルトンの『失樂園』の挿絵)、町田市立国際版画美術館(東京)所蔵のアルブレヒト・デュラー『小受難伝』より『楽園追放』などの版画や書物、複製画計115点を、「第1章 ギリシア神話と聖書の世界」「第2章 ヨブ記」「第3章 ダンテの『神曲』」「第4章 ミルトンの『失樂園』」の4章で紹介するとともに、夏休み企画として子供たちにも物語の内容をわかりやすく解説した。また現代のコミックや映画を紹介する『第5章 現代に描かれた神々の姿』では、当館や東京国立近代美術館フィルムセンターコレクションの映画ポスターや、コミック複製原画など計17点を紹介した。

会 期 2017年7月8日(土)～8月31日(木) 47日間

主催会場 高崎市美術館

後 援 朝日新聞前橋総局、共同通信社前橋支局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J:COM群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎、高崎市教育委員会

関連事業 ワークショップ 会場:高崎市南公民館

「自分だけの天使と悪魔を描こう!」講師:藤倉美緒(イラストレーター) 7/22(土)

「モンスターのお面をつくって仮装してみよう!」講師:なかのひろか(アーティスト) 7/29(土) 各日午後2時～3時30分

スペシャルギャラリートーク「ウィリアム・ブレイクとは何者か」講師:菅野洋人(郡山市立美術館学芸員) 8/11(金・祝)午後2時～3時

関連記事 「ウィリアム・ブレイクと神の世界」(広報高崎 6月15日)

「神話や聖書 幻想的に「ウィリアム・ブレイクと神の世界」展」(TAKATAI 6月30日)

「神の世界 幻想的に 市美術館でブレイク展」(上毛新聞 7月9日)

入 場 者 5,787名

印刷物 『ウィリアム・ブレイクと神の世界 郡山市立美術館所蔵 ローダー・コレクションの版画作品を中心に』リーフレット

『ウィリアム・ブレイクと神の世界 郡山市立美術館所蔵 ローダー・コレクションの版画作品を中心に』子供向けチラシ(クイズシート)

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵・提供
〈第1章 ギリシア神話と聖書の世界〉			所蔵: *…郡山市立美術館 *…町田市立国際版画美術館 *…東京国立近代美術館フィルムセンター		
1	ジェームズ・バリー	『エッチング集』より『エリュシオン』4点	1791-95	エッチング/ポートフォリオ	*
2	ジョン・フラクスマン	ホメロス『イリアス』表紙	1793	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
3	ホメロス『イリアス』より	パリスの審判	1793	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
4		アキレウスの怒りを抑えようとするアテナ	1793	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
5		ヘクトルの遺体を馬車で引きずっていくアキレウス	1793	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
6		神々の会議	1793	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
7		ギリシア援護に向かうヘラとアテナ	1793	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
8		けがをしたアプロディテとアレス	1793	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
9		舞い降りてくる神々	1793	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
10		海から上がってくるポセイドン	1793	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
11		オデュッセウスとディオメデス	1793	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
12	ジョン・フラクスマン	ホメロス『オデュッセイア』表紙	不詳	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
13	ホメロス『オデュッセイア』より	セイレーンの島	不詳	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
14		キュクロプスにワインを飲ませるオデュッセウス	不詳	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
15		ナウシカア	不詳	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
16		ゼウス、アテナ、ヘルメス	不詳	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
17		アポロンとアルテミス	不詳	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
18		馬車に乗るアポロンに訴えかけるラムペティエ	不詳	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
19		冥界をめぐるオデュッセウス	不詳	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
20		スキュラ	不詳	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
21		舞い降りるアテナ	不詳	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
22	ジョン・マーティン	ノアの大洪水	1828	メゾチント/紙	*
23	ジョン・マーティン	天地創造	1838年刊	メゾチント/本	**
24	『聖書』より	楽園追放	1838年刊	メゾチント/本	**
25		アベルの死	1838年刊	メゾチント/本	**
26		ソドムとゴモラ	1838年刊	メゾチント/本	**
27		7番目の災い	1838年刊	メゾチント/本	**
28		ファラオの軍隊の破滅	1838年刊	メゾチント/本	**
29		石板を割るモーセ	1838年刊	メゾチント/本	**
〈第2章 ヨブ記〉					
30	ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』表紙	1825	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
31	『ヨブ記』より	ヨブとその家族	1825	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
32		神の王座の前のサタン	1825	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
33		サタンによるヨブの息子たちと娘たちの破滅	1825	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
34		ヨブにその不幸を告げる使者たち	1825	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
35		主の御前から進んでいくサタンとヨブの施し	1825	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*
36		腫物でヨブを撃つサタン	1825	ライン・エングレーヴィング/ポートフォリオ	*

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵・提供
37	ウィリアム・ブレイク	ヨブを慰める人たち	1825	ライン・エングレーヴィング／ポートフォリオ	*
38	『ヨブ記』より	ヨブの絶望	1825	ライン・エングレーヴィング／ポートフォリオ	*
39		エリバズの幻視	1825	ライン・エングレーヴィング／ポートフォリオ	*
40		3人の友によって難詰されるヨブ	1825	ライン・エングレーヴィング／ポートフォリオ	*
41		ヨブの悪い夢	1825	ライン・エングレーヴィング／ポートフォリオ	*
42		エリフの弁論	1825	ライン・エングレーヴィング／ポートフォリオ	*
43		この時、主はつむじ風の中からヨブに答えられた	1825	ライン・エングレーヴィング／ポートフォリオ	*
44		天地創造	1825	ライン・エングレーヴィング／ポートフォリオ	*
45		ベヘモトとレヴィアタン	1825	ライン・エングレーヴィング／ポートフォリオ	*
46		サタンの墜落	1825	ライン・エングレーヴィング／ポートフォリオ	*
47		キリストの幻	1825	ライン・エングレーヴィング／ポートフォリオ	*
48		ヨブの燔祭	1825	ライン・エングレーヴィング／ポートフォリオ	*
49		施しを受けるヨブ	1825	ライン・エングレーヴィング／ポートフォリオ	*
50		ヨブと娘たち	1825	ライン・エングレーヴィング／ポートフォリオ	*
51		繁栄を回復したヨブとその妻	1825	ライン・エングレーヴィング／ポートフォリオ	*
〈第3章 ダンテの『神曲』〉					
52	ジョン・フラクスマン	ダンテ『神曲』	1793	ライン・エングレーヴィング／本	*
53	ダンテ『神曲』より	表紙		複製	
54		暗い森の入口		複製	
55		ウエルギリウスとペアトリーチェ		複製	
56		地獄の渡し守カロン		複製	
57		第1の圏 リンボへ下るキリスト		複製	
58		第2の圏 愛欲の罪		複製	
59		第3の圏 大食の罪 ケルベロス		複製	
60		第4の圏 食欲と浪費の罪 ブルートン		複製	
61		第5の圏 激怒の罪		複製	
62		復讐の女神 フーリエ		複製	
63		第6の圏 異教異端の罪 炎の墓		複製	
64		第7の圏1円 暴力の罪 ケンタウロス		複製	
65		第7の圏2円 怪鳥ハルビュイアイ		複製	
66		第7の圏3円 恩師との出会い		複製	
67		ゲリュオンに乗り第8の圏を目指す		複製	
68		第8の圏 第4壕 魔術・魔法の罪 テイレシアス		複製	
69		第8の圏 第5の壕 汚職・収賄の罪 タールの沼		複製	
70		第8の圏 第6の壕 偽善者の罪		複製	
71		第8の圏 第7の壕 窃盗の罪 蛇地獄		複製	
72		第8の圏 第8の壕 欺き騙しの罪		複製	
73		第8の圏 第9の壕 分裂・分派の罪		複製	
74		第8の圏 第10の壕 嘘・虚偽の罪 病の谷		複製	
75		巨人アンタイオス		複製	
76		第9の圏 氷の沼		複製	
77		第9の圏 ウゴリーノ伯爵		複製	
78		第9の圏 デース、あるいはルシファー		複製	
79	ウィリアム・ブレイク	好色な人々の圏: バオロとフランチェスカ	1826-27	ライン・エングレーヴィング、ドライポイント	*
80	ダンテ『神曲』のための連作	腐敗した役人の囊: チャンボロを痛めつけるサタン	1826-27	ライン・エングレーヴィング、ドライポイント	*
81		腐敗した役人の囊: 互いに引き裂きあうサタン	1826-27	ライン・エングレーヴィング、ドライポイント	*
82		盗人たちの囊: 六本足の蛇に襲われるアニヨロ・ブルネスキ	1826-27	ライン・エングレーヴィング、ドライポイント	*
83		盗人たちの囊: 蛇に襲われるプオゾ	1826-27	ライン・エングレーヴィング、ドライポイント	*
84		偽造者たちの囊: 悪臭に鼻を覆うダンテとヴァージル	1826-27	ライン・エングレーヴィング、ドライポイント	*
85		背徳者たちの圏: ポッカ・デッリ・アバーテを踏み付けるダンテの足	1826-27	ライン・エングレーヴィング、ドライポイント	*
〈第4章 ミルトンの『失樂園』〉					
86	ジョン・マーティン	ミルトン『失樂園』(全2巻)	1825-27	メゾチント／本	*
87	ミルトン『失樂園』より	墜落した天使たちを呼び覚ますサタン	1825	メゾチント／紙	*
88		光の創造	1825	メゾチント／紙	*
89		謀反の天使たちの墜落		複製	
90		燃える湖に立つサタン		複製	
91		墜落した天使たちを呼び覚ますサタン		複製	
92		地獄		複製	
93		地獄の会議を統轄するサタン		複製	
94		サタンと死の闘い		複製	
95		神の庭		複製	
96		昇天を眺めるサタン		複製	
97		泉のほとりのイブ		複製	
98		楽園でアダムとイブを覗くサタン		複製	
99		イブの夢-現れたサタン		複製	
100		夜に楽園を見張る天使たち		複製	
101		楽園-アダムとイブ-朝の聖歌		複製	
102		楽園-近づくラファエル天使長		複製	
103		アダムとイブと話すラファエル		複製	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵・提供
104	ジョン・マーティン	光の創造		複製	
105	ミルトン『失楽園』より	イブを誘惑するサタン		複製	
106		アダムに禁断の果実を与えるイブ		複製	
107		神の声を聞くアダム		複製	
108		渾沌の上にかかる橋		複製	
109		イブを叱責するアダム		複製	
110		天国-幸福の川		複製	
111		近づくミカエル天使長		複製	
112		楽園を追放されるアダムとイブ		複製	
113	アルブレヒト・デューラー	人類の墜落	1508-10年頃	木版／紙	**
114	『小受難伝』より	楽園追放	1508-10年頃	木版／紙	**
115	ジェームズ・バリー	『エッチング集』より バンドラの誕生	1791-95	エッチング／ポートフォリオ	*
〈第5章 現代に描かれた神々の姿〉					
116	永井豪とダイナミックプロ	デビルマン 2点	1972年連載開始	複製原画	ダイナミックプロ
117	うかみ	ガヴリールドロップアウト 5点	2014年発行	データ出力	株式会社 KADOKAWA アスキーメディアワークス
118	中村光	聖☆おにいさん 4点	2010年発行	データ出力	講談社
119	由貴香織里	天使禁猟区 5点	1997年発行	データ出力	白泉社
120	映画ポスター	エデンの東	1955		
121		十戒	1956		
122		第七の封印	1957		
123		天地創造	1966		
124		2001年宇宙の旅	1968		
125		エクソシスト	1973		
126		スターウォーズ	1977		
127		天国から来たチャンピオン	1978		
128		タイタンの戦い	1981		
129		エンゼル・ハート	1987		
130		デッドマン	1995		
131		トロイ	2004		***
132		天使と悪魔	2009		***

## グラフィックデザイナー 佐藤晃一展

群馬県生まれで高崎市に育った佐藤晃一は日本を代表するグラフィックデザイナーであり、日本の精神と未来的なイメージを融合させたポスター群は「超東洋」と高く評価され、2016年逝去した。本展では高崎市美術館所蔵作品95点を中心に、遺族、財団法人DNP文化振興財団所蔵作品による計211点を展示。初年から最晩年にいたる代表的ポスター作品のほか、画稿や学生時代のスケッチ、アイデアノート、版下などを加え、「新しい芸術」「日本のポップアート」「箱の発見」「箱に鯉」「富士山」「グラデーション」「タイポグラフィ」の主題別に生涯を追う内容とした。デジタルワーク全盛の今日、丁寧な手仕事の魅力を最大限活かす印刷スキルやコピーを含むディレクションなど、時代に即応する佐藤の思考を追体験した。また遺族やアシスタントによる講演、トークや、学生向けに佐藤が記した『学生たちに書き残す本』販売などにより、手仕事からデジタルワークに変化する時代を通して、佐藤がデザインに込めた想いを紹介し、改めて追悼の機会とした。

**会 期** 2017年9月16日(土)～11月26日(日) 61日間

**主催会場** 高崎市美術館(旧井上房一郎邸)

**企画協力** 佐藤恵子、畠藤隆弘、村松丈彦

**後 援** 朝日新聞前橋総局、共同通信社前橋支局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J:COM群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎

**関連事業** 学芸員によるギャラリートーク 担当:谷津淑恵(当館学芸員) 9/30、10/14、11/25(土)午後2時～

佐藤晃一のアシスタントによるギャラリートーク「佐藤晃一の仕事」

講師:畠藤隆弘、村松丈彦(佐藤晃一アシスタント・グラフィックデザイナー) 10/28(土)午後2時～3時30分

記念講演会「佐藤晃一:人と時代」講師:佐藤良明(東京大学名誉教授) 11/5(日)午後2時～3時30分 会場:高崎市南公民館

**関連記事** 「グラフィックデザイナー 佐藤晃一展」(広報高崎 9月1日)

「故佐藤晃一さん創作の裏側紹介 高崎市美術館が企画展」(上毛新聞 10月31日)

**入 場 者** 4,485名

**印刷物** 『学生たちに書き残す本』冊子

No.	カテゴリー	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
1	演劇	墓場なき死者	1967	シルクスクリーンプリント	財団法人 DNP 文化振興財団
2	イベント	稲穂祭	1967	オフセットプリント	佐藤恵子氏
3	演劇	鍵束の鳴る刻	1967	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
4	演劇	ペール・ギュント	1968	オフセットプリント	佐藤恵子氏
5	演劇	オイディプス王	1968	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
6	演劇	東は東ノ宮城野	1970	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
7	演劇	どらまないと	1970	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
8	コンサート	ジョイントリサイタル	1971	オフセットプリント	佐藤恵子氏
9	演劇	オイディプス王	1971	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
10	演劇	禿の女歌手と椅子	1972	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
11	演劇	移動	1973	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
12	演劇	船は帆船よ	1973	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
13	演劇	第三の証言ノ真夜中のブランコ	1974	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
14	演劇	喪服を着た九官鳥	1974	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
15	演劇	聖ヘレン考	1974	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
16	演劇	ベラ・レーヌ	1982	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
17		小さいゆだんが大きな被害	1957年頃	水彩	佐藤恵子氏
18		教室美化週間	1958-59年頃	ミクストメディア	佐藤恵子氏
19		ビールを殺して 楽しいえがお	1957年頃	水彩	佐藤恵子氏
20	イベント	第9回翠巒祭	1961	オフセットプリント	佐藤恵子氏
21		原爆から人類を救え!	1959年頃	アクリル	佐藤恵子氏
22		世界中を平和の光で!	1959年頃	アクリル	佐藤恵子氏
23	展覧会	第4回高崎学生書道展	1962年頃	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
24	イベント	第30回高々美術展	1961	オフセットプリント	佐藤恵子氏
25	イベント	第31回高々美術展	1962	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
26	イベント	第10回翠巒祭	1962	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
27		THE ROLLING STONES	1970	オフセットプリント	佐藤恵子氏
28	演劇	アガメムノン	1972	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
29	演劇	明治の樞	1973	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
30	演劇	明治の樞	1973	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
31	ブランドイメージ	ヨーガンレール 秋冬コレクション	1978	オフセットプリント	佐藤恵子氏
32	演劇	蠅を飼う女	1970	オフセットプリント	佐藤恵子氏
33	演劇	象	1970	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
34	演劇	情痴	1970	オフセットプリント	佐藤恵子氏
35	イベント	第9回音楽センター市民祭	1970	オフセットプリント	佐藤恵子氏
36	イベント	第10回音楽センター市民祭	1971	オフセットプリント	佐藤恵子氏
37	展覧会	きいちのぬりえ展	1978	オフセットプリント	佐藤恵子氏
38	演劇	極楽金魚ノ被後見人が後見人になりたがる	1971	シルクスクリーンプリント、オフセットプリント	佐藤恵子氏
39	演劇	抱擁家族	1971	オフセットプリント	財団法人 DNP 文化振興財団
40	キャンペーン	資生堂化粧品デー	1971	オフセットプリント	佐藤恵子氏

No.	カテゴリー	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
41	キャンペーン	資生堂美容相談	1971年頃	オフセットプリント	佐藤恵子氏
42	演劇	花電車	1973	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
43		藝大時代～1970年代前半の小品	1967-73年頃		佐藤恵子氏
44		箱の習作	1972-73年頃	ミクストメディア	佐藤恵子氏
45		箱の習作	1972-73年頃	ミクストメディア	佐藤恵子氏
46		箱の習作	1972-73年頃	ミクストメディア	佐藤恵子氏
47		箱に鯉	1972-74年頃	ミクストメディア	佐藤恵子氏
48	コンサート	NEW MUSIC MEDIA(初版)	1974	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
49	コンサート	NEW MUSIC MEDIA(再版)	1990	オフセットプリント	高崎市美術館
50	展覧会出品	深呼吸	1974	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
51	映画	火の鳥	1978	オフセットプリント	佐藤恵子氏
52	記念	小原流 創流 90周年「はな、はな、大好き」	1985	オフセットプリント	高崎市美術館
53		箱	1985	オフセットプリント	佐藤恵子氏
54	展覧会	日本の、服です。	1987	オフセットプリント	佐藤恵子氏
55	キャンペーン	贈る記念日。	1980	オフセットプリント	佐藤恵子氏
56	演劇	金閣炎上	1982	オフセットプリント	佐藤恵子氏
57	演劇	明治の樞	2000	オフセットプリント	佐藤恵子氏
58	映画	豪姫	1991	オフセットプリント	高崎市美術館
59	ブランドイメージ	榎松庵	1987	オフセットプリント	高崎市美術館
60	ブランドイメージ	青々庵	1987	オフセットプリント	高崎市美術館
61	ブランドイメージ	PEARL CITY	1991	オフセットプリント・箔押し	佐藤恵子氏
62	公募	第5回コイズミ国際学生照明デザインコンペ	1991	オフセットプリント	高崎市美術館
63	展覧会	佐藤晃一展-箱について2	1986	オフセットプリント	佐藤恵子氏
64	展覧会出品	個展「箱について」出品作品	1975	アクリル・キャンバス	佐藤恵子氏
65	展覧会出品	公達の箱	1986	アクリル・キャンバス	佐藤恵子氏
66	展覧会出品	満月の箱	1986	アクリル・キャンバス	佐藤恵子氏
67	展覧会出品	古い箱	1986	アクリル・キャンバス	佐藤恵子氏
68	原画	『グラフィックデザイン』誌のためのイラストレーション	1979	アクリル・キャンバス	佐藤恵子氏
69	展覧会出品	奥日光	1976	アクリル・キャンバス	佐藤恵子氏
70	展覧会出品	日々是好日	1976	アクリル・キャンバス	佐藤恵子氏
71	展覧会出品	日々是好日	1976	アクリル・キャンバス	佐藤恵子氏
72	展覧会出品	日々是好日	1976	アクリル・キャンバス	佐藤恵子氏
73	演劇	死のう団	1990(初版:1976)	オフセットプリント	高崎市美術館
74	ブランドイメージ	ONKYO	1978	オフセットプリント	佐藤恵子氏
75	展覧会	2つのオーソドックス	1985	オフセットプリント	佐藤恵子氏
76	講演会	金属と人間の調和	1989	オフセットプリント	高崎市美術館
77	茶会	茶美会「然」	1992	オフセットプリント	高崎市美術館
78	映画	利休	1988	オフセットプリント	高崎市美術館
79		藝大～1970年代前半のスケッチブック	1965-72年頃		佐藤恵子氏
80		「死のう団」ポスターのためのラフスケッチ	1976年頃		佐藤恵子氏
81		東京藝術大学 卒業制作のプラン	1968-69年頃		佐藤恵子氏
82		「ジョイントリサイタル」ポスターのためのラフスケッチ	1971年頃		佐藤恵子氏
83		「箱」の研究ノート	1972-74年頃		佐藤恵子氏
84		写真の仕組みを利用した「箱」のラフ	不詳		佐藤恵子氏
85	広報誌	「D研」表紙	1974,1975		佐藤恵子氏
86	LP盤	渡辺香津美「マーメイド・プールヴァード」	1978	オフセットプリント	佐藤恵子氏
87	LP盤	SHOGUN「スパークリング・ウェイ(JUS-TUS)」	1985	オフセットプリント	佐藤恵子氏
88		「手の会」年賀状の指定原稿	1974		佐藤恵子氏
89	機関誌	『草月』表紙	2002-2008	オフセットプリント	佐藤恵子氏
90	展覧会出品	Graphic Trial 2013 かがやく少女-1 あやとり	2013	オフセットプリント	佐藤恵子氏 ◎きいち/小学館
91	展覧会出品	Graphic Trial 2013 かがやく少女-2 ステレオよ	2013	オフセットプリント	佐藤恵子氏 ◎きいち/小学館
92	展覧会出品	Graphic Trial 2013 かがやく少女-3 シャボンだま	2013	オフセットプリント	佐藤恵子氏 ◎きいち/小学館
93	展覧会出品	Graphic Trial 2013 かがやく少女-4 おいけのコイ	2013	オフセットプリント	佐藤恵子氏 ◎きいち/小学館
94	展覧会出品	Graphic Trial 2013 かがやく少女-5 およめさん	2013	オフセットプリント	佐藤恵子氏 ◎きいち/小学館
95	イベント	第23回 東都のれん会	1987	オフセットプリント	高崎市美術館
96	イベント	第24回 東都のれん会	1988	オフセットプリント	高崎市美術館
97	イベント	第25回 東都のれん会	1989	オフセットプリント	高崎市美術館
98	展覧会	JAGDA ポスター展 JAPAN	1988	オフセットプリント	高崎市美術館
99	展覧会	グラフィックデザインの今日	1990	オフセットプリント	高崎市美術館
100	展覧会出品	五季(春)	1988	オフセットプリント	高崎市美術館
101	展覧会出品	五季(秋)	1988	オフセットプリント	高崎市美術館
102	展覧会出品	五季(新年)	1988	オフセットプリント	高崎市美術館
103	展覧会出品	五季(冬)	1988	オフセットプリント	高崎市美術館
104	展覧会出品	五季(夏)	1988	オフセットプリント	高崎市美術館
105	展覧会	絵とコトバ 三人展	2008	オフセットプリント	佐藤恵子氏
106	展示会	JAPAN SHOP 2014	2013	オフセットプリント	佐藤恵子氏
107	展覧会出品	日本酒ポスター	2016	インクジェットプリント	佐藤恵子氏
108	展示会	JAPAN SHOP 2017	2016	オフセットプリント	佐藤恵子氏
109	展示会	JAPAN SHOP 2013	2012	オフセットプリント	佐藤恵子氏

No.	カテゴリー	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
110	展示会	JAPAN SHOP 2012	2011	オフセットプリント	佐藤恵子氏
111	演劇	礼服	1997	オフセットプリント	高崎市美術館
112	展示会	JAPAN SHOP 2011	2010	オフセットプリント	佐藤恵子氏
113	展示会	建築・建材展 2012	2011	オフセットプリント	佐藤恵子氏
114	展覧会	いけばな小原流展「風景との対話」	1982	オフセットプリント	高崎市美術館
115	ミュージカル	とつてもゴースト(再演)	1990	オフセットプリント	高崎市美術館
116	ミュージカル	アイ・ラブ・坊っちゃん	1992	オフセットプリント	高崎市美術館
117	記念	高崎佐藤学園創立 100 周年	2006	オフセットプリント	佐藤恵子氏
118	展示会	JAPAN SHOP 2005	2004	オフセットプリント	佐藤恵子氏
119	展示会	JAPAN SHOP 2007	2006	オフセットプリント	佐藤恵子氏
120	展示会	建築・建材展 2007	2006	オフセットプリント	佐藤恵子氏
121	展覧会	Graphic Trial 2013(告知)	2013	オフセットプリント	佐藤恵子氏
122	展示会	建築・建材展 2009	2008	オフセットプリント	佐藤恵子氏
123	舞踏	無	1998	オフセットプリント	高崎市美術館
124		はがき	1970 年代-2010 年代		佐藤恵子氏
125		年賀状	1970 年代-2010 年代		佐藤恵子氏
126	企業イメージ	モリサワ	1983	オフセットプリント	高崎市美術館
127	展覧会	THE MODERN POSTER	1988	オフセットプリント	高崎市美術館
128	イベント	東京フロンティア	1993	オフセットプリント	高崎市美術館
129	イベント	世界デザイン博覧会	1987	オフセットプリント	高崎市美術館
130	企業イメージ	モリサワ	1993	オフセットプリント	高崎市美術館
131	展覧会出品	AIDS AID	1993	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
132	展示会	COMMUNICATION & PRINT	1991	オフセットプリント	高崎市美術館
133		SOS	1974	オフセットプリント	佐藤恵子氏
134	展覧会	佐藤晃一の研究	1996	オフセットプリント	高崎市美術館
135	開設告知	高崎芸術短期大学	1987	オフセットプリント	高崎市美術館
136	展示会	EUROPALIA 1989 JAPAN	1990(初版:1989)	オフセットプリント	高崎市美術館
137	演劇	ブンナよ、木からおりてこい(初演)	1985	オフセットプリント	佐藤恵子氏
138	イベント	第 6 回県民芸術祭	1982	オフセットプリント	佐藤恵子氏
139	イベント	第 7 回県民芸術祭	1983	オフセットプリント	佐藤恵子氏
140	記念	高崎市制 100 周年	2000	オフセットプリント	佐藤恵子氏
141	演劇	黄昏	1995	オフセットプリント	高崎市美術館
142	記念	草月流 70 周年(A)	1996	オフセットプリント	高崎市美術館
143	記念	草月流 70 周年(B)	1997	オフセットプリント	高崎市美術館
144	商品広告	アルファチューブ	1986	オフセットプリント	高崎市美術館
145	イベント	第 1 回国民文化祭(文芸)	1986	オフセットプリント	高崎市美術館
146	ブランドイメージ	アイ	1985	オフセットプリント	高崎市美術館
147	展覧会	ADC 展 1993-1994	1994	オフセットプリント	高崎市美術館
148	展覧会出品	多摩美術大学(A)	2000	インクジェットプリント	佐藤恵子氏
149	展覧会出品	多摩美術大学(B)	2000	インクジェットプリント	佐藤恵子氏
150	展覧会出品	GOOD MORNING! MOON	1999	シルクスクリーンプリント	高崎市美術館
151	展覧会出品	GOOD NIGHT, EARTH!	1995	シルクスクリーンプリント	高崎市美術館
152	コンサート	ニッポンの音楽の水脈	1994	オフセットプリント	佐藤恵子氏
153	イベント	東京こども大会	1990	オフセットプリント	高崎市美術館
154	展覧会出品	日本人メキシコ移住 100 年	1997	オフセットプリント	高崎市美術館
155	展示会	JAPAN SHOP 2016	2015	オフセットプリント	佐藤恵子氏
156	展覧会出品	JAPAN	2001	インクジェットプリント	佐藤恵子氏
157	展覧会	ヨコハマ・コンペ 2000	2000	オフセットプリント	佐藤恵子氏
158	展覧会	ヨコハマ・コンペ 2000(公募)	2000	オフセットプリント	佐藤恵子氏
159		「GOOD MORNING! MOON」版下指定紙	1999		佐藤恵子氏
160		「アルファチューブ」版下指定紙	1986		佐藤恵子氏
161		「黄昏」原画	1995		佐藤恵子氏
162	展覧会出品	Drinking the MOON	1992	オフセットプリント	佐藤恵子氏
163	公募	第 6 回コイズミ国際学生照明デザインコンペ	1992	オフセットプリント	高崎市美術館
164	イベント	第 6 回国民文化祭ちば(舞踊)	1982	オフセットプリント	高崎市美術館
165	展覧会出品	LIFE(A)	1994	オフセットプリント	高崎市美術館
166	展覧会出品	LIFE(B)	1994	オフセットプリント	高崎市美術館
167	演劇	桜姫東文章	1976	オフセットプリント	佐藤恵子氏
168	展覧会出品	唇(A)	1985	オフセットプリント	高崎市美術館
169	展覧会出品	唇(B)	1985	オフセットプリント	高崎市美術館
170	展覧会出品	唇(C)	1985	オフセットプリント	高崎市美術館
171	展覧会出品	唇(D)	1985	オフセットプリント	高崎市美術館
172	展覧会出品	IMAGE MIRROR	1985	オフセットプリント	高崎市美術館
173	舞踏	舞踏無	1981	オフセットプリント	高崎市美術館
174	展示会	第 17 回竹尾ペーパーショウ	1982	オフセットプリント	高崎市美術館
175	出店告知	こんにちば。	1988	オフセットプリント	佐藤恵子氏
176	コンサート	さあ、構音楽会だ	1984	オフセットプリント	佐藤恵子氏
177	展覧会	FUROSHIKI 展	2006	オフセットプリント	佐藤恵子氏
178	演劇	さよならパーティ	1992	オフセットプリント	佐藤恵子氏

No.	カテゴリ	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
179	展覧会	多摩美術大学博士課程展 2006	2006	オフセットプリント	佐藤恵子氏
180	展覧会	多摩美術大学博士課程展 2007	2007	オフセットプリント	佐藤恵子氏
181	展覧会	多摩美術大学博士課程展 2010	2010	オフセットプリント	佐藤恵子氏
182	展覧会	多摩美術大学博士課程展 2011	2011	オフセットプリント	佐藤恵子氏
183	展覧会	多摩美術大学博士課程展 2012	2012	オフセットプリント	佐藤恵子氏
184	展覧会	多摩美術大学博士課程展 2013	2013	オフセットプリント	佐藤恵子氏
185	展覧会	多摩美術大学博士課程展 2014(A)	2014	オフセットプリント	佐藤恵子氏
186	展覧会	多摩美術大学博士課程展 2014(B)	2014	オフセットプリント	佐藤恵子氏
187	展覧会	佐藤晃一ポスター	2011	オフセットプリント	佐藤恵子氏
188	展覧会	多摩美術大学退職記念 佐藤晃一展(表)	2014	オフセットプリント	佐藤恵子氏
189	店舗リニューアル	いいデザイン	2011	インクジェットプリント	佐藤恵子氏
190	開設告知	IdcN	1996	オフセットプリント	高崎市美術館
191	ミュージカル	シャボン玉とんだ 宇宙(ソラ)までとんだ	1989	オフセットプリント	高崎市美術館
192	講演会	STANFORD CONFERENCE ON DESIGN	1990	オフセットプリント	高崎市美術館
193	舞踏	無常	1989	オフセットプリント	高崎市美術館
194	展覧会	ヨコハマ・コンペ 99(公募 A)	1999	オフセットプリント	高崎市美術館
195	展覧会	ヨコハマ・コンペ 99(公募 B)	1999	オフセットプリント	高崎市美術館
196	展覧会	多摩美術大学退職記念 佐藤晃一展(裏)	2014	オフセットプリント	佐藤恵子氏
197	ブランドイメージ	マナスクリーン 25TH ANNIVERSARY	2003	シルクスクリーンプリント	佐藤恵子氏
198	展覧会	AGI 日本会員新作ポスター展	2006	オフセットプリント	佐藤恵子氏
199	展覧会	亀倉雄策没後十年記念展 in 安比	2007	オフセットプリント	佐藤恵子氏
200	講演会	外国文学講読 東京大学	2001	オフセットプリント	佐藤恵子氏
201	演劇	悟空、旅はこれからだ	1983	オフセットプリント	佐藤恵子氏
202	演劇	ベルナルダ・アルバの家	2001	オフセットプリント	佐藤恵子氏
203	展覧会	ヨコハマ・コンペ 98(公募)	1998	オフセットプリント	高崎市美術館
204	展覧会	ヨコハマ・コンペ 98	1998	オフセットプリント	高崎市美術館
205	演劇	天国への遠征	1995	オフセットプリント	高崎市美術館
206	展覧会	ONE by ONE	1995	オフセットプリント	高崎市美術館
207	広報誌	資生堂『美容研究』誌面	1978-82	オフセットプリント	佐藤恵子氏
208	雑誌	『レコード・コレクターズ』表紙	1983-86	オフセットプリント	村松文彦氏
旧井上房一郎邸					
209		文集『草笛』表紙	1957	オフセットプリント	佐藤恵子氏
210		中学～浪人生時代のスケッチブック	1957-1964 年頃		佐藤恵子氏
211		俳グラ 掛け軸	2009		佐藤恵子氏



## 生誕 100 年 清宮質文 あの夕日の彼方へ

木版画家として知られ、「絵という方法をとっている詩人」を名乗る清宮質文の生誕 100 年を記念し、茨城県近代美術館との巡回展第 1 会場として、茨城県近代美術館所蔵作品、群馬県立館林美術館寄託作品を中心に木版、ガラス絵、水彩、モノタイプ計 191 点や版木、スケッチブックなど資料計 22 点により「透明水彩を用いた詩想(詩的創造・想像)」という視点から「第 1 章 彼方の光は遠く、かたわらには透明水彩があった。1953 年まで」、「第 2 章 最初の光が摺りとられる。1959 年まで」、「第 3 章 蝶があらわれる。時のながれをみつめる。1960 年代」、「第 4 章 暗い夕日に永遠と一瞬をみつめる。1970 年代」、「第 5 章 そして、夕日の彼方へ。1991 年まで」と主題の変遷を追った。高崎市内所蔵家の協力で開催された 2004 年の「清宮質文のまなざし」に次いで 2 回目となる本展では、時のうつろいをテーマに「実在感」=リアリティに迫った清宮の画業を、主に用いた透明水彩絵具から改めて見直し、清宮における木版画の重要性を再認識する機会とした。

- 会 期** 2017 年 12 月 10 日(日)～ 2018 年 1 月 31 日(水) 38 日間
- 主 催** 高崎市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
- 会 場** 高崎市美術館
- 後 援** 上毛新聞社、群馬テレビ、J:COM群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎
- 協 賛** ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網
- 関連事業** 学芸員によるギャラリートーク 担当:住田常生(当館学芸員) 12/16・23、1/27(土)午後 2 時～  
 著名人スライドトーク「あの人トーク!清宮質文」会場:高崎市南公民館  
 「夕日ー昨日と明日の境に立って」講師:絲山秋子(小説家) 12/17(日)  
 「物と心のはざまに生まれるイメージ」講師:山中現(木版画家・画家) 1/14(日) 各日午後 2 時～3 時  
 対話鑑賞イベント「金曜夜はおしゃべりミュージアム」担当:住田常生 12/22、1/12(金)午後 6 時 30 分～7 時 30 分  
 ワークショップ「ガラスに透かす想いのひかり」担当:住田常生 会場:高崎市南公民館  
 ガラス絵:12/24(日)午後 1 時～4 時 モノタイプ:1/21(日)午後 1 時～4 時  
 クロストーク 講師:絲山秋子、新井昭彦(所蔵家) 1/13(土)午後 2 時～3 時  
 高崎市立南小学校連携授業「出前ミュージアム&鑑賞授業」担当:住田常生、谷津淑恵(当館学芸員)  
 出前ミュージアム:1/19(金)午後 1 時 55 分～2 時 40 分 場所:高崎市立南小学校 鑑賞授業:1/23(火)午前 11 時～12 時
- 関連記事** 「夢が「オバケ」に変わるとき」住田常生(版画芸術 12 月号)  
 「生誕 100 年 清宮質文 あの夕日の彼方へ(上)」(読売新聞群馬版 1 月 7 日、以下、中、下と学芸員の記事を掲載)
- 入 場 者** 4,110 名
- 印刷物** 『生誕 100 年 清宮質文 あの夕日の彼方へ』図録  
 『清宮質文 あの夕日の彼方へ かんたんガイド』リーフレット

高崎市美術館 前期:2017 年 12 月 10 日(日)～2018 年 1 月 8 日(月・祝)／後期:2018 年 1 月 10 日(水)～1 月 31 日(水)  
 茨城県近代美術館 前期:2018 年 2 月 23 日(金)～3 月 16 日(金) ／後期:2018 年 3 月 17 日(土)～4 月 8 日(日)

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W)cm	所蔵	●高崎○茨城
〈第 1 章 彼方の光は遠く、かたわらには透明水彩があった。 1953 年まで〉						所蔵:***茨城県近代美術館、***群馬県立館林美術館寄託
1	裸婦	1939	油彩・キャンバス	59.0×44.0	個人	
2	裸婦	1939	油彩・キャンバス	59.0×44.0	個人	
3	自画像	1942	油彩・キャンバス	60.6×45.5	東京藝術大学	
4	陸橋のある風景	1954	水彩・紙	13.9×12.0	個人	
5	失題	1950 年代	水彩・紙	13.5×18.5	個人	
6	顔	1954	ガラス絵	15.5×11.2	個人	
資料	スケッチ アトリエ室内・昼	1946	水彩・墨・紙		個人	
	スケッチ アトリエ室内・夜	1946	水彩・墨・紙		個人	
	スケッチ 風景	1947	水彩・鉛筆・紙		個人	
	スケッチ 木造建築	1946	水彩・紙		個人	
	詩篇 38:17 われ侍るるばかりになりぬ より	1954	油彩・キャンバスボード	15.0×10.1	個人	
	愛蔵の聖書				個人	
	蔵書『回想のセザンヌ』				個人	
	蔵書『新美術』(12 号 1942 年 8 月)				個人	
	雑誌帖など				個人	
〈第 2 章 最初の光が摺りとられる。 1959 年まで〉						
7	夕やけ	1956	木版・紙	ép. d'artiste	25.7×24.1	個人
8	黙示	1956	木版・紙	無記入	21.5×25.7	個人
9	孤独な魂	1956	モノタイプ		34.0×29.0	照沼毅陽氏
10	火を運ぶ女	1957	木版・紙	無記入	30.0×24.2	個人
11	ふるさとのうた	1957	木版・紙	4/5	24.2×21.1	東京国立近代美術館 ●○前期
12	帰郷	1958	木版・紙	無記入	21.6×33.7	個人
13	十字のある静物	1958	木版・紙	épreuve d'artiste	22.5×22.7	個人
14	むかしのはなし	1958	木版・紙	ép. d'artiste	8.1×16.7	*照沼コレクション ○
15	むかしのはなし	1958	木版・紙	26/35	8.1×16.7	** ●
16	葦	1958	木版・紙	épreuve d'artiste	21.7×18.6	東京国立近代美術館 ●○後期
17	葦	1958	木版・紙	34/50	21.7×18.6	*照沼コレクション ○
18	葦	1958	木版・紙	X/L	21.7×18.6	** ●

No.	作品名	制作年	技法・材質		寸法(H×W)cm	所蔵	●高崎○茨城
19	仄明のトルソ	1958	モノタイプ		30.4×24.5	個人	
20	キリコ	1959	木版・紙	épreuve d'artiste	22.2×27.4	個人	●
21	キリコ	1959	木版・紙	3/10	22.2×27.4	*照沼コレクション	○
22	悲しみの顔	1959	木版・紙	3/3	29.1×24.1	東京国立近代美術館	●○後期
〈第3章 蝶があらわれる。時のながれをみつめる。1960年代〉							
23	失題	1960	木版・紙	ép. d'artiste	21.5×25.8	個人	
24	追憶	1960	木版・紙	4/10	21.6×33.1	*照沼コレクション	
25	古い日	1960	木版・紙	épreuve d'artiste	17.2×14.2	*照沼コレクション	○
26	古い日	1960	木版・紙	10/10	17.2×14.2	**	●
27	はるかなるもの	1960	木版・紙	無記入	30.4×23.9	個人	
28	蝶	1960	ガラス絵		50.3×56.3	横須賀美術館	●前期
29	コップの中の蝶	1962	木版・紙	épreuve d'artiste	12.9×24.9	*照沼コレクション	
30	ある空間(蝶)	1962	木版・紙	9/10	22.2×25.2	*照沼コレクション	
31	蝶と少女	1962	木版・紙	épreuve d'artiste	27.5×22.4	個人	
32	ただよう蝶	1962	木版・紙	ép.	22.0×27.2	個人	
33	さまよう蝶(何処へ-夢の中)	1963	木版・紙	épreuve d'artiste	16.0×25.0	*照沼コレクション	
34	さまよう蝶(何処へ-夢の中)	1963	木版・紙	13/20	16.2×25.0	東京国立近代美術館	●○後期
35	過ぎゆくもの	1963	木版・紙	épreuve d'artiste	18.7×25.6	東京国立近代美術館	●○前期
36	過ぎゆくもの	1963	木版・紙	essai	18.7×25.6	*照沼コレクション	
37	幼きもの	1963	木版・紙	6/10	24.1×21.3	*照沼コレクション	○
38	幼きもの	1963	木版・紙	8/10	24.1×21.3	**	●
39	トパーズ	1963	木版・紙	épreuve d'artiste	24.7×22.2	*照沼コレクション	
40	トパーズ	1963	木版・紙	ép. d'artiste	24.7×22.2	個人	
41	蝶	1963	木版・紙	épreuve d'artiste	24.6×22.3	東京国立近代美術館	●○前期
42	蝶	1963	木版・紙	épreuve d'artiste	24.6×22.3	*照沼コレクション	○
43	蝶	1963	木版・紙	épreuve d'artiste	24.6×22.3	**	●
44	蝶	1963	木版・紙	無記入	24.6×22.3	個人	
45	林の中の家 [春]	1963	木版・紙	5/50	14.0×11.3	*照沼コレクション	
46	火を運ぶ女	1963	木版・紙	17/35	6.5×5.5	個人	
47	まだ風の冷たい日	1964	木版・紙	épreuve d'artiste	12.9×21.1	*照沼コレクション	
48	夜	1964	木版・紙	ép. d'artiste	15.5×12.7	*照沼コレクション	
49	秋	1964	ガラス絵		30.5×29.5	個人	
50	水のうた	1965	木版・紙	épreuve d'artiste	15.5×24.0	個人	●
51	水のうた	1965	木版・紙	1/15	15.5×24.0	*照沼コレクション	○
52	コップの中の人形	1965	木版・紙	ép.	21.5×22.5	*照沼コレクション	
53	青い鳥	1965	木版・紙	ép. d'artiste	3.6×8.1	*照沼コレクション	
54	吐魯蕃の春	1965	木版・紙	8/35	3.6×8.1	*照沼コレクション	
55	吐魯蕃の春	1965	木版・紙	ép. d'artiste	3.6×8.1	照沼毅陽氏	
56	地蔵	1965	水彩		23.2×20.0	榊田達雄氏	
57	静物(ワイングラス)	1965	水彩・紙		28.3×24.5	横須賀美術館	●後期
58	二月の夜	1966	木版・紙	20/20	11.6×18.8	個人	
59	眠り	1966	木版・紙	無記入	19.8×27.8	**	
60	ながれ	1966	木版・紙	NL-2	18.8×40.4	個人	
61	ながれ	1966	木版・紙	ép. d'artiste	18.8×40.4	個人	
62	ながれ	1966	木版・紙	2/5	18.8×40.4	*照沼コレクション	
63	祈	1966	木版・紙	ép. d'artiste	18.7×30.3	神奈川県立近代美術館	望月富防コレクション
64	雨後の貯水池	1966	木版・紙	épreuve d'artiste	17.9×15.2	*照沼コレクション	
65	老人と秋風(試作)	1966	木版・紙	無記入	21.0×17.9	個人	
66	火屋の中	1966	木版・紙	11/30	20.9×17.9	*照沼コレクション	
67	華やかなる孤独	1967	木版・紙	無記入	29.5×24.2	*照沼コレクション	
68	銀の小籠	1967	木版・紙	VI/L	11.0×18.3	個人	
69	夏の終り	1967	木版・紙	épreuve d'artiste	10.4×22.4	**	●
70	夏の終り	1967	木版・紙	21/35	10.4×22.4	*照沼コレクション	○
71	失題	1967	ガラス絵		12.9×17.8	個人	
72	虜囚の窓	1968	木版・紙	ép. d'a.	10.8×9.6	個人	
73	べにひかげ	1968	木版・紙	無記入	26.0×16.1	*照沼コレクション	
74	トンネルの出口	1968 年頃	木版・紙	épreuve d'artiste	17.0×14.0	*照沼コレクション	
75	泳ぐ人	1969	木版・紙	4/15	18.8×30.5	*照沼コレクション	
76	小さな炎	1969	木版・紙	ép. d'artiste	26.0×22.2	神奈川県立近代美術館	望月富防コレクション
77	佇む女	1969	ガラス絵		22.0×27.5	個人	
78	帰郷	1969 年頃	ガラス絵		15.1×17.6	横須賀美術館	●後期
79	少女	1960年代	ガラス絵		14.0×20.0	個人	
	版木(火を運ぶ女)	1957				個人	
	版木(むかしのはなし)	1958				個人	●前期
	版木(キリコ)	1959				個人	●後期
	版木(火屋の中)	1966				個人	●後期
	版木(夏の終り)	1967				個人	●前期
	版木(小さな炎)	1969				個人	
	版木(早春の静物)	1977				個人	●後期

No.	作品名	制作年	技法・材質		寸法(H×W)cm	所蔵	●高崎○茨城
	版木(夕日のとり)	1985				個人	●後期
	愛用の画材・道具など					個人	
〈第4章 暗い夕日に永遠と一瞬をみつめる。1970年代〉							
80	希望のマスク	1970	木版・紙	épreuve d'artiste	25.0×23.7	神奈川県立近代美術館	望月富防コレクション
81	九月の海辺	1970	木版・紙	2/35	13.4×23.4	*照沼コレクション	
82	九月の海辺	1970	木版・紙	27/35	13.4×23.4	*照沼コレクション	○
83	九月の海辺	1970	木版・紙	32/35	13.4×23.4	**	●
84	一つの燈	1970	木版・紙	4/35	14.3×22.0	*照沼コレクション	
85	夜明け	1970	木版・紙	épreuve d'artiste	18.1×31.5	*照沼コレクション	
86	歳月	1970	木版・紙	2/5	18.9×25.9	*照沼コレクション	○
87	歳月	1970	木版・紙	5/5	18.9×25.9	**	●
88	夕日の芽(試作)	1970年頃	木版・紙	無記入	12.0×12.0	個人	
89	暗い夕陽	1971	木版・紙	épreuve	17.0×33.2	個人	
90	ベツレヘムの星	1971	木版・紙	ép.	5.5×8.0	*照沼コレクション	
91	北辺の小屋	1971	ガラス絵		16.6×22.0	**	
92	時雨れる野路	1971	ガラス絵		14.8×19.2	横須賀美術館	○前期
93	暗い夕日(『暗い夕日』1)	1972	木版・紙	épreuve d'artiste	21.7×19.0	*照沼コレクション	○
94	暗い夕日(『暗い夕日』1)	1972	木版・紙	無記入	21.7×19.0	**	●
95	冬	1972	木版・紙	épreuve d'artiste	23.2×22.0	*照沼コレクション	
96	冬(『暗い夕日』2)	1972	木版・紙	42/50	23.2×22.0	*照沼コレクション	○
97	冬(『暗い夕日』2)	1972	木版・紙	無記入	23.2×22.0	**	●
98	トンネルの出口(『暗い夕日』3)	1972	木版・紙	ép.1/10	22.7×20.0	*照沼コレクション	
99	トンネルの出口(『暗い夕日』3)	1972	木版・紙	無記入	22.7×20.0	**	
100	虜囚の窓(『暗い夕日』4)	1972	木版・紙	48/50	24.3×20.0	*照沼コレクション	○
101	虜囚の窓(『暗い夕日』4)	1972	木版・紙	無記入	24.3×20.0	**	●
102	夕方の静物(『暗い夕日』5)	1972	木版・紙	épreuve d'artiste	23.2×22.0	**	●
103	夕方の静物(『暗い夕日』5)	1972	木版・紙	50/50	23.2×22.0	*照沼コレクション	○
104	窓のランタン	1972	木版・紙	2/26	24.5×15.2	*照沼コレクション	○
105	窓のランタン	1972	木版・紙	5/26	24.5×15.2	**	●
106	窓のランタン(『暗い夕日』6)	1972	木版・紙	無記入	24.5×15.3	**	●
107	窓のランタン(『暗い夕日』6)	1972	木版・紙	無記入	24.5×15.3	*照沼コレクション	○
108	入日(『暗い夕日』7)	1972	木版・紙	épreuve d'artiste	14.8×23.8	照沼毅陽氏	
109	入日(『暗い夕日』7)	1972	木版・紙	無記入	16.2×25.8	*照沼コレクション	○
110	入日(『暗い夕日』7)	1972	木版・紙	無記入	16.2×25.8	**	●
111	町外れ(『暗い夕日』8)	1972	木版・紙	42/50	13.9×22.4	*照沼コレクション	○
112	町外れ(『暗い夕日』8)	1972	木版・紙	無記入	13.9×22.4	**	●
113	夕日の静物(『暗い夕日』9)	1972	木版・紙	46/50	13.7×22.2	*照沼コレクション	○
114	夕日の静物(『暗い夕日』9)	1972	木版・紙	無記入	13.7×22.2	**	●
115	壇の中の魚(『暗い夕日』10)	1972	木版・紙	ép. d'artiste	20.2×22.6	*照沼コレクション	○
116	壇の中の魚(『暗い夕日』10)	1972	木版・紙	無記入	20.2×22.6	**	●
117	虫の声	1972	木版・紙	ép. d'A.	6.4×7.5	*照沼コレクション	
118	遠花火	1972	木版・紙	7/10	24.2×20.6	*照沼コレクション	
119	葬送の花火	1973	木版・紙	épreuve d'artiste	17.0×26.2	*照沼コレクション	
120	雨の時間	1973	ガラス絵		10.5×16.8	個人	
121	夕の道	1973	ガラス絵		12.5×16.5	個人	
122	告別	1974	木版・紙	14/15	26.6×21.3	*照沼コレクション	
123	深夜の蠟燭	1974	木版・紙	12/35	17.9×15.0	**	
124	深夜の蠟燭	1974	木版・紙	無記入	17.9×15.0	*照沼コレクション	
125	深夜の蠟燭	1974	木版・紙	18/35	17.9×15.0	*照沼コレクション	
126	冬	1974	ガラス絵		11.8×17.8	横須賀美術館	○後期
127	星占(去りゆく凶星)	1975	木版・紙	5/26	15.2×17.9	**	
128	星占(去りゆく凶星)	1975	木版・紙	16/26	15.2×17.9	*照沼コレクション	
129	孤独なけもの	1975	水彩・紙		17.0×20.5	横須賀美術館	○前期
130	近づく悲しみ	1975	水彩・紙		14.9×11.5	神奈川県立近代美術館	北川原コレクション
131	夕暮れの裏門	1975	ガラス絵		10.9×16.2	東京国立近代美術館	●○前期
132	秋の夕日	1976	木版・紙	3/26	16.0×14.2	*照沼コレクション	○
133	秋の夕日	1976	木版・紙	19/26	16.0×14.2	**	●
134	冬の夜の静物	1976	木版・紙	3/35	18.1×15.6	*照沼コレクション	
135	秋の夜	1977	木版・紙	ép d'a. 3/4	14.0×10.7	*照沼コレクション	
136	パンドラの箱	1977	木版・紙	II /L	11.6×18.8	*照沼コレクション	
137	遠い太陽	1977	木版・紙	5/20	15.2×17.8	*照沼コレクション	
138	早春の静物(試作)	1977	木版・紙	ép.	26.0×22.0	個人	
139	早春の静物	1977	木版・紙	8/20	26.0×22.0	*照沼コレクション	
140	夜	1977	水彩・紙		15.1×24.6	横須賀美術館	○後期
141	晩秋の公園裏	1977	水彩・紙		20.7×16.1	個人	
142	失題	1978	木版・紙	ép. d'a.	8.9×8.9	*照沼コレクション	
143	北風の過ぎた夕(試作)	1978	木版・紙	無記入	19.1×13.5	個人	
144	北風の過ぎた夕	1978	木版・紙	2/20	19.1×13.5	*照沼コレクション	○
145	北風の過ぎた夕	1978	木版・紙	3/20	19.1×13.5	個人	●

No.	作品名	制作年	技法・材質		寸法(H×W)cm	所蔵	●高崎○茨城
146	火を運ぶ女	1978	木版・紙	2/50	11.3×9.9	*照沼コレクション	
147	透明な悲しみ	1978	水彩・紙		31.2×27.2	横須賀美術館	●前期
148	夏の夜	1979	木版・紙	2/50	17.5×15.5	*照沼コレクション	
149	夕日と猫	1979	木版・紙	2/2	20.0×17.5	*照沼コレクション	
150	夕日と猫	1979	木版・紙	c/h	20.0×17.5	*照沼コレクション	○
151	夕日と猫	1979	木版・紙	79/100	20.0×17.5	個人	●
152	月と塚	1979	水彩・紙		19.5×17.0	個人	
153	暗い夕陽	1970年代	ガラス絵		12.7×21.3	個人	
154	失題	1970年代	ガラス絵		16.0×20.0	個人	
〈第5章 そして、夕日の彼方へ。1991年まで〉							
155	行手の花火	1981	木版・紙	2/35	25.8×16.9	*照沼コレクション	
156	山上の湖	1981	木版・紙	2/35	19.6×26.2	*照沼コレクション	
157	作品	1981	水彩・紙		10.0×16.0	**	
158	夜明け	1981	ガラス絵		9.2×12.1	*照沼コレクション	
159	われむかしの日 いにしえの年をおもえり	1982	木版・紙	artist's proof	15.2×13.0	*照沼コレクション	○
160	われむかしの日 いにしえの年をおもえり	1982	木版・紙	69/85	15.2×13.0	**	●
161	黑夜の鳥	1982	木版・紙	15/70	14.0×17.5	*	○
162	黑夜の鳥	1982	木版・紙	épreuve d'artiste	14.0×17.5	**	●
163	夢の中へ	1983	木版・紙	ép.	15.7×6.9	個人	
164	夢の中へ	1983	木版・紙	2/50	15.7×6.9	*照沼コレクション	○
165	夢の中へ	1983	木版・紙	46/50	15.7×6.9	**	●
166	夏	1983年頃	木版・紙	ép. d'artiste	20.5×15.3	*照沼コレクション	
167	小塚と夕日	1983	木版・紙	épreuve d'artiste	16.0×14.3	*照沼コレクション	
168	或る時	1983	木版・紙	ép. d'artiste	17.0×22.5	神奈川近代美術館	
169	二つの窓	1983	木版・紙	ép. d'artiste	18.5×20.0	個人	
170	夜	1983	木版・紙	ép. d'artiste	24.0×15.5	*照沼コレクション	
171	野良犬の神様	1983	木版・紙	épreuve d'artiste	26.0×17.0	個人	
172	悲しみ	1983	モノタイプ		31.9×27.1	照沼毅陽氏	
173	古い厩(5点組)	1983	モノタイプ		17.5×13.0	*照沼コレクション	
174	古い厩(5点組)	1983	モノタイプ		17.5×13.0	*照沼コレクション	
175	古い厩(5点組)	1983	モノタイプ		17.5×13.0	*照沼コレクション	
176	古い厩(5点組)	1983	モノタイプ		17.5×13.0	*照沼コレクション	
177	古い厩(5点組)	1983	モノタイプ		17.5×13.0	*照沼コレクション	
178	無題	1983	モノタイプ		16.8×12.6	個人	
179	1940年12月のある夜更	1982	水彩・紙		17.0×23.4	個人	
180	蠟燭を消す	1983	水彩・紙		26.4×32.1	個人	
181	五月の夜明け	1984	木版・紙	2/20	14.7×14.3	*照沼コレクション	
182	秋の午後	1985	木版・紙	2/35	17.0×28.1	*照沼コレクション	○
183	秋の午後	1985	木版・紙	13/35	17.0×28.1	**	●
184	秋の静物	1985	木版・紙	ép. d'artiste	15.3×12.1	個人	
185	秋の静物	1985	木版・紙	ép. d'a.	15.3×12.1	*照沼コレクション	
186	みちるべ	1985	木版・紙	ép.	9.0×8.8	*照沼コレクション	
187	初秋の風	1985	木版・紙	ép. d'artiste	13.4×18.6	神奈川近代美術館	
188	野の果てに	1985	木版・紙	無記入	13.4×29.0	*照沼コレクション	
189	巡礼	1985	木版・紙	ép. d'artiste	15.2×13.4	個人	
190	なんじの革囊にわが涙を	1985	木版・紙	ép. d'artiste	17.5×16.9	**	
191	夕日のとり	1985	木版・紙	ép. d'artiste	8.0×16.0	個人	
192	夕日のとり	1985	木版・紙	2/26	8.0×16.0	*照沼コレクション	○
193	夕日のとり	1985	木版・紙	8/26	8.0×16.0	**	●
194	晩夏	1985	木版・紙	ép. d'a.	6.8×7.0	**	●
195	晩夏	1985	木版・紙	2/35	6.8×7.0	*照沼コレクション	○
196	月と運河(試作)	1988	木版・紙	Test1	16.5×16.4	**	●
197	月と運河	1988	木版・紙	2/35	16.5×16.4	*照沼コレクション	○
198	静かな夕	1988	水彩・紙		20.6×20.3	照沼毅陽氏	
199	風の中	1988	水彩・コラージュ・紙		20.6×20.2	個人	
200	春の夜の空	1988	水彩・紙		18.8×28.0	個人	
201	冬の夕	1988	水彩・紙		21.0×28.8	個人	
202	冬の日	1988	水彩・紙		25.5×16.5	個人	
203	水辺の窓	1989	ガラス絵		15.6×11.2	個人	
204	夕の空へ	1989	ガラス絵		11.5×16.5	個人	
205	初秋の静物	1989	ガラス絵		11.5×16.0	*照沼コレクション	
206	夕日の中に	1980年代	ガラス絵		13.0×14.3	個人	
207	夕	1980年代	ガラス絵		8.8×12.3	東京国立近代美術館	●○後期
208	暗い月	1980年代	ガラス絵		12.2×16.5	個人	
209	西の空	1990	ガラス絵		13.0×17.0	個人	
210	北の窓	1991	ガラス絵		8.5×14.0	個人	
211	北風の入り	1990	ガラス絵		10.6×15.1	個人	
212	夕べの空へ	1991	ガラス絵		13.0×17.0	照沼毅陽氏	
213	無題(未完)(絶筆水彩)	1991	水彩・紙		23.0×30.6	**	

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W)cm	所蔵	●高崎○茨城
214	無題(未完)(絶筆水彩)	1991	水彩・紙	20.5×24.5	**	
215	冬の夕(絶筆)	1991	ガラス絵	12.2×16.2	**	
216	未完(絶筆)	1991 年頃	ガラス絵	13.0×16.6	**	
217	失題	1983	モノタイプ	20.8×16.2	**	
218	失題	1983	モノタイプ	19.5×11.7	**	
219	失題	1983	モノタイプ	21.2×16.2	**	
220	未完(絶筆 1)	1991	ガラス絵	10.0×16.0	個人	
221	未完(絶筆 2)	1991	ガラス絵	13.5×15.1	個人	
222	未完(絶筆 3)	1991	ガラス絵	11.4×13.2	個人	
223	公園の裏の道	不詳	ガラス絵	14.6×11.7	個人	
224	夕日とコップと草の実	不詳	ガラス絵	11.6×16.5	個人	
225	窓辺の燭台	不詳	ガラス絵	11.8×16.5	個人	
資料	葬送の花火 色見本				個人	
	星占(去りゆく凶星)制作控		水彩・鉛筆・紙		個人	
	深夜の蠟燭制作控		水彩・鉛筆・インク・紙		個人	
	自作のガラス絵整理棚と遺されたガラス板				個人	

## 特集展示 生誕 110 年 人、鶴岡政男

高崎市出身の画家、鶴岡政男が 2017 年 2 月に生誕 110 年を迎えたのを記念し、特集展示として開催された。高崎市美術館所蔵作品、群馬県立近代美術館、群馬県立館林美術館、大川美術館(群馬)の油彩、パステル、デッサンなどの所蔵作品、県内外コレクター所蔵作品と、イーゼル、絵筆、パステルなどの画材類や道具、自筆原稿、自作釣竿、愛用のボンゴなど作家資料を借用し、関連作家作品含め油彩 35 点、パステル 17 点、素描 39 点、立体 7 点計 98 点の作品を展示。「第 1 章 1949 年まで「オレが絵を描く人間であることをみんなが喜んでくれれば嬉しい」」「第 2 章 1950 年代「動きの中にリアリティを把握する」」「第 3 章 パステルと素描「愛撫することにも似て」」「第 4 章 1960 年代から「絵にならないものを描こうとする」」の 4 章に、家族や鬨光、松本竣介を紹介する「仲間たち」、趣味人ぶりを紹介する「釣り」、希少な風景画による「風景を描く」、象徴的な「馬と鶴岡」などコラム展示を加え、鶴岡の多面的な作家像を多くの資料、作品によって掘り下げる内容となった。

**会 期** 2018 年 2 月 10 日(土)～ 3 月 25 日(日) 37 日間

**主催会場** 高崎市美術館

**関連事業** 学芸員によるギャラリートーク 担当:住田常生、笠原晶子(当館学芸員)が交互に担当 2/17・24、3/10・17(土)午後 2 時～  
ワークショップ「ツルさんへの挑戦状、抽象上等!」会場:高崎市南公民館

「拾った石に抽象ペイント」講師:泉澤守(画家) 2/18(日)

「パステルで動きを描こう」担当:住田常生 2/25(日)各日午後 1 時～3 時

スライドトーク「「芸術とは無慚なものか。」講師:徳江庸行(群馬県立館林美術館学芸員) 3/11(日)午後 2 時～5 時 会場:高崎市南公民館

よしだひろこさんクロストーク「父、鶴岡政男」講師:よしだひろこ(鶴岡政男長女) 聞き手:徳江庸行 3/21(水・祝)午後 2 時～4 時 30 分

**関連記事** 「文化紀行／生誕 110 年 人、鶴岡政男」(朝日ぐんま 3 月 9 日)

「鶴岡政男さん生誕 110 年」(上毛新聞 3 月 13 日)

「成相肇のやっかいもつかい てんらんかい」(芸術新潮 2018 年 4 月号)

**入 場 者** 2,536 名

**印 刷 物** 『生誕 110 年 人、鶴岡政男』リーフレット

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	所蔵
〈第 1 章 1949 年まで「オレが絵を描く人間であることをみんなが喜んでくれれば嬉しい」〉						
1	峯孝	鶴さん(鶴岡政男像)	1970	ブロンズ	76.0×42.0×28.0	高崎市美術館
2	鶴岡政男	自画像	1947	インク・紙	29.1×29.3	群馬県立近代美術館
3	麻生三郎	鶴岡君	1940 年代	鉛筆・紙	31.4×22.0	個人
4	鶴岡政男	西方の聖	1935 年頃	墨・紙	28.0×22.5	群馬県立館林美術館 2/10～3/4 展示
5	鶴岡政男	家族(1)	1947 年頃	インク・紙	41.8×28.5	群馬県立近代美術館
6	鶴岡政男	家族(2)	1947 年頃	インク・紙	41.8×28.5	群馬県立近代美術館
7	鶴岡政男	小鳥と少女	1952 年頃	油彩・ガラス	14.3×11.0	浅尾空人氏
8	鶴岡政男	小鳥と子ども(A)	1952 年頃	油彩・ガラス	14.3×11.1	浅尾空人氏
9	鶴岡政男	幼児(B)	1952 年頃	油彩・ガラス	11.1×14.1	浅尾空人氏
10	鶴岡政男	葉を飲む女	1948	油彩・キャンバス	65.6×50.0	浅尾空人氏
コラム 1 仲間たち						
11	鬨光	静物(洋梨)	1942	油彩・板	12.9×20.5	(公財)大川美術館
12	松本竣介	自画像	1943 年頃	油彩・板	27.3×22.2	(公財)大川美術館
13	麻生三郎	手をうしろにした人	1965	油彩・キャンバス	90.8×72.7	高崎市美術館
14	井上長三郎	ドン・キホーテ	1975	油彩・キャンバス	60.6×45.5	高崎市美術館
15	糸園和三郎	鳩	1992	油彩・キャンバス	72.8×53.1	高崎市美術館
16	大野五郎	長江の日の出	1985	油彩・キャンバス	31.8×40.9	高崎市美術館
17	寺田政明	シクラメンとびーまん	1988	油彩・キャンバス	40.9×31.8	高崎市美術館
18	鶴岡政男	女の顔	1950	ブロンズ	26.2×11.0×9.0	FUMA Contemporary Tokyo 文京アート
19	鶴岡政男	転がっている首	1950	ブロンズ	16.8×21.0×17.5	群馬県立館林美術館
	鶴岡政男	資料:転がっている首	1950	石膏	16.8×21.0×17.5	浅尾空人氏
	鶴岡政男	資料:題名不詳	1950 年頃	石膏	14.0×15.0×20.5	浅尾空人氏
20	鶴岡政男	男の顔	1951	ブロンズ	9.2×4.5×6.5	群馬県立館林美術館
21	鶴岡政男	人体	1951	テラコッタ	19.0×15.0×7.0	群馬県立館林美術館
22	鶴岡政男	急須	不詳	陶器	6.0×17.0×6.4	群馬県立近代美術館
23	木内克	牧神の午後 B	1949 年頃	ブロンズ	52.0×39.0×21.0	高崎市美術館
	鶴岡政男	パイプ				
	資料	イーゼル、机、画材(筆入れ壺、筆、刷毛、ペインティングナイフ)				
		佐波浦から鶴岡政男への郵便ハガキ	1950			
		札幌から、もと夫人にあてた手紙	1952			
		ノート「鬨光と松本竣介を亡くして」				
		《死の静物》(第 12 回自由美術展出品)絵ハガキ	1948			
		「鶴岡政男油絵頒布会」パンフレット	1952 年頃			
		「第 6 回 NOVA 展出品目録／上野・東京府美術館」出品目録	1936			
		「第 1 回展 新人畫會／銀座 7-1・日本楽器畫廊」案内ハガキ	1943			
		「第 1 回 新人畫會々員油繪展覽會／	1943			
		銀座 7 丁目・日本楽器會社洋畫部」案内状				
		「第 1 回 新人畫會展目録／銀座 7 丁目・日本楽器畫廊」出品目録	1943			

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	所蔵
コラム2 釣り						
24	鶴岡政男	恋人	1946-47年頃	インク・紙		高崎市美術館
25	鶴岡政男	魚	1946年頃	鉛筆・紙		高崎市美術館
26	鶴岡政男	獲物	1948	油彩・キャンバス		個人
27	鶴岡政男	蟹	1948	鉛筆・紙		高崎市美術館
28	鶴岡政男	横濱風景	1948-49年頃	水彩・墨・紙		高崎市美術館
	資料	よしだひろこ詩集『眼を生む』(表紙題字・絵 鶴岡政男)、よしだひろこ同人誌『みみづく』(表紙絵 豊田一男/扉絵 鶴岡政男)				よしだひろこ氏
	鶴岡政男	染付角絵皿				
	鶴岡政男	釣竿(5組)				
	写真	釣りを楽しむ鶴岡政男	1972-75年頃			よしだひろこ氏
〈第2章 1950年代「動きの中にリアリティを把握する」〉						
29	鶴岡政男	作品	1949	インク・紙	22.7×29.4	高崎市美術館
30	鶴岡政男	ふたり	1948	油彩・板	40.9×31.8	高崎市美術館
31	鶴岡政男	人々(2)―女体	1948	鉛筆・紙	18.5×25.5	群馬県立近代美術館
32	鶴岡政男	人々(5)	1948	鉛筆・紙	12.2×21.2	群馬県立近代美術館
33	鶴岡政男	夜の群像	1949	油彩・板	121.0×154.0	群馬県立近代美術館
34	鶴岡政男	ドン・キホーテ	1946-47年頃	鉛筆・紙	20.5×29.0	高崎市美術館
35	鶴岡政男	ドン・キホーテ	1951	油彩・キャンバス	112.1×145.5	群馬県立近代美術館
36	鶴岡政男	人間気化エスキース	1953	油彩・キャンバス	41.0×31.9	FUMA Contemporary Tokyo 文京アート
37	鶴岡政男	落下する人体	1954	油彩・キャンバス	91.0×72.5	群馬県立近代美術館
38	鶴岡政男	「落下する人体」下絵(1)	1954	インク・トレーシングペーパー	21.0×15.4	群馬県立近代美術館
39	鶴岡政男	雨の夜	1959	油彩・キャンバス	261.3×162.4	群馬県立近代美術館
40	鶴岡政男	雨の夜	1959年頃	サインペン・紙	35.6×27.0	群馬県立近代美術館
41	鶴岡政男	仮面(マスク)	1958-59年頃	織物・毛糸	75.6×64.0	高崎市美術館
	鶴岡政男	仮面(マスク)下絵			12.8×10.5	群馬県立近代美術館
コラム3 風景を描く						
42	鶴岡政男	風景(2)	1955年頃	鉛筆・紙	26.5×36.0	群馬県立近代美術館
43	鶴岡政男	静かなる夜(山と月と湖)	1955	油彩・キャンバス	53.0×65.2	群馬県立近代美術館
44	鶴岡政男	朝のみづうみ(磐梯山風景)	不詳	油彩・キャンバス	60.7×72.8	群馬県立近代美術館寄託 松尾陽作氏
〈第3章 パステルと素描「愛撫することにも似て」〉						
45	鶴岡政男	夜の樹	1961	パステル・紙	25.7×37.0	群馬県立近代美術館
46	鶴岡政男	地底	1961	パステル・紙	26.5×37.4	高崎市美術館
47	鶴岡政男	原始(赤)	1962	パステル・紙	27.0×38.0	高崎市美術館
48	鶴岡政男	ボンゴの踊り	1962	パステル・紙	25.5×36.4	群馬県立近代美術館
49	鶴岡政男	動物	1964	パステル・紙	25.4×37.4	高崎市美術館
50	鶴岡政男	仮面の夜	1964	パステル・紙	37.6×27.0	群馬県立近代美術館
51	鶴岡政男	黒い子供	1964	パステル・紙	37.5×27.0	群馬県立近代美術館
52	鶴岡政男	こだま	1964	パステル・紙	27.0×37.5	群馬県立近代美術館
53	鶴岡政男	花の表情	1964	パステル・紙	27.0×37.4	群馬県立近代美術館
54	鶴岡政男	ゆあみする人	1964	パステル・紙	27.0×37.6	群馬県立近代美術館
55	鶴岡政男	仮面の踊り	1964年頃	パステル・紙	38.0×53.9	FUMA Contemporary Tokyo 文京アート
56	鶴岡政男	ゴルフ	1966年頃	パステル・紙	26.0×36.5	(公財)大川美術館
57	鶴岡政男	手をつなぐ人	1969	パステル・紙	27.0×37.4	群馬県立近代美術館
58	鶴岡政男	黄と白と黒	1960年代	パステル・紙	25.8×36.8	個人
59	鶴岡政男	裸婦	1943年頃	インク・紙	24.4×28.4	高崎市美術館
60	鶴岡政男	裸婦	1946年頃	コンテ・紙	25.8×18.2	高崎市美術館
61	鶴岡政男	裸婦	1946年頃	コンテ・紙	25.8×18.2	高崎市美術館
62	鶴岡政男	裸婦	1946年頃	コンテ・紙	25.8×18.2	高崎市美術館
63	鶴岡政男	女の風景	1948-49年頃	水彩・墨・紙	12.2×17.6	高崎市美術館
64	鶴岡政男	裸婦	1948-49年頃	水彩・墨・紙	8.0×20.7	高崎市美術館
65	鶴岡政男	裸婦	不詳	コンテ・パステル・紙	41.8×29.4	高崎市美術館
66	鶴岡政男	裸婦	不詳	コンテ・紙	42.2×29.0	高崎市美術館
67	鶴岡政男	裸婦	不詳	コンテ・紙	42.4×29.0	高崎市美術館
68	鶴岡政男	裸婦	不詳	コンテ・紙	42.6×28.8	高崎市美術館
	資料	愛用のパステル 愛用のボンゴ 愛用のボンゴ				2/10~3/4 展示 よしだひろこ氏 3/6~3/25 展示
69	鶴岡政男	はる	1960年代	インク・紙	14.0×12.0	高崎市美術館
70	鶴岡政男	人・人	1959-60年頃	インク・紙	17.4×10.0	高崎市美術館
71	鶴岡政男	作品	1964-65年頃	インク・紙	27.0×35.6	高崎市美術館
72	鶴岡政男	夜の運び屋	1966年頃	インク・紙	11.8×16.8	高崎市美術館
73	鶴岡政男	男	1968年頃	墨・インク・紙	24.4×18.4	高崎市美術館
74	鶴岡政男	ひと	1968年頃	インク・紙	16.0×24.0	高崎市美術館
〈第4章 1960年代から「絵にならないものを描こうとする」〉						
コラム4 馬と鶴岡						
75	鶴岡政男	馬	1943年頃	インク・紙	24.4×28.4	高崎市美術館
76	鶴岡政男	馬と人	1947	水彩・墨・紙	27.0×38.6	高崎市美術館
77	鶴岡政男	ドン・キホーテ	1946年頃	鉛筆・インク・紙	33.0×24.2	高崎市美術館
78	鶴岡政男	オレンジの騎手	1962	パステル・紙	37.3×26.5	群馬県立近代美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	所蔵
79	鶴岡政男	オレンジの騎手(下描き)	1962 年頃	コンテ・紙	38.0×25.8	高崎市美術館
80	鶴岡政男	夜の騎手	1963	パステル・紙	36.7×25.5	個人
81	鶴岡政男	夜の騎士	1963	油彩・キャンバス	44.7×37.4	高崎市美術館
82	鶴岡政男	MEDO(メド)	1967	油彩・キャンバス	130.2×162.3	群馬県立近代美術館
83	鶴岡政男	微笑	1962	油彩・キャンバス	116.7×80.5	高崎市美術館
84	鶴岡政男	微笑	1962	パステル・紙	52.3×36.5	群馬県立近代美術館
85	鶴岡政男	香り	1963 年頃	油彩・キャンバス	60.6×45.5	高崎市美術館
86	鶴岡政男	みどりの女	1963	油彩・キャンバス	72.8×91.0	群馬県立近代美術館寄託
87	鶴岡政男	ジュネるポコ	1963	油彩・キャンバス	72.7×60.6	群馬県立近代美術館
	資料	ノート「馬による絵画的リアルについて」(複写)				
	写真	「美術サロン—心の深層を探る—幻想剤(LSD)による美術実験」	1961			
88	鶴岡政男	青いカーテン	不詳	鉛筆・インク・パステル・紙	6.5×10.0	群馬県立館林美術館
89	鶴岡政男	夢魔	1964 年頃	油彩・キャンバス	41.0×32.0	(公財)大川美術館
90	鶴岡政男	ねぶたの行列	1964	油彩・キャンバス	53.0×62.5	高崎市美術館
91	鶴岡政男	黒いベッド	1966	油彩・キャンバス	162.1×112.1	群馬県立近代美術館
92	鶴岡政男	涙する人	1968	油彩・キャンバス	左 162.0×130.3 右 162.0×130.5	群馬県立館林美術館
93	鶴岡政男	涙	1968	油彩・キャンバス	193.9×130.3	群馬県立近代美術館
94	鶴岡政男	涙	1968 年頃	ボールペン・紙	17.6×12.6	群馬県立近代美術館
95	鶴岡政男	地表	1971	油彩・キャンバス	130.6×193.7	群馬県立館林美術館
96	鶴岡政男	眠る人	1976	油彩・キャンバス	33.0×45.5	群馬県立館林美術館
97	鶴岡政男	春の野	1976	油彩・キャンバス	33.0×45.5	群馬県立館林美術館
98	鶴岡政男	作品	1978	木炭・キャンバス	45.8×38.0	高崎市美術館
	資料	スケッチブック「藝術とは無慚なもの」				
		執筆原稿「私は固定した技法を持つとは思わない。」				
		執筆原稿「絵画と人間像」				
		鶴岡政男愛蔵書『草迷宮』				よしだひろこ氏



## 水野暁ーリアリティの在りか

近年注目を集める群馬県出身の画家、水野暁。緻密な描写を根底に現場制作を貫き、時とともに移ろう対象を五感でとらえ表現している。本展では1990年代初期作から、文化庁新進芸術家海外研修員としてのスペイン滞任制作、そして大きな変化を遂げた帰国後の最新作までを網羅して構成した。高崎市美術館では2006年度の作家王国で水野を紹介したが、本展は公立美術館初個展として水野をあらためて取り上げた。画面上でドローイングを繰り返すユニークな方法によって生み出される水野の「リアリティの在りか」を、自身の展示構成による作品資料88点を通して紹介した。複数開催した水野による関連事業にも来館者が複数回訪れ、作家との交流機会として好評を博した。

会 期 2018年4月15日(日)～7月1日(日) 68日間

主催会場 高崎市美術館(旧井上房一郎邸)

企画協力 彩鳳堂画廊

後 援 朝日新聞前橋総局、共同通信社前橋支局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、J:COM群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎

関連事業 アーティストトーク 講師:水野暁(画家) 4/22、6/3(日)午後3時～ 会場:高崎市南公民館

公開制作 5/4(金)・5(土)午後2時～ 制作者:水野暁 会場:旧井上房一郎邸庭園

母の日親子ワークショップ「見て、触って、親子で描きあってプレゼント!」講師:水野暁 5/13(日)午後1時～ 会場:高崎市南公民館

おしゃべりギャラリーツアー 講師:水野暁 5/27、6/24(日)午後3時～

クロストーク 講師:水野暁、土方明司(平塚市美術館館長代理)、江尻潔(足利市立美術館次長・学芸員)

6/16(土)午後2時～ 会場:高崎市南公民館

関連記事 「本質迫るリアリティー 画家・水野暁さん 高崎市美術館で個展」(上毛新聞 4月24日)

「上州旬の人/時の移ろいまで描く 画家 水野暁さん」(読売新聞 6月4日)

「リアル」とは 突き詰めた 水野暁が美術館での初個展」(朝日新聞夕刊 6月12日)

入 場 者 11,387名

印 刷 物 『水野暁ーリアリティの在りか』図録

No.	作品名	制作年	材質	寸法(H×W×D)cm
1	天明泥流絵図 2014ー吾妻川ー利根川ー	2014	浅間溶岩石・銀・吾妻川および利根川の水・膠・各種メディウム	300.0(長辺)×150.0(短辺)×25.0(高さ)
2	about 天明泥流絵図	2017-2018	ビデオ	8分34秒
3	透過	2016	油彩・板(2点組)	各27.3×16.0
4	Fate	2012-2013	油彩・板	53.0×45.5
5	なだらかな	2011	油彩・板	27.3×27.3
6	インスタレーション:Rebirthー果樹についてー	2011	石膏	
7	Rebirthー果樹についてー	2009-2012	油彩・板	162.0×162.0
8	つぼまり。	2012	油彩・板	5.0×5.0
9	はじまり。	2016	油彩・板	6.0×6.0
10	そのためのもの。	2011	鉛筆・紙	15.0×15.0
11	ともにある。	2010	油彩・板	10.0×10.0
12	Mellow	2016	鉛筆・水彩・紙	45.5×45.5
13	吸着ーそれは日々繰り返されるー	2012	鉛筆・水彩・紙	38.0×45.5
14	Untitled	1999	鉛筆・水彩・紙・ジェッソ	53.3×46.1
15	ほとぼり。	2014	鉛筆・水彩・紙	22.0×27.3
16	The River α 共存へのかたちについて/吾妻川	2008	油彩・板	89.4×145.5
17	Into the Cave	2009	鉛筆・水彩・煤・鉄・紙	28.0×50.0×18.0
18	残炎	2009	鉛筆・水彩・煤・鉄・廃棄物・紙	サイズ可変
19	Not Perfect	2006	油彩・キャンバス	45.5×53.0
20	方程式の無力	2005	油彩・板	72.7×91.0
21	Edgedー岩櫃山ー	2006-2007	油彩・板	72.7×91.0
22	春の憂鬱ー奇形のアゲハチョウー	2003	油彩・板	50.0×65.2
23	ARCーある領域のなかでー	2010-2012	油彩・板	145.5×145.5
24	Under the Protectionー折られた翼ー	2014	油彩・板	60.6×72.7
25	浅間山の噴火(4歳の作品)	1978	水彩・板	14.5×18.9
26	ドローイングー天明3年の浅間災害遺跡について	2013-2014	水彩・鉛筆・紙	228.0×232.0(額12枚全体)
27	The Volcanoー大地と距離について/浅間山ー	2012-2016	油彩・キャンバス	145.5×227.3
28	見つめられている、あるいは見張られているー群馬県立近代美術館屋上よりー	2014	鉛筆・紙	91.0×116.7
29	葉の花と、鳥と。	2007	油彩・板	65.2×65.2
30	G線上の翔き	2007-2008	油彩・板	91.0×116.7
31	Melting Point	2007	油彩・板	116.7×72.7
32	Necessity	2007	油彩・板	31.8×41.0
33	類似	2002	油彩・板	45.5×53.0

《故郷の樹》制作に使用したパレット  
キャンバスを地面に固定するために使っているペグ

No.	作品名	制作年	材質	寸法(H×W×D)cm
	災害マップ 天明三年を歩く 『災害を語り継ぐー複合的視点からみた天明三年浅間災害の記憶ー』 著者:関 俊明/発行:株式会社 雄山閣/発行年:2018年			
34	かかと。	2006	油彩・板	10.0×10.0
35	Life III(交)	2004	油彩・板	10.0×10.0
36	7Nails	2007	油彩・板	10.0×10.0
37	Melts	2013	油彩・板(2点組)	各 33.3 ×24.2
38	分岐-Ambiguous-	2015	油彩・板(2点組)	各 30.0×30.0
39	Unprotected Reflection	2017	油彩・板	18.0×14.0
40	Tangential Line	2010	油彩・板(2点組)	各 53.0×72.7
41	表層の痛み	2011-2012	油彩・板	89.4×130.3
42	身にまとうものたち	2012-2013	油彩・板	65.2×65.2
43	Dive to Blue	2013	油彩・板	91.0×91.0
44	Birth Defect(Squab)	2011-2012	油彩・板	60.6×72.7
45	萌ゆる蒼	2017	油彩・板	33.3×33.3
46	裏庭にて	2016-2018	油彩・板	72.5×72.5
47	花姿	2017	油彩・板	41.0×31.8
48	故郷(ふるさと)の樹	2015-2018	油彩・キャンバス	194.0×259.0
49	around 故郷の樹	2017-2018	インクジェットプリント・アクリルマウント(5点組)	各 25.6×36.4
50	ふたつの液香-痕跡-	2017	板・吸収性下地材	
51	ふたつの液香-原液-	2017	梅の花・梅の実・アルコール・水	
52	鱗片の地	2018	油彩・板	31.5×40.0
53	Yellow Mass	2017	油彩・板	33.1×33.1
54	そして、それは放たれる	2013	油彩・板	130.3×130.3
55	Love & Peace	2006	油彩・板	116.7×72.7
56	無条件と、その法則	2005	油彩・板	91.0×72.7
57	浸透	2003	油彩・板	45.5×53.0
58	澄んだ黒、白い濁り	2002	油彩・板	91.0×72.7
59	Earth-キャベツのこと。-	2006	油彩・板	65.2×91.0
60	Innocent Blue	2011	油彩・板	53.0×72.7
61	残照/西の国	2014-2016	油彩・板	31.8×41.0
62	残響-異国の光-/Saconia, Madrid	2014-2016	油彩・キャンバス	97.0×130.3
63	Paradoxical Dance (Piece 1-2)	2015-2016	油彩・キャンバス・インクジェットプリント・アクリルマウント(2点組)	各 53.0×53.0
64	La Mirada de La Mancha	2015-2016	油彩・キャンバス	145.5×112.0
65	Illusion of Growth	2016	油彩・板	45.5×38.0
66	Carne/兎	2014-2016	油彩・キャンバス	50.0×60.6
67	Reflection/残影	2016	油彩・板	22.0×27.3
68	アントニオ・ロベスの講習会で描いた習作	2016	油彩・キャンバス	50.0×65.2
69	人体ドローイング	2014-2015	水彩・コンテ・紙	各 40.5×29.6
70	Colors-Green-	2009	油彩・板	50.0×72.7
71	The Light-受胎告知に関するできごと-	2007-2008	油彩・板	53.0×72.7
72	Borderless	2010	油彩・板	65.2×91.0
73	あいだのこと。	2014	油彩・板	45.5×53.0
74	7 Drawings/Madrid	2015	油彩・キャンバス(7点組)	各 41.0×41.0
75	about Mother	2017-2018	ビデオ	3分53秒
76	母を描いた最初のドローイング へその緒 写真資料:母との思い出 息子(母・水野百合子 作) アントニオ・ロベス・ガルシア 作品集 Antonio López Garcia Colección: Maestros del arte contemporáneo 1989年 Lerner Y Lerner e Editores、スペイン、マドリッド 「スペイン美術はいま-マドリッド・リアリズムの輝き」1991年、朝日新聞社 アントニオ・ロベスの研修会開催を報じる新聞記事 水野がスペイン滞在中に綴った日記	2017	ダーマトグラフ・紙	21.0×29.7
77	Eternal Circulation	2017	油彩・板	31.8×41.0
78	交差-Resurrection-	2016	油彩・板	50.0×60.6
79	Inner Impulse	2016	油彩・板(2点組)	各 91.0×72.7
80	Mountain of Flower	2017	油彩・板	45.5×38.0
81	Eternal Blue-碧の回帰-	2014	油彩・板	41.0×60.6
82	人体ドローイング	2015	コンテ・紙	100.0×71.0
83	人体ドローイング	2015	コンテ・紙	100.0×71.0
84	人体ドローイング	2015	マジックペン・紙	100.0×71.0
85	人体ドローイング	2015	マジックペン・紙	100.0×71.0
86	16歳で描いた母の肖像	1990	油彩・キャンバス	41.0×31.8
87	Mother	2017-2018	油彩・キャンバス	194.0×162.0
88	Mother ドローイング	2017-2018	ミクストメディア・紙	

## 萩尾望都 SF 原画展 宇宙にあそび、異世界にはばたく

1969年のデビュー以来数多くの名作を生み続けてきた萩尾望都の「SF 作品」に焦点をあて、カラーイラストレーション、コミック生原稿などの SF 原画を紹介した。2016年、『萩尾望都 SF アートワークス』の発刊記念展として武蔵野市吉祥寺美術館(東京)で開催された「萩尾望都 SF 原画展」に出品された原画をベースに、120点以上を追加した内容で、翌年から計約400点を紹介する展覧会として、新潟市マンガ・アニメ情報館(新潟)、神戸ゆかりの美術館(兵庫)、佐野美術館(静岡)、北九州市漫画ミュージアム(福岡)を巡回し高崎市は5会場目の開催だった。高崎市美術館では2016年2月に『描く!』マンガ展を開催し、その際多くの来場者があり、美術館でのマンガ展開催への要望は近年高まっている。その反響を受け2回目のマンガ原画展の開催となった。原画はすべて萩尾の所蔵で、展示ケース内の書籍や資料などは萩尾および個人蔵であり、希少な原画資料に多くのファンや、親世代に連れられた若年層が来館し、別会場での漫画家、浦沢直樹とのトークショーには応募が殺到した。

**会 期** 2018年7月14日(土)～9月9日(日) 50日間

**主催会場** 高崎市美術館

**協 力** 河出書房新社

**関連事業** 夏休みイラストワークショップ「オリジナルキャラを描こう」講師:藤倉美緒(挿絵作家) 7/28(土)午後2時～3時30分 会場:高崎市南公民館

夏休みみひょうたんワークショップ「オリジナルキャラに変身」講師:なかのひろか(アーティスト) 7/29(日)午後2時～3時30分

会場:高崎市南公民館

記念イベント 萩尾望都トークショー 講師:萩尾望都(マンガ家)、浦沢直樹(マンガ家) 8/4(土)午後2時～4時

会場:高崎シティギャラリー コアホール

**関連記事** 「萩尾さん 浦沢さん 互いの作品 裏話語る」(上毛新聞 8月5日)

「あの名作 ベンの勢い 萩尾望都さん SF 原画展」(上毛新聞 8月21日)

**入 場 者** 8,451名

No.	名称	時代 (掲載誌)
	(CHAPTER I 1970s SF 初期)	
1-2	あそび玉	【『別冊少女コミック』(小学館)1972年1月号】
3		【『別冊少女コミック』(小学館)1972年1月号】
4		【『別冊少女コミック』(小学館)1971年12月号 予告カット】
5		【萩尾望都作品集Ⅱ期第9巻『半神』(小学館)1980年3月20日発行】
6	6月の声	【『別冊少女コミック』(小学館)1972年6月号 扉絵】
7-12		【『別冊少女コミック』(小学館)1972年6月号】
13	精霊狩り	【『別冊少女コミック』(小学館)1971年7月号 扉絵】
14-18		【『別冊少女コミック』(小学館)1971年7月号】
19	ドアの中のわたしの息子	【『別冊少女コミック』(小学館)1972年4月号 扉絵】
20		【『別冊少女コミック』(小学館)1972年4月号】
21	みんなでお茶を	【『別冊少女コミック』(小学館)1974年4月号 扉絵】
22-24		【『別冊少女コミック』(小学館)1974年4月号】
25-26	キャベツ畑の遺産相続人	【『週刊少女コミック』(小学館)1973年15号】
27	1ページファンタジア	【『別冊少女コミック』(小学館)1973年8月号】
28	ユニコーンの夢	【『別冊少女コミック』(小学館)1974年5月号 扉絵】
29-36		【『別冊少女コミック』(小学館)1974年5月号】
37	11 人いる!	【『別冊少女コミック』(小学館)1975年9月号 前編 扉絵】
38		【『別冊少女コミック』(小学館)1975年10月号 後編 扉絵】
39-49		【『別冊少女コミック』(小学館)1975年9月号】
50-60		【『別冊少女コミック』(小学館)1975年11月号】
	参考展示	複製画ボード 東の地平 西の永遠 中・後編抜粋
	参考展示	複製画ボード 東の地平 西の永遠 後編抜粋
	参考展示	複製画ボード 百億の星と千億の夜 第十四章抜粋
61-62	11 人いる!	【『別冊少女コミック』(小学館)1975年11月号】
63		【萩尾望都作品集Ⅰ記第13巻『11人いる!』(小学館)1978年5月10日発行 カバー】
64		【『別冊少女コミック』(小学館)1975年9月号 予告カット】
65		【『別冊少女コミック』(小学館)1977年1月号 予告カット】
66		【『萩尾望都スペースワンダー11人いる!』(小学館)1986年11月15日発行口絵ポスター】
67		【『別冊少女コミック』(小学館)1975年8月号 予告カット】
68		【『萩尾望都スペースワンダー11人いる!』(小学館)1986年11月15日発行口絵ポスター】
69		【『映画アニメグラフィティ 11人いる!』(小学館)1986年12月1日発行 表紙】
70	続・11人いる! 東の地平 西の永遠	【『別冊少女コミック』(小学館)1976年12月号 前編 扉絵】
71		【『別冊少女コミック』(小学館)1977年2月号 後編 扉絵】
72		【『別冊少女コミック』(小学館)1977年1月号 中編 扉絵】
73		【『別冊少女コミック』(小学館)1976年11月号 予告カット】
74		【『別冊少女コミック』(小学館)1977年2月号】
75		【『11人いる!』プロット】
76	追憶	【『チェリッシュブック 少年よ』(白泉社)1976年12月25日発行 イラストポエム】
77-92	左ききのイザン	【『SF ファンタジア』(学習研究社)1978年4号 幻想編】
93	スター・レッド	【『週刊少女コミック』(小学館)1978年23号 表紙】
94-102		【『週刊少女コミック』(小学館)1978年23号 第1話】

No.	名称	時代 (掲載誌)
103	スター・レッド	【『週刊少女コミック』(小学館) 1978年24号 扉絵裏】
104		【『週刊少女コミック』(小学館) 1978年24号 扉絵】
105		【萩尾望都作品集Ⅱ期第4巻『スター・レッド』2巻(小学館) 1986年2月20日発行 カバー】
106		【萩尾望都作品集Ⅱ期第3巻『スター・レッド』1巻(小学館) 1985年12月20日発行 カバー】
107-108		【『週刊少女コミック』(小学館) 1978年27号】
109-110		【『週刊少女コミック』(小学館) 1978年37号 扉絵】
111		【『週刊少女コミック』(小学館) 1978年39号 扉絵】
112-113		【『週刊少女コミック』(小学館) 1978年43号】
114-115		【『週刊少女コミック』(小学館) 1978年40号】
116-117		【『週刊少女コミック』(小学館) 1978年41号 扉絵】
118-120		【『週刊少女コミック』(小学館) 1979年3号】
121		【『週刊少女コミック』(小学館) 1978年23号 扉絵】
122		【『週刊少女コミック』(小学館) 1978年37号 表紙】
123	フレア・スター・ベティコート	【『別冊奇想天外 SF マンガ大全集』(奇想天外社)No.8 1979年8月15日発行】
124-131		【『別冊奇想天外 SF マンガ大全集』(奇想天外社)No.8 1979年8月15日発行】
132-144	月蝕 〈CHAPTERⅡ 1970s・1980s コラボレーション〉	【『バンビレラ』2号(ウオーレン・コミックス)スターログ別冊 1980年1月15日号】
145	百億の星と千億の夜	【『百億の星と千億の夜』イメージアルバム(日本コロムビア) 1984年 LPジャケット】
146-151	参考展示 参考展示	【『週刊少年チャンピオン』(秋田書店) 1977年38号 第四章「阿修羅」】 複製画ボード スター・レッド抜粋 複製画ボード スター・レッド抜粋
152-155	百億の星と千億の夜	【『週刊少年チャンピオン』(秋田書店) 1977年41号 第七章「ゴルゴダの奇跡」】
156-158		【『週刊少年チャンピオン』(秋田書店) 1977年50号 第十六章「アスタータ50」】
159-160		【『週刊少年チャンピオン』(秋田書店) 1977年51号 第十七章「幻の軍勢」】
161-162		【『週刊少年チャンピオン』(秋田書店) 1978年2号 終章「百億の星と千億の夜」】
163-164		【『週刊少年チャンピオン』(秋田書店) 1977年34号 第1回 扉絵】
165		【未発表作】
166		【『週刊少年チャンピオン』(秋田書店) 1977年36号 第二章「悉達多」 扉絵】
167		【『週刊少年チャンピオン』(秋田書店) 1977年37号 第三章「梵天 帝釈天」 扉絵】
168-169		【『萩尾望都 自選複製原画集』チェリッシュ・ギャラリー(白泉社) 1978年9月25日発行】
170		【『かがり火』『金銀砂岸』(新書館) 1980年8月20日発行】
171		【『阿修羅』初出:『金銀砂岸』(新書館) 1980年8月20日発行】
172		【萩尾望都作品集Ⅱ期第1巻『百億の星と千億の夜』1巻(小学館) 1985年4月20日発行 カバー】
173		【『百億の星と千億の夜』(秋田書店) 1984年9月5日発行 カバー】
174		【萩尾望都作品集Ⅱ期第2巻『百億の星と千億の夜』2巻(小学館) 1985年6月20日発行 カバー】
175		【イメージアルバム『百億の星と千億の夜』LPレコード付属ポスター用イラスト(日本コロムビア) 1984年2月発売】
176		【『百億の星と千億の夜』より「阿修羅」 習作イラスト 初収録:『萩尾望都 自選複製原画集』チェリッシュギャラリー(白泉社) 1978年9月25日発行】
177		【『百億の星と千億の夜』ネーム】
178	〈ブラッドベリ短編〉みずうみ	【『週刊マーガレット』(集英社) 1977年9号 扉絵】
179	〈ブラッドベリ短編〉びっくり箱	【『週刊マーガレット』(集英社) 1978年26号 扉絵】
180-181		【『週刊マーガレット』(集英社) 1978年26号】
182	〈ブラッドベリ短編〉集會	【『週刊マーガレット』(集英社) 1978年32号 扉絵】
183		【『週刊マーガレット』(集英社) 1978年32号】
184		【萩尾望都作品集Ⅱ期第6巻『ウは宇宙船のウ』(小学館) 1985年12月20日発行 カバー】
185	〈ブラッドベリ短編〉ウは宇宙船のウ	【『週刊マーガレット』(集英社) 1978年14号 扉絵】
186-193	〈ブラッドベリ短編〉霧笛	【『週刊マーガレット』(集英社) 1977年9号】
194-195	〈ブラッドベリ短編〉ぼくの地下室へおいで	【『週刊マーガレット』(集英社) 1978年18号】
196	〈ハヤカワ SF 文庫カバーイラスト〉兇天使	【野阿梓・著『兇天使』下巻(ハヤカワ文庫 JA222) 1986年6月30日発行 カバー】
197		【野阿梓・著『兇天使』下巻(ハヤカワ文庫 JA222) 1986年6月30日発行 口絵】
198-202		【野阿梓・著『兇天使』上巻(ハヤカワ文庫 JA221) 1986年6月30日発行 挿絵】
203-208		【野阿梓・著『兇天使』下巻(ハヤカワ文庫 JA221) 1986年6月30日発行 挿絵】
209-211	〈ハヤカワ SF 文庫カバーイラスト〉花狩人	【野阿梓・作「花狩人」『S-F マガジン』(早川書房) 1979年8月号 挿絵】
212	〈ハヤカワ SF 文庫カバーイラスト〉魔王子シリーズ	【ジャック・ヴァンス著『復讐の序章』(魔王子シリーズ 1 ハヤカワ文庫 SF631) 1985年9月30日発行 カバー】
213		【ジャック・ヴァンス著『殺戮機械』(魔王子シリーズ 2 ハヤカワ文庫 SF635) 1985年10月31日発行 カバー】
214		【ジャック・ヴァンス著『愛の宮殿』(魔王子シリーズ 3 ハヤカワ文庫 SF641) 1985年11月30日発行 カバー】
215		【ジャック・ヴァンス著『闇に待つ顔』(魔王子シリーズ 4 ハヤカワ文庫 SF657) 1986年3月15日発行 カバー】
216		【ジャック・ヴァンス著『夢幻の書』(魔王子シリーズ 5 ハヤカワ文庫 SF669) 1986年6月30日発行 カバー】
217	▼ガンダム	【佐藤茂・著『▼ガンダム 1 初動』(角川スニーカー文庫 109) 1999年10月1日発行 カバー(©)創通・サンライズ】
218		【佐藤茂・著『▼ガンダム 2 騒乱』(角川スニーカー文庫 109-2) 1999年11月1日発行 カバー(©)創通・サンライズ】
219		【佐藤茂・著『▼ガンダム 3 百年の恋』(角川スニーカー文庫 109-3) 2000年1月1日発行 カバー(©)創通・サンライズ】
220		【佐藤茂・著『▼ガンダム 4 火と月』(角川スニーカー文庫 109-4) 2000年3月1日発行 カバー(©)創通・サンライズ】
221		【佐藤茂・著『▼ガンダム 5 月光蝶』(角川スニーカー文庫 109-5) 2000年4月1日発行 カバー(©)創通・サンライズ】
222	〈ハヤカワ SF 文庫カバーイラスト〉惑乱の公子	【タニス・リー著『惑乱の公子』(ハヤカワ文庫 FT89) 1986年7月15日発行 カバー】
223	〈ハヤカワ SF 文庫カバーイラスト〉光の王	【ロジャー・ゼラズニイ著『光の王』(ハヤカワ文庫 SF625) 1985年8月31日発行 カバー】
224	〈ハヤカワ SF 文庫カバーイラスト〉薔薇の荘園	【トマス・バーネット・スワン著『薔薇の荘園』(ハヤカワ文庫 SF267) 1977年11月15日発行 カバー】
225	魔道師の杖	【ウィクター・ケラハー著『魔道師の杖』(教養文庫 1293) 1989年4月30日発行 カバー】
226	〈ハヤカワ SF 文庫カバーイラスト〉派遣軍還る	【光瀬龍・著『S-F マガジン版 派遣軍還る』(ハヤカワ文庫 JA208) 1985年10月31日発行 カバー】
227	あいつらの悲歌	【光瀬龍・著『あいつらの悲歌』(光文社文庫) 1987年1月20日発行 カバー】

No.	名称	時代 (掲載誌)
228	猫柳ヨウレの冒険	【光瀬龍・著『宇宙航路』猫柳ヨウレの冒険(徳間文庫 204) 1984年1月15日発行 カバー】
229	〈ハヤカワ SF 文庫カバーイラスト〉闇の公子	【タニス・リー著『闇の公子』(ハヤカワ文庫 FT45) 1982年10月31日発行 カバー】
230	〈ハヤカワ SF 文庫カバーイラスト〉妖精の王国	【ディ・キャンブ&ブラット著『妖精の王国』(ハヤカワ文庫 FT 20) 1980年6月15日発行 カバー】
231	〈ハヤカワ SF 文庫カバーイラスト〉ドラゴンになった青年	【ゴードン・R. デイクソン著『ドラゴンになった青年』(ハヤカワ文庫 FT10) 1979年8月15日発行 カバー】
232	精霊の森	【「精霊の森」初出: 荒俣宏 責任編集『WONDER X シリーズ 2 かぎりなく死に近い生—命の思想、死の思想』(角川書店) 1994年8月1日発行】
	参考展示	複製画ボード マージナル 第7話抜粋
	参考展示	複製画ボード マージナル 第14話抜粋
	参考展示	複製画ボード 銀の三角 第1話抜粋
233	星の光と伝説	【『星の光と伝説』イメージアルバム(東宝レコード) 1982年】
234	大予言と奇蹟ファンタジイ	【ベーパームーン「大予言と奇蹟ファンタジイ」(新書館) 1980年4月10日】
235	ピアリス	【木下司・作「ピアリス」『The Sneaker Special』(角川書店) 1994年春号 第1回「ユーロ シモン修道院」口絵】
236		【木下司・作「ピアリス」『The Sneaker Special』(角川書店) 1994年夏号 第2回「ピアリス『9×7』」口絵】
237		【木下司・作「ピアリス」『The Sneaker Special』(角川書店) 1994年秋号 第3回「ユーロ カルカーシュの予言者」口絵】
238		【木下司・作「ピアリス」『The Sneaker Special』(角川書店) 1995年冬号 第4回「ピアリス 青いリンゴの木」口絵】
239-245		【木下司・作「ピアリス」『The Sneaker Special』(角川書店) 1994年春号 第1回「ユーロ シモン修道院」挿絵】
246-252		【木下司・作「ピアリス」『The Sneaker Special』(角川書店) 1994年夏号 第2回「ピアリス『9×7』」挿絵】
253-259		【木下司・作「ピアリス」『The Sneaker Special』(角川書店) 1994年秋号 第3回「ユーロ カルカーシュの予言者」挿絵】
260-266		【木下司・作「ピアリス」『The Sneaker Special』(角川書店) 1995年冬号 第4回「ピアリス 青いリンゴの木」挿絵】
	(CHAPTER III 1980s・1990s SF 中期)	
267	銀の三角	【『銀の三角』(早川書房) 1982年8月15日発行 口絵】
268-269		【『S-F マガジン』(早川書房) 1981年2月号 第1部-3「ミューバントーの歌」】
270-276		【『S-F マガジン』(早川書房) 1982年6月号 第3部-7「夢狩りのタブ」】
277-278		【『銀の三角』(上製本/早川書房) 1982年8月15日発行 口絵】
279		【『銀の三角』(上製本/早川書房) 1982年8月15日発行 カバー】
280		【萩尾望都作品集Ⅱ 期第10巻『銀の三角』(小学館) 1985年8月20日発行 カバー】
281	A-A'	【『プリンセス』(秋田書店) 1981年8月号 扉絵】
282-285		【『プリンセス』(秋田書店) 1981年8月号】
286	4/4 カトルカース	【『プチフラワー』(小学館) 1983年11月号 扉絵】
287-292		【『プチフラワー』(小学館) 1983年11月号】
293	X+Y	【『プチフラワー』(小学館) 1984年8月号 後編 扉絵】
294		【『プチフラワー』(小学館) 1984年7月号 前編 扉絵】
295-299		【『プチフラワー』(小学館) 1984年7月号 前編】
300	緑柱石(ベリル)	【『別冊アニメージュ リュウ』(徳間書店) 1982年7月号 口絵】
301	モザイク・ラセン	【『プリンセス』(秋田書店) 1982年9月号 第1話 扉絵】
302		【『プリンセス』(秋田書店) 1982年10月号 第2話 扉絵】
303		【『プリンセス』(秋田書店) 1982年12月号 最終話 扉絵】
304	ハーバル・ビューティー	【『ぶ〜け』(集英社) 1984年10月号】
305	あぶない丘の家	【『ファンタジーDX』(角川書店) 1992年夏の号「あぶないアズにいちちゃん その1」扉絵】
306		【『ファンタジーDX』(角川書店) 1994年6月号「あぶない未来少年 その1」扉絵】
307		【『ファンタジーDX』(角川書店) 1994年8月号「あぶない未来少年 その3」扉絵】
308		【『ファンタジーDX』(角川書店) 1994年10月号「あぶない未来少年 最終話」扉絵】
	参考展示	複製画ボード 銀の三角 第4話抜粋
	参考展示	複製画ボード 銀の三角 第6話抜粋
309	マージナル	【『マージナル』第3巻(小学館) 1987年4月20日発行 カバー】
310		【『マージナル』第4巻(小学館) 1987年10月20日発行 カバー】
311		【『マージナル』第2巻(小学館) 1986年2月20日発行 カバー】
312		【『マージナル』第1巻(小学館) 1986年8月10日発行 カバー】
313		【『マージナル』第5巻(小学館) 1987年11月20日発行 カバー】
314		【『プチフラワー』(小学館) 1985年9月号 第1話「迷い子」扉絵】
315		【『プチフラワー』(小学館) 1985年10月号 第2話「アシジンの岩屋」扉絵】
316		【『プチフラワー』(小学館) 1985年11月号 第3話「二九九九—現在」扉絵】
317		【『プチフラワー』(小学館) 1985年8月号「プロローグ」1 ページ目】
318-319		【『プチフラワー』(小学館) 1985年11月号 第3話「二九九九—現在」】
320		【『プチフラワー』(小学館) 1986年4月号 第7話「双頭」扉絵】
321		【『プチフラワー』(小学館) 1986年5月号 第8話「レクイエム(旧題・意思)」扉絵】
322		【『プチフラワー』(小学館) 1986年9月号 第12話「夢の子供 No.151」扉絵】
323		【『プチフラワー』(小学館) 1985年12月号 第4話「漆黒の森」扉絵】
324-325		【『プチフラワー』(小学館) 1986年3月号 第6話「花石榴の村」】
326		【『プチフラワー』(小学館) 1986年6月号 第9話「イワンの研究について」扉絵】
327		【『プチフラワー』(小学館) 1987年5月号 第18話「最後の晚餐」扉絵】
328		【『プチフラワー』(小学館) 1987年1月号 第15話「狩人」扉絵】
329		【『プチフラワー』(小学館) 1987年2月号 第16話「えもの」扉絵】
330		【『プチフラワー』(小学館) 1987年10月号 第23話エピソード「ホウリ・ナイト」扉絵】
331		【『プチフラワー』(小学館) 1987年7月号 第20話「暗示」扉絵】
332		【『プチフラワー』(小学館) 1987年6月号 第19話「ハレルヤ(旧題・カナリヤ)」扉絵】
333		【『プチフラワー』(小学館) 1987年9月号 第22話「境界の果て」扉絵】
334		【『プチフラワー』(小学館) 1987年9月号 第22話「境界の果て」】
335		【『プチフラワー』(小学館) 1987年9月号 第22話「境界の果て」】

No.	名称	時代 (掲載誌)
336	海のアリア	【『ASUKA』(角川書店) 1990年4月号 第5話「プレイヤー」 扉絵】
337		【『ASUKA』(角川書店) 1991年4月号 第16話「ナイト・メアの夜」 扉絵】
338		【『ASUKA』(角川書店) 1989年8月号 第1話「嵐(テンベスト)」 口絵】
339		【『ASUKA』(角川書店) 1990年4月号 第5話「プレイヤー」】
340		【『ASUKA』(角川書店) 1990年8月号 第9話「ひとさらい」】
341		【『ASUKA』(角川書店) 1990年6月号 第7話「地球征服友の会」】
342		【『ASUKA』(角川書店) 1991年3月号 第15話「ダリダン殺し？」】
343		【『ASUKA』(角川書店) 1991年2月号 第14話「封印」】
344-347		【『ASUKA』(角川書店) 1991年5月号 最終話「レクイエム」】
348-355	いたずららくがき	【『マンガ奇想天外 SF マンガ大全集』 1980年第2号】
356-358	西風のことば	【『歴史ロマン DX』(角川書店) 1995年冬の号 口絵】
	(CHAPTER IV 2000s SF 近作)	
359	バルバラ異界	【『フラワーズ』(小学館) 2003年2月号 その4「彼の名は絶望 彼女の名は希望」】
360		【『フラワーズ』(小学館) 2003年11月号 その10「お父さんお帰りにさい」 扉絵】
361		【『フラワーズ』(小学館) 2002年8月号 予告カット】
362		【『フラワーズ』(小学館) 2002年9月号 その1「世界の中心であるわたし」 扉絵】
363		【『フラワーズ』(小学館) 2003年9月号 その9「火星の海で泳いでいた」】
364-369		【『フラワーズ』(小学館) 2004年3月号 その13「長い長い遺伝子の物語」】
370		【『フラワーズ』(小学館) 2004年6月号 その15「遠軽への遠い道」】
371		【『フラワーズ』(小学館) 2004年6月号 その14「大人にだってわからない」】
372	〈ここではないどこか〉宇宙船運転免許証	【『フラワーズ』(小学館) 2006年5月号 扉絵】
373		【『フラワーズ』(小学館) 2006年5月号】
374-377	〈ここではないどこか〉ゆれる世界	【『フラワーズ』(小学館) 2006年7月号】
378-379	〈ここではないどこか〉なのはな	【『フラワーズ』(小学館) 2011年8月号】
380-381	〈ここではないどこか〉ブルート夫人	【『フラワーズ』(小学館) 2011年10月号】
382-383	〈ここではないどこか〉雨の夜-ウラノス伯爵	【『フラワーズ』(小学館) 2012年2月号】
384-386	〈ここではないどこか〉サロメ 20XX	【『フラワーズ』(小学館) 2012年3月号】
387	トレマリスの歌術師	【ケイト・コンスタブル著、浅羽英子・小竹由加里訳『トレマリスの歌術師 1 万歌の歌い手』(ポプラ社) 2008年6月16日発行 カバー】
388		【ケイト・コンスタブル著、浅羽英子・小竹由加里訳『トレマリスの歌術師 2 水のない海』(ポプラ社) 2008年9月25日発行 カバー】
389		【ケイト・コンスタブル著、浅羽英子・小竹由加里訳『トレマリスの歌術師 3 第十の力』(ポプラ社) 2009年1月30日発行 カバー】
390	AWAY	【『フラワーズ』(小学館) 2012年3月号】
391		【『フラワーズ』(小学館) 2013年6月号「4月1日(前編)」 扉絵】
392		【『フラワーズ』(小学館) 2013年12月号 予告カット】
393-395		【『フラワーズ』(小学館) 2013年6月号「4月1日(前編)」】
396		【『フラワーズ』(小学館) 2014年4月号「4月1日(後編)」 扉絵】
397		【『フラワーズ』(小学館) 2014年4月号「3月21日(前編)」 扉絵】
398		【『フラワーズ』(小学館) 2015年3月号「4月3日 悪い宇宙人とママ(前編)」】
	参考展示	その他書籍など関連資料 54点

## 没後 50 年 山口薫先生からきみたちへ

高崎市箕郷町出身の画家、山口薫の没後 50 年を記念し、高崎市美術館や群馬県立近代美術館所蔵作品を中心とする油彩、水彩、素描、リトグラフ 81 点や作家資料、郷里の仲間や母校、東京藝術大学教え子ら 9 名 19 点の作品、出身校である高崎市立箕輪小学校 6 年生児童 100 名とのコラボ展示によって画家であり教師、そして詩人として改めて山口薫を振り返った。「1 郷里 1950 年まで」「2 家族 1959 年まで」「3 歴史 1968 年まで」の 3 章で山口作品を制作年順に辿りつつ、コラムを交えた「デッサン」「抽象」「静物」「動物たち」など主題ごとの展示、仲間や教え子らによる「4 山口薫先生からきみたちへ」、そして群馬県在住アーティスト、温井大介の指導、インスタレーション展示による箕輪小学校との連携授業「時をこえて わたしたちの箕郷」によって、単なる回顧展として作品を振り返るのではなく、画家、教師、詩人としての素顔を紹介し、地域の大先輩である「人間・山口薫」の生涯を振り返った。多数開催した関連事業や、メッセージコーナー設置により、山口の過去・現在・未来を来館者と共有した。

**会 期** 2018 年 9 月 23 日(日・祝)～ 12 月 2 日(日) 61 日間

**主催会場** 高崎市美術館(旧井上房一郎邸)

**関連事業** 高崎市立箕輪小学校連携授業「時をこえて わたしたちの箕郷」講師:温井大介(アーティスト)、狩野英子(画家)、担当:谷津淑恵、住田常生(当館学芸員)

6 年生写生授業:5/25(金)午前 8 時 50 分～午後 2 時 45 分 場所:高崎市立箕輪小学校、箕輪城址

6 年生鑑賞授業:9/26(水)、5 年生鑑賞授業:11/1(木)午前 9 時 30 分～午後 2 時 30 分

スライドトーク「画家・山口薫ー山口薫が生まれるとき」講師:黒田亮子(美術史家) 10/7(日)午後 2 時～4 時 会場:高崎市南公民館

対話鑑賞イベント「金曜夜はおしゃべりミュージアム」講師:対話型アート鑑賞ラボ 10/12、11/16(金)午後 6 時 30 分～7 時 30 分

学芸員によるギャラリートーク 担当:住田常生 10/13・27、11/10、12/1(土)午後 2 時～3 時

ワークショップ「かおるさんへ詩と絵の便り」担当:住田常生 10/14(日)午後 1 時～3 時 会場:高崎市南公民館

詩の朗読&トーク「詩人・山口薫ー絵のてまえ、絵のうしろ」講師:関口将夫(詩人・画家) 10/21(日)午後 2 時～3 時

著名人ギャラリートーク「先生・山口薫ーやるったら、やらなきゃいけないよ」講師:大津英敏(画家) 11/18(日)午後 2 時～4 時

**関連記事** 「山口薫教室の思い出」大津英敏(新美術新聞 10 月 21 日)

**入 場 者** 5,307 名

**印 刷 物** 『没後 50 年 山口薫先生からきみたちへ』リーフレット

山口薫愛用パレットシール(メッセージシート)

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	所蔵
〈第 1 章 郷里 1950 年まで〉(エントランス)						
1	山口薫	出発点ヨリ帰着点へ	1922	インク・紙	9.8×13.9×0.4	個人
2	山口薫	山間	1922	インク・紙	9.6×14.7×1.2	個人
3	山口薫	カゴノ小鳥第二號	1922	インク・紙	7.7×11.3×0.2	個人
4	山口薫	自画像	1930	油彩・キャンバス	60.9×45.7	東京藝術大学
来館者から山口薫先生へのメッセージコーナー						
	資料	アトリエに残されたもの				高崎市
	資料	愛用の画材道具など				個人
	資料	愛用のパレット			21.5×17.0	団体
「時をこえて」山口薫先生&箕輪小学校 6 年生&温井大介によるインスタレーション(第 1 展示室)						
コラム 1 郷里(第 1 展示室)						
5	山口薫	箕輪城跡	1936	油彩・キャンバス	37.8×45.2	個人
コラム 2 デッサン(2 階ブリッジ/第 2 展示室)						
6	山口薫	無題(顔(淡))	1926-27	鉛筆・紙	26.0×22.0	高崎市美術館
7	山口薫	無題(静物)	1929	クレパス・紙	19.7×27.3	高崎市美術館
8	山口薫	無題(顔(濃))	1930-33	鉛筆・紙	31.0×22.2	高崎市美術館
9	山口薫	無題(カーニバル)	1930-33	鉛筆・紙	24.5×31.5	高崎市美術館
10	山口薫	無題(公園の彫刻)	1930-33	鉛筆・紙	30.0×21.5	高崎市美術館
11	山口薫	公園	不詳	鉛筆・紙	20.8×29.9	個人
12	山口薫	無題(コスチューム(黒))	1930-33	鉛筆・紙	30.5×23.0	高崎市美術館
13	山口薫	無題(コスチューム(白))	1930-33	鉛筆・紙	31.0×22.2	高崎市美術館
14	山口薫	無題(花と婦人)	1930-33	鉛筆・紙	31.0×22.0	高崎市美術館
15	山口薫	無題(裸婦(イス横向き))	1930-33	鉛筆・紙	31.0×22.0	高崎市美術館
16	山口薫	無題(裸婦(淡))	1934-35	鉛筆・紙	35.5×25.0	高崎市美術館
17	山口薫	無題(裸婦(二人))	1930-33	鉛筆・紙	22.5×30.5	高崎市美術館
18	山口薫	無題(裸婦(右腕))	1930-33	鉛筆・紙	31.0×22.5	高崎市美術館
肖像画コーナー(第 2 展示室)						
19	山口薫	婦人像	1925	油彩・板	33.0×23.8	高崎市美術館
20	山口薫	少女の顔	1926	油彩・キャンバス	33.0×23.8	個人
21	山口薫	山口彦太郎像	1937	油彩・キャンバス	45.5×37.9	個人
22	山口薫	山口佐登像	1944	油彩・キャンバス	45.3×38.0	個人
23	山口薫	加藤セン像	1940 年頃	油彩・板	33.3×24.3	加藤寿一氏
24	山口薫	加藤平吉像	1940 年頃	油彩・板	33.2×23.9	加藤寿一氏
〈第 1 章 郷里 1950 年まで〉(第 2 展示室)						
25	山口薫	卓上静物	1926	油彩・キャンバス	72.7×90.9	高崎市

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	所蔵
26	山口薫	無題(金魚)	1926-35	水彩・紙	34.0×25.5	高崎市美術館
27	山口薫	テニス風景	1920年代	油彩・キャンバス	72.6×90.0	ギャラリーあーとかん
28	山口薫	巴里郊外「クワイ・サンヂェルマン風景」	1931	油彩・キャンバス	59.0×71.0	高崎市美術館
29	山口薫	無題(裸婦(うづぶせ))	1930-33	鉛筆・紙	21.5×29.5	高崎市美術館
30	山口薫	緑衣横臥婦人像	1931年頃	油彩・キャンバス	73.2×92.0	群馬県立近代美術館
コラム3 抽象(第2展示室)						
31	山口薫	赤城の裾野	1935	油彩・キャンバス	65.3×80.3	群馬県立近代美術館
32	山口薫	地の星「娘と花」	1937-47	油彩・キャンバス	38.0×45.6	群馬県立近代美術館
33	山口薫	紐	1939	油彩・キャンバス	100.0×80.0	群馬県立近代美術館
34	山口薫	水	1941	油彩・キャンバス	79.8×99.8	群馬県立近代美術館
35	山口薫	練習機飛ぶ	1944	油彩・キャンバス	38.5×45.5	個人
36	山口薫	葬送	1944	油彩・キャンバス	80.3×100.0	高崎市美術館寄託
37	山口薫	クリスタル壺	1948	油彩・キャンバス	99.5×80.2	群馬県立近代美術館
38	山口薫	野性の風景	1948	油彩・キャンバス	53.3×65.8	高崎市
39	山口薫	風景	不詳	水彩・紙	30.0×39.5	個人
40	山口薫	雪の運河	不詳	油彩・キャンバス	31.8×40.8	個人
コラム4 静物(第3展示室)						
41	山口薫	リンゴとじゃがいも	1944	油彩・キャンバス	38.3×45.4	個人
42	山口薫	りんご之図	1948	油彩・キャンバス	22.0×49.0	高崎市美術館
43	山口薫	桃	1935-1948年頃	油彩・キャンバス	23.7×33.0	個人
44	山口薫	港	1949	油彩・キャンバス	37.9×45.5	団体
〈第2章 家族 1959年まで〉(第3展示室)						
45	山口薫	花子誕生	1951	油彩・キャンバス	100.0×80.0	群馬県立近代美術館
46	山口薫	牛の頭	1954	油彩・キャンバス	100.0×80.3	高崎市美術館
47	山口薫	ノートルダム	1954	油彩・キャンバス	99.5×90.8	群馬県立近代美術館
48	山口薫	林の幻影	1953	油彩・キャンバス	130.2×162.3	群馬県立近代美術館
49	山口薫	孤独者のすまい	1955	油彩・キャンバス	130.3×162.3	群馬県立近代美術館
50	山口薫	歳月の記録	1956	油彩・キャンバス	100.0×80.3	群馬県立近代美術館
51	山口薫	緑の花嫁	1956	油彩・キャンバス	44.5×37.3	高崎市美術館
52	山口薫	朝・昼・晩	1955	リトグラフ・紙	36.8×54.5	高崎市美術館
53	山口薫	「朝・昼・晩」壁画下絵 朝	1954	水彩・鉛筆・紙	36.4×26.2	群馬県立近代美術館
54	山口薫	「朝・昼・晩」壁画下絵 昼	1954	水彩・コラージュ・紙	22.8×23.0	群馬県立近代美術館
55	山口薫	「朝・昼・晩」壁画下絵 晩	1954	水彩・鉛筆・紙	33.5×26.2	群馬県立近代美術館
56	山口薫	矢羽根	1958	油彩・キャンバス	46.0×53.0	高崎市美術館
57	山口薫	矢羽根飛ぶ	1959	油彩・キャンバス	130.5×161.8	群馬県立近代美術館
58	山口薫	観音の立つ山	1959	油彩・キャンバス	31.8×40.9	高崎市美術館
コラム5 動物たち(3階ブリッジ)						
59	山口薫	つつじとクマ	1960年代	パステル・鉛筆・紙	15.3×20.5	個人
60	山口薫	クマ	1960年代	鉛筆・紙	12.5×18.0	個人
61	山口薫	靴下より黒い猫	1960年代	鉛筆・紙	10.8×16.0	個人
62	山口薫	靴下より	1960年代	鉛筆・紙	10.8×16.0	個人
63	山口薫	ユウロップ	1961	油彩・キャンバス	45.5×52.8	高崎市美術館
64	山口薫	甲斐虎のクマ	1961	油彩・キャンバス	73.0×61.0	団体
65	山口薫	竹林とクマと娘	1962	墨・水彩・パステル・紙	36.0×44.0	柳澤佳雄氏
〈第3章 歴史 1968年まで〉(第4展示室)						
66	山口薫	紙箱と真田紐	1960	油彩・キャンバス	65.2×53.0	(公財)大川美術館
67	山口薫	サラサラ粉雪ふる	1960	油彩・キャンバス	130.3×162.0	群馬県立近代美術館
68	山口薫	木の幹と人	1961	油彩・キャンバス	100.0×80.3	団体
69	山口薫	庭のカケヒと水車と鹿追	1960-61年頃	サインペン・紙	35.5×27.0	島村春江氏
70	山口薫	山口農園	1960-61年頃	墨・紙	35.0×27.5	島村春江氏
71	山口薫	庭	不詳	水彩・パステル・紙	29.8×43.0	個人
72	山口薫	蔭のトウ	不詳	水彩・鉛筆・紙	25.0×30.8	個人
73	山口薫	星一つ よるの星	1960年代	水彩・紙	25.0×31.5	前島芳隆氏
74	山口薫	ある都	1963	油彩・キャンバス	80.2×99.8	群馬県立近代美術館
75	山口薫	沼のある牧場	1964	油彩・キャンバス	105.6×255.5	アーツ前橋
76	山口薫	水田を飛ぶカーチス式軽飛行機	1964	油彩・キャンバス	130.5×162.0	群馬県立近代美術館
77	山口薫	翼の影	1964	油彩・キャンバス	37.7×45.2	個人
78	山口薫	しのぶ鐘	1967	油彩・キャンバス	91.0×72.5	群馬県立近代美術館
79	山口薫	金環色(蝸)の若駒	1968	油彩・キャンバス	100.0×80.5	群馬県立近代美術館
80	山口薫	若い月の踊り	1968	油彩・キャンバス	100.0×80.2	群馬県立近代美術館
81	山口薫	月と馬	不詳	リトグラフ・紙	36.0×35.5	個人
〈第4章 山口薫先生からきみたちへ〉(第5展示室)						
82	坂和一郎	前橋風景	1932	油彩・キャンバス	73.0×60.5	個人
	資料	山口薫 油彩スケッチ	1935年頃	油彩・板		個人
83	松本忠義	はだか	1935	油彩・キャンバス	91.3×73.0	高崎市美術館
84	松本忠義	榛名風景(箕輪)	1936年頃	油彩・キャンバス	31.8×41.0	高崎市美術館
85	松本忠義	秋の立像	1949	油彩・キャンバス	91.5×73.5	高崎市美術館
86	豊田一男	自画像	不詳	油彩・板	45.0×38.0	高崎市美術館
87	豊田一男	トーチカと小ハイ	1942	油彩・キャンバス	80.0×99.5	高崎市美術館



No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	所蔵
88	富澤秀文	像	1964	油彩・キャンバス	169.0×136.0	個人
89	富澤秀文	赤城晩秋	2018	油彩・キャンバス	45.5×53.0	個人
90	竹内俊雄	裸婦習作(藝大山口教室課題制作)	1965	油彩・キャンバス	90.9×72.7	個人
91	竹内俊雄	小品より		油彩・キャンバス		個人
92	大津英敏	遠いうみ	1974	油彩・キャンバス	162.1×130.3	団体
93	大津英敏	江の島	1990	油彩・キャンバス	72.7×60.6	団体
94	島村達彦	セレナーデ	1960年代	油彩・キャンバス	80.3×65.2	島村春江氏
95	島村達彦	白(早春)	1980年代	油彩・キャンバス	65.2×53.0	島村春江氏
96	有元利夫	私にとってのピエロ・デラ・フランチェスカ 2	1973		53.0×65.2	東京藝術大学
97	有元利夫	私にとってのピエロ・デラ・フランチェスカ 10	1973		53.0×65.2	東京藝術大学
〈第4章 山口薫先生からきみたちへ〉(旧井上房一郎邸)						
98	井川惺亮	石膏デッサン(パジャント)	1963	木炭・紙	61.5×47.0	作家
99	井川惺亮	自画像(卒業制作)	1968	油彩・キャンバス	53.0×45.7	作家
100	井川惺亮	Peiture	2018	アクリル・紙	165.0×54.5	作家

## アナザー・ストーリー 人の数だけ、物語がある。

本展は2018年度コレクション展として、所蔵作品を中心に歴史的背景や個人的なエピソードなど、「もうひとつの物語」を秘めている作品147点を紹介した。人生の激動期を迎え、厳しい表情をみせるマリー・ローランサンの自画像や、最後の妻で、ピカソ没後自殺したジャクリーヌを描くピカソの肖像画、アメリカ中の憧憬を集めながら1962年に36歳という若さで亡くなった女優マリリン・モンローをモデルにしたアンディ・ウォーホルの《マリリン》シリーズなど、優れた芸術家たちによって異なる時空で生み出された作品は、それぞれの人生に交錯するストーリーを振り返ることで、作品をめぐる人間模様が鮮やかに甦る。芸術を時代の横顔として、また人生のエピソードとともに浮かび上がらせることで興味の関口を広げる機会となった。また、群馬県を拠点に活躍する長野順子(銅版画)、大竹夏紀(ろうけつ染め)、村上早<sup>さき</sup>(銅版画)の3人の作品をとおして、彼女たちの心のうちに秘められたユニークな物語を併せて紹介した。

**会 期** 2018年12月15日(土)～2019年1月20日(日) 25日間

**主催会場** 高崎市美術館

**関連事業** アーティストトーク 講師:長野順子(版画家) 12/24(月)、講師:大竹夏紀(ろうけつ染め作家) 1/12(土)各日午後2時～新年!! お楽しみ福袋プレゼント 1/5(土)・6(日)

高崎市立南小学校連携授業「鑑賞授業」担当:柴田純江(当館学芸員) 1/11(金)午前10時45分～12時10分

学芸員によるギャラリートーク 1/19(土)午後2時～ 担当:柴田純江

**関連記事** 「アナザー・ストーリー 人の数だけ、物語がある。」(広報高崎 12月1日)

「文化紀行/アナザー・ストーリー ー人の数だけ、物語がある。ー」(朝日ぐんま 12月28日)

**入 場 者** 2,654名

**印 刷 物** 『アナザー・ストーリー 人の数だけ、物語がある。』リーフレット

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
〈物語る絵画たち〉				
1	デイヴィッド・ホックニー	カイザリオンとその美のすべて	1961	エッチング・アクアチント・紙
2	デイヴィッド・ホックニー	鏡よ、鏡よ、壁の上の	1961	エッチング・アクアチント・紙
3	井上長三郎	ドン・キホーテ	1975	油彩・キャンバス
4	松本忠義	シジフォスの石	1997	油彩・キャンバス
5	脇田 和	鳥に話す	1953	油彩・キャンバス
6	佐藤晃一	演劇ポスター プンナよ、木からおいてこい	1992	オフセット・紙
7	佐藤晃一	演劇ポスター 朱雀家の滅亡	1987	オフセット・紙
8	佐藤晃一	ミュージカルポスター とつてもゴースト(再演)	1990	オフセット・紙
9	佐藤晃一	演劇ポスター 黄昏	1995	オフセット・紙
10	佐藤晃一	映画ポスター 利休	1988	オフセット・紙
11	佐藤晃一	演劇ポスター 亜也子	1988	オフセット・紙
12	佐藤晃一	ミュージカルポスター シャボン玉とんだ 宇宙(ソラ)までとんだ	1989	オフセット・紙
13	佐藤晃一	映画ポスター 豪姫	1991	オフセット・紙
14	バプロ・ピカソ	『知られざる傑作』より 彫刻に向かう彫刻家と着衣のモデルと頭部	1931年刊(1927)	エッチング・紙
15	バプロ・ピカソ	『知られざる傑作』より イーゼルを見る2人のモデルと画家	1931年刊(1927)	エッチング・紙
16	バプロ・ピカソ	『知られざる傑作』より 牡牛と馬	1931年刊(1927)	エッチング・紙
17	バプロ・ピカソ	『知られざる傑作』より 画家と編み物をするモデル	1931年刊(1927)	エッチング・紙
18	バプロ・ピカソ	『知られざる傑作』より 彫刻と彫刻家	1931年刊(1927)	エッチング・紙
19	バプロ・ピカソ	『知られざる傑作』より 着衣のモデルとイーゼルの前の画家	1931年刊(1927)	エッチング・紙
20	バプロ・ピカソ	『知られざる傑作』より スードのモデルと筆を拾う画家	1931年刊(1927)	エッチング・紙
21	バプロ・ピカソ	『知られざる傑作』より スードのモデルと制作中の画家	1931年刊(1927)	エッチング・紙
22	バプロ・ピカソ	『知られざる傑作』より 立っている3人の裸婦と頭部のスケッチ	1931年刊(1927)	エッチング・紙
23	バプロ・ピカソ	『知られざる傑作』より 馬と牡牛のスケッチにかこまれた座婦と人	1931年刊(1927)	エッチング・紙
24	バプロ・ピカソ	『知られざる傑作』より 絵の前の画家	1931年刊(1927)	エッチング・紙
25	バプロ・ピカソ	『知られざる傑作』より スードのモデルとイーゼルの前にいる画家	1931年刊(1927)	エッチング・紙
26	バプロ・ピカソ	『知られざる傑作』より 扉絵	1931年刊(1927)	エッチング・紙
〈人生の中の顔〉				
27	ベン・シャーン	オノラブル パーク・コ克蘭	1930年代	テンペラ・アカデミーボード
28	福井良之助	横顔	1962	ミメオグラフ・紙
29	福井良之助	少女	1950年代	ミメオグラフ・紙
30	オーギュスト・ロダン	蛇と少女	1885	ブロンズ
31	マリー・ローランサン	扇を持つ若い女	1913	水彩・紙
32	バプロ・ピカソ	首飾りをつけたジャクリーヌの肖像	1959	リノカット・紙
33	アンディ・ウォーホル	マリリン・モンロー(マリリン)	1967	シルクスクリーン・紙
34	アンディ・ウォーホル	マリリン・モンロー(マリリン)	1967	シルクスクリーン・紙
35	アンディ・ウォーホル	マリリン・モンロー(マリリン)	1967	シルクスクリーン・紙
36	ロイ・リクテンスタイン	泣く少女	1963	オフセットリトグラフ・紙
37	デイヴィッド・ホックニー	画学生:ピカソ讚	1973	エッチング・ソフトグラウンドエッチング・リフトグラウンドエッチング・紙
38	三岸好太郎	少年道化	1932年頃	油彩・板
39	ジョルジュ・ルオー	『サーカス』より 老いたる道化師	1930年刊	アクアチント・紙
40	ジョルジュ・ルオー	『サーカス』より 踊り子	1930年刊	アクアチント・紙
41	ジョルジュ・ルオー	『サーカス』より 見世物小屋の呼び込み	1930年刊	アクアチント・紙
42	フェルナン・レジェ	『サーカス』より 表紙	1950年刊	リトグラフ・紙

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
43	フェルナン・レジェ	『サーカス』より パレード	1950 年刊	リトグラフ・紙
44	フェルナン・レジェ	『サーカス』より 軽業師たち	1950 年刊	リトグラフ・紙
45	饗嘯	レインボーキス	1968	シルクスクリーン・手彩色・紙・木
46	鶴岡政男	ふたり	1948	油彩・板
47	国吉康雄	母娘	1945	インク・紙
48	三輪途道	おじいのトルソ	2003	檀・漆・泊土
49	三輪途道	おばあのトルソ	2003	檀・漆・泊土
50	坂本友由	カラン	2009	アクリル・キャンバス
51	坂本友由	お庭いじり	2008	アクリル・キャンバス
〈戦争と美術〉				
52-68	ジョルジュ・ブラック	『もしも僕がそこで死んだら』(18 点組より 17 点)	1962 年刊	木版・紙
69	バプロ・ピカソ	フランコの夢と嘘 I	1937	エッチング・アクアチント・紙
70	バプロ・ピカソ	フランコの夢と嘘 II	1937	エッチング・アクアチント・紙
71	宮崎 進	花かざりの女	1976	油彩・キャンバス
72-81	宮崎 進	『トルソ』(28 点組より 10 点)	1974-1992	ミクストメディア
82	豊田一男	招かざる客	1981	油彩・ワックス・キャンバス
83	福沢一郎	群像残欠	1946	油彩・キャンバス
84	浜田知明	初年兵哀歌(歩哨)	1954	エッチング・アクアチント・紙
85	浜田知明	風景	1995	ブロンズ
〈祈りの造形〉				
86	舟越保武	聖セシリア	1984	リトグラフ・紙
87	舟越保武	聖ペロニカ	1978	ブロンズ
88-108	マルク・シャガール	『ポエム』(24 枚組より 21 点)	1968 年刊	木版・紙
〈あの風景の中に〉				
109	中村節也	猫股橋	1924	油彩・キャンバス
110	塚田とほる	都塵 A	1950	油彩・キャンバス
111	町田洋二	白夜のゲイランゲル	1986	油彩・キャンバス
112	藤田嗣治	雪の郊外の風景	1918	油彩・キャンバス
113	木村忠太	オルレアンの教会	1978	油彩・キャンバス
114	牛島憲之	うすれ日(時計塔)	1949	油彩・キャンバス
115	川端 実	進水式	1952	油彩・キャンバス
〈心の中のアナザー・ストーリー〉				
116	長野順子	『2019 年カレンダー原画』表紙 こぶた洋菓子店	2018	エッチング・紙
117	長野順子	『2019 年カレンダー原画』1 月 Galette des Rois	2018	エッチング・紙
118	長野順子	『2019 年カレンダー原画』2 月 Chocolat, Chocolat	2018	エッチング・紙
119	長野順子	『2019 年カレンダー原画』3 月 Easter Eggs	2018	エッチング・紙
120	長野順子	『2019 年カレンダー原画』4 月 Poisson d'Avril	2018	エッチング・紙
121	長野順子	『2019 年カレンダー原画』5 月 Strawberry Tart	2018	エッチング・紙
122	長野順子	『2019 年カレンダー原画』6 月 Wedding Cake	2018	エッチング・紙
123	長野順子	『2019 年カレンダー原画』7 月 Frutti di Bosco	2018	エッチング・紙
124	長野順子	『2019 年カレンダー原画』8 月 Gâteaux de Voyage	2018	エッチング・紙
125	長野順子	『2019 年カレンダー原画』9 月 Tarte Tatin	2018	エッチング・紙
126	長野順子	『2019 年カレンダー原画』10 月 Jack-o'-Lantern	2018	エッチング・紙
127	長野順子	『2019 年カレンダー原画』11 月 Charlotte aux Poires	2018	エッチング・紙
128	長野順子	『2019 年カレンダー原画』12 月 Bûche de Noël	2018	エッチング・紙
129	長野順子	金の羊と華時計	2000	エッチング・アクアチント・紙
130	長野順子	夢遊庭園	2007	エッチング・アクアチント・紙
131	長野順子	おぼろげなる春の夢	2001	エッチング・アクアチント・紙
132	長野順子	夢のまにまに	2006	エッチング・アクアチント・紙
133	長野順子	幻想都市奇譚	2010	エッチング・アクアチント・紙
134	長野順子	夜行遊園地	2014	エッチング・アクアチント・紙
135	長野順子	遊泳都市	2009	エッチング・アクアチント・紙
136	長野順子	理想郷へ	2009	エッチング・アクアチント・紙
137	長野順子	果て無き世界へ	2016	エッチング・アクアチント・紙
138	長野順子	萌出る	2012	エッチング・アクアチント・紙
139	長野順子	森の目覚め	2012	エッチング・アクアチント・紙
140	大竹夏紀	澱	2007	酸性染料・顔料・ろうけつ染め・絹布
141	大竹夏紀	眼帯少女	2008	酸性染料・顔料・ろうけつ染め・絹布
142	大竹夏紀	ピンクロック	2008	酸性染料・顔料・ろうけつ染め・絹布
143	大竹夏紀	イデア	2018	酸性染料・顔料・ろうけつ染め・絹布
144	村上 早	つみ	2018	エッチング・紙
145	村上 早	すてる	2016	エッチング・紙
146	村上 早	カフカ	2014	エッチング・紙
147	村上 早	失われる	2014	エッチング・紙

## モダンデザインが結ぶ暮らしの夢 生活デザインの原点をめぐる5つの可能性

高崎市出身の事業家、井上房一郎生誕120年、井上が高崎に迎えたドイツ人建築家、ブルーノ・タウト没後80年、チェコ出身アメリカ人建築家、アントニン・レーモンド生誕130年などを記念し、東北歴史博物館(宮城)、パナソニック汐留美術館(東京)との巡回展第1会場として、1930年代から1960年代にかけてモダンデザインを夢見た「第1章 ブルーノ・タウトと井上房一郎たち「ミラテス」を中心に」49点、「第2章 アントニン&ノエミ・レーモンド」45点、タウトの指導を受けたデザイナー「第3章 剣持勇の「ジャパニーズ・モダン」」23点、レーモンドの指導を受けた日系アメリカ人木工作家、「第4章 ジョージ・ナカシマと讃岐民具連」24点、剣持やレーモンド、ナカシマと交流した日系アメリカ人アーティスト「第5章 イサム・ノグチの「萬來舎」とあかり」28点の7人、計169点を紹介した。工芸史やデザイン史ではなく、生活史としての文化という視点から、同時代の暮らしによせる夢と、挫折を乗り越える人の強さを、戦争体験を挟んでみつめなおした。14日間の関連事業の他、高崎市立中央図書館とのコラボ企画を開催した。

**会 期** 2019年2月2日(土)～3月31日(日) 49日間

**主催会場** 高崎市美術館(旧井上房一郎邸)

**企画協力** 株式会社キュレイターズ

**関連事業** 竹皮の花かご作り(体験コーナー) 講師:前島美江(西上州竹皮編でんえもん)、当館スタッフ

2/13(水)・22(金)、3/6(水)・15(金)・20(水)・27(水)・29(金) 午後1時～3時 場所:高崎市美術館ラウンジ

学芸員によるギャラリートーク 担当:住田常生(当館学芸員) 2/16、3/2・30(土)午後2時～3時 30分

ワークショップ「紙でつくるタウトの小さなおうち」講師:島山純乃(当館スタッフ) 2/17(日)午後1時～3時 会場:高崎市南公民館

高崎市美術館シリーズ講座てつがく堂+茶話 場所:高崎市南公民館(講座)、旧井上房一郎邸庭園(茶話)

「空間×生活=デザイン ノエミ・レーモンド 美しい暮らしのデザイン」講師:鈴木敏彦(工学院大学教授) 2/24(日)

「竹皮編をきる×さわる×つくる」講師:前島美江 3/24(日)各日午後2時～5時

茶話(コーヒーサービス):藤巻傑、清水康子(軽井沢タリアセン ベイネ美術館)、当館スタッフ

水原冬美さんギャラリートーク「タウト×井上房一郎×父、水原徳言」講師:水原冬美(水原徳言長女)3/16(土)午後2時～3時 30分

会場:高崎市南公民館(参加多数につき美術館より会場変更)

**関連記事** 「文化紀行/モダンデザインが結ぶ暮らしの夢 生活デザインの原点をめぐる5つの可能性」(朝日ぐんま 3月15日)

**入 場 者** 5,526名

**印 刷 物** 『モダンデザインが結ぶ暮らしの夢』図録

No.	作品名	デザイン年(制作年)	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	所蔵
* Nos.4-7,16,53 は高崎会場未陳列。		デザイン年、制作年とも不詳の場合は空欄。			
〈第1章 ブルーノ・タウトと井上房一郎たち「ミラテス」を中心に〉					
井上房一郎					
1	スチール椅子	1932年頃	アルミ鑄造・真鍮・ラッカー	92.7×27.5×35.5	高崎市歴史民俗資料館
2	スチール机	1932年頃	アルミ鑄造・真鍮・ラッカー	60.0×径39.5	高崎市歴史民俗資料館
3	幾何学模様漆塗り盆 ブルーノ・タウト	1932年頃	木・漆	5.0×24.3×24.3	個人
4	テーブルスタンド(ランプ)(再制作)	1933(1984)	青銅鑄造・和紙	50.5×径43.2	仙台市博物館
5	テーブルスタンド(ランプ)(再制作)	1933(1984)	真鍮・アクリル	50.0×径50.5	仙台市博物館
6	テーブルスタンド(ランプ)(再制作)	1933(1984)	白銅・アルミ	49.0×径41.5	仙台市博物館
7	フロアスタンド(ランプ)(再制作)	1933(1984)	真鍮	160.0×径48.0	仙台市博物館
8	「仙台本所に於ける故ブルーノ・タウト氏を偲ぶ座談会」 『工芸ニュース』8巻4号	1939			東北歴史博物館
9	タウトの日記	1933-36			岩波書店(早稲田大学図書館寄託)
10	『画帖-桂離宮』	1934	墨・和紙(1丁、全28図)	各24.0×36.0	岩波書店(早稲田大学図書館寄託)
11	「第二回ミラテス新作展」『工芸ニュース』6巻1号	1937			東北歴史博物館
12	生駒山小都市計画ドローイング	1933	インク・紙	29.0×47.5	ブルーノ・タウトの会
13	資料:立原道造によるタウト講義ノート	1934			無言館
14	ミラテス看板	1935	墨・紙・パネル	45.7×45.4×1.5	群馬県立歴史博物館
15	ミラテス包装紙	1935-43			ブルーノ・タウトの会
16	懐中時計置台	1934	けんぼ梨・クリアラッカー	2.0×7.9×6.8	ブルーノ・タウトの会
17	腕時計置台	1934	水彩・鉛筆・紙	28.5×22.0	ブルーノ・タウトの会
18	竹皮編み裁縫箱	1934	竹皮	8.5×径33.0	群馬県立歴史博物館
19	竹皮編みヤーンバスケット	1934	竹皮	26.8×径19.0	群馬県立歴史博物館
20	卓上ランプデッサン	1935	紙・インク・鉛筆・パステル	23.5×13.0	ブルーノ・タウトの会
21	伸縮自在本立	1934	木・クリアラッカー	16.0×37.0-77.0×21.6	群馬県立歴史博物館
22	パイプ掛け付き煙草入れ	1934	木・ラッカー	32.0×径13.5	ブルーノ・タウトの会
23	パイプ掛け付き煙草入れ青図	1935	紙	56.0×39.0	ブルーノ・タウトの会
24	煙草入れ	1934	木・ラッカー	11.0×径12.5	群馬県立歴史博物館
25	漆塗り筆入れデッサン	1934	トレーシングペーパー・鉛筆	23.6×37.6	群馬県立歴史博物館
26	螺旋彫り煙草入れ	1934	木・黒漆	12.5×径6.8	群馬県立歴史博物館
27	丸形煙草入れ	1934	木・黒漆	10.4×径7.4	ブルーノ・タウトの会
28	漆塗り筆入れ	1935	木・漆	2.5×21.5×8.0	ブルーノ・タウトの会
29	ペーパーナイフ	1935	木・漆	1.0×19.5×1.2	石川正之助コレクション
30	卵殻螺鈿丸形白粉入れ	1935	木・漆・卵殻・貝	6.0×径8.5	群馬県立歴史博物館

No.	作品名	デザイン年(制作年)	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	所蔵
31	卵殻螺鈿角形シガレット入れ	1935	木・漆・卵殻・貝	4.8×9.5×9.5	群馬県立歴史博物館
32	卵殻螺鈿丸形白粉入れ詳細図	1935	インク・紙	28.5×23.8	群馬県立歴史博物館
33	卵殻螺鈿製作指示図	1935	トレーシングペーパー・インク・鉛筆	22.3×49.0	群馬県立歴史博物館
34	置時計	1935	木・木地塗り分け漆	18.0×15.3×7.5	岩波書店(早稲田大学図書館寄託)
35	手鏡(鏡台)	1935	木・漆	25.0×47.7×22.6	ブルーノ・タウトの会
36	椅子(アームチェア)(再制作)	1934(1988)	木・藤ハツ目編	80.0×64.0×53.0	押垂勝久氏
37	レストランチェアとテーブルのスケッチ	1934	鉛筆・紙	33.0×40.0	個人
38	椅子(レストランチェア)(再制作)	1934(再制作年不詳)	木・革・クリアラッカー	82.0×45.0×42.0	水原冬美氏
39	折りたたみ椅子	1935	木	79.6×42.4×60.6	群馬県立歴史博物館
40	テーブル	1935	木	51.0×67.8×51.7	群馬県立歴史博物館
41	肘掛け椅子(旧日向別邸)	1935年頃		73.0×65.0×66.0	熱海市
42	椅子(旧日向別邸)	1935年頃		82.0×40.5×39.5	熱海市
43	テーブル(旧日向別邸)	1935年頃		61.5×径34.1	熱海市
44	行灯型照明具	1935年頃		66.0×径19.7	熱海市
45	行灯型照明具	1935年頃		93.7×径34.7	熱海市
46	マガジンラック(再制作)	1936(再制作年不詳)	竹	47.5×48.0×24.5	群馬県立歴史博物館
47	広巾伊勢崎銘仙生地見本 1-6(ブルーノ・タウトデザイン)	1936	絹		群馬県立近代美術館
48	喫煙セットデッサン	1934	水彩・紙	32.0×24.0	ブルーノ・タウトの会
49	リキュールボトル、グラス、置台	1936	ガラス	21.0×径10.0(ボトル) 5.2×径3.0(グラス)	岩波書店(早稲田大学図書館寄託)
50	リキュールボトル、グラスデッサン	1936	鉛筆・インク・紙	22.1×18.8	群馬県立歴史博物館
51	「ブルーノ・タウト滞日作品『国際建築』12巻12号	1936			ブルーノ・タウトの会
52	ハルビンからの書簡とナイフデザイン指示	1936	インク・紙	22.0×28.5	ブルーノ・タウトの会
53	イスタンブールからの書簡	1938	墨・和紙		ブルーノ・タウトの会
54	参考:上野伊三郎「竹製農民椅子」2脚	1938	竹	67.5×58.0×49.0	生方記念文庫
55	参考:城所右文次「パンプーチェア」	1937	竹	74.0×56.0×70.0	押垂勝久氏
〈第2章 アントニン&ノエミ・レーモンド〉					
56	帝国ホテル現場で働く日本の大工たち	1920	鉛筆・紙	18.0×25.5	北澤興一氏
57	帝国ホテル「孔雀の間」のための装飾習作 (ノエミ・レーモンド)	1920	水彩・鉛筆・トレーシングペーパー	左 19.0×16.0 右 21.0×20.5	北澤興一氏
58	赤星喜介邸内観	1931	写真		北澤興一氏
59	赤星四郎別邸断面図	1931	鉛筆・上質紙	27.0×36.0	レーモンド設計事務所
60	赤星四郎別邸家具図	1931	鉛筆・上質紙	28.0×39.5	レーモンド設計事務所
61	赤星四郎別邸家具図	1931	鉛筆・上質紙	25.0×65.0	レーモンド設計事務所
62	赤星四郎別邸机(デザイン:ノエミ・レーモンド)	1931	丸パイプ・栗材	67.5×121.0×74.0	レーモンド設計事務所
63	赤星四郎別邸椅子2脚(デザイン:ノエミ・レーモンド)	1931	丸パイプ・藤皮編み	72.0×42.5×63.0	レーモンド設計事務所
64	赤星四郎別邸椅子(デザイン:ノエミ・レーモンド)	1931	丸パイプ・藤皮編み	73.0×60.0×68.0	レーモンド設計事務所
65	シュリ・アウロビンド・アシュラム宿舎透視図 (製図:アントニン・レーモンド)	1934-42	水彩・鉛筆・紙	46.0×58.0	北澤興一氏
66	聖ポール教会透視図	1935	鉛筆・トレーシングペーパー	24.5×50.0/24.5×52.0/18.0×18.0	レーモンド設計事務所
67	聖ポール教会外観	1936	写真		レーモンド設計事務所
68	筈町の自邸・事務所配置平面図	1950-52	鉛筆・インク・紙	79.5×54.5	北澤興一氏
69	筈町の自邸・事務所断面詳細図	1950-52	インク・鉛筆・紙	54.5×79.5	レーモンド設計事務所
70	筈町の自邸・事務所寝室兼食堂とテラス	1950-52	写真		北澤興一氏
71	筈町の自邸・寝室	1950-52	写真		北澤興一氏
72	三角椅子2脚	1951	オーク	46.0×39.0×34.0	レーモンド設計事務所
73	新スタジオ南面と東面	1960-62	写真		北澤興一氏
74	新スタジオ平面図案(製図:アントニン・レーモンド)	1960-62	鉛筆・トレーシングペーパー	25.0×38.5	北澤興一氏
75	新スタジオ立面図(製図:アントニン・レーモンド)	1960-62	鉛筆・トレーシングペーパー	57.5×80.3	レーモンド設計事務所
76	新スタジオ縁側と食堂	1960-62	写真		北澤興一氏
77	新スタジオ寝室	1960-62	写真		北澤興一氏
78	新スタジオ断面図	1960-62	鉛筆・トレーシングペーパー	57.5×81.3	レーモンド設計事務所
79	新スタジオ断面図・立面図習作(製図:アントニン・レーモンド)	1960-62	鉛筆・トレーシングペーパー	20.0×71.0	北澤興一氏
80	新スタジオ暖炉断面図案(製図:アントニン・レーモンド)	1960-62	鉛筆・トレーシングペーパー	20.0×32.0	北澤興一氏
81	新スタジオ製図台	1960-62	オーク	天板 3.0×121.2×91.0 脚 73.5×74.0×27.0	北澤興一氏
82	肘掛け椅子	1960-62	オーク・イグサ	70.2×61.3×58.0	北澤興一氏
83	イージーチェア	1960-62	オーク・イグサ	87.0×72.5×78.0	北澤興一氏
84	札幌聖ミカエル教会和紙ステンドグラス立面図	1960	鉛筆・紙	41.0×80.0	レーモンド設計事務所
85	札幌聖ミカエル教会和紙ステンドグラススケッチ	1960	鉛筆・紙	35.5×25.0/11.5×8.5/15.0×15.0	レーモンド設計事務所
86	カトリック新発田教会和紙貼ガラス窓展開図	1965	鉛筆・紙	55.5×79.5	レーモンド設計事務所
87	ノエミ・レーモンド関連資料 旧井上房一郎邸				小林邦子氏
88	フレスコ壁画のためのスケッチ(アントニン・レーモンド)	1961	水彩・インク・ボード	29.5×20.0	高崎市美術館
89	デッサン(複製)(アントニン・レーモンド)			129.0×84.0	北澤興一氏
90	デッサン(複製)(アントニン・レーモンド)			53.0×50.0	北澤興一氏
91	抽象(アントニン・レーモンド)		マーカー・紙	73.0×73.0	北澤興一氏
92	陶芸(アントニン・レーモンド)			26.5×20.0×21.0	北澤興一氏
93	陶芸(アントニン・レーモンド)			34.0×29.0×34.0	北澤興一氏

No.	作品名	デザイン年(制作年)	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	所蔵
94	椅子(デザイン:ノエミ・レーモンド)			68.0×47.0×45.5	高崎市美術館
95	椅子(デザイン:ノエミ・レーモンド)			72.0×46.0×45.0	高崎市美術館
96	椅子2脚(デザイン:ノエミ・レーモンド)			78.0×47.0×55.0	高崎市美術館
97	椅子(デザイン:ノエミ・レーモンド)			82.5×47.0×51.5	高崎市美術館
98	ローテーブル(デザイン:ノエミ・レーモンド)			39.5×径 100.5	高崎市美術館
99	テーブル(デザイン:ノエミ・レーモンド)			72.0×121.0×91.0	高崎市美術館
100	照明(デザイン:ノエミ・レーモンド)			148.0×51.5×51.5	高崎市美術館
〈第3章 剣持勇の「ジャパニーズ・モダン」〉					
101	タウトを囲む商工省工芸指導所所員たち	1933	写真		東北歴史博物館
102	タウト、エリカ・ヴィッティヒと剣持	1934	写真		松戸市教育委員会
103	オフィサーズクラブ用の椅子『工芸ニュース』14巻2号	1946	写真		東北歴史博物館
104	色紙	1953	水彩・紙	27.0×24.0	個人
105	竹小椅子(デザイン:IAI 担当:剣持勇)	1954年頃	シオジ・竹	82.0×45.0×54.5	団体
106	文机ドローイング	1954	鉛筆・紙	27.3×24.1	個人
107	文机	1961	ケヤキ	30.7×120.8×59.8	押垂勝久氏
108	リビングアート1階 ショールーム	1955	写真		剣持デザイン研究所
109	リビングアート・ハイス	1955	鉛筆・紙	29.6×21.0	個人
110	香川県庁舎議長室	1958	写真		剣持デザイン研究所
fig.1	芸術家たちのネットワーク (丹下、ノグチ、剣持、谷口、猪熊)		写真		団体
111	スタッキングスツール 202	1959	ブナ・ビニール	33.0×40.0×44.0	押垂勝久氏
112	丸椅子 C-315-O	1959	籐	72.0×82.0×72.0	東京国立近代美術館
113	ラウンジスツールドローイング	1959年頃	鉛筆・紙	27.0×40.0	個人
114	アームチェア 207	1960	ブナ	57.6×63.0×71.0	押垂勝久氏
115	籐試作スツール	1960	籐・鉄	34.2×径 40.8	個人
116	丸椅子 C-315-E	1960	籐	72.0×91.0×90.0	東京国立近代美術館
117	柏戸椅子ドローイング		鉛筆・紙	20.5×24.0	個人
118	柏戸椅子 T-7165	1961	杉	77.0×85.0×63.0	松戸市教育委員会
119	スツール	1961	杉	35.0×径 36.5	松戸市教育委員会
120	テーブル T-209	1964	籐・ガラス	32.0×径 60.0	東京国立近代美術館
121	アームチェア FRP-7022C	1967	クロス・FRP・鉄	82.0×67.0×63.5	押垂勝久氏
122	座椅子 SM7066	1971	ケヤキ	36.0×50.0×53.0	押垂勝久氏
123	『剣持勇の世界』	1975	作品集		個人
〈第4章 ジョージ・ナカシマと讃岐民具連〉					
124	聖書館屋上のレーモンドと所員たち	1934	写真		レーモンド設計事務所
125	資料:聖ポール教会椅子(デザイン:ノエミ・レーモンド)	1935年頃	木・ワラ・合金	81.0×49.5×46.0	複製作所
126	聖ポール教会内観	1936	写真		レーモンド設計事務所
127	グラスシートチェア	1944(制作年不詳)	ウォールナット・シー グラス	70.0×57.5×50.0	複製作所
128	ストレートバックチェア	1944年頃(制作年不詳)	ブラックチェリー	74.5×57.5×50.0	複製作所
129	ストレートバックチェア(knoll 製)	1944年頃(1960年前後)	エルム	77.0×59.0×50.0	複製作所
130	ミラチェア・ロー	1950(1992)	ウォールナット	69.0×50.0×45.0	武蔵野美術大学 美術館・図書館
131	ミラチェア・ハイ	1952(1992)	ウォールナット	88.0×65.0×52.0	武蔵野美術大学 美術館・図書館
132	ニューチェア	1955(1992)	ウォールナット	92.0×47.5×53.5	武蔵野美術大学 美術館・図書館
133	ニューチェア・ロッカー	1955(1970)	カバザクラ	87.0×47.0×77.0	複製作所
fig.2	コノイド・スタジオ外観/内観		写真		個人
134	コノイドチェア	1960	ウォールナット・ヒッコリー	90.0×52.5×57.0	東京国立近代美術館工芸館
135	コノイドチェア	1960(1992)	ウォールナット・ヒッコリー	90.0×53.5×57.0	武蔵野美術大学 美術館・図書館
136	ラウンジチェア・ロッカー	1960(1992)	ウォールナット	60.0×75.0×84.0	武蔵野美術大学 美術館・図書館
137	ミングレン II ローテーブル	1968	オーク・バーン・ローレル	30.0×85.0×149.5	東京国立近代美術館工芸館
138	フリーフォーム・センターテーブル		メイプル	35.0×94.0×120.0	複製作所
139	ミングレンアンドン・フロア	1968	ヒノキ・紙	152.0×30.0×30.0	複製作所
140	ミングレンアンドン・L	1968	ヒノキ・紙	37.0×22.0×18.0	複製作所
141	ミングレンアンドン・H	1968	ヒノキ・紙	53.0×33.0×27.0	複製作所
142	ミラ・ミラー	1960年頃(1989)	ベルシャンウォールナット	10.0×33.5×33.0	複製作所
143	コーンブラット・ケース	1964年頃	桐・ウォールナット	55.5×45.5×48.5	複製作所
144	コノイドベンチ	1972	ウォールナット・アッシュ	76.0×90.0×235.0	複製作所(服部氏旧蔵)
145	ミングレンセンターテーブル	1972	ウォールナット・アッシュ	35.0×70.5×120.0	複製作所(服部氏旧蔵)
146	ラウンジチェア・アーム2脚	1972	ウォールナット・アッシュ	84.0×78.0×65.0	複製作所(服部氏旧蔵)
147	コノイドラウンジ	1985	ウォールナット・ヒッコリー	84.0×57.0×66.0	複製作所
fig.3	ミングレン・ミュージアム外観/内観	1969	写真		個人
fig.4	ニューホープ邸内のサンソー外観/内観	1975-77年頃	写真		個人
〈第5章 イサム・ノグチの「萬來舎」とあかり〉					
148	慶應義塾大学 第二研究室平面図、配置図、パーゴラ立面図	1950		55.0×81.0	慶應義塾大学
149	慶應義塾大学 萬來舎詳細平面図(『談話室設計変更図』)	1950		60.0×82.0	慶應義塾大学
150	慶應義塾大学 萬來舎西側、北側展開図	1950		60.0×82.0	慶應義塾大学
151	慶應義塾大学 萬來舎東側、南側展開図	1950		60.0×82.0	慶應義塾大学
152	慶應義塾大学 萬來舎詳細図:大テーブルと長椅子	1950		39.5×62.5	慶應義塾大学
153	スツール	1950	木		慶應義塾大学
154	工芸指導所にて《無》石膏原型を制作中のイサム・ノグチ	1950	写真(撮影:臼井正夫/出典:『萬來舎』杉山真紀子著 鹿島出版会刊)		工芸財団

No.	作品名	デザイン年(制作年)	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	所蔵
155	イサム・ノグチ作品展(日本橋三越百貨店)会場での壁画制作	1950	写真(撮影:臼井正夫/出典:『萬來舎』杉山真紀子著 鹿島出版会刊)		工芸財団
fig.5	慶應義塾大学 第二研究室東ファサード	1951	写真(撮影:平山忠治)		慶應義塾福澤研究センター
fig.6	慶應義塾大学 萬來舎内観	1951-52 年頃	写真(撮影:平山忠治)		慶應義塾福澤研究センター
fig.7	慶應義塾大学 萬來舎内観	1951-52 年頃	写真(撮影:平山忠治)		慶應義塾福澤研究センター
fig.8	慶應義塾大学 萬來舎内観	1951-52 年頃	写真(撮影:平山忠治)		慶應義塾福澤研究センター
156	萬來舎計画時のドローイング(製図:谷口吉郎) 『国際建築』17 巻 5 号	1950			個人
157	「工芸指導所におけるイサム・ノグチ」 『工芸ニュース』18 巻 10 号	1950			東北歴史博物館
158	萬來舎竣工時の詳細図(製図:谷口吉郎ほか) 『新建築』27 巻 2 号	1952			個人
159	西側庭園の彫刻《無》	1964	写真(撮影:下津佐写真館)		慶應義塾福澤研究センター
160	西側庭園の彫刻《学生》	1964	写真(撮影:下津佐写真館)		慶應義塾福澤研究センター
fig.9	慶應義塾大学 第二研究室 2 階から西側庭園を見る	1990 年代	写真(撮影:平剛)		慶應義塾大学
fig.10	慶應義塾大学 萬來舎 南東側より庭園を見る	1990 年代	写真(撮影:平剛)		慶應義塾大学
fig.11	慶應義塾大学 萬來舎 東側より西側を見る(《無》が見える)	1990 年代	写真(撮影:平剛)		慶應義塾大学
fig.12	慶應義塾大学 萬來舎 楕円形テーブル、籐製ベンチ、 照明器具	1990 年代	写真(撮影:平剛)		慶應義塾大学
161	リーダーズ・ダイジェスト東京支社庭園配置図/写真	1951	中央の写真(撮影:平山忠治)		レーモンド設計事務所
162	北鎌倉アトリエで陶作品を制作するイサム・ノグチ	1952 年頃	写真(撮影:土門拳)		慶應義塾大学
163	『ノグチ』	1953	滝口修造/長谷川三郎/イサム野口/亀倉雄策(美術出版社)		高崎市美術館
164	おかめ	1956	鑄鉄	23.0×19.1×11.0	草月会(千葉市美術館寄託)
165	おかめ	1956	鑄鉄	37.5×24.7×16.7	草月会(千葉市美術館寄託)
166	個我	1956	鑄鉄	104.0×25.5×25.5	草月会(千葉市美術館寄託)
167	無題	1952	陶(唐津)	46.3×26.3×10.0	高松市美術館
168	あかり 1A	1952		43.0×径 26.0	飛騨・世界生活文化センター
169	あかり 10A	1952		125.0×径 53.0	飛騨・世界生活文化センター
170	あかり 16A	1952		30.0×径 52.5	飛騨・世界生活文化センター
171	あかり 33S(BB3 スタンド)	1952 年頃		176.5×77.0×26.0	飛騨・世界生活文化センター
172	あかり 33N+ST2	1967 年頃		189.0×径 47.0	飛騨・世界生活文化センター
173	あかり 125F	1971	竹・和紙	118.0×径 123.0	飛騨・世界生活文化センター
174	あかり UF3-Q	1984	竹・和紙	145.0×径 60.0	飛騨・世界生活文化センター
175	あかり UF4-L9	1985	竹・和紙	193.0×径 55.0	飛騨・世界生活文化センター

## 生誕 110 周年 松本忠義・豊田一男 2 人展 + AOKIT/3D になった絵画世界/by 青木世一

高崎市出身の松本忠義と、札幌に生まれ生涯の大半を高崎市で過ごした豊田一男の生誕 110 周年を記念して、青春時代から友でありライバルとして異なる世界を表現した 2 人の作品を、「第 1 章 松本君と豊田君」「第 2 章 円熟期、そしてそれぞれの晩年へ」「第 3 章 松本忠義―「色の響き合いがないと楽しくないからね。」」「第 4 章 豊田一男―「絵は詩のごとく、詩は絵のごとく。」」の構成で振り返った。高崎市美術館や高崎市所蔵作品を中心に松本忠義 26 点、豊田一男 41 点、旧制高崎中学校 2 年上級の山口薫 3 点、同じく生誕 110 年で同時代の高崎市を撮影した伊藤富太郎の写真 4 点の計 74 点や作家資料を紹介。さらに 2 次元絵画を 3 次元の立体造形に移す模型モデル「AOKIT(アokit)」で知られる美術家、青木世一をゲストに迎え、市内実在の風景を描く松本忠義の代表作《鍊金通りにて》を立体再現展示した。ほぼ等身大に起こした模型の中には入ることができ、来館者は絵の中に入り込み記念撮影を楽しんだほか、青木を講師とする関連事業も好評だった。

**会 期** 2019 年 4 月 14 日(日)～ 6 月 23 日(日) 62 日間

**主催会場** 高崎市美術館

**関連事業** アートレクチャー 会場:高崎市南公民館

「AOKIT はこうして誕生したーフェルメール、ゴッホを“再現”すると見えてくる」講師:青木世一(美術家) 5/11(土)

「松本忠義と豊田一男ー内なる世界と外への視線」講師:染谷滋(元群馬県立近代美術館学芸員) 6/16(日)各日午後 2 時～

ワークショップ「絵のなか探検隊! 立体モデル AOKIT に入ってみよう」講師:青木世一 5/12(日)午後 2 時～ 会場:高崎市南公民館

高崎市立南小学校連携授業「鑑賞授業」担当:柴田純江(当館学芸員) 6/11(火)午後 2 時 40 分～3 時 25 分

**関連記事** 「生誕 110 周年 松本忠義・豊田一男 2 人展 + AOKIT/3D になった絵画世界/by 青木世一」(広報高崎 4 月 1 日)

「松本忠義・豊田一男生誕 110 年展 刺激し合い独自の画境」(上毛新聞 4 月 16 日)

「文化紀行/生誕 110 周年 松本忠義・豊田一男 2 人展 + AOKIT/3D になった絵画世界/by 青木世一」(朝日ぐんま 6 月 14 日)

**入 場 者** 3,601 名

**印刷物** 『生誕 110 周年 松本忠義・豊田一男 2 人展 + AOKIT/3D になった絵画世界/by 青木世一』リーフレット

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
〈イントロダクション〉					
1	豊田一男	自画像	不詳	油彩・板	* 空欄…高崎市美術館
2	松本忠義	自画像	1934	油彩・キャンバス	
3	松本忠義	鍊金通りにて	1984	油彩・キャンバス	
4	青木世一	3D AOKIT 《鍊金通りにて》の立体再現	2019		
〈第 1 章 松本君と豊田君〉					
若き画家たちの歩み					
5	松本忠義	はだか	1935	油彩・キャンバス	
6	豊田一男	無題	1937	油彩・キャンバス	高崎市役所倉洲支所
7	松本忠義	聖石	1943	油彩・キャンバス	個人
8	豊田一男	トーチカと小ハイ	1942	油彩・キャンバス	
赤羊社洋画展覧会目録					
戦後の松本忠義の活動					
9	松本忠義	野	1948	油彩・キャンバス	
10	松本忠義	秋の立像	1949	油彩・キャンバス	
11	松本忠義	クンツの埋葬	1953	油彩・キャンバス	
第 1 回群馬県美術展覧会目録(松本忠義遺品)					
第 1 回群馬県美術展 招待出品依頼状(松本忠義遺品)					
第 1 回群馬県美術展 運営委員委嘱状(松本忠義遺品)					
第 1 回群馬県自由美術展目録(松本忠義遺品)					
第 3 回群馬県美術展目録(松本忠義遺品)					
群馬美術展覧会目録(松本忠義遺品)					
戦後の豊田一男の活動					
12	豊田一男	不詳	1950	油彩・板	高崎市役所倉洲支所
13	豊田一男	不詳	1951	油彩・板	高崎市役所倉洲支所
14	豊田一男	コンポジション	1952	油彩・板	高崎市役所倉洲支所
15	豊田一男	不詳	1952	油彩・板	高崎市役所倉洲支所
16	豊田一男	片岡風景	1952	油彩・キャンバス	高崎市役所倉洲支所
17	豊田一男	不詳	1954	油彩・板	高崎市役所倉洲支所
豊田一男の蠟画					
18	豊田一男	不詳	1954	ワックス・紙	高崎市役所倉洲支所
19	豊田一男	作品	不詳	ワックス・アクリル・インク・キャンバス	
20	豊田一男	初期の蠟画作品	1953	ワックス・紙	
21	豊田一男	初期の蠟画作品	1953	ワックス・紙	
22	豊田一男	初期の蠟画作品	1954	ワックス・紙	
23	山口 薫	裸婦	1925	油彩・板	
24	山口 薫	葬送	1944	油彩・キャンバス	個人
25	山口 薫	牛の頭	1954	油彩・キャンバス	



No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
		山口薫 中学時代絵日記			
〈第2章 円熟期、そしてそれぞれの晩年へ〉					
自由美術家協会、モダンアート協会、主体美術協会					
26	松本忠義	えびかになど	1956	油彩・キャンバス	
27	豊田一男	作品9	1959	油彩・ワックス・キャンバス	高崎市役所倉渕支所
28	松本忠義	アルウの記録	1958	油彩・キャンバス	
29	豊田一男	ナポリ裏町	1967	油彩・キャンバス	高崎市役所倉渕支所
30	松本忠義	鶴の城	1967	油彩・キャンバス	
31	豊田一男	あか	1968	油彩・ワックス・キャンバス	高崎市役所倉渕支所
32	松本忠義	タレッチョに	1968	油彩・キャンバス	
33	豊田一男	招かざる客	1981	油彩・ワックス・キャンバス	
34	松本忠義	ニジマス部屋	1981	油彩・キャンバス	
第27回自由美術展陳列目録(松本忠義遺品)					
主体美術 No.3 1966年(松本忠義遺品)					
主体美術 No.5 1967年(松本忠義遺品)					
それぞれの晩年					
35	豊田一男	わるい夢	1985	油彩・ワックス・キャンバス	
36	豊田一男	妙義中之岳 秋景	1989	油彩・キャンバス	
37	松本忠義	台所風景	2006年頃	油彩・キャンバス	
〈伊藤富太郎の写真〉					
38	伊藤富太郎	竹馬の友	1935年頃	白黒・ネガプリント	
39	伊藤富太郎	跳ぶ	1937	白黒・ネガプリント	
40	伊藤富太郎	仔山羊も一緒に	1937	白黒・ネガプリント	
41	伊藤富太郎	幼な友達	1938	白黒・ネガプリント	
〈第3章 松本忠義—「色の響き合いがないと楽しくないからね。」〉					
動物たちへのまなざし					
42	松本忠義	仔牛と犬	1947	油彩・キャンバス	
43	松本忠義	梟の郷愁	1958	油彩・キャンバス	
44	松本忠義	画室の馬	1972	油彩・キャンバス	
45	松本忠義	悪い猫	1973	油彩・キャンバス	
46	松本忠義	犬達の窓	1976	油彩・キャンバス	
実在性をもとめて					
47	松本忠義	ニコレの笛	1970	油彩・キャンバス	
48	松本忠義	壺とオダリスク	1978	油彩・キャンバス	
49	松本忠義	早起きめじろ	1980	油彩・キャンバス	
1980年の出会い					
50	松本忠義	鏡の中の女	1982	油彩・キャンバス	
51	松本忠義	美女と野獣	1986	油彩・キャンバス	
52	松本忠義	アルカナの箱	1987	油彩・キャンバス	
53	松本忠義	豹の広場にて	1987	油彩・キャンバス	
54	松本忠義	美しき魔女の帰還	1988	油彩・キャンバス	
松本忠義によるデッサン(4点)					
〈第4章 豊田一男—「絵は詩のごとく、詩は絵のごとく。」〉					
豊田一男による蠟画の技法解説					
55	豊田一男	初期の蠟画作品	1954	ワックス・紙	
56	豊田一男	初期の蠟画作品	1956	ワックス・紙	
57	豊田一男	初期の蠟画作品	1962	ワックス・紙	
58	豊田一男	天使たち	1963	油彩・ワックス・キャンバス	高崎市役所倉渕支所
59	豊田一男	怪魚	1983	ワックス・紙	
60	豊田一男	出た	1983	ワックス・紙	
戦争の惨禍を忘れない					
61	豊田一男	喰う人	1957	油彩・ワックス・キャンバス	
62	豊田一男	地球のうた	1974	油彩・キャンバス	
63	豊田一男	合唱	1976	油彩・キャンバス	
64	豊田一男	たま乗り	1976	油彩・キャンバス	
65	豊田一男	凶兆	1977	ワックス・アクリル・キャンバス	
66	豊田一男	77 地球劇場	1977	ワックス・アクリル・キャンバス	
67	豊田一男	77 イヤハヤ	1977	油彩・ワックス・キャンバス	高崎市役所倉渕支所
68	豊田一男	招かざる客	1981	コンテ・水彩・紙	
69	豊田一男	招かざる客	1981	インク・バス・鉛筆・紙	
故郷の山々					
70	豊田一男	妙義夕照	1983	油彩・キャンバス	
71	豊田一男	妙義・冬	1989	油彩・キャンバス	
72	豊田一男	妙義石門付近	不詳	油彩・キャンバス	
73	豊田一男	妙義	不詳	油彩・キャンバス	
74	豊田一男	赤城暮色	1987	油彩・キャンバス	
75	豊田一男	榛名富士	不詳	油彩・キャンバス	

### 3は魔法の数字 three is a magic number 14 <sup>スリー</sup>アートユニット 3 とつくるポップでカラフルがいっぱいの世界

three(スリー | 川崎弘紀、佐々木周平、小出喜太郎)は、1986年福島県出身の3人が2009年結成したアートユニット。国内外で多数のグループ展に参加するほか、2010年より個展「three is a magic number」を開催。現代社会が内包する「地方と都市」、「群衆と個」など対極的で複雑な問題に冷静かつシニカルなまなざしで向き合い、魚型しよゆ差しやフィギュア、キャンディなど嗜好品を大量に組み合わせたインスタレーションや立体作品によって視覚化を試み続けるアーティストである。本展では、来館者が袋とじの展覧会チラシをちぎって入館する「情報」コーナー2点、夏休み期間に合わせ、魚型しよゆ差しや高崎名物だるまをモチーフに来館者も一緒に作品を完成させる参加型コーナー「入出力」2点、フィギュアを用いた作品による「再生」コーナー22点という3つのテーマ計26点の作品を展示。魚型しよゆ差しを用いたインスタレーションやフィギュアを用いたthreeの代名詞ともいえる作品により、独自の世界観を紹介し、幅広い世代に楽しめる内容となった。

**会 期** 2019年7月13日(土)～9月1日(日) 44日間

**主催会場** 高崎市美術館

**協 力** 群馬県達磨製造協同組合、永田ダルマ、群馬県立女子大学文学部美学美術史学科

**関連事業** プレイバント トーク&ライブ「今いるココから」出演：小林頼司(Raiji&Chips)、川崎弘紀(three) 7/12(金)午後2時～  
threeによるギャラリートーク 講師：川崎弘紀、佐々木周平(three)、永田嘉齊(永田ダルマ) 7/13・27(土)、8/11(日・祝)午後2時～  
夏のワークショップ 会場：高崎市南公民館 「threeとつころう」講師：川崎弘紀、佐々木周平 8/10(土)午後2時～  
「フィギュア de ペイントジオラマ」講師：奥西麻由子(群馬県立女子大学文学部准教授) 8/24(土)午後1時～

**関連記事** 「3は魔法の数字」(広報高崎 6月15日)

「壁一面 だるま 高崎市美術館「three」展 13日から」(上毛新聞 7月11日)

「高崎市美術館 three 作品展「3は魔法の数字」ポップでカラフル 現代社会へ一石」(上毛新聞 8月6日)

**入 場 者** 5,922名

**印刷物** 『3は魔法の数字 three is a magic number 14』図録

No.	作品名	制作年	材質	寸法(H×W×D)cm	所蔵
〈情報〉					
1	Take Me	2019	ポリエチレンチューブ・フライヤー・クリアカード	290.0×570.0×420.0	空欄…作家
2	Tokyo 3D	2019	魚型しよゆ差し・水・インク・釣り糸・木	690.0×400.0×400.0	
〈入出力〉					
3	四七四六目	2019	高崎ダルマ	300.0×1535.0×7.0	
4	Tokyo I/O	2019	魚型しよゆ差し・水・インク・木	300.0×1318.0×477.0	
〈再生〉					
5	Display	2019	フィギュア・ディスプレイ(実機 21点)	300.0×1535.0×12.0	
6	123.4g	2019	フィギュア	5.0×5.0×5.0	
7	132.1g	2019	フィギュア	5.0×5.0×5.0	
8	136.6g	2019	フィギュア	5.0×5.0×5.0	
9	236.3g	2018	フィギュア・ステンレス・FRP・PVC・木	49.0×26.5×26.5	戸村力也氏
10	202.4g	2014	フィギュア・アクリルボックス	14.0×14.0×14.0	
11	270.5g	2014	フィギュア・アクリルボックス	14.0×14.0×14.0	
12	231.1g	2013	フィギュア・アクリルボックス	30.0×43.0×20.0	個人
13	5 bit	2019	サウスパーク ミニフィギュア シリーズ 1 バターズ・ストッチ(14.1g)、カイル・プロフロフスキー(18.0g)、エリック・カートマン(24.1g)、スタン・マーシュ(14.3g)、 ケニー・マコーミック(14.3g)	28.0×55.0×12.9	
14	6 bit	2019	セガ プライズ けいおん!! エクストラフィギュア Vol.1～3 平沢 唯(86.7g)、田井中 律(66.4g)、秋山 澪(99.7g)、琴吹 紬(84.5g)、中野 梓(89.9g)、真鍋 和(63.3g)	41.8×64.4×11.9	
15	4 bit	2019	マクファーレン・トイズ AKIRA アキラ(14.6g)、金田 正太郎(128.0g)、島 鉄雄(294.1g)、ジョーカー(235.9g)	79.0×71.4×12.0	
16	16 bit	2019	WCF 仮面ライダーシリーズ 上段／KR013 仮面ライダージョーカー(23.7g)、KR014 仮面ライダーアギト グランドフォーム(24.7g)、 KR015 仮面ライダーキバ キバフォーム(25.0g)、KR036 仮面ライダーBLACK RX(25.3g)、 KR054 仮面ライダーディケイド激情態(27.4g)、KR056 電波人間タツクル(20.8g)、KR060 仮面ライダーズカル(32.2g)、 KR071 仮面ライダークウガ ライジングアルティメット(ブラックアイ)(28.2g) 下段／KR072 仮面ライダーダーストロンガー(チャージアップ)(27.8g)、KR077 仮面ライダーアギト(クロスホーン展開)(24.0g)、 KR079 スカイライダー(25.6g)、KR087 仮面ライダー1号(THE FIRST)(21.8g)、KR142 仮面ライダーG3(28.4g)、 KR155 仮面ライダーW(25.3g)、KR175 仮面ライダーナイト(36.5g)、KR181 仮面ライダードライブ タイプスピード(29.2g)	40.3×82.8×12	
17	4 bit	2019	映画 怪物くん ちびきゅんキャラ 怪物くん(22.4g)、ドラキュラ(36.5g)、オオカミ男(36.4g)、フランケン(49.4g)	32.0×46.2×12.9	
18	6 bit	2019	Yes!プリキュア 5GoGo! Q posket シリーズ Cure Mint 秋元 こまち(115.2g)、Cure Rouge 夏木 りん(99.2g)、Milky Rose 美々野 くるみ(176.1g)、 Cure Dream 夢原 のぞみ(131.1g)、Cure Lemonade 春日野 うらら(97.9g)、Cure Aqua 水無月 かれん(131.5g)	53.0×78.5×12.0	
19	252 bit	2010	フィギュア、アクリルボード	フィギュア 22.8×39.9×0.5～14.0 1氏コレクション テキスト 22.8×39.9×0.5	
20	49 bit	2019	ポケットモンスター モンスターコレクション No.25 ピカチュウ(12.8g)、No.126 ブーバー(8.4g)、No.133 イーブイ(12.2g)、No.136 ブースター(16.2g)、No.148 ハクリュー(8.4g)、 No.152 チコリータ(12.6g)、No.172 ピチュー(9.1g)、No.243 ライコウ(12.1g)、No.245 スイクン(13.6g)、No.255 アチャモ(12.0g)、	59.5×59.5×12.0	

No.	作品名	制作年 材質	寸法(H×W×D)cm	所蔵
20	49 bit	2019 ポケットモンスター モンスターコレクション No.311 ブラスル(7.2g)、No.312 マイナン(6.7g)、No.330 フライゴン(7.2g)、No.373 ボーマンダ(7.1g)、No.380 ラティアス(6.0g)、 No.383 グラードン(9.8g)、No.419 フローゼル(13.2g)、No.424 エテボース(9.1g)、No.427 ミミロル(7.0g)、No.447 リオル(7.3g)、 No.448 ルカリオ(5.7g)、No.468 トゲキッス(15.2g)、No.470 リーフィア(8.3g)、No.471 グレイシア(9.0g)、No.480 ユクシー(10.7g)、 No.481 エムリット(9.9g)、No.482 アグノム(9.7g)、No.486 レジギガス(17.2g)、No.487 ギラティナ(18.0g)、No.490 マナフィ(7.6g)、 No.492 シェイミ(スカイフォルム)(9.3g)、No.495 ツタージャ(10.2g)、No.497 ジャローダ(8.0g)、No.498 ポカブ(12.2g)、 No.500 エンブオー(17.5g)、No.501 ミジュマル(12.2g)、No.517 ムンナ(15.3g)、No.538 ナゲキ(15.7g)、No.539 ダゲキ(7.0g)、 No.554 ダルマッカ(11.5g)、No.555 ヒヒダルマ(18.7g)、No.570 ソロア(11.5g)、No.571 ソロアーク(13.2g)、No.610 キバゴ(10.0g)、 No.639 テラキオン(14.8g)、No.642 ボルトロス(15.8g)、No.650 ハリマロン(10.4g)、No.651 ハリボグ(15.3g)、No.652 プリガロン(36.3g)	59.5×59.5×12.0	
21	8 bit	2019 一番くじ Fate/Grand Order～夏だ!水着だ!きゅんキャラサマーPART2～ A 賞 ライダー/アルトリア・ベンドラゴン(オルタ)(56.3g)、B 賞 キャスター/ネロ・クラウディウス(61.0g)、 C 賞 セイバー/フランケンシュタイン(67.3g)、D 賞 アサシン/ニトクリス(96.3g)、 E 賞 パーサーカー/織田信長(98.0g)、F 賞 ランサー/源頼光(87.7g)、 G 賞 アーチャー/エレナ・ブラヴァツキー(71.7g)、H 賞 ライダー/イシュタル(83.4g)	40.3×82.8×12.0	
22	10 bit	2019 ホラームビー チャイルド・ブレイ チャッキーの花嫁 ティファニー(110.1g)、ジェイソン X 13 日の金曜日 ジェイソン・ポーヒーズ(141.2g)、 キャプテン・スーパーマーケット(死霊のはらわた III) エビルアツシュ(157.0g)、悪魔のいけにえ レザーフェイス(194.1g)、 エルム街の悪夢 ザ・リアルナイトメア フレディ・クルーガー(180.6g)、SAW ジグソウ(183.9g)、シン・シティ マーヴ(169.7g)、 スリーパー・ホロウ 首なし騎士(127.6g)、ヘル・レイザー4 ツインズ(204.5g)、ヘル・レイザー ビンヘッド(100.3g)	57.5×111.9×12.0	
23	6 bit	2019 ザ・シンブソンス リミテッドエディション シリーズ 1 リサ(33.8g)、バート(49.5g)、ホーマー(100.7g)、マージ(73.5g)、マギー(18.2g)、サンタズリトルヘルパー(21.7g)	39.3×64.4×11.9	
24	13 bit	2019 ちびきゅんキャラ THE IDOLM@STER MOVIE 輝きの向こう側へ! Vol.1～3 秋月 律子(21.6g)、三浦 あずさ(19.7g)、双海 真美(21.9g)、水瀬 伊織(23.4g)、萩原 雪歩(21.6g)、星井 美希(26.5g)、 天海 春香(21.3g)、如月 千早(23.4g)、我那覇 響(31.2g)、高槻 やよい(26.6g)、双海 亜美(20.6g)、菊地 真(21.7g)、四条 貴音(30.0g)	30.0×116.3×12.0	
25	6 bit	2019 一番くじプレミアム 魔法少女まどか☆マギカ PART2 G 賞 きゅんキャラ 鹿目 まどか(62.9g)、暁美 ほむら(54.5g)、巴 マミ(61.8g)、美樹 さやか(57.0g)、佐倉 杏子(61.4g)、お菓子の魔女 シャルロット(47.8g)	35.8×64.4×11.9	
26	9 bit	2019 セガ ブライズ ラブライブ! No brand girls プレミアムフィギュア 高坂 穂乃果(112.8g)、絢瀬 絵里(95.5g)、南 ことり(109.3g)、園田 海未(122.0g)、星空 凛(94.1g)、西木野 真姫(113.4g)、 東條 希(101.5g)、小泉 花陽(87.4g)、矢澤 にこ(95.1g)	49.5×102.0×12.0	

## 詩をかたどる、詩をきざむー祈りの庭へ。

木彫作家であり絵や版画も制作する高崎市出身の深井隆、高崎市にゆかりのある丸尾康弘と、同世代の木版画家であり立体も制作する山中現、木村繁之は1950年代に生まれ、1980年代から今日まで「描くこと」「作ること」への逆風の中でも木を「かたどる」「きざむ」ことを手放さなかった作家である。木に託して心の世界を表現する4人の歩みは、古くから木に祈りを込めてきた日本人の心に自然につながっている。本展では旧井上房一郎邸および庭園に「深井隆ー永遠にあること」21点、美術館内に「山中現ー名づけえぬもの」73点、「木村繁之ー空のうつつわ」79点、「丸尾康弘ー時のながれ」22点、計195点の絵画、版画、彫刻などを展示し、言葉では表せない、彫刻や絵という言葉でも語りえないそれぞれの詩想の世界を紹介した。また関連事業として各作家のワークショップやクロストークを開催した。

**会 期** 2019年9月14日(土)～11月24日(日) 62日間

**主催会場** 高崎市美術館(旧井上房一郎邸)

**関連事業** 高崎市美術館シリーズ講座つがく堂+茶話 場所:高崎市南公民館(講座)、旧井上房一郎邸庭園(茶話)

「高崎ものがたり」講師:深井隆(彫刻家)、山下三郎(デザイナー・元東北工業大学教授) 9/15(日)

「高崎ひとがたり」講師:丸尾康弘(彫刻家)、関口将夫(画家・詩人) 10/20(日)各日午後2時～5時

茶話(コーヒーサービス):当館スタッフ、丸尾康弘、難波多輝子(アーティスト・丸尾康弘夫人)

アーティストワークショップ 会場:高崎市南公民館 「木にふれる」講師:深井隆 9/16(月・祝)午後1時～3時

「木をする」講師:木村繁之(木版画家) 9/23(月・祝)午後1時～3時、「木をきざむ」講師:丸尾康弘 10/22(火・祝)午後1時～3時

「木のはやい年賀状」講師:山中現(木版画家) 11/17(日)午後1時～4時

アーティストクロストーク 会場:高崎市南公民館 丸尾康弘、木村繁之 9/22(日) 深井隆、山中現 11/24(日)午後2時～3時

学芸員によるギャラリートーク 担当:住田常生(当館学芸員) 10/12・26、11/9(土)午後2時～3時

対話鑑賞イベント「金曜夜はおしゃべりミュージアム」講師:対話型アート鑑賞ラボ 11/1・8(金)午後6時30分～7時30分

月の光にさわる句会 講師:水野真由美(俳人) 11/12(火)午後4時～8時30分 場所:高崎市美術館、高崎市南公民館

深井隆と学芸員によるクロストーク 11/23(土・祝)午後2時～3時 場所:旧井上房一郎邸

**関連記事** 「文化紀行/詩をかたどる、詩をきざむー祈りの庭へ。」(朝日ぐんま 9月20日)

**入 場 者** 3,951名

**印 刷 物** 『詩をかたどる、詩をきざむー祈りの庭へ。』図録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	所蔵
〈深井隆ー永遠にあること〉(旧井上房一郎邸・庭園)						空欄・作家
1-1	深井隆	コーネルへの旅	1981年頃	木・ガラス・銀箔・アクリル	40.0×31.0×18.5	
1-2		風に聞く	2000	モノタイプ・金箔	16.0×13.5	高崎市美術館寄託
1-3		垂直の時間に	2000	モノタイプ・金箔	10.0×10.0	高崎市美術館寄託
1-4		《月の庭》のために	2000	パステル・金箔・鉛筆・和紙	70.0×52.7	高崎市美術館寄託
1-5		《迷れゆく思念》のために	2000	パステル・鉛筆・紙	75.0×56.0	高崎市美術館寄託
1-6		夜気 2001	2001	パステル・金箔・鉛筆・和紙	60.0×44.5	高崎市美術館寄託
1-7		月の庭	2005	紙本墨画	42.0×19.5	
1-8		月の庭-16の満月-(2)	2011	樟・銅箔	12.0×42.0×42.0	
1-9		月の庭-16の満月-(6)	2011	樟・銅箔	10.5×29.0×29.0	
1-10		月の庭-16の満月-(7)	2011	樟・銅箔	11.5×28.5×28.5	
1-11		月の庭-16の満月-(8)	2011	樟・銅箔	11.5×27.0×27.0	
1-12		月の庭-16の満月-(12)	2011	樟・銅箔	9.5×24.5×24.5	
1-13		スケッチー山の上の人 I-	2018	ブロンズ・金箔・木	21.0×9.5×8.0	
1-14		スケッチー山の上の人 II-	2018	ブロンズ・金箔・木	17.5×9.0×7.0	
1-15		スケッチー山の上の人 III-	2019	ブロンズ・金箔・木	16.0×9.5×8.8	
1-16		スケッチー山の上の人 IV-	2019	ブロンズ・金箔・木	16.5×16.3×8.6	
1-17		山の上に坐る人	2019	樟・白金箔・アクリル	32.0×71.0×71.0	
1-18		山の上に立つ人と橋	2019	樟・松・砂岩・白金箔・着彩	150.0×55.0×55.0 120.0×85.0×50.0 45.0×205.0×35.0	
1-19		王と王妃 III	2019	樟・金箔	89.0×43.0×50.0	
				樟・白金箔	87.0×50.0×48.0	
1-20		月の庭-影-	2019	米松・銀箔・着彩	145.0×36.0×25.0	
1-21		月の庭-時を待つ-	2019	樟・金箔	13.0×29.5×16.8	
〈山中現ー名づけえぬもの〉(3階展示室)						
2-1	山中現	影の国 I	1980	木版・紙	40.0×51.0	
2-2		ハッピーワールド 4	1980	木版・紙	39.8×50.7	
2-3		星をみる人 I	1983	木版・紙	49.7×36.0	
2-4		星をみる人 4	1984	木版・紙	36.2×44.0	
2-5		第七夜	1985	木版・紙	50.5×39.0	
2-6		第十一夜	1985	木版・紙	57.0×40.5	
2-7		詩画集『星火』詩:串田孫一	1986(アート・ギャラリー タビエス刊)			
2-8		夜話 I	1986	木版・紙	52.7×40.5	
2-9		夜話 II	1986	木版・紙	40.0×53.0	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	所蔵
2-10	山中現	画文集『夢』文：串田孫一	1990(アート・ギャラリー タビエス刊)			
2-11		三つのかたち	1990	木版・紙	47.5×33.5	
2-12		夜の彼方へ	1991	木版・紙	28.0×39.8	
2-13		時のかたち	1992	木版・紙	36.7×49.0	
2-14		黄色のかたち	1995	木版・紙	47.5×36.5	
2-15		大地の月	1995	木版・紙	48.0×39.0	
2-16		茶色の道	1995	木版・紙	35.2×45.3	
2-17		間	1996	木版・紙	36.6×47.7	
2-18		空と石 II	1997	木版・紙	47.2×34.5	
2-19		空と石 III	1997	木版・紙	47.2×36.5	
2-20		ミドリノカタチ	1997	木版・紙	36.9×47.1	
2-21		白の場所	1998	木版・紙	37.0×41.5	
2-22		水平線とかたち	1998	木版・紙	37.0×47.7	
2-23		水の光	1998	ガラス絵	10.0×12.0	
2-24		冬の静物	1999	木版・紙	33.5×47.7	
2-25		はなれる黄色	2000	木版・紙	29.0×42.4	
2-26		白い影	2002	木・アクリル	22.2×28.0×3.7	
2-27		時の柱	2002	木・アクリル	22.2×27.2×3.9	
2-28		古い夜	2002	木・アクリル	25.0×29.0×5.0	
2-29		星と静物	2002	木版・紙	48.2×32.0	
2-30		夜の時	2002	木・アクリル	25.0×29.0×5.0	
2-31		思い出の空	2003	ガラス絵	9.5×12.0	
2-32		影の踊り	2003	ガラス絵	6.5×9.5	
2-33		昨日の雲	2003	ガラス絵	6.5×9.5	
2-34		雲の話	2003	ガラス絵	6.5×9.5	
2-35		白の路	2003	ガラス絵	9.5×12.0	
2-36		はぐれた月	2003	ガラス絵	6.5×9.5	
2-37		夢の入口	2003	ガラス絵	11.8×14.5	
2-38		未生	2005	木版・紙	36.7×47.5	
2-39		White	2007	木・アクリル	9.7×17.4×4.9	
2-40		遠い場所	2008	木版・紙	48.7×36.4	
2-41		影について	2009	木版・紙	48.5×36.3	
2-42		Gray	2009	木・アクリル	19.9×6.5×9.0	
2-43		雲の場所	2014	油彩・キャンバス	90.9×72.7	
2-44		小さな月	2014	油彩・キャンバス	90.9×72.7	
2-45		星の木	2014	木版・紙	48.6×36.1	
2-46		星の記憶	2014	木版・紙	36.3×48.8	
2-47		星の住む家	2014	木版・紙	48.9×36.1	
2-48		紫の時	2014	木版・紙	48.4×36.2	
2-49		夜の記憶	2014	木版・紙	36.3×48.8	
2-50		青の近くで	2017	木・アクリル	14.4×18.5×5.5	
2-51		いつかの街	2017	アクリル・キャンバス	97.0×130.3	
2-52		かたちの母体	2017	油彩・キャンバス	90.9×72.7	
2-53		それぞれの時	2017	アクリル・キャンバス	97.0×130.3	
2-54		小さな星の窓	2017	アクリル・キャンバス	45.5×37.9	
2-55		時の窓	2017	アクリル・キャンバス	53.0×72.7	
2-56		ひとつの赤	2017	木・アクリル	20.0×10.0×5.0	
2-57		星の夜	2017	アクリル・キャンバス	60.6×60.6	
2-58		窓の信号	2017	アクリル・キャンバス	53.0×45.5	
2-59		緑と赤の間に	2017	木・アクリル	15.0×19.1×5.5	
2-60		緑の記憶	2017	木・アクリル	17.5×11.5×6.0	
2-61		オレンジのとなりで	2018	木版・紙	36.3×48.4	
2-62		空から	2018	木版・紙	48.4×36.2	
2-63		ふたつのあいだに	2018	木版・紙	48.4×36.2	
2-64		赤と白	2019	木・アクリル	23.0×15.0×10.5	
2-65		YELLOW	2019	木・アクリル	16.3×7.4×6.0	
2-66		黄色の台座	2019	木・アクリル	12.5×18.1×6.2	
2-67		縞について	2019	木・アクリル	27.4×22.3×4.0	
2-68		白の場所	2019	木・アクリル	29.0×25.0×5.0	
2-69		佇む	2019	木・アクリル	11.5×20.0×8.0	
2-70		小さな椅子	2019	木・アクリル	22.3×27.2×3.9	
2-71		二つの青	2019	木・アクリル	12.5×22.4×9.0	
2-72		二つの時	2019	木・アクリル	23.9×14.0×5.7	
2-73		二つの場所	2019	木・アクリル	17.5×18.0×4.8	
(木村繁之一空のうつわ)(2階展示室) * Nos.4-10,12,13,16,27,42,57,63 は未陳列。						
4-1	木村繁之	夜を抱く	1989	水性木版・紙	57.0×40.0	
4-2		知恵の器	1994	銅版・紙	24.0×18.0	
4-3		知恵の木	1995	銅版・紙	24.0×18.0	
4-4		ふるとり	1995	銅版・紙	24.0×18.0	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	所蔵
4-5	木村繁之	メランコリア	1995	銅版・紙	35.0×23.0	
4-6		夢解き	1995	銅版・紙	24.0×18.0	
4-7		離園(りえん)	1999	水性木版・紙	27.0×20.0	
4-8		香色(こういろ)	2002	水性木版・紙	27.0×20.0	
4-9		半睡(はんすい)	2002	水性木版・紙	27.0×20.0	
4-10		彼方	2004	ブロンズ	5.0×40.0×6.0	
4-11		詩人の家	2004	ブロンズ	20.0×8.0×8.0	
4-12		小階段	2004	ブロンズ	7.0×2.0×20.0	
4-13		空	2004	ブロンズ	5.0×18.0×18.0	
4-14		大階段	2004	ブロンズ	13.0×2.0×20.0	
4-15		鳥の家	2004	ブロンズ	14.0×5.0×6.0	
4-16		猫	2004	ブロンズ	6.0×20.0×2.5	
4-17		鳥の見る夢	2006	水性木版・紙	20.0×15.0	
4-18		巡礼者たち	2007	水性木版・紙	27.0×20.0	
4-19		空の林	2007	水性木版・紙	50.0×34.0	
4-20		みづうみ	2007	水性木版・紙	27.0×20.0	
4-21		よとで	2007	水性木版・紙	20.0×15.0	
4-22		夜の緑の鳥	2007	水性木版・紙	27.0×20.0	
4-23		イカロス	2008	陶土・顔料	16.0×11.0	
4-24		泉	2009	陶	8.0×26.0×26.0	
4-25		猫	2009	陶	8.0×10.0×5.0	
4-26		眠り	2009	陶	25.0×18.0×18.0	
4-27		夜の頭上	2009	陶	26.0×8.0×8.0	
4-28		インソムニア	2011	陶	62.0×12.0×12.0	
4-29		うつろのうつわ	2011	陶	42.0×12.0×8.0	
4-30		音をつくる	2011	陶	48.0×10.0×10.0	
4-31		囲まれた庭	2011	陶	14.0×28.0×28.0	
4-32		花底蛇(かていじゃ)	2011	陶	60.0×10.0×10.0	
4-33		声がかきこえる	2011	陶	51.0×9.0×9.0	
4-34		青玉(せいぎよく)	2011	陶	21.0×14.0×14.0	
4-35		世外(せがい)	2011	陶	62.0×13.0×13.0	
4-36		奏楽	2011	陶	54.0×10.0×10.0	
4-37		双頭	2011	陶	60.0×10.0×10.0	
4-38		空	2011	陶	62.0×10.0×10.0	
4-39		知恵	2011	陶	64.0×14.0×14.0	
4-40		つきしろ	2011	陶	14.0×8.0×10.0	
4-41		光の手	2011	陶	55.0×10.0×8.0	
4-42		秘密	2011	陶	58.0×9.0×9.0	
4-43		まぼろし	2011	陶	60.0×10.0×10.0	
4-44		予察	2011	陶	57.0×10.0×10.0	
4-45		夜をゆく	2011	陶	62.0×10.0×20.0	
4-46		ロータスイーター	2011	陶	22.0×30.0×30.0	
4-47		青のひかり	2013	水性木版・紙	28.0×18.0	
4-48		うさぎ	2013	水性木版・紙	18.0×26.0	
4-49		眠りの縁	2013	水性木版・紙	20.0×15.0	
4-50		冬の終わり	2013	水性木版・紙	16.0×11.0	
4-51		夜を運ぶ	2013	水性木版・紙	18.0×28.0	
4-52		連理(れんり)	2013	水性木版・紙	20.0×15.0	
4-53		あたたかな雪	2015	陶土・顔料	17.0×11.0	
4-54		いなくなった家	2015	水性木版・紙	20.0×15.0	
4-55		かげろう	2015	水性木版・紙	16.0×11.0	
4-56		片腕	2015	水性木版・紙	32.0×28.0	
4-57		帰郷	2015	水性木版・紙	42.0×35.0	
4-58		月下	2015	水性木版・紙	20.0×15.0	
4-59		香色	2015	陶土・顔料	23.0×20.0	
4-60		こだま	2015	水性木版・紙	16.0×11.0	
4-61		ことり	2015	水性木版・紙	16.0×11.0	
4-62		秋雨(しゅうう)	2015	陶土・顔料	16.0×15.0	
4-63		空の家	2015	木・水彩	12.0×10.5×10.5	
4-64		二月	2015	水性木版・紙	35.0×42.0	
4-65		眠る魚	2015	水性木版・紙	42.0×35.0	
4-66		屋の夜空	2015	水性木版・紙	16.0×11.0	
4-67		冬の火	2015	陶土・顔料	18.0×16.0	
4-68		みずうみのほとり	2015	水性木版・紙	20.0×15.0	
4-69		蜜のあはれ	2015	水性木版・紙	32.0×28.0	
4-70		森の声	2015	陶土・顔料	18.0×15.0	
4-71		夜の影	2015	陶土・顔料	22.0×22.0	
4-72		離陸	2015	水性木版・紙	20.0×15.0	
4-73		いずこの空	2017	水性木版・紙	20.0×15.0	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	所蔵
4-74	木村繁之	うたかた	2017	水性木版・紙	20.0×15.0	
4-75		閑言(かんげん)	2017	木・水彩	17.0×10.5×7.7	
4-76		机上	2017	木・水彩	19.0×7.0×19.0	
4-77		問い	2017	木・水彩	12.0×7.2×4.5	
4-78		時の衣	2017	木・水彩	17.0×19.5×7.5	
4-79		屋の猫	2017	水性木版・紙	20.0×15.0	
4-80		冬	2017	木・水彩	19.0×4.5×4.0	
4-81		冬に抱かれ	2017	水性木版・紙	35.0×42.0	
4-82		ぼどろのしか	2017	水性木版・紙	20.0×15.0	
4-83		水の空	2017	水性木版・紙	20.0×15.0	
4-84		森の姿	2017	水性木版・紙	20.0×15.0	
4-85		夜の姿	2017	水性木版・紙	20.0×15.0	
4-86		夜の鳥	2017	水性木版・紙	20.0×15.0	
4-87		六花(りっか)	2017	木・水彩	19.0×6.2×4.5	
〈丸尾康弘一時のながれ〉(1階展示室)						
3-1	丸尾康弘	安田さん	1983	石・ブロンズ	46.0×17.0×23.0	
3-2		遊(ゆう)	1996	樟	50.0×35.0×40.0	
3-3		夢(ゆめ)	1996	樟	60.0×50.0×50.0	個人
3-4		待(まつ)	1996	樟	34.0×15.0×15.0	大澤誠氏
3-5		待	1996	木版・紙	33.0×15.0	
3-6		青い箱	2001	木版・紙	17.0×13.0	
3-7		ここにいる	2001	木版・紙	16.8×12.5	
3-8		その日から	2001	木版・紙	16.8×13.0	
3-9		つぶやき	2001	木版・紙	17.0×12.8	
3-10		遠くへ	2001	木版・紙	16.7×13.0	
3-11		黄色い椅子	2002	木版・紙	10.5×15.0	
3-12		夜の光	2002	木版・紙	15.0×10.3	
3-13		会いに行く	2003	銅版・紙	36.0×25.0	
3-14		TO BE	2003	銅版・紙	35.7×25.2	
3-15		檸檬	2003	銅版・紙	35.7×25.0	
3-16		Child 4	2005	木版・紙	30.0×24.7	
3-17		山に坐る(6)	2010	樟	45.0×25.0×20.0	個人
3-18		想い	2011	樟	40.0×20.0×15.0	個人
3-19		巨人	2012	樟	32.0×23.0×24.0	
3-20		水のかたち	2017	樟	143.0×82.0×58.0	
3-21		森の声	2018	樟	140.0×68.0×50.0	
3-22		水のかたち	2019	樟	100.0×43.0×30.0	

## 60s→80s ほくらのアメリカン・ストーリー

本展は2019年度コレクション展として「プロローグ 60s→80s ほくらのアメリカン・ストーリー」「第1章 アメリカへ!-戦争とアートシーン」「第2章 1960年代以降のアメリカ版画」「第3章 ポップ・アートの席卷」「第4章 多様化する表現」「第5章 日本人アーティストの展開」の5章82点の収蔵作品で1960～80年代を中心にアメリカ美術の動向を紹介した。アメリカ人作家に影響を与えたマルク・シャガール、ジョアン・ミロや、ジャスパー・ジョーンズ、ロバート・ラウシェンバーグ、フランク・ステラ、アンディ・ウォーホル、ジョージ・シーガルなどアメリカを代表する作家たち、渡米しアメリカ現代美術の影響を受けながら活動し、後に帰国した高崎市ゆかりの岡本健彦や磯辺行久、現在もニューヨークに在住する佐藤正明、福井延光の作品を通して、アメリカ美術に親近感を持って鑑賞していただく機会とした。

会 期 2019年12月7日(土)～2020年1月19日(日) 31日間

主催会場 高崎市美術館

関連事業 学芸員によるギャラリートーク 担当:笠原晶子(当館学芸員) 12/14、1/18(土)午後2時～3時

新年!! お楽しみ福袋プレゼント 1/5(日)・7(火)午前10時～

ワークショップ「オリジナルロゴを作りステンシルバッグを作ろう」講師:なかのひろか(アーティスト)

1/11(土)午後2時～4時 会場:高崎市南公民館

関連記事 「60s→80s ほくらのアメリカン・ストーリー」(広報高崎 11月15日)

入 場 者 2,593名

印刷物 『60s→80s ほくらのアメリカン・ストーリー』リーフレット

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm
〈プロローグ 60s→80s ほくらのアメリカン・ストーリー〉					
1	磯辺行久	マンハッタン	1968	スクリーンプリント・紙	55.8×43.2
2	磯辺行久	シカゴ	1968	スクリーンプリント・紙	86.4×52.7
3	佐藤正明	穴のシリーズから Subway No.24	1978	シルクスクリーン・紙	43.7×58.4
4	福井延光	花(1)	1967	アクリル・キャンバス	172.0×172.0
5	福井延光	花(2)	1967	アクリル・キャンバス	171.0×171.0
6	岡本健彦	青図上の風景(青)	1987	アクリル・角材・鉛・アクリル板	234.0×185.0
7	岡本健彦	青図上の風景(赤)	1987	アクリル・鉛・ワイヤー・アクリル板	211.0×182.0
8	岡本健彦	風神・雷神(マケット)	1993	油彩・鉛・ステンレス・キャンバス・合板	80.0×62.0×46.0
9	岡本健彦	神楽図	1994	油彩・鉛・ステンレス・天蚕糸・キャンバス・合板	181.0×396.8
〈第1章 アメリカへ!-戦争とアートシーン〉					
10	国吉康雄	母娘	1945	インク・紙	56.3×43.8
11	ベン・シャーン	オノラブル パーク・コクラン	1930年代	テンペラ・アカデミーボード	41.8×31.6
12	マックス・エルンスト	ポール・エリュアール『書毎に詩一篇』挿画 『規範集』より	1956年刊	エッチング・紙	19.0×36.0
13	アンドレ・マッソン	ポール・エリュアール『書毎に詩一篇』挿画 『苦悩の首都』より	1956年刊	エッチング・紙	19.0×36.0
14	ジョアン・ミロ	ポール・エリュアール『書毎に詩一篇』挿画 『民衆のバラ』より	1956年刊	エッチング・紙	19.0×36.0
15	マルク・シャガール	ポール・エリュアール『書毎に詩一篇』挿画 『不死の為の死』より	1956年刊	エッチング・紙	19.0×36.0
16	イヴ・タンギー	ポール・エリュアール『書毎に詩一篇』口絵	1956年刊	エッチング・紙	19.0×36.0
17	マルク・シャガール	山羊と芸術家(山羊の家)	1984	シルクスクリーン・紙	31.9×23.6
18	ジョアン・ミロ	某夫人とその夫	1970	ドライポイント・アクアチント・カーボラダム・紙	64.0×48.6
19	デイヴィッド・ホックニー	カイザリオンとその美のすべて	1961	エッチング・アクアチント・紙	51.8×29.4
20	デイヴィッド・ホックニー	鏡よ、鏡よ、壁の上の	1973	エッチング・アクアチント・紙	42.5×52.2
21	デイヴィッド・ホックニー	催眠術師	1963	エッチング・アクアチント・紙	52.1×51.5
22	デイヴィッド・ホックニー	画学生:ピカソ讃	1973	エッチング・ソフトグラウンドエッチング・リフトグラウンドエッチング・紙	59.2×43.3
〈第2章 1960年代以降のアメリカ版画〉					
23	ロバート・ラウシェンバーグ	ルッカーリー・マウンズ ナイト・トーク	1979	リトグラフ・紙	104.1×78.7
24	ロバート・ラウシェンバーグ	ルッカーリー・マウンズ スティール軸	1979	リトグラフ・紙	104.1×78.7
25	ロバート・ラウシェンバーグ	ルッカーリー・マウンズ ムーンメロン	1979	リトグラフ・紙	104.1×78.7
26	ロバート・ラウシェンバーグ	ルッカーリー・マウンズ マッド・ドーバー	1979	リトグラフ・紙	104.1×78.7
27	ロバート・ラウシェンバーグ	ルッカーリー・マウンズ マストヘッド	1979	リトグラフ・紙	104.1×78.7
28	ロバート・ラウシェンバーグ	ルッカーリー・マウンズ 灰色の庭	1979	リトグラフ・紙	104.1×78.7
29	ロバート・ラウシェンバーグ	ルッカーリー・マウンズ ヤーダーム	1979	リトグラフ・紙	104.1×78.7
30	ロバート・ラウシェンバーグ	フロム・ザ・シート・オブ・オーソリティ	1979	シルクスクリーン・コラージュ・紙	78.0×59.0
31	ジャスパー・ジョーンズ	四つの顔のある標的	1979	エッチング・紙	59.5×46.3
32	サム・フランシス	チャイニーズバルーンズ	1963	リトグラフ・紙	66.0×51.0
33	サム・フランシス	無題	1986	リトグラフ・紙	64.5×50.5
34	サム・フランシス	フォー・サーティーン	1989	シルクスクリーン・紙	73.0×98.0
35	ジョージ・シーガル	戸口に立つ女	1975	エッチング・アクアチント・紙	55.5×67.5
36	ジョージ・シーガル	ソルフェリー色のシャツの男	1975	エッチング・アクアチント・紙	76.4×50.5
〈第3章 ポップアートの席卷〉					
37	ロイ・リクテンスタイン	泣く少女	1963	オフセットリトグラフ・紙	43.8×58.8
38	ロバート・インディアナ	ア・ガーデン・オブ・ラブ チューリップ	1982	シルクスクリーン・紙	60.8×60.8
39	ロバート・インディアナ	ア・ガーデン・オブ・ラブ ユリ	1982	シルクスクリーン・紙	60.8×60.8
40	ロバート・インディアナ	ア・ガーデン・オブ・ラブ 百日草	1982	シルクスクリーン・紙	60.8×60.8



No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm
41	ロバート・インディアナ	ア・ガーデン・オブ・ラブ パラ	1982	シルクスクリーン・紙	60.8×60.8
42	ロバート・インディアナ	ア・ガーデン・オブ・ラブ フロックス	1982	シルクスクリーン・紙	60.8×60.8
43	ロバート・インディアナ	ア・ガーデン・オブ・ラブ ライラック	1982	シルクスクリーン・紙	60.8×60.8
44	アンディ・ウォーホル	マリリン・モンロー(マリリン)	1967	シルクスクリーン・紙	91.5×91.5
45	アンディ・ウォーホル	マリリン・モンロー(マリリン)	1967	シルクスクリーン・紙	91.5×91.5
46	アンディ・ウォーホル	マリリン・モンロー(マリリン)	1967	シルクスクリーン・紙	91.5×91.5
〈第4章 多様化する表現〉					
47	ヴィクトル・ヴァザルリ	星座 1	1967	シルクスクリーン・紙	70.0×35.0
48	ヴィクトル・ヴァザルリ	星座 2	1967	シルクスクリーン・紙	70.0×35.0
49	ヴィクトル・ヴァザルリ	星座 3	1967	シルクスクリーン・紙	69.9×35.0
50	ヴィクトル・ヴァザルリ	星座 4	1967	シルクスクリーン・紙	70.0×35.8
51	ヴィクトル・ヴァザルリ	星座 5	1967	シルクスクリーン・紙	72.0×36.0
52	ヴィクトル・ヴァザルリ	星座 6	1967	シルクスクリーン・紙	70.4×35.5
53	ヴィクトル・ヴァザルリ	星座 7	1967	シルクスクリーン・紙	68.1×34.1
54	ヴィクトル・ヴァザルリ	星座 8	1967	シルクスクリーン・紙	69.9×35.1
55	フランク・ステラ	ポラー・コーディネイツ(フォー・ロニー・ピーターソン)I	1978	オフセットリトグラフ・シルクスクリーン・レタープレス・紙	97.7×96.3
56	フランク・ステラ	ポラー・コーディネイツ(フォー・ロニー・ピーターソン)II	1978	オフセットリトグラフ・シルクスクリーン・レタープレス・紙	97.8×96.4
57	フランク・ステラ	ポラー・コーディネイツ(フォー・ロニー・ピーターソン)III	1978	オフセットリトグラフ・シルクスクリーン・レタープレス・紙	97.8×96.3
58	フランク・ステラ	ポラー・コーディネイツ(フォー・ロニー・ピーターソン)IV	1978	オフセットリトグラフ・シルクスクリーン・レタープレス・紙	96.5×97.9
59	フランク・ステラ	ポラー・コーディネイツ(フォー・ロニー・ピーターソン)V	1978	オフセットリトグラフ・シルクスクリーン・レタープレス・紙	96.4×97.5
60	フランク・ステラ	ポラー・コーディネイツ(フォー・ロニー・ピーターソン)VI	1978	オフセットリトグラフ・シルクスクリーン・レタープレス・紙	97.8×96.4
61	フランク・ステラ	ポラー・コーディネイツ(フォー・ロニー・ピーターソン)VII	1978	オフセットリトグラフ・シルクスクリーン・レタープレス・紙	96.4×97.5
62	フランク・ステラ	ポラー・コーディネイツ(フォー・ロニー・ピーターソン)VIII	1978	オフセットリトグラフ・シルクスクリーン・レタープレス・紙	97.5×96.4
63	ヴィクトル・ヴァザルリ	パリ-東京 I	1980	シルクスクリーン・紙	51.9×52.2
64	ヴィクトル・ヴァザルリ	パリ-東京 II	1980	シルクスクリーン・紙	52.0×52.3
65	ヴィクトル・ヴァザルリ	パリ-東京 III	1980	シルクスクリーン・紙	52.0×52.1
66	ヴィクトル・ヴァザルリ	パリ-東京 IV	1980	シルクスクリーン・紙	52.0×52.2
67	ヴィクトル・ヴァザルリ	パリ-東京 V	1980	シルクスクリーン・紙	51.9×51.9
68	ヴィクトル・ヴァザルリ	パリ-東京 VI	1980	シルクスクリーン・紙	52.0×52.0
〈第5章 日本人アーティストの展開〉					
69	磯辺行久	Work 62	1962	油彩・大理石粉・紙・木	181.5×136.3
70	磯辺行久	WK125-10 PARACHUTE CANOPY PROJECT THE DELTA II PARAWING	1969	スクリーンプリント・紙	63.8×90.5
71	磯辺行久	WK80-12 PARACHUTE CANOPY STRUCTURE ACTIVATED BY NATURAL AIR-FLOW	1969	スクリーンプリント・紙	54.7×79.0
72	磯辺行久	WD-102-8 SPECIFICATION AND INSTALLATION INSTRUCTIONS FOR WESTERN AIR STRUCTURE	1968	スクリーンプリント・紙	62.5×88.5
73	磯辺行久	WD-101-9 SPECIFICATION AND INSTALLATION INSTRUCTIONS FOR DARTMOUTH COLLEGE ART FESTIVAL	1968	スクリーンプリント・紙	62.2×88.5
74	岡本健彦	Untitled	1999 (1966年作の再制作)	アクリル・キャンバス	90.0×90.0
75	岡本健彦	Untitled	1999 (1966年作の再制作)	アクリル・キャンバス	105.0×196.0
76	岡本健彦	4つの丸	2000	油彩・鉛・アルミニウム・和紙・ポリプロピレン・ キャンバス・合板	147.0×160.0
77	佐藤正明	Newsstand No.19-A	1986-87	リトグラフ・紙	62.0×81.0
78	佐藤正明	Newsstand No.66-W(The Bible in Art)	1996-99	木版・紙	41.9×40.6
79	佐藤正明	Newsstand No.61-B(FLEX)	2007	ソーラープレート・エッチング・紙	32.0×25.0
80	福井延光	#108-73(八角形)	1973	アクリル・キャンバス	171.0×172.0
81	福井延光	#109-73(九角形)	1973	アクリル・キャンバス	171.0×171.0
82	福井延光	花(5)	1968	アクリル・キャンバス	142.0×142.0

## マルク・シャガール 愛と祈りと冒険と。8つの版画物語

ペラルーシのヴィテブスクに生まれ、フランスで活躍したマルク・シャガール。愛と幻想が交錯する色鮮やかな作品世界は、今なお世界中の人々に愛されている。シャガールは油彩とともに版画にも積極的に取り組み、銅版、リトグラフを中心に2,000点を超える版画作品を残したことで知られている。本展では、シャガールが生涯にわたり主要なテーマとした旧約聖書に基づく『聖書』、「千夜一夜物語」の名でも知られるイスラムの説話集をもとにした『アラビアンナイトからの四つの物語』、版画家、シャガールの最高傑作と評される『ダフニスとクロエ』はじめ、『悪童たち』『サーカス』『オデッセイ』など、代表的な8つの版画集から全279点を一堂で紹介。8つの版画集が紡ぐ、愛と祈りと冒険あふれる物語世界を旅をするような鑑賞へと誘った。なお新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、予定していた大野陽子によるスペシャルギャラリートーク(3月1日)、学芸員によるスペシャルトーク(3月8日)、ギャラリートーク(3月15日)が中止となった。

会 期 2020年2月1日(土)～3月29日(日) 49日間

主催会場 高崎市美術館

企画協力 株式会社谷口事務所

関連事業 学芸員によるギャラリートーク 担当:柴田純江(当館学芸員) 2/24(月・祝)午後2時～3時

関連記事 「マルク・シャガール 愛と祈りと冒険と。8つの版画物語」(広報高崎 1月15日)

「文化紀行/マルク・シャガール—愛と祈りと冒険と。8つの版画物語」(朝日ぐんま 2月21日)

入 場 者 6,766名

印刷物 『マルク・シャガール物語 愛と野望とエグザイル。激動の97年間』リーフレット

No.	展示 No.	作品名	技法・材質
〈第1章『母性』Maternité 1926年刊行〉			
1	1-1	『母性』pl.1	エッチング・ドライポイント
2	1-2	『母性』pl.2	エッチング・ドライポイント
3	1-3	『母性』pl.3	エッチング・ドライポイント
4	1-4	『母性』pl.4	エッチング・ドライポイント
5	1-5	『母性』pl.5	エッチング・アクアチント・ドライポイント
〈第2章『悪童たち』De Mauvais sujets 1958年刊行〉			
6	4-1	『悪童物語』pl.1	エッチング・アクアチント
7	4-2	『悪童物語』pl.2	エッチング・アクアチント
8	4-3	『悪童物語』pl.3	エッチング・アクアチント
9	4-4	『悪童物語』pl.4	エッチング・アクアチント
10	4-5	『悪童物語』pl.5	エッチング・アクアチント
11	4-6	『悪童物語』pl.6	エッチング・アクアチント
12	4-7	『悪童物語』pl.7	エッチング・アクアチント
13	4-8	『悪童物語』pl.8	エッチング・アクアチント
14	4-9	『悪童物語』pl.9	エッチング・アクアチント
15	4-10	『悪童物語』pl.10	エッチング・アクアチント
〈第3章『オデッセイ』L'Odyssée 1975年刊行〉			
16	8-1	『オデッセイ』扉絵	リトグラフ
17	8-2	神々の集会	リトグラフ
18	8-3	テレマコスの舟を導く女神アテナ	リトグラフ
19	8-4	アテナに捧げる生贄	リトグラフ
20	8-5	メネラオス宮の饗宴	リトグラフ
21	8-6	プロテウス	リトグラフ
22	8-7	オデッセウスの嘆き	リトグラフ
23	8-9	アルシノースの宮殿	リトグラフ
24	8-11	アテナと馬	リトグラフ
25	8-10	アレスとアフロディーテ	リトグラフ
26	8-12	…私はオデッセウスだ	リトグラフ
27	8-14	エオレの島	リトグラフ
28	8-16	エルベノールの亡霊	リトグラフ
29	8-17	ティティオス	リトグラフ
30	8-18	シジフォス	リトグラフ
31	8-19	波にのまれるオデッセウス	リトグラフ
32	8-13	ポリュフェモス	リトグラフ
33	8-8	ナウシカの前のオデッセウス	リトグラフ
34	8-15	キルケー	リトグラフ
35	8-20	セイレンたち	リトグラフ
36	8-21	扉絵	リトグラフ
37	8-22	アルシノース宮のオデッセウス	リトグラフ
38	8-23	浮浪者に変装したオデッセウス	リトグラフ
39	8-24	オデッセウスとエウマイオス	リトグラフ
40	8-25	オデッセウスと仲間達	リトグラフ
41	8-26	アテナとテレマコス	リトグラフ

No.	展示 No.	作品名	技法・材質
42	8-27	予兆 隼と鳩	リトグラフ
43	8-28	オデッセウスとテレマコスの再会	リトグラフ
44	8-29	ポセイドン	リトグラフ
45	8-30	饗宴を準備する求婚者達	リトグラフ
46	8-31	オデッセウスとイロスの戦い	リトグラフ
47	8-32	オデッセウスとエウルクレイア	リトグラフ
48	8-33	オデッセウスを眠らせるアテナ	リトグラフ
49	8-34	テオクリメノス	リトグラフ
50	8-35	ベネロペとオデッセウスの弓	リトグラフ
51	8-36	オデッセウスの弓	リトグラフ
52	8-37	求婚者達の殺戮	リトグラフ
53	8-38	オデッセウスとベネロペ	リトグラフ
54	8-39	歓待	リトグラフ
55	8-40	ベットに横たわるオデッセウス	リトグラフ
56	8-41	冥府	リトグラフ
57	8-42	エウピテス	リトグラフ
58	8-43	回復した平和	リトグラフ
〈第4章『聖書』Bible 1956年刊行〉			
59	3-1	『バイブル』人間の創出	エッチング
60	3-2	箱舟の鳩	エッチング
61	3-3	ノアの生贄	エッチング
62	3-4	虹	エッチング
63	3-5	ぶどう酒に酔ったノア	エッチング
64	3-6	割礼	エッチング
65	3-7	アブラハムと3人の天使	エッチング
66	3-8	ソドムへ下る	エッチング
67	3-9	ロトとその娘たち	エッチング
68	3-10	アブラハムの生贄	エッチング
69	3-11	サラの死を悼むアブラハム	エッチング
70	3-12	泉のほとりのリベカ	エッチング
71	3-13	イサクから祝福を受けるヤコブ	エッチング
72	3-14	ヤコブの梯子	エッチング
73	3-15	ヤコブとラケルの出会い	エッチング
74	3-16	ヤコブと天使の闘い	エッチング
75	3-17	ラケルの墓	エッチング
76	3-18	若き羊飼いのヨセフ	エッチング
77	3-19	ヨセフとその兄弟たち	エッチング
78	3-20	ヨセフの死を嘆き悲しむヤコブ	エッチング
79	3-21	ポティファルの妻	エッチング
80	3-22	ファラオの夢	エッチング
81	3-23	ヨセフと兄弟たちの再会	エッチング
82	3-24	エジプトへ出立するヤコブ	エッチング
83	3-25	エフライムとマナセの祝福	エッチング
84	3-26	川から助け出されたモーセ	エッチング
85	3-27	燃えるしば	エッチング
86	3-28	モーセと蛇	エッチング
87	3-29	モーセとアロンの出会い	エッチング
88	3-30	ファラオの前のモーセとアロン	エッチング
89	3-31	エジプトを覆う闇	エッチング
90	3-32	過越の祭りの食事	エッチング
91	3-33	出エジプト	エッチング
92	3-34	紅海の道	エッチング
93	3-35	モーセの姉ミリヤムの踊り	エッチング
94	3-36	岩から水を噴き出させるモーセ	エッチング
95	3-37	神から石板を授かるモーセ	エッチング
96	3-38	金の仔牛	エッチング
97	3-39	律法の石板を砕くモーセ	エッチング
98	3-40	アロンと燭台	エッチング
99	3-41	モーセの死	エッチング
100	3-42	ヨシュアに祝福するモーセ	エッチング
101	3-43	主の命により武装したヨシュア	エッチング
102	3-44	ヨルダン河の道	エッチング
103	3-45	剣の天使の前のヨシュア	エッチング
104	3-46	エリコの町を目前にするヨシュア	エッチング
105	3-47	律法の言葉を読むヨシュア	エッチング
106	3-48	太陽を止めるヨシュア	エッチング
107	3-49	ヨシュアと征服された王たち	エッチング
108	3-50	ヨシュアの訓戒	エッチング
109	3-51	ヨシュアとシケムの石	エッチング

No.	展示 No.	作品名	技法・材質
110	3-52	女預言者デボラ	エッチング
111	3-53	マノアの生贖	エッチング
112	3-54	サムソンと獅子	エッチング
113	3-55	ガザの町の門をかつぎあげるサムソン	エッチング
114	3-56	サムソンとデリラ	エッチング
115	3-57	柱を倒すサムソン	エッチング
116	3-58	主に祈るハンナ	エッチング
117	3-59	主に呼ばれるサムエル	エッチング
118	3-60	サウルの塗油礼	エッチング
119	3-61	サウルとダヴィデ	エッチング
120	3-62	ダヴィデと獅子	エッチング
121	3-63	ゴリアテを成敗したダヴィデ	エッチング
122	3-64	サウルの前のダヴィデ	エッチング
123	3-65	サウルの死	エッチング
124	3-66	弓の歌	エッチング
125	3-67	ダヴィデ王	エッチング
126	3-68	エルサレムに運ばれる聖櫃	エッチング
127	3-69	ダヴィデとバテシバ	エッチング
128	3-70	ダヴィデとアブサロム	エッチング
129	3-71	オリーブ山を登るダヴィデ	エッチング
130	3-72	アブサロムの最期	エッチング
131	3-73	アブサロムの死を悼むダヴィデ	エッチング
132	3-74	ダヴィデの雅歌	エッチング
133	3-75	ダヴィデに跪くバテシバ	エッチング
134	3-76	ソロモン王の塗油礼	エッチング
135	3-77	ソロモンの夢	エッチング
136	3-78	ソロモンの裁き	エッチング
137	3-79	ソロモンの祈り	エッチング
138	3-80	シバの女王	エッチング
139	3-81	玉座のソロモン	エッチング
140	3-82	獅子に殺された預言者	エッチング
141	3-83	エリヤとツァレファトの寡婦	エッチング
142	3-84	エリヤによって蘇った子供	エッチング
143	3-85	エリヤの供物	エッチング
144	3-86	カルメル山のエリヤ	エッチング
145	3-87	天使に触れられたエリヤ	エッチング
146	3-88	エリヤの見神	エッチング
147	3-89	天に昇るエリヤ	エッチング
148	3-90	エルサレムについての預言	エッチング
149	3-91	イザヤの見神	エッチング
150	3-92	メシアの時代	エッチング
151	3-93	バビロンについての審判	エッチング
152	3-94	ヤコブを哀れむ主	エッチング
153	3-95	エルサレム解放	エッチング
154	3-96	エルサレムへの約束	エッチング
155	3-97	主に導かれる人	エッチング
156	3-98	エルサレムへの恩寵	エッチング
157	3-99	イザヤの祈り	エッチング
158	3-100	エレミヤの召命	エッチング
159	3-101	エルサレム捕囚	エッチング
160	3-102	地下牢の中のエレミヤ	エッチング
161	3-103	エレミヤの嘆き	エッチング
162	3-104	エゼキエルの見神	エッチング
163	3-105	エゼキエルの召命	エッチング
〈第5章 『出エジプト記』The Story of the Exodus 1966年刊行〉			
164	6-1	『出エジプト記』扉絵	リトグラフ
165	6-2	かくしてファラオの娘は籠を開け、そこに一人の赤子を見た。	リトグラフ
166	6-3	月日を経て成長したモーセは同胞のもとに出かけて行き、彼らが使役に喘ぐ様を目の当りにした。	リトグラフ
167	6-4	かくして神の使いが、茨の灌木の中から、彼の方に向かって、炎に包まれて現れた。 モーセが見ると、見よ、茨の灌木が火で燃えていたが、それは燃え尽きることはなかった。	リトグラフ
168	6-5	彼[モーセ]は杖を地に投じた。すると杖は蛇に変わり、モーセは飛び退いた。	リトグラフ
169	6-6	かくして神はアロンに命じられた、「荒れ野砂漠に行きモーセを訪ねよ。」行って彼は、神の山でモーセに会い、接吻した。	リトグラフ
170	6-7	かくしてモーセはアロンと共に出かけ、イスラエルの子等の長老たちを皆集めた。	リトグラフ
171	6-8	その後、モーセとアロンはファラオに謁見し、告げた。「イスラエルの神、すなわちヤハウェは、かく宣うた、『わが民を行かしめよ。』」	リトグラフ
172	6-9	かくしてモーセは手を天に差し出した。すると漆黒の間がエジプト全土を覆った。	リトグラフ
173	6-10	かくしてモーセは手を海に差出した……すると海水は戻り、おしよせて、戦車や騎士、彼らを追って海に入ったファラオの軍隊をも、ことごとくのみこんだ。	リトグラフ
174	6-11	そしてアロンの姉にして予言者ミリヤムはタンバリンを手を取った。彼女に続き、女たちは皆タンバリンを手を持ち、輪になって踊りながら姿を見せた。	リトグラフ
175	6-12	「お前はその岩を打て。さすればそこから水が湧き出、民は飲むことが出来るであろう。」	リトグラフ
176	6-13	かくして、アマレクがレフィディムに来て、イスラエルを脅かしたときモーセはヨシュアに告げた。「我らがために男どもを選び出し、行ってアマレクを打ちなさい。」	リトグラフ

No.	展示 No.	作品名	技法・材質
177	6-14	モーセはかくして、民の長老達を呼び集め、神が彼に命じた言葉一つ残さず彼らに語り聞かせた。	リトグラフ
178	6-15	お前はまた、アロンとその子らに油を注ぎ、彼らを聖別して、祭司として私に仕えさせよ。	リトグラフ
179	6-16	神は自らの手で契約を書き記した2つの石板をモーセに授けた。	リトグラフ
180	6-17	かくして民は皆、身に付けていた金の耳飾りをすすんで外し、アロンに託した。受け取るアロンは鍔型を整え、仔牛の彫像を作った。	リトグラフ
181	6-18	モーセの怒りは燃え上がり、彼は山の麓で石板を投げ捨て、それらを砕いた。	リトグラフ
182	6-19	モーセは石板の上に、十の戒めからなる契約の言葉を書き記した。	リトグラフ
183	6-20	かくしてモーセは、イスラエルの全会衆を集め、彼らに告げた、「これらは神があなたがたにそうするようにと下された言葉である。」	リトグラフ
184	6-21	ベツァルエルは金のケルビムを作った。それらのケルビムは翼を広げ、互いに顔を向け合っていた。彼はまた純金で燭台を作った。	リトグラフ
185	6-22	さらに彼らは、祭壇で務めを果たすための巧に織られた衣装を作った。すなわち彼らは、神がモーセに命じた通り、アロンのためになる聖なる祭服を作った。	リトグラフ
186	6-23	そしてモーセは全ての仕事を確かめ、はたして、神が命じた通りになされているのを確認した。そこでモーセは彼らを祝福した。	リトグラフ
187	6-24	まことに、昼は仮庵の上に神の雲があり、そして夜は雲の中に火が現れ、旅路においてそれは、いつのときでもイスラエルの家の全会衆に見えた。	リトグラフ
〈第6章『ダフニスとクロエ』Daphnis et Chloé 1961年刊行〉			
188	5-1	『ダフニスとクロエ』扉絵	リトグラフ
189	5-2	ラモーンに見つけ出されたダフニス	リトグラフ
190	5-3	ドリュアスに見つけ出されたクロエ	リトグラフ
191	5-4	ラモーンとドリュアスの夢	リトグラフ
192	5-5	牧場の春	リトグラフ
193	5-6	狼の落とし穴	リトグラフ
194	5-7	泉のほとりのダフニスとクロエ	リトグラフ
195	5-8	クロエの裁き	リトグラフ
196	5-9	クロエの接吻	リトグラフ
197	5-10	ドルコーンの策略	リトグラフ
198	5-11	夏の真昼	リトグラフ
199	5-12	つばめ	リトグラフ
201	5-13	ドルコーンの死	リトグラフ
202	5-14	ニンフたちの洞窟	リトグラフ
200	5-15	葡萄の収穫	リトグラフ
203	5-16	フィレータースの果樹園	リトグラフ
204	5-17	フィレータースの教え	リトグラフ
205	5-18	メテュムナの若者たち	リトグラフ
206	5-19	誘惑されたクロエ	リトグラフ
207	5-20	ダフニスの夢とニンフたち	リトグラフ
208	5-21	ブリュアクス將軍の夢	リトグラフ
209	5-22	ニンフたちへの捧げ物	リトグラフ
210	5-23	牧神パーンの饗宴	リトグラフ
211	5-24	シュリンクスの寓話	リトグラフ
212	5-25	冬	リトグラフ
213	5-26	小鳥狩り	リトグラフ
214	5-27	ドリュアス家での食事	リトグラフ
215	5-28	春	リトグラフ
216	5-29	ダフニスとリュカイニオン	リトグラフ
217	5-30	エコー(森の精)	リトグラフ
218	5-31	夏の季節	リトグラフ
219	5-32	死んだイルカと300エキユ	リトグラフ
220	5-33	クロエ	リトグラフ
221	5-36	荒らされた花々	リトグラフ
222	5-34	果樹園	リトグラフ
223	5-37	ダフニスとグナトーン	リトグラフ
224	5-38	ディオニュソファーネスの到着	リトグラフ
225	5-39	クレアリスデーに着付けと髪を結ってもらうクロエ	リトグラフ
226	5-35	神殿とパックス神の物語	リトグラフ
227	5-40	祝宴で娘を見つけたメガクレース	リトグラフ
228	5-41	ニンフたちの洞窟での婚礼の宴	リトグラフ
229	5-42	結婚	リトグラフ
〈第7章『アラビアンナイトからの四つの物語』Four tales from the Arabian nights 1948年刊行〉			
230	pl.1	カマール・アッザマーンと宝石細工師の妻より そして少年は胸をあらわにして言った「私の胸を見なさい…」	リトグラフ
231	pl.2	カマール・アッザマーンと宝石細工師の妻より 彼らは40組、したがって80人だった。その真ん中には、一人の乙女がいた…	リトグラフ
232	pl.3	カマール・アッザマーンと宝石細工師の妻より それから彼は彼女をしっかりと抱きしめ夜を過ごした…	リトグラフ
233	pl.4	海王の娘ジュルナルとその息子ペルシア王バトル・バジムより 王は自らの手で彼女の衣装を脱がせると、その肉体を眺めた…	リトグラフ
234	pl.5	海王の娘ジュルナルとその息子ペルシア王バトル・バジムより そこで私は海から出て、月光の元で島の辺に腰を下ろしたのです…	リトグラフ
235	pl.6	海王の娘ジュルナルとその息子ペルシア王バトル・バジムより そこで彼女は木から下り、彼に近づく胸に抱きしめた…	リトグラフ
236	pl.7	海王の娘ジュルナルとその息子ペルシア王バトル・バジムより それから老女はイフリットの背に乗り、娘を前に乗せた…	リトグラフ
237	pl.8	漁師のアブドゥッラーと海のアブドゥッラーより アブドゥッラーが網を引き寄せた時、その中に一人の男が入っているのを見た。	リトグラフ
238	pl.9	漁師のアブドゥッラーと海のアブドゥッラーより アブドゥッラーは彼の前方の左右におびただしい海水を認めた…	リトグラフ
239	pl.10	黒檀の馬の物語より いまや王は科学と幾何学を好んだ。そしてある祭の日、王が玉座に着くと3人の賢者がやって来た…	リトグラフ
240	pl.11	黒檀の馬の物語より 彼は寝椅子へと上がっていき、乙女が自分の髪の毛をまとい眠っているのを見出した…	リトグラフ
241	pl.12	黒檀の馬の物語より 黒檀の馬にまたがり、彼は彼女を後ろに乗せた…	リトグラフ
〈第8章『サーカス』Cirque 1967年刊行〉			
242	7-1	『サーカス』扉絵	リトグラフ

No.	展示 No.	作品名	技法・材質
243	7-2	自転車乗りたち	リトグラフ
244	7-3	緑の馬の上の女曲馬師	リトグラフ
245	7-4	無題	リトグラフ
246	7-5	恋人たち	リトグラフ
247	7-9	大きな道化師	リトグラフ
248	7-10	黄色の道化師	リトグラフ
249	7-6	無題	リトグラフ
250	7-7	無題	リトグラフ
251	7-8	無題	リトグラフ
252	7-17	猛獣たち	リトグラフ
253	7-28	サーカス	リトグラフ
254	7-21	馬たち	リトグラフ
255	7-19	無題	リトグラフ
256	7-13	無題	リトグラフ
257	7-18	無題	リトグラフ
258	7-14	無題	リトグラフ
259	7-15	猛獣使い	リトグラフ
260	7-12	リング	リトグラフ
261	7-26	無題	リトグラフ
262	7-16	オーギュスト	リトグラフ
263	7-11	空中ブランコ乗りと曲芸師たち	リトグラフ
264	7-22	白い服の女曲芸師	リトグラフ
265	7-23	黄色のリング	リトグラフ
266	7-27	青い曲芸師	リトグラフ
267	7-24	無題	リトグラフ
268	7-20	無題	リトグラフ
269	7-29	無題	リトグラフ
270	7-25	無題	リトグラフ
271	7-36	無題	リトグラフ
272	7-37	無題	リトグラフ
273	7-30	無題	リトグラフ
274	7-31	無題	リトグラフ
275	7-32	扇を持つ女曲芸師	リトグラフ
276	7-33	花束を持つ娘	リトグラフ
277	7-34	軽業師たち	リトグラフ
278	7-35	空中ブランコ乗り	リトグラフ
279	7-38	演奏する道化師	リトグラフ

## 秋山コレクション 人間のいる風景 ラインハルト・サビエ、深井克美を中心に

ノルウェーの画家、ラインハルト・サビエと、北海道出身の画家、深井克美は、いずれも人間存在そのものについて深く思考し続け、人間の揺るぎない存在感や、残酷なまでの危うさをえぐるように呈示する絵画を描いた画家である。本展では「人間のいる風景」というテーマにより、群馬県内の個人コレクターが所蔵するサビエと深井の代表的な作品を中心に、同コレクターのコレクションより、「新しい表現者たち」「女性たちのいる風景」「人間が描いた風景」、そして「人間のいる風景-ラインハルト・サビエ」「人間のいる風景-深井克美」の5コーナー、87点の作品を紹介した。戦後の日本美術を牽引した作家たちから21世紀の現代美術を担う若手まで、とくに群馬県ゆかりの作家の代表作を選りすぐり、近現代の日本美術の流れを概観する機会となった。なお新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う緊急事態宣言(4月16日～5月14日)による臨時休館のため、4月25日の開催予定を5月16日に変更し、関連事業として予定していたアーティストトークやワークショップはすべて中止となった。

会 期 2020年5月16日(土)～6月21日(日) 32日間

主催会場 高崎市美術館

関連記事 「秋山コレクション 人間のいる風景」(広報高崎 4月1日)

「心つかむ人物描写を 再開の市美術館で企画展」(上毛新聞 5月20日)

「各施設手探りで営業再開 コロナ感染予防策を徹底 会場「密」にならない配慮」(朝日ぐんま 5月22日)

「秋山コレクション 人間のいる風景 ラインハルト・サビエ、深井克美を中心に」(月刊ギャラリー 6月1日)

入 場 者 1,188名

印 刷 物 『秋山コレクション 人間のいる風景 ラインハルト・サビエ、深井克美を中心に』図録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm
〈新しい表現者たち〉					*は群馬県立近代美術館寄託
1	ましゆき	食香	2012	インク・紙・パネル	136.0×100.0
2	高松和樹	新しい友達ができたと え～！紹介してよ♪	2011	ターボリン・ジクレー・アクリル・アクリルグアッシュ・メディウム	72.7×90.9
3	加藤恒一	トイプードルはオモチャかどうか	2009	油彩・キャンバス	72.7×60.6
4	宏二郎	そこにあるもの No.146 蠟燭	2014	油彩・板	15.0×9.4
5	中井章人	繰り返される真実は現実味を失っていく	2014	油彩・パネル	左:150.0×84.5 中:150.0×165.0 右:150.0×84.5
6	渡辺おさむ	お菓子拾い	2014	モデリングペースト・アクリル樹脂	51.5×64.4×6.3
7	渡辺おさむ	MARILYN	2014	モデリングペースト・アクリル樹脂	80.3×80.3×3.0
8	森洋史	Memorise-3	2013	油彩・アクリル・ウレタン・UV硬化樹脂・メッキ・アルミニウム	116.7×116.7
9	森洋史	The End	2014	油彩・アクリル・ウレタン・UV硬化樹脂・メッキ・アルミニウム	91.0×154.0×3.2
10	そらみずほ	不完全な放課後より～再現・再生・浮遊～	2010	油彩・キャンバス	84.0×103.5
11	上原三千代	秋の終わりの鳥の屏風	1996	樟・乾漆・白土・彩色	100.0×30.0×30.0
12	林茂樹	CURBW2G #15	不詳	陶	20.5×40.5×19.0
13	長瀬正太	Fire works series「火の鳥」より 紅炎	2017	アーカイバルピグメントプリント・竹和紙	46.2×31.0
〈女性たちのいる風景〉					
14	山口薫	赤い服の女	不詳	油彩・キャンバス	22.7×15.8
15	須田剋太	裸婦	不詳	パステル・紙	26.0×37.5
16	清水刀根	裸婦	1971	油彩・キャンバス	53.0×65.2
17	司修	谷底から見上げる空はすでに低く雲に被われ	1975	油彩・キャンバス	72.7×116.7
18	司修	変身	1975	油彩・キャンバス	72.7×53.0
19	正田壤	顔	1950-53年頃	油彩・キャンバス	45.5×38.0
20	李志宏	ムエちゃん	1988	パステル・紙	53.0×41.0
21	長谷川昇	バレリーナ	不詳	油彩・キャンバス	33.3×24.2
22	牧野邦夫	赤の憂羅	1978	油彩・キャンバス	116.7×91.0
23	柳沢淑郎	裸婦	1978	油彩・キャンバス	65.2×53.0
24	柳沢淑郎	女優	不詳	油彩・キャンバス	130.3×97.0
25	柳沢淑郎	女優二人	1995	油彩・キャンバス	193.9×97.0
26	柳沢淑郎	二人	1957	油彩・キャンバス	145.5×112.0
27	大矢英雄	春の在所Ⅲ	1996	油彩・キャンバス	53.0×53.0
28	塚本茂	肖像	不詳	油彩・キャンバス	72.7×60.6
29	難波田史男	少女	1973	水彩・紙	21.0×31.5
30	里見勝蔵	顔	1921-25	油彩・キャンバス	35.0×27.0
31	金井訓志	セシリア	不詳	テンペラ・箔・石膏ボード	41.0×31.8
32	大沼映夫	女の顔	不詳	油彩・キャンバス	27.3×22.0
33	池田カオル	鳥	1985	乾漆	56.0×27.0×29.0
34	平出豊	風遊	不詳	ブロンズ	51.3×30.2×20.5
35	佐藤助雄	花の咲く頃	不詳	ブロンズ	62.0×23.0×23.0
〈人間が描いた風景〉					
36	中村節也	早春の浅間山	1964	油彩・キャンバス	31.8×41.0
37	大森啓助	浅間高原	不詳	油彩・キャンバス	51.8×44.0
38	小林良曹	赤城山	不詳	油彩・キャンバス	52.8×73.8

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm
39	横堀角次郎	静物	1917年頃	油彩・キャンバス	32.0×41.0
40	横堀角次郎	代々木風景	1920年頃	油彩・キャンバス	45.2×33.5
41	横堀角次郎	黄葉	1932	油彩・キャンバス	33.7×24.5
42	横堀角次郎	山麓の沼	1964	油彩・キャンバス	45.5×53.0
43	横堀角次郎	東大三四郎池	1967	油彩・キャンバス	72.7×91.0
44	横堀角次郎	箱根二子山より	不詳	油彩・キャンバス	32.0×41.0
45	横堀角次郎	山百合	1975年頃	油彩・キャンバス	37.5×45.3
46	横堀角次郎	秋海棠	不詳	岩絵具・紙	38.0×45.5
47	深谷徹	マドリッドの屋根	不詳	油彩・キャンバス	72.7×53.0
48	鶴岡政男	雨後の夕近き海	1953	油彩・キャンバス	44.5×51.5
49	村上肥出夫	ガール・ドゥ・ノード	1972	油彩・キャンバス	53.0×53.0
50	佐藤泰生	カフェテラス 緑の木陰	不詳	油彩・キャンバス	91.0×72.7
51	今井充俊	時の扉	1999	テンペラ・油彩・キャンバス	91.0×72.7
52	田口安男	白いトルソ	1999	テンペラ・箔・石膏ボード	72.3×42.0
53	田中正	秋の終わりに	2013	ボールペン・色鉛筆・紙	90.0×113.0
〈人間のいる風景—ラインハルト・サビエ〉					
54	鶴岡政男	顔	1953	インク・紙	24.2×19.5
55	牧野邦夫	逆光の自画像	1971	油彩・キャンバス	22.7×15.8
56	平野遼	コンギウムアウレム合奏団より	不詳	油彩・キャンバス	22.7×15.8
57	宮崎進	光のなかの人	不詳	油彩・キャンバス	53.0×45.5
58	ラインハルト・サビエ	焼失	1996	グアッシュ・クレヨン・紙	115.0×110.0
59	ラインハルト・サビエ	キエフの聖少女	1996	グアッシュ・クレヨン・紙	126.5×93.5
60	ラインハルト・サビエ	スクレブレニカから来たマドンナ I	1995	グアッシュ・クレヨン・アクリル・コラーージュ・紙	112.0×91.0
61	ラインハルト・サビエ	ロシアの詩人	1996	コンテ・グアッシュ・アクリル・コラーージュ・紙	121.0×101.0
62	ラインハルト・サビエ	ベルギーの死んだ人形	1996	グアッシュ・クレヨン・紙	103.5×85.2
63	草間彌生	Pumpkins	1982	ペイント・木	57.5×30.3×26.3
64	清水刀根	花	不詳	油彩・キャンバス	45.5×38.0
65	南城一夫	ひまわり	1963	油彩・キャンバス	72.8×60.6
66	南城一夫	オルガン	1962	油彩・キャンバス	90.9×72.7
67	森村西三	鑄銅香炉 蟹	1939	銅・鑄造	7.5×28.5×11.0
68	関根伸夫	宇宙ダルマ	不詳	ブロンズ	22.0×15.0×17.0
69	大貝滝雄	作品	不詳	大理石	20.0×30.0×9.0
〈人間のいる風景—深井克美〉					
70	豊田一男	母子	1983	ワックス・キャンバス	71.4×48.8
71	豊田一男	よいどれ天使	1963	ワックス・キャンバス	78.1×97.6
72	深井克美	海	1976	油彩・キャンバス	14.2×18.1
73	深井克美	青春1	1978	油彩・キャンバス	91.1×73.2
74	深井克美	青春2	1978	油彩・キャンバス	91.1×73.1
75	深井克美	オリオン	1977	油彩・キャンバス	145.7×97.9
76	深井克美	風	1978	油彩・キャンバス	89.8×125.4
77	深井克美	笑う	1977	鉛筆・紙	19.7×15.8
78	深井克美	悲しい幸福	1977年頃	鉛筆・紙	19.0×14.3
79	前田常作	人間風景No. 32	1961-62	油彩・キャンバス	81.0×121.5
80	小山田二郎	野火	1964	油彩・キャンバス	65.2×53.0
81	堀浩哉	ジャングル 14	不詳	ミクストメディア	130.3×97.0
82	彦坂尚嘉	P.W.P. 青い水	1995	アクリル・木	54.5×42.3×7.0
83	鶴岡政男	港の街	1950年代	油彩・キャンバス	37.9×45.5
84	村井正誠	二人	1973	油彩・キャンバス	80.3×65.2
85	難波田龍起	街	1988	油彩・キャンバス	45.3×37.5
86	李田たけを	早春譜	不詳	油彩・木・鉄	32.5×23.5
87	泉澤守	柿を描いた日	1988	テンペラ・油彩・キャンバス	24.2×33.3



## FLOWER 今をいろどる花たち

力強さとともに美しさと儚さをもった花は、いつの時代もアーティストたちのインスピレーションの源である。本展では、新恵美佐子の日本画1点、ホセ・マリア・シシリアの蜜蝋画2点、渡辺香奈の油彩18点、大竹夏紀の染色作品12点、ましもゆきのペン画12点、大村雪乃の文房具シールを用いた作品6点という、6名の作家による花を描いた作品51点を、「生命の花」「暗示する花」「女神の花」「増殖する花」の4つのテーマで紹介した。県内外で活躍する若手アーティストを紹介することにより、現代アートの一端と、様々な技法と表現方法によって、親しみやすいテーマである花を巡り、アーティストたちがどんな思いを託し描いたのかを感じてもらえる展覧会となった。また夏休みに伴い、子どもも楽しめる企画として、東京の桜の名所である千鳥ヶ淵の桜並木をモチーフに、シールを貼って作品を完成させる参加型作品を設置した。作家と同じ作業工程を経ることで制作現場を追体験でき、制作する楽しさや喜びを味わう機会として好評だった。

**会 期** 2020年7月4日(土)～8月30日(日) 50日間

**主催会場** 高崎市美術館

**関連事業** 作家解説動画配信(Twitter サムネイル、YouTube 各作家計3回)

渡辺香奈(画家) 7/22(水)公開、大竹夏紀(ろうけつ染め作家) 7/29(水)公開、ましもゆき(画家) 7/30(木)公開、大村雪乃(アーティスト) 7/31(金)公開

\*新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、予定していた出品作家による解説を高崎市 YouTube チャンネル(高崎市美術館 HP および Twitter にリンクを貼り公開)にて配信した。

**関連記事** 「FLOWER 今をいろどる花たち」(広報高崎 7月1日)

「FLOWER 今をいろどる花たち 日々の悲喜とともにある花」(いけばな龍生 7月1日)

「6作家の個性咲く 高崎市美術館「FLOWER」展」(上毛新聞 7月21日)

「文化紀行／FLOWER 今をいろどる花たち」(朝日ぐんま 7月24日)

**入 場 者** 4,528名

**印 刷 物** 『FLOWER 今をいろどる花たち』図録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
〈生命の花〉					
1	新恵美佐子	花	2019	顔料・墨・アクリル・キャンバス	作家
2	ホセ・マリア・シシリア	赤い花々II	1998	油彩・蠟・蜜蝋・板	群馬県立近代美術館
3	ホセ・マリア・シシリア	赤い花々VI	1998	油彩・蠟・蜜蝋・板	群馬県立近代美術館
〈暗示する花〉					
4	渡辺香奈	Perfect Blue～紅いバラを探す～	2018	油彩・キャンバス	作家
5	渡辺香奈	一輪を花束にして	2019	油彩・キャンバス	新井雅夫氏
6	渡辺香奈	一輪を花束に	2016	油彩・キャンバス	森の美術館
7	渡辺香奈	一輪を花束にして	2018	油彩・キャンバス	福島氏
8	渡辺香奈	一輪を花束に	2018	油彩・キャンバス	東理氏
9	渡辺香奈	一輪を花束に	2016	油彩・キャンバス	
10	渡辺香奈	一輪を花束にして	2018	油彩・キャンバス	群馬県立高崎女子高等学校
11	渡辺香奈	一輪を花束に	2019	油彩・キャンバス	作家
12	渡辺香奈	一輪を花束にして	2019	油彩・キャンバス	東理氏
13	渡辺香奈	一輪を花束に	2015	油彩・キャンバス	
14	渡辺香奈	一輪を花束にして	2019	油彩・キャンバス	東理氏
15	渡辺香奈	一輪を花束にして	2019	油彩・キャンバス	作家
16	渡辺香奈	一輪を花束にして	2015	油彩・キャンバス	
17	渡辺香奈	一輪を花束にして	2018	油彩・キャンバス	東理氏
18	渡辺香奈	The River	2012	油彩・キャンバス	作家
19	渡辺香奈	La Memoria	2018	油彩・キャンバス	
20	渡辺香奈	Perfect Magenta	2018	油彩・キャンバス	
21	渡辺香奈	Perfect Blue	2018	油彩・キャンバス	東理氏
〈女神の花〉					
22	大竹夏紀	ILLUMINATED GIRL #4	2014	ろうけつ染め／絹・酸性染料・顔料・接着芯	作家
23	大竹夏紀	ILLUMINATED GIRL #5	2017	ろうけつ染め／絹・酸性染料・顔料・接着芯	作家
24	大竹夏紀	idola specus #2	2009	ろうけつ染め／絹・酸性染料・顔料・接着芯	作家
25	大竹夏紀	迦陵頻伽(かりようびんが)	2018	ろうけつ染め／絹・酸性染料・顔料・接着芯	作家
26	大竹夏紀	celestial maiden 星と花	2020	ろうけつ染め／綿・反応染料	作家
27	大竹夏紀	卒業制作 花	2006	友禅染め／絹・酸性染料	作家
28	大竹夏紀	bloom	2020	ろうけつ染め／絹・酸性染料・顔料	個人
29	大竹夏紀	twinkle・イエロー	2020	ろうけつ染め／絹・酸性染料・顔料	作家
30	大竹夏紀	twinkle・グリーン	2020	ろうけつ染め／絹・酸性染料・顔料	作家
31	大竹夏紀	twinkle・ブルー	2020	ろうけつ染め／絹・酸性染料・顔料	作家
32	大竹夏紀	流水 1	2020	ろうけつ染め／絹・酸性染料・顔料	作家
33	大竹夏紀	流水 2	2020	ろうけつ染め／絹・酸性染料・顔料	作家
〈増殖する花〉					
34	ましもゆき	蓮華躑躅(れんげつつじ)	2014	インク・紙・パネル	作家
35	ましもゆき	痴肌(ちぎ)	2011	インク・紙・パネル	濱園知佳氏

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
36	ましもゆき	肌肌(きき)	2011	インク・紙・パネル	濱園知佳氏
37	ましもゆき	千夜色枕(せんやしきしん)	2010	インク・紙・パネル	若林哲也氏
38	ましもゆき	白夜迎(はくやむかえ)	2008	インク・紙・パネル	CINEMA RISE
39	ましもゆき	窓のない部屋	2016	インク・紙・パネル	
40	ましもゆき	仮寓(かぐう)	2019	インク・紙・パネル	作家
41	ましもゆき	双蕾(そうらい)	2014	インク・紙・パネル	個人
42	ましもゆき	雨帯ぶ(あめおぶ)	2020	インク・紙・パネル	作家
43	ましもゆき	雲形リビドー	2010	インク・紙・パネル	個人
44	ましもゆき	不眠葬(ふみんそう)	2010	インク・紙・パネル	
45	ましもゆき	耽溺(たんでき)	2018	インク・紙・パネル	作家
46	大村雪乃	カルペ・ディエムシリーズ-君に贈る	2020	丸シール・木製パネル	作家
47	大村雪乃	カルペ・ディエムシリーズ-抑制されたもの	2020	丸シール・木製パネル	作家
48	大村雪乃	カルペ・ディエムシリーズ-永遠に美しく	2020	丸シール・木製パネル	作家
49	大村雪乃	カルペ・ディエムシリーズ-愛を伝える	2020	丸シール・木製パネル	作家
50	大村雪乃	カルペ・ディエムシリーズ-Ohanabatake in my head	2013	丸シール・木製パネル	作家
51	大村雪乃	参加型作品 千鳥ヶ淵の桜	2020		作家

## 特集展示 4つの革命 オーブリー・ピアズリーからサルバドール・ダリまで

19世紀後半から20世紀初めのヨーロッパにおいて、それ以前の「美術」の概念を根底からくつがえすような革命的表現が相次いで登場した。こうした新しい表現は人々の視覚と精神に決定的な変化をもたらし、現代美術への流れを作っていく。本展では、高崎市美術館、うらわ美術館(埼玉)所蔵作品により、イギリス世紀末の鬼才オーブリー・ピアズリーらがもたらした衝撃を紹介する「鬼才オーブリー・ピアズリーとエドワード・バーン＝ジョーンズ」5点、ピカソとブラックが開始したキュビズムという視覚実験を紹介する「パブロ・ピカソの視覚革命」15点、コンセプチュアル・アートへの転換点となったシュルレアリスムを紹介する「ダダとシュルレアリスムの精神革命」27点、20世紀前半のパリに集ったエコール・ド・パリの芸術家たちを紹介する「コスモポリタンたちの革命ーエコール・ド・パリ」32点という4つのテーマにスポットライトを当てた79点により、近代欧米美術における4つの革命を紹介した。併せて高崎市美術館所蔵作品より「創作版画の世界」26点と「グラフィック・デザイナー佐藤晃一の革新」22点の2つのテーマ48点を紹介した。

会 期 2020年9月12日(土)～10月18日(日) 32日間

主催会場 高崎市美術館

関連記事 「4つの革命 オーブリー・ピアズリーからサルバドール・ダリまで」(広報高崎 9月1日)

「4つの革命 オーブリー・ピアズリーからサルバドール・ダリまで」(新美術新聞 9月11日)

「4つの革命」時代別に18日まで高崎市美術館」(上毛新聞 10月10日)

入 場 者 2,793名

印刷物 『4つの革命 オーブリー・ピアズリーからサルバドール・ダリまで』リーフレット

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	
(Revolution.1 鬼才オーブリー・ピアズリーとエドワード・バーン＝ジョーンズ)				*うらわ美術館所蔵、無印は高崎市美術館所蔵		
	オーブリー・ピアズリー	『オスカー・ワイルド作 「サロメ」のためのオーブリー・ピアズリー挿絵集』より	1906年刊 (1894)			
1	オーブリー・ピアズリー	《語り手の褒美》		ラインブロック・紙	34.8×27.2(シート)	*
2	オーブリー・ピアズリー	《クライマックス》		ラインブロック・紙	34.8×27.2(シート)	*
3	オーブリー・ピアズリー	《孔雀の装束》		ラインブロック・紙	34.8×27.2(シート)	*
4	エドワード・バーン＝ジョーンズ(絵) ウィリアム・モリス(印刷、他)	ジェフリー・チャーサー作品集	1896年刊 (1892-1896)	木版 モリスデザインの型押白色豚革総革装	43.4×30.5×7.1(本)	*
5	オーギュスト・ロダン	蛇と少女	1885	ブロンズ	34.0×12.1×14.3	
(Revolution.2 パブロ・ピカソの視覚革命)						
6	パブロ・ピカソ	貧しき食事	1904	エッチング・紙	46.2×37.5	
7	パブロ・ピカソ	首飾りをつけたジャクリーヌの肖像	1959	リノカット・紙	75.0×62.0	
8	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘 I	1937	エッチング・アクアチント・紙	31.7×42.0	
9	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘 II	1937	エッチング・アクアチント・紙	31.7×42.0	
	パブロ・ピカソ	『闘牛』(26枚組)より	1959年刊 (1957)			
10	パブロ・ピカソ	8《長槍による跳躍》		アクアチント・紙	21.0×30.0	
11	パブロ・ピカソ	10《槍の技》		アクアチント・紙	21.0×30.0	
12	パブロ・ピカソ	18《角で突く牛》		アクアチント・紙	21.0×30.0	
13	パブロ・ピカソ	22《雄牛の死》		アクアチント・紙	21.0×30.0	
	フェルナン・レジェ	『サーカス』(リトグラフ63点、挿画装飾22点)より	1950年刊			
14	フェルナン・レジェ	《表紙》		リトグラフ・紙	39.4×30.0	
15	フェルナン・レジェ	《曲芸師と鸚鵡》		リトグラフ・紙	39.2×29.8	
16	フェルナン・レジェ	《軽業師たち》		リトグラフ・紙	28.0×22.4	
17	フェルナン・レジェ	《トランプ手品》		リトグラフ・紙	31.5×23.1	
18	フェルナン・レジェ	《語り子》		リトグラフ・紙	31.7×26.5	
19	フェルナン・レジェ	《ラ・グラン・ジュリー》		リトグラフ・紙	37.4×27.6	
20	オシップ・ザツキン	母性愛	1946	ブロンズ	74.0×52.0×38.0	
(Revolution.3 ダダとシュルレアリスムの精神革命)						
	マルセル・デュシャン	『大ガラスと関連作品』1巻	1967年刊	エッチング・ノートのファクシミリ・ 大ガラスのマルチプル(アクリル)	43.4×27.2×7.5	*
21	マルセル・デュシャン	《大ガラス》		エッチング・紙	35.0×23.5	*
22	マルセル・デュシャン	《花嫁》		エッチング・紙	26.6×11.6	*
23	マルセル・デュシャン	《高所の掲示あるいは9つの射撃跡のある銀河》		エッチング・紙	15.5×34.3	*
24	マルセル・デュシャン	《9つの雄の鑄型と毛細管》		エッチング・紙	13.0×17.6	*
25	マルセル・デュシャン	《濾過器あるいはパラソル》		エッチング・紙	17.6×13.1	*
26	マルセル・デュシャン	《眼科医の証人》		エッチング・紙	13.8×9.2	*
27	マルセル・デュシャン	《水車》		エッチング・紙	24.5×13.9	*
28	マルセル・デュシャン	《チョコレート磨砕器》		エッチング・紙	25.5×32.5	*
29	マルセル・デュシャン	《補完された大ガラス》		エッチング・紙	35.0×23.7	*
	マックス・エルンスト	『博物誌』(34点組)より	1926年刊			
30	マックス・エルンスト	《彼女は秘密を守る》		フロッター・ジュのコロタイプ・紙	49.7×32.3(シート)	*
31	マックス・エルンスト	《振り子の起源》		フロッター・ジュのコロタイプ・紙	49.7×32.3(シート)	*
32	サルバドール・ダリ	マルドロールの歌(挿画42点組より10点) ポール・エリュアール『書毎に詩一篇』(16枚組)より	1934年刊 1956年刊	エッチング・エンブレヴィング他	34.1×26.4(シート)	*
33	イヴ・タンギー	《口絵》		エッチング・紙	19.0×36.0	
34	ジョアン・ミロ	《「民衆のバラ」より》		エッチング・アクアチント・紙	19.0×36.0	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm
		ポール・エリュアール『書毎に詩一篇』(16枚組)より	1956年刊		
35	アンドレ・マッソン	《「苦悩の首都」より》		エッチング・紙	19.0×36.0
36	マックス・エルンスト	《「規範集」より》		エッチング・紙	19.0×36.0
37	ジャック・ヴィヨン	《「豊穡な眼」より》		エッチング・紙	15.4×14.8
38	ジョルジュ・ブラック	《口絵》		エッチング・紙	19.0×36.0
39	ジャン・アルプ	《「知識の擁護」より》		木版・紙	17.9×16.7
40	パブロ・ピカソ	《「直接の生」より》		ドライポイント・エングレーヴィング・紙	19.0×36.0
41	アルベルト・ジャコメッティ	《「自在」より》		エッチング・紙	13.3×13.6
42	アンリ・ローラン	《「自由な手」より》		木版・紙	17.0×30.8
43	マン・レイ	容易	1935年刊	ヘリオグラフィック・写真・印画紙	25.1×18.7×1.8(本) *
44	ジョアン・ミロ	某夫人とその夫	1970	ドライポイント・アクアチント・カーボラダム・紙	64.0×48.6
45	ジョアン・ミロ	哲学者I	1958	アクアチント・紙	32.5×49.5
46	ジョアン・ミロ	星座	1959	エッチング・アクアチント・紙	27.5×19.5
47	ジョアン・ミロ	星雲	1958	リトグラフ・紙	49.3×64.8
(Revolution.4 コスモポリタンたちの革命-エコール・ド・パリ)					
48	マリー・ローランサン	扇を持つ若い女	1913	水彩・紙	30.1×22.3
49	藤田嗣治	雪の郊外の風景	1918	油彩・キャンバス	65.2×81.2
50	ソニア・ドロローネ	アルルカン	1970	リトグラフ・紙	50.5×45.5
51	ソニア・ドロローネ	オリンピック	1970	リトグラフ・紙	55.6×47.0
52	ソニア・ドロローネ	サーカス	1971	リトグラフ・紙	66.4×48.4
53	ソニア・ドロローネ	イボカンブ	1971	リトグラフ・紙	54.8×42.0
	パブロ・ピカソ	『知られざる傑作』(13枚組)より	1931年刊 (1927-31)		
54	パブロ・ピカソ	《彫刻に向かう彫刻家と着衣のモデルと頭部》		エッチング・紙	19.4×27.8
55	パブロ・ピカソ	《牡牛と馬》		エッチング・紙	19.2×27.9
56	パブロ・ピカソ	《画家と編み物をするモデル》		エッチング・紙	19.4×28.0
57	パブロ・ピカソ	《彫刻と彫刻家》		エッチング・紙	19.3×27.8
58	パブロ・ピカソ	《着衣のモデルとイーゼルの中の画家》		エッチング・紙	19.4×27.8
59	パブロ・ピカソ	《ヌードのモデルと筆を拾う画家》		エッチング・紙	19.4×28.0
60	パブロ・ピカソ	《ヌードのモデルと制作中の画家》		エッチング・紙	19.4×27.9
61	パブロ・ピカソ	《立っている3人の裸婦と頭部のスケッチ》		エッチング・紙	19.4×27.6
62	パブロ・ピカソ	《屏絵》		エッチング・紙	27.8×19.7
	ジョルジュ・ブラック	『もしも僕がそこで死んだら』(18点組)より	1962年刊		
63	ジョルジュ・ブラック	12		木版・紙	43.7×34.3
64	ジョルジュ・ブラック	15		木版・紙	40.8×30.4
65	ジョルジュ・ブラック	7		木版・紙	42.0×33.5
66	ジョルジュ・ブラック	9		木版・紙	44.3×34.3
67	ジョルジュ・ブラック	8		木版・紙	39.7×31.4
68	ジョルジュ・ブラック	17		木版・紙	39.7×31.4
69	ジョルジュ・ブラック	18		木版・紙	39.7×65.0
	マルク・シャガール	『ボエム』(24枚組)より	1968年刊		
70	マルク・シャガール	1《表紙》		木版・リトグラフ・紙	32.2×24.4
71	マルク・シャガール	2《野蛮人のように》		木版・リトグラフ・紙	32.2×24.4
72	マルク・シャガール	3《庭》		木版・リトグラフ・コラージュ・紙	31.8×24.4
73	マルク・シャガール	6《この日を》		木版・リトグラフ・紙	32.0×24.6
74	マルク・シャガール	7《僕の思い出の中で》		木版・リトグラフ・紙	32.2×24.8
75	マルク・シャガール	10《地上に》		木版・リトグラフ・紙	32.3×24.7
76	マルク・シャガール	11《唯一で私のもの》		木版・リトグラフ・紙	32.1×24.7
77	マルク・シャガール	14《建国の地を》		木版・リトグラフ・紙	32.1×24.8
78	マルク・シャガール	16《彼女は奪う》		木版・リトグラフ・紙	32.2×24.7
79	マルク・シャガール	18《ダビデ》		木版・リトグラフ・コラージュ・紙	32.0×24.7
(高崎市美術館コレクションより 創作版画の世界)					
	前川千帆	日本風景版画軽井沢之部(5枚組の内)	1929		
80	前川千帆	《避暑期の旧軽井沢》		木版・紙	17.9×24.4
81	前川千帆	《浅間山の噴煙》		木版・紙	16.8×23.0
82	前川千帆	《春遅き軽井沢新道》		木版・紙	16.5×23.4
83	前川千帆	《千ヶ瀬道よりグリーンホテル遠望》		木版・紙	16.6×23.2
84	谷中安規	詩想「こころの花3」	1934	木版・紙	10.0×12.3
85	谷中安規	無題(天駆ける女)『白と黒』47号	1934	木版・紙	9.9×11.8
86	谷中安規	小品『白と黒』50号	1934	木版・紙	4.2×6.5
87	谷中安規	小品『白と黒』50号	1934	木版・紙	4.7×6.1
88	平塚運一	雪のニコライ	1930	木版・紙	20.8×30.2
89	藤森静雄	大東京十二景の内 九月 荒川放水路の秋色(足立区)	1934	木版・紙	24.0×31.6
90	小野忠重	シベリアの草原	1962	木版・紙	24.5×31.5
91	小野忠重	野	1964	木版・紙	16.0×23.6
92	小野忠重	長崎山手	1964	木版・紙	16.0×23.6
93	小野忠重	川	1972	木版・紙	23.4×16.0
94	小野忠重	孤島	1973	木版・紙	19.3×10.6
95	小野忠重	ローマ裏街	1961	木版・紙	16.0×20.1

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm
96	小野忠重	木場	1955	木版・紙	13.2×21.1
97	畦地梅太郎	平蔵の谷	1952	木版・紙	29.5×40.0
98	畦地梅太郎	山小屋の老人	1953	木版・紙	53.7×36.3
99	駒井哲郎	ラジオアクティビティ イン マイ ルーム	1950	メゾチント・エングレーヴィング・紙	9.7× 8.3
100	駒井哲郎	岩礁にて	1970	アクアチント・紙	23.9×35.7
101	駒井哲郎	Nature Morte(静物)	1975	アクアチント・ソフトグラウンドエッチング・紙	17.7×14.3
102	浜口陽三	22のさくらんぼ	1988	メゾチント・紙	54.3×23.1
103	福井良之助	荷車	1955-65年頃	ミメオグラフ・紙	23.0×46.0
104	福井良之助	少女	1950年代	ミメオグラフ・紙	26.5×28.0
105	福井良之助	凝固した愛	1964	ミメオグラフ・紙	30.0×45.6
〈高崎市美術館コレクションより グラフィック・デザイナー佐藤晃一の革新〉					
106	佐藤晃一	コンサートポスター NEW MUSIC MEDIA(再版)	1990	オフセット・紙 (1974の復刻)	103.0×72.8
107	佐藤晃一	記念ポスター 小原流創流90周年「はな、はな、大好き。」	1983	オフセット・紙	103.0×72.8
108	佐藤晃一	ブランドイメージポスター 青々庵	1987	オフセット・紙	103.0×72.8
109	佐藤晃一	ブランドイメージポスター 樞松庵	1987	オフセット・紙	103.0×72.8
110	佐藤晃一	映画ポスター 豪姫	1991	オフセット・紙	103.0×72.8
111	佐藤晃一	茶会ポスター 茶会「然」	1992	オフセット・紙	103.0×72.8
112	佐藤晃一	映画ポスター 利休	1988	オフセット・紙	103.0×72.8
113	佐藤晃一	イベントポスター 第1回国民文化祭(文芸)	1985	オフセット・紙	103.0×72.8
114	佐藤晃一	展覧会出品ポスター EUROPALIA 1989 JAPAN(再版)	1990	オフセット・紙	103.0×72.8
115	佐藤晃一	展覧会出品ポスター THE MODERN POSTER	1988	オフセット・紙	103.0×72.8
116	佐藤晃一	展示会出品ポスター JAPAN PRINT'91 COMMUNICATION & PRINT	1991	オフセット・紙	103.0×72.8
117	佐藤晃一	イベントポスター 東京フロンティア'96	1993	オフセット・紙	103.0×72.8
118	佐藤晃一	展覧会出品ポスター '82 PAPER SHOW	1982	オフセット・紙	103.0×36.2
119	佐藤晃一	展覧会出品ポスター 多摩美術大学博士課程展 2006	2006	オフセット・紙	103.0×72.8
120	佐藤晃一	展覧会出品ポスター 多摩美術大学博士課程展 2015	2015	オフセット・紙	103.0×72.8
121	佐藤晃一	展覧会出品ポスター 多摩美術大学博士課程展 2013	2013	オフセット・紙	103.0×72.8
122	佐藤晃一	展覧会出品ポスター 多摩美術大学博士課程展 2015	2015	オフセット・紙	103.0×72.8
123	佐藤晃一	展覧会出品ポスター 五季(春)	1988	オフセット・紙	72.8×103.0
124	佐藤晃一	展覧会出品ポスター 五季(夏)	1988	オフセット・紙	72.8×103.0
125	佐藤晃一	展覧会出品ポスター 五季(秋)	1988	オフセット・紙	72.8×103.0
126	佐藤晃一	展覧会出品ポスター 五季(冬)	1988	オフセット・紙	72.8×103.0
127	佐藤晃一	展覧会出品ポスター 五季(新年)	1988	オフセット・紙	72.8×103.0

# 高崎市美術館コレクション 追悼特集 時代への花束 1917→2020

本展は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から開催延期した企画展に代わり、過去5年間に逝去した収蔵作家を追悼特集した。1917年から2020年に生まれ、亡くなった浜田知明 23 点、宮崎進 29 点、正田壤 2 点、田中朝庸 3 点、山寺重子 3 点、岡本健彦 20 点、美術館通りに野外設置されている半田富久 1 点、佐藤晃一 7 点、山田展也 2 点、山名將夫 4 点、ロバート・インディアナ 6 点、計 100 点から 11 名が生きた社会的、美術的な背景を「戦争と人間」「リアリズムと抽象表現」「内と外」の共通テーマで振り返った。同時代を歩んだ物故作家への感謝を込め、収蔵作品から各人を偲び、地域ゆかりの物故作家を中心に業績を紹介する機会とした。俳人、水野真由美を選者に迎えた投句イベント「時代への花束へ一句」優秀賞、佳作賞を掲し、展覧会リーフレットを兼ねた掲載冊子を配布した他、作家や展覧会へのメッセージシール貼付コーナー「メッセージの花束を」を実施し好評を得た。

会 期 2020年10月28日(水)～2021年1月10日(日) 58日間

主催会場 高崎市美術館

関連事業 時代への花束へ一句 選者:水野真由美(俳人) 投句期間 前期 10/28(水)～11/8(日)、後期 11/10(火)～11/23(月・祝)

佳作発表 前期 11/15(日)、後期 11/29(日)、優秀賞発表 12/13(日)

みじかい解説会 担当:住田常生(当館学芸員) 「戦争と人間」 11/21(土)、「リアリズムと抽象表現」 12/19(土)、「内と外」 1/9(土)

各日午後2時～2時30分

関連記事 「本県ゆかりの11人を追悼 収蔵作で仕事振り返る 来年1月まで市美術館」(JOMO TAKATAI 11月20日)

「同時代生きた物故作家11人」(上毛新聞 12月4日)

「美術館自慢の収蔵作品を独自テーマで紹介」(広報高崎 12月15日)

入 場 者 2,245名

印 刷 物 『高崎市美術館コレクション 追悼特集 時代への花束 1917→2020』リーフレット

山名將夫百合型メッセージラベル 2種

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm
〈屋外設置(美術館前通り歩道)〉					
1	半田富久	日月	1980	黒御影石	56.0×140.0×16.0
2	山名將夫	思	1983	油彩・アクリル・色鉛筆・シナベニヤパネル	91.0×116.8
3		婦人座像	1984	油彩・アクリル・シナベニヤパネル	162.5×121.5
4	佐藤晃一	予兆の刻	1996	油彩・アクリル・色鉛筆・キャンバス	161.5×121.5
5		百合	1996-97年頃	油彩・キャンバス	90.0×73.0
6	佐藤晃一	イベントポスター 第30回高々美術展	1961	オフセット・紙	54.5×38.6
7		イベントポスター 第31回高々美術展	1962	シルクスクリーン・紙	52.7×37.3
8		イベントポスター 第6回県民芸術祭	1982	オフセット・紙	72.8×51.5
9		イベントポスター 第7回県民芸術祭	1983	オフセット・紙	72.8×51.5
10		開設告知ポスター 高崎芸術短期大学	1987	オフセット・紙	103.0×72.8
11		記念ポスター 高崎市制100周年	2000	オフセット・紙	103.0×72.8(4枚構成)
12		記念ポスター 高崎佐藤学園創立100周年	2006	オフセット・紙	103.0×72.8
		資料:俳句作品「山ほどの水平線の地球かな」	2009		
13	岡本健彦	風神・雷神	1993	ミクストメディア	36.5×47.0×62.0
14		風神・雷神	1993	油彩・鉛・ステンレス・キャンバス・合板	46.0×62.0×80.0
15		貼交図 習作	1994	アクリル・和紙・鉛・ステンレス・ワイヤー・紙	69.0×109.5
16		風神・雷神 習作	1994	アクリル・鉛・ステンレス・ワイヤー・紙	69.0×109.5
17		神楽図 習作	1994	アクリル・鉛・ステンレス・天蚕糸・紙	69.3×109.5
18		神楽図 習作	1994	アクリル・和紙・鉛・ステンレス・天蚕糸・紙	69.3×109.5
19		風神・雷神	1997	ミクストメディア(アルミ・アクリル・ゴム等)	46.0×46.0×44.0
20		Untitled	1999	アクリル・キャンバス(1966年制作作品の再制作)	90.0×90.0
21		Untitled	1999	アクリル・キャンバス(1966年制作作品の再制作)	105.0×196.0
22		4つの丸	2000	油彩・鉛・アルミニウム・和紙・ポリプロピレン・キャンバス・合板	147.0×160.0
23		5つの形	2001	ミクストメディア(アルミ・アクリル・ゴム等)	38.5×89.0×102.5
24		習作(ドローイング)	2004	アクリル・木炭・金属・ボール紙	154.0×103.0
25		習作(ドローイング)	2004	アクリル・木炭・布・金属	154.0×103.0
26		習作(ドローイング)	2005-08	ミクストメディア(アクリル・金属・ボール紙等)	151.0×102.5
27		習作(ドローイング)	2005-08	ミクストメディア(アクリル・金属・ボール紙等)	151.0×102.5
28		シートNo.2	2004	木版・コラーージュ・紙	30.0×22.2
29		シートNo.4	2004	木版・コラーージュ・紙	30.0×22.2
30		シートNo.6	2004	木版・コラーージュ・紙	44.4×30.0
31		シートNo.13	2004	木版・コラーージュ・紙	44.5×30.0
32		シートNo.14	2004	木版・エンボス・紙	45.2×30.2
33	ロバート・インディアナ	ア・ガーデン・オブ・ラブより チューリップ	1982	シルクスクリーン・紙	60.8×60.8
34		ユリ	1982	シルクスクリーン・紙	60.8×60.8
35		百日草	1982	シルクスクリーン・紙	60.8×60.8
36		バラ	1982	シルクスクリーン・紙	60.8×60.8
37		フロックス	1982	シルクスクリーン・紙	60.8×60.8
38		ライラック	1982	シルクスクリーン・紙	60.8×60.8

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm
39	山田展也	博覧強記(DAYS)	1983	油彩・合成樹脂塗料・パネル	168.5×168.5
40		風の景(北緯の空)	1993	アクリル・パネル	52.5×167.0
41	山寺重子	アナモルフォーズ	1986	油彩・アクリル・キャンバス	162.0×161.7
42		北緯 40 度	1993	油彩・アクリル・キャンバス	116.5×117.0
43		Parable-17-98	1998	油彩・アクリル・キャンバス	162.0×194.0
44	田中朝庸	ヴェニス風景	1985	油彩・キャンバス	53.4×65.2
45		トルソーのある風景	1986	油彩・キャンバス	100.0×80.3
46		中国シルクロード炳靈寺石窟	1992	油彩・キャンバス	60.6×72.8
47	正田壤	アイオ(眼のない牛)	1999	油彩・キャンバス	188.0×236.0
48		ヴィーナスの誕生	2007	油彩・キャンバス	181.8×227.2
		資料:『まっかつかなむすめがまどからのぞいている』	1973 年刊		
49	浜田知明	初年兵哀歌(山を行く砲兵隊)	1953	エッチング・アクアチント・アルシュ紙	24.2×17.1
50		初年兵哀歌(歩哨)	1954	エッチング・アクアチント・アルシュ紙	23.8×16.2
51		壁	1961	エッチング・アクアチント・アルシュ紙	54.5×37.1
52		家族(大)	1974	エッチング・アクアチント・アルシュ紙・雁皮紙貼り	47.2×37.9
53		初年兵哀歌(檻)	1978	エッチング・アルシュ紙	12.3×15.2
54		夜	1988	エッチング・アクアチント・アルシュ紙	25.0×21.4
55		鳥	1990	エッチング・アクアチント・アルシュ紙	25.2×27.0
		小さな版画集(15 枚組)			
56		少女の顔	1992	エッチング・アルシュ紙・雁皮紙貼り	11.2×8.3
57		時計	1992	エッチング・アルシュ紙・雁皮紙貼り	15.8×7.2
58		小さな怪物	1992	エッチング・アルシュ紙・雁皮紙貼り	12.0×13.2
59		老人の顔(A)	1992	エッチング・アルシュ紙・雁皮紙貼り	11.3×10.0
60		老人の顔(B)	1992	エッチング・アルシュ紙・雁皮紙貼り	11.3×10.3
61		布を被った男	1992	エッチング・アルシュ紙・雁皮紙貼り	15.8×13.0
62		走る女	1992	エッチング・アルシュ紙・雁皮紙貼り	15.8×10.8
63		歩く人	1992	エッチング・アルシュ紙・雁皮紙貼り	16.3×9.3
64		座る人	1992	エッチング・アルシュ紙・雁皮紙貼り	17.3×12.8
65		振り返る人	1992	エッチング・アルシュ紙・雁皮紙貼り	17.3×12.8
66		背中	1992	エッチング・アルシュ紙・雁皮紙貼り	17.6×13.0
67		小鳥と男	1992	エッチング・アルシュ紙・雁皮紙貼り	11.8×11.3
68		検査	1992	エッチング・アルシュ紙・雁皮紙貼り	14.0×16.0
69		女	1992	エッチング・アルシュ紙・雁皮紙貼り	18.0×12.0
70		ボタン	1992	エッチング・アルシュ紙・雁皮紙貼り	14.0×11.5
71		風景	1995	ブロンズ	49.5×24.0×88.0
72	宮崎進	花かざりの女	1976	油彩・キャンバス	60.7×45.7
		『トルソ』(28 枚組)			
73		夏の詩	1990	油彩・布・キャンバス	40.9×31.8
74		光と風	1991	アクリル・コラージュ・紙	53.5×43.5
75		回想	1991	油彩・クレヨン・コラージュ・紙	42.0×55.2
76		廃地	1991	油彩・クレヨン・コラージュ・紙	49.7×44.8
77		海辺の町	1991	アクリル・クレヨン・鉛筆・コラージュ・紙	61.0×79.0
78		ウィンドウ	1992	油彩・アクリル・鉛筆・布・コラージュ・紙	47.0×38.3
79		影	1990	水彩・鉛筆・布・コラージュ・紙	85.0×69.5
80		立っているかたち	1990	アクリル・鉛筆・紙	42.5×34.5
81		樹	1990	グアッシュ・鉛筆・コラージュ・紙	79.7×60.0
82		蒼穹	1992	アクリル・鉛筆・コラージュ・紙	46.5×56.3
83		蒼の中の鳥	1992	アクリル・鉛筆・コラージュ・紙	70.0×65.0
84		思春期	1974	鉛筆・紙	60.3×49.8
85		白い詩	1991	油彩・布・キャンバス	72.5×60.5
86		詩人の肖像	1992	水彩・鉛筆・コラージュ・紙	70.0×55.0
87		冬	1989	油彩・布・キャンバス	41.0×32.0
88		冬の旅	1976	アクリル・鉛筆・紙	53.0×67.0
89		冬の光	1986	アクリル・グアッシュ・鉛筆・コラージュ・紙	43.0×52.0
90		ガラス	1991	アクリル・紙・ボール紙	80.0×56.0
91		雲と砂と人	1988	アクリル・クレヨン・コラージュ・紙	54.0×70.0
92		冬の花	1989	アクリル・クレヨン・コラージュ・紙	75.0×54.0
93		うつろう刻	1989	アクリル・グアッシュ・コラージュ・紙	60.0×44.0
94		女	1988	グアッシュ・紙	60.0×50.2
95		鳥の詩	1990	アクリル・鉛筆・布・コラージュ・紙	65.0×50.0
96		DIARY	1990	アクリル・鉛筆・コラージュ・紙	70.5×50.0
97		野の光	1990	水彩・アクリル・鉛筆・布・コラージュ・紙	74.5×60.0
98		冬の海の詩	1990	油彩・アクリル・木炭・コラージュ・紙	75.0×59.0
99		灰色の壁	1990	グアッシュ・鉛筆・コラージュ・紙	42.0×35.5
100		プロフィール	1974	鉛筆・紙	50.0×35.5

## 画業 30 周年記念 小畑健展 NEVER COMPLETE

本展は『ヒカルの碁』『DEATH NOTE』『バクマン。』などの大ヒット作で知られ、類まれな「画力」で勝負し続ける漫画家、小畑健の画業 30 周年を記念した展覧会で、2019 年からアーツ千代田(東京)、新潟市マンガ・アニメ情報館(新潟)、大丸ミュージアム(大阪)、横手市増田まんが美術館(秋田)、北九州市漫画ミュージアム(福岡)の 5 会場を巡回し高崎市は最終会場だった。高崎市美術館では『描く!マンガ展』(2016 年)、「萩尾望都 SF 原画展」(2018 年)の好評を受けた 3 回目のマンガ原画展となる。小畑の 15,000 枚を超えるアーカイブから原画 475 点を厳選し、『ヒカルの碁』『DEATH NOTE』『バクマン。』など代表作原画による「ZONE1 Manga」382 点、カラー扉やカバー原画、書き下ろしイラストなどを紹介する「ZONE2 Illustration」53 点、仕事机の展示とともに、巡回会場で描き継がれたオリジナルイラストが高崎会場で完成する「ZONE3 NEVER COMPLETE」40 点の 3 コーナーで、細密なアナログ原稿にデジタル作画を取り入れ「完成しない何か」を今なお求める小畑の「進化」に触れる内容とした。来館者からは今後も継続してマンガ、イラスト原画展を望む声が多く寄せられ、好評を博した。なお新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から関連事業は開催しなかった。

会 期 2021 年 1 月 17 日(日)～ 3 月 28 日(日) 59 日間

主催会場 高崎市美術館

企 画 集英社、朝日新聞社

企画協力 週刊少年ジャンプ編集部、ジャンプスクエア編集部

協 賛 共同印刷

関連記事 「NEVER COMPLETE 小畑健展」(広報高崎 1 月 1 日)

「画業 30 周年記念 小畑健展 NEVER COMPLETE」(美術の窓 2021 年 1 月号)

入 場 者 8,922 名

No.	作品	掲載誌等	原画タイプ	原稿サイズ
	〈ZONE1 Manga〉			
1	ヒカルの碁	WJ 1999 年 第 2・3 合併号 第 1 局 棋聖降臨	カラー	271×380
2	ヒカルの碁	WJ 1999 年 第 2・3 合併号 第 1 局 棋聖降臨	カラー	A3
3	ヒカルの碁	WJ 1999 年 第 2・3 合併号 第 1 局 棋聖降臨	カラー	271×392
4-26	ヒカルの碁	WJ 1999 年 第 2・3 合併号 第 1 局 棋聖降臨	モノクロ	B4
27-32	ヒカルの碁	WJ 1999 年 第 4・5 号 第 2 局 はるかな高み	モノクロ	B4
33-38	ヒカルの碁	WJ 1999 年 第 8 号 第 5 局 牙を剥くアキラ	モノクロ	B4
39	ヒカルの碁	WJ 2000 年 第 5・6 合併号 第 51 局 時々もどりたい場所	カラー	434×314
40	ヒカルの碁	WJ 2000 年 第 21・22 合併号 第 66 局 プロ試験予選 2 日目	カラー	311×434
41	ヒカルの碁	WJ 2001 年 第 17 号 第 2 回 ピカイチキャラコンテスト	カラー	310×430
42	ヒカルの碁	WJ 2001 年 第 7 号 第 100 局 ヒカルの長考	カラー	B4
43-48	ヒカルの碁	WJ 2001 年 第 23 号 第 115 局 sai vs toya koyo④	モノクロ	B4
49-54	ヒカルの碁	WJ 2001 年 第 24 号 第 116 局 千年の答	モノクロ	B4
55-61	ヒカルの碁	WJ 2001 年 第 33 号 第 124 局 さよなら	モノクロ	B4
62	ヒカルの碁	WJ 2001 年 第 33 号 第 124 局 さよなら	カラー	277×406
63-66	ヒカルの碁	WJ 2001 年 第 39 号 第 129 局 もどって来い!	モノクロ	B4
67	ヒカルの碁	JC 第 16 巻 カバー用イラスト(2002 年)	カラー	257×364
68-71	ヒカルの碁	WJ 2001 年 第 49 号 第 139 局 この一局から	モノクロ	B4
72-75	ヒカルの碁	WJ 2002 年 第 6・7 合併号 第 146 局 ヒカルの碁	モノクロ	B4
76	ヒカルの碁	WJ 2002 年 第 9 号 第 148 局 なつかしい笑顔	カラー	435×310
77-84	ヒカルの碁	WJ 2002 年 第 8 号 第 147 局 ボクだけがわかる	モノクロ	B4
85,86	ヒカルの碁	WJ 2002 年 第 9 号 第 148 局 なつかしい笑顔	モノクロ	B4
87	ヒカルの碁	WJ 2002 年 第 9 号 第 148 局 なつかしい笑顔	モノクロ	452×364
88-96	ヒカルの碁	WJ 2002 年 第 9 号 第 148 局 なつかしい笑顔	モノクロ	B4
97	ヒカルの碁	WJ 2002 年 第 22・23 合併号 番外編 第 6 回 藤原佐為	カラー	2 枚組
98,99	ヒカルの碁	WJ 2003 年 第 17 号 第 185 局 日本 vs 韓国②	モノクロ	B4
100	ヒカルの碁	WJ 2003 年 第 22・23 合併号 第 189 局 あなたに呼びかけている	モノクロ	(見開き)451×360(右)226×360(左)265×360
101,102	ヒカルの碁	WJ 2003 年 第 22・23 合併号 第 189 局 あなたに呼びかけている	モノクロ	B4
103	ヒカルの碁	JC 第 11 巻 カバー用イラスト(2001 年)	カラー	312×431
104	ヒカルの碁	WJ 1999 年 第 19 号 第 16 局 雨の中の謀議	モノクロ	B4
105	ヒカルの碁	WJ 2000 年 第 41 号 第 84 局 和谷 vs 越智	モノクロ	B4
106	ヒカルの碁	WJ 2001 年 第 16 号 第 109 局 toya koyo	モノクロ	B4
107	人形草紙あやつり左近	集英社文庫(コミック版) 人形草紙あやつり左近 第 3 巻 カバー用イラスト(2004 年)	カラー	257×379 変形
108	人形草紙あやつり左近	WJ 1995 年 第 34 号 左近からくり変化の章 第二段 様々な足跡	モノクロ	B4
109	人形草紙あやつり左近	WJ 1995 年 第 33 号 左近からくり変化の章 第一段 右近が死んだ!?	モノクロ	B4
110,111	人形草紙あやつり左近	WJ 1995 年 第 23 号 豆州式面鬼傀儡地獄 第一段 嵐の傀儡屋敷	カラー	B4
112	人形草紙あやつり左近	WJ 1995 年 第 38 号 信州白虎血雨地獄 第二段 何かおかしい!?	モノクロ	B4
113,114	ヒカルの碁	WJ 1999 年 第 14 号 第 11 局 覚醒の予感	モノクロ	B4
115	ヒカルの碁	WJ 1999 年 第 26 号 第 22 局 本因坊秀策	モノクロ	B4
116,117	ヒカルの碁	WJ 2000 年 第 39 号 第 82 局 魔の一瞬	モノクロ	B4
118	ヒカルの碁	WJ 2001 年 第 39 号 第 129 局 もどって来い!	モノクロ	B4
119	ヒカルの碁	WJ 2003 年 第 22・23 合併号 第 189 局 あなたに呼びかけている	モノクロ	B4
120	DEATH NOTE	WJ 2004 年 第 1 号 page.1 退屈	カラー	540×390
121-124	DEATH NOTE	WJ 2004 年 第 1 号 page.1 退屈	カラー	B4



No.	作品	掲載誌等	原画タイプ	原稿サイズ
125-160	DEATH NOTE	WJ 2004年 第1号 page.1 退屈	モノクロ	B4
161	DEATH NOTE	WJ 2004年 第20号 page.18 視線	モノクロ	(見開き)452×364(右)226×364(左)226×364
162	DEATH NOTE	WJ 2004年 第21号 page.19 屈辱	モノクロ	B4
163-168	DEATH NOTE	WJ 2004年 第22・23合併号 page.20 先手	モノクロ	B4
169,170	DEATH NOTE	WJ 2004年 第32号 page.29 武器	モノクロ	B4
171,172	DEATH NOTE	WJ 2004年 第39号 page.35 白紙	モノクロ	B4
173	DEATH NOTE	WJ 2004年 第50号 page.45 無茶	モノクロ	(見開き)449×364(右)226×364(左)223×364
174,175	DEATH NOTE	WJ 2004年 第50号 page.45 無茶	モノクロ	B4
176	DEATH NOTE	JC 第5巻 カバー用イラスト(2005年)	カラー	A3
177,178	DEATH NOTE	WJ 2005年 第7号 page.53 悲鳴	モノクロ	B4
179	DEATH NOTE	WJ 2005年 第7号 page.53 悲鳴	モノクロ	(見開き)452×364(右)226×364(左)226×364
180	DEATH NOTE	WJ 2005年 第7号 page.53 悲鳴	モノクロ	B4
181	DEATH NOTE	JC 第7巻 カバー用イラスト(2005年)	カラー	A3
182-185	DEATH NOTE	WJ 2005年 第12号 page.58 胸中	モノクロ	B4
186	DEATH NOTE	WJ 2005年 第12号 page.58 胸中	モノクロ	(見開き)451×364(右)225×364(左)226×364
187-191	DEATH NOTE	WJ 2005年 第12号 page.58 胸中	モノクロ	B4
192	DEATH NOTE	WJ 2005年 第13号 page.59 零	モノクロ	B4
193	DEATH NOTE	WJ 2005年 第33号 page.72 確認	モノクロ	B4
194	DEATH NOTE	WJ 2005年 第35号 page.73 背水	モノクロ	(見開き)452×364(右)226×364(左)226×364
195,196	DEATH NOTE	WJ 2005年 第35号 page.73 背水	モノクロ	B4
197	DEATH NOTE	WJ 2005年 第36・37合併号 page.74 熱演	モノクロ	(見開き)452×364(右)226×364(左)226×364
198	DEATH NOTE	JC 第10巻 カバー用イラスト(2006年)	カラー	A3
199	DEATH NOTE	WJ 2006年 第16号 page.101 誘導	モノクロ	(見開き)449×364(右)228×364(左)221×364
200-208	DEATH NOTE	WJ 2006年 第18号 page.103 宣言	モノクロ	B4
209-211	DEATH NOTE	WJ 2006年 第19号 page.104 答	モノクロ	B4
212-215	DEATH NOTE	WJ 2006年 第21・22合併号 page.106 殺意	モノクロ	B4
216	DEATH NOTE	WJ 2006年 第23号 page.107 幕	カラー	297×420
217-226	DEATH NOTE	WJ 2006年 第23号 page.107 幕	モノクロ	B4
227	DEATH NOTE	WJ 2006年 第23号 page.107 幕	モノクロ	(見開き)451×64(右)224×364(左)227×364
228,229	DEATH NOTE	WJ 2006年 第23号 page.107 幕	モノクロ	B4
230	DEATH NOTE	WJ 2006年 第24号 page.108 完	モノクロ	(見開き)452×364(右)226×364(左)226×364
231-234	DEATH NOTE	WJ 2006年 第24号 page.108 完	モノクロ	B4
235,236	DEATH NOTE	WJ 2004年 第3号 page.3 家族	モノクロ	B4
237	DEATH NOTE	WJ 2004年 第51号 page.46 不向	モノクロ	B4
238	DEATH NOTE	JC 「DEATH NOTE HOW TO READ 13」 描き下ろしイラスト(2006年)	モノクロ	B4
239	DEATH NOTE	赤マルジャンプ 2004SUMMER プレミアム JC カバー用イラスト	カラー	A3
240	DEATH NOTE	WJ 2005年 第20号 page.60 誘拐	カラー	A3
241	DEATH NOTE	WJ 2004年 第35号 page.32 賭	モノクロ	B4
242-244	DEATH NOTE	WJ 2004年 第21号 page.19 屈辱	モノクロ	B4
245	DEATH NOTE	WJ 2004年 第29号 page.26 轉倒	モノクロ	B4
246	DEATH NOTE	WJ 2006年 第17号 page.102 我慢	モノクロ	B4
247	DEATH NOTE	WJ 2004年 第11号 page.9 穴	モノクロ	B4
248	DEATH NOTE	WJ 2005年 第47号 page.83 削除	モノクロ	B4
249,250	人形草紙あやつり左近	週刊少年ジャンプ スプリングスペシャル(1995年)ー魔校の復讐鬼ー	モノクロ	B4
251	人形草紙あやつり左近	WJ 1995年 第23号 豆州式面鬼傀儡地獄 第一段 嵐の傀儡屋敷	モノクロ	364×482
252	All You Need Is Kill	YJ 2014年 第6・7合併号 #1 キリヤ・ケイジ	カラー	
253,254	All You Need Is Kill	YJ 2014年 第12号 #6 グローアップ	モノクロ	B4
255,256	DEATH NOTE	WJ 2004年 第19号 page.17 芥	モノクロ	B4
257	CYBORG じいちゃん G	WJ 1989年 第22号 グッドモーニングじいちゃん!!の巻	カラー	B4
258	CYBORG じいちゃん G	WJ 1989年 第30号 銭湯もたまにはよいものじゃ!の巻	モノクロ	B4
259	All You Need Is Kill	YJ 2014年 第4・5合併号 連載予告カット	カラー	257×364
260	All You Need Is Kill	YJ 2014年 第12号 #6 グローアップ	モノクロ	364×454
261	All You Need Is Kill	YJ 2014年 第26号 #17 スカイブルー	モノクロ	B4
262	DEATH NOTE	WJ 2004年 第6号 page.4 電流	モノクロ	B4
263	DEATH NOTE	WJ 2005年 第12号 page.57 二択	モノクロ	B4
264	魔人冒険譚ランプ・ランプ	JC 第1巻 カバー用イラスト(1992年)	カラー	362×515×4
265	魔人冒険譚ランプ・ランプ	WJ 1991年 第52号 第1夜 敵か味方が魔人ランプ	カラー	364×516×4
266	魔人冒険譚ランプ・ランプ	WJ 1992年 第8号 第7夜 遠い昔の約束	モノクロ	361×256
267	魔人冒険譚ランプ・ランプ	WJ 1992年 第18号 第17夜 2つのドゴーンパンチ!	モノクロ	(見開き)453×364(上)227×364(下)226×364
268	魔人冒険譚ランプ・ランプ	WJ 1992年 第24号 第22夜 みんなの力!	モノクロ	(見開き)459×364(右)229×364(左)230×364
269	魔人冒険譚ランプ・ランプ	JC 第2巻 描き下ろしイラスト(1992年)	モノクロ	B4
270	魔人冒険譚ランプ・ランプ	JC 第3巻 描き下ろしイラスト(1992年)	モノクロ	B4
271,272	魔人冒険譚ランプ・ランプ	WJ 1992年 第3・4合併号 第3夜 必殺のドゴーンパンチ	モノクロ	B4
273	魔人冒険譚ランプ・ランプ	WJ 1992年 第6号 第5夜 ランプ、エイシャへ飛べ!!	モノクロ	B4
274	BLUE DRAGON ラルΩグラド	WJ 2007年 第1号 TALE2 Back	カラー	
275,276	BLUE DRAGON ラルΩグラド	WJ 2007年 第1号 TALE1 Promise	モノクロ	364×452
277	BLUE DRAGON ラルΩグラド	WJ 2007年 第32号 TALE29 Friend	モノクロ	B4
278	バクマン。	JC 第20巻 カバー用イラスト(2012年)	モノクロ	A3
279-285	バクマン。	WJ 2008年 第37・38合併号 1ページ 夢と現実	モノクロ	B4

No.	作品	掲載誌等	原画タイプ	原稿サイズ
286	バクマン。	WJ 2008年 第37・38合併号 1ページ 夢と現実	モノクロ	(見開き)450×360(右)225×360(左)225×360
287-292	バクマン。	WJ 2008年 第37・38合併号 1ページ 夢と現実	モノクロ	B4
293,294	バクマン。	WJ 2010年 第30号 91ページ 票と表	モノクロ	B4
295	バクマン。	WJ 2010年 第30号 91ページ 票と表	モノクロ	452×364
296-303	バクマン。	WJ 2010年 第30号 91ページ 票と表	モノクロ	B4
304-315	バクマン。	WJ 2011年 第27号 135ページ 連続と阻止	モノクロ	B4
316	バクマン。	WJ 2012年 第21・22合併号 ラストページ 夢と現実	モノクロ	(見開き)450×360(右)225×360(左)225×360
317,318	バクマン。	WJ 2012年 第21・22合併号 ラストページ 夢と現実	モノクロ	B4
319	バクマン。	WJ 2012年 第21・22合併号 ラストページ 夢と現実	モノクロ	(見開き)453×360(右)227×360(左)226×360
320	バクマン。	JC 第2巻 カバー用イラスト(2009年)	カラー	310×436
321	バクマン。	JC 第7巻 カバー用イラスト(2010年)	カラー	A3
322	バクマン。	JC 第8巻 カバー用イラスト(2010年)	カラー	A3
323,324	バクマン。	WJ 2012年 第20号 175ページ 発売日と前夜	モノクロ	B4
325	バクマン。	WJ 2011年 第24号 132ページ 逆立ちと立て直し	モノクロ	(右)226×364(左)226×364
326,327	バクマン。	WJ 2011年 第12号 121ページ 自信と覚悟	モノクロ	B4
328	バクマン。	JC 第3巻 カバー用イラスト(2009年)	カラー	A3
329	バクマン。	JC 第11巻 カバー用イラスト(2010年)	カラー	A3
330	バクマン。	WJ 2008年 第46号 9ページ 条件と上京	モノクロ	B4
331,332	バクマン。	WJ 2011年 第31号 139ページ 最終話とコメント	モノクロ	B4
333	バクマン。	JC 第12巻 カバー用イラスト(2011年)	カラー	A3
334,335	バクマン。	WJ 2010年 第48号 107ページ 合ってるものと好きなもの	モノクロ	B4
336,337	バクマン。	WJ 2011年 第20・21合併号 129ページ 青春と末路	モノクロ	B4
338,339	バクマン。	WJ 2011年 第4号 114ページ 恋路と歩道橋	モノクロ	B4
340	バクマン。	JC 第9巻 カバー用イラスト(2010年)	カラー	A3
341	バクマン。	JC 第5巻 カバー用イラスト(2009年)	カラー	A3
342	バクマン。	WJ 2010年 第30号 91ページ 票と表	モノクロ	B4
343	バクマン。	WJ 2010年 第3・4号 67ページ パンチラと救世主	モノクロ	B4
344	バクマン。	JC 第4巻 カバー用イラスト(2009年)	カラー	A3
345	バクマン。	JC 第19巻 カバー用イラスト(2012年)	カラー	B4
346,347	バクマン。	WJ 2012年 第13号 168ページ 訂正と宣言	モノクロ	B4
348	バクマン。	WJ 2012年 第17号 172ページ 美保と栗保	モノクロ	(右)226×364(左)226×364
349	バクマン。	WJ 2011年 第37号 144ページ 会社と必勝法	モノクロ	B4
350	バクマン。	WJ 2009年 第47号 58ページ 一桁と二桁	カラー	A3
351	バクマン。	WJ 2009年 第18号 31ページ 火曜と金曜	モノクロ	B4
352	バクマン。	WJ 2010年 第9号 71ページ 才能とプライド	カラー	A3
353	バクマン。	WJ 2012年 第1号 158ページ 間延びと一気	カラー	A3
354	バクマン。	WJ 2010年 第28号 89ページ タイトルとキャラデザ	モノクロ	B4
355	バクマン。	WJ 2011年 第47号 153ページ 世界と相手	カラー	A3
356	バクマン。	WJ 2012年 第19号 174ページ あり方と終わり方	モノクロ	B4
357	バクマン。	WJ 2009年 第47号 58ページ 一桁と二桁	カラー	A3
358	バクマン。	WJ 2011年 第46号 152ページ 相乗効果と新記録	モノクロ	B4
359	バクマン。	WJ 2010年 第34号 95ページ 毎晩と合体	モノクロ	B4
360	バクマン。	WJ 2009年 第21号 34ページ 追う者と追われる者	カラー	491×297
361	バクマン。	WJ 2009年 第18号 31ページ 火曜と金曜	モノクロ	B4
362	バクマン。	WJ 2010年 第1号 64ページ まんまと隠し事	モノクロ	B4
363	バクマン。	WJ 2011年 第14号 123ページ ビザとお茶	モノクロ	B4
364	バクマン。	WJ 2011年 第27号 136ページ 伸びしろと対抗策	モノクロ	B4
365	バクマン。	WJ 2010年 第34号 95ページ 毎晩と合体	モノクロ	B4
366	バクマン。	WJ 2010年 第36・37合併号 「ラッコ11号」談切	カラー	B4
367	バクマン。	WJ 2010年 第20号 82ページ ヒントとベスト	モノクロ	B4
368	バクマン。	WJ 2011年 第28号 136ページ 伸びしろと対抗策	モノクロ	B4
369	バクマン。	WJ 2009年 第40号 51ページ 再開と下位	モノクロ	B4
370	バクマン。	WJ 2011年 第33号 141ページ 年齢と実績	モノクロ	(右)226×364(左)226×364
371,372	バクマン。	WJ 2011年 第5・6号 115ページ 記念撮影と教室	モノクロ	B4
373	バクマン。	WJ 2011年 第10号 119ページ 過信と宣伝	モノクロ	B4
374	バクマン。	WJ 2010年 第47号 106ページ 試合と祭	モノクロ	B4
375,376	バクマン。	WJ 2011年 第17号 126ページ 分析と結果	モノクロ	B4
377,378	バクマン。	WJ 2011年 第50号 156ページ 余裕と修羅場	モノクロ	B4
379-381	学糾法廷	WJ 2015年 第2号 第2話 スズキ君 バラバラ殺人事件②	モノクロ	B4
382	学糾法廷	WJ 2015年 第22・23合併号 第20話 鍵	モノクロ	B4
〈ZONE2 Illustration〉				
383	ヒカルの碁	『ヒカルの碁』 WJ 1999年 第29号 ポスター	カラー	297×420
384	ヒカルの碁	『ヒカルの碁』 赤マルジャンプ 2003SPRING ポスター(2003年)	カラー	297×420
385	ヒカルの碁	『ヒカルの碁』 WJ 2002年 第33号 ポスター	カラー	297×624
386	バクマン。	『バクマン。』 WJ 2009年 第16号 29ページ 文学と音楽	カラー	335×438
387	義経記	「義経記」 PlayStation2 パッケージ用イラスト(2005年)	カラー	297×420
388	ヒカルの碁	『ヒカルの碁』 WJ 2002年 第6・7合併号 ポスター	カラー	297×420
389	バクマン。	『バクマン。』 WJ 2010年 第45号 104ページ ステップとウォッチ	カラー	340×448
390	ヒカルの碁	『ヒカルの碁』 WJ 2002年 第33号 表紙用イラスト	カラー	

No.	作品	掲載誌等	原画タイプ	原稿サイズ
391	ヒカルの碁	『ヒカルの碁』 WJ 1999年 第43号 第38局 千年のワガママ	カラー	296×418
392	ヒカルの碁	『ヒカルの碁』 WJ 2002年 第52号 ポスター	カラー	297×420
393	バクマン。	『バクマン。』 WJ 2011年 第16号 125ページ 焦慮と逆転	カラー	257×364
394	ヒカルの碁	『ヒカルの碁』 画集「彩-sai-」 描き下ろしイラスト(2002年)	カラー	
395	DEATH NOTE	『DEATH NOTE』 JC 「DEATH NOTE HOW TO READ 13」 カバー用イラスト(2006年)	カラー	297×420
396	DEATH NOTE	『DEATH NOTE』 画集「blanc et noire」 描き下ろしイラスト(2006年)	カラー	297×420
397	DEATH NOTE	『DEATH NOTE』 WJ 2005年 第1号 page.49 植木	カラー	297×420
398	DEATH NOTE	『DEATH NOTE』 JC 「DEATH NOTE HOW TO READ 13」 描き下ろしイラスト(2006年)	カラー	420×297
399	描き下ろし	マンガ・エロティクス・エフ VOL.33(2005年)	カラー	420×297
400	青の祓魔士	『青の祓魔士』 ジャンプ SQ.RISE 2018SPRING ポスター(2018年)	カラー	297×420
401	ヒカルの碁	『ヒカルの碁』 JC 第6巻 カバー用イラスト(2000年)	カラー	297×420
402	ヒカルの碁	『ヒカルの碁』 画集「彩-sai-」 描き下ろしイラスト(2002年)	カラー	297×420
403	ヒカルの碁	『ヒカルの碁』 画集「彩-sai-」 描き下ろしイラスト(2002年)	カラー	
404	人形草紙あやつり左近	『人形草紙あやつり左近』 j-BOOKS 「人形草紙あやつり左近」 描き下ろしイラスト(1996年)	カラー	257×365
405	人形草紙あやつり左近	『人形草紙あやつり左近』 j-BOOKS 描き下ろしイラスト(1996年)	カラー	257×365
406	DEATH NOTE	『DEATH NOTE』 JC 「DEATH NOTE HOW TO READ 13」 初回限定特装版 描き下ろしイラスト(2006年)	カラー	260×370
407	描き下ろし	「ころろ」 集英社文庫 カバー用イラスト(2008年)	カラー	297×420
408	描き下ろし	画集「blanc et noire」 描き下ろしイラスト(2006年)	カラー	297×420
409	描き下ろし	「人間失格」 集英社文庫 カバー用イラスト(2008年)	カラー	297×420
410	ヒカルの碁	『ヒカルの碁』 完全版 第6巻 カバー用イラスト(2009年)	カラー	297×750
411	描き下ろし	画集「blanc et noire」 描き下ろしイラスト(2006年)	カラー	297×420
412	ヒカルの碁	『ヒカルの碁』 赤マルジャンプ 2002SPRING ポスター(2002年)	カラー	
413	DEATH NOTE	『DEATH NOTE』 JC 第12巻 カバー用イラスト(2006年)	カラー	297×420
414	DEATH NOTE	『DEATH NOTE』 JC 「DEATH NOTE HOW TO READ 13」 初回限定特装版 描き下ろしイラスト(2006年)	カラー	297×420
415	人形草紙あやつり左近	『人形草紙あやつり左近』 j-BOOKS 「人形草紙あやつり左近」 描き下ろしイラスト(1996年)	カラー	365×257
416	青少年のための小説入門	『青少年のための小説入門』 描き下ろしイラスト(2018年)	カラー	297×420
417	DEATH NOTE	『DEATH NOTE』 WJ 2004年 第12号 page.10「合流」	カラー	257×364
418	DEATH NOTE	『DEATH NOTE』 WJ 2005年 第18号	カラー	265×420
419	描き下ろし	スピリッツ増刊 IKKI 第6号(2001年)	カラー	297×420
420	うろおぼえウロボロス!	『うろおぼえウロボロス!』 WJ 2008年 第6・7合併号	カラー	257×364
421	ローゼンメイデン	『ローゼンメイデン』 YJ 2013年 第39号 ピンナップ	カラー	297×420
422	DEATH NOTE	『DEATH NOTE』 JC 第11巻 カバー用イラスト(2006年)	カラー	297×420
423	DEATH NOTE	『DEATH NOTE』 WJ 2004年 第31号 page.28 判定	カラー	297×420
424	DEATH NOTE	『DEATH NOTE』 赤マルジャンプ 2005 SPRING ピンナップ(2005年)	カラー	310×457
425	DEATH NOTE	『DEATH NOTE』 画集「blanc et noire」 描き下ろしイラスト(2006年)	カラー	297×836
426	BLUE DRAGON ラルQ グラド	『BLUE DRAGON ラルQ グラド』 WJ 2007年 第13号 TALE11 Pride	カラー	364×452
427	人形草紙あやつり左近	『人形草紙あやつり左近』 WJ 1995年 第24号 読者プレゼントテレホンカード用 描き下ろしイラスト	カラー	257×365
428	HELLO BABY	『HELLO BABY』 SQ 2007年 創刊号	カラー	297×420
429	CYBORG じいちゃん G	『CYBORG じいちゃん G』 JC 第1巻 カバー用イラスト(1989年)	カラー	515×363×3
430	CYBORG じいちゃん G	『CYBORG じいちゃん G』 JC 第3巻 カバー用イラスト(1989年)	カラー	515×363×3
431	All You Need Is Kill	『All You Need Is Kill』 ミラクルジャンプ 2014年 5月号 ピンナップ	カラー	297×420
432	All You Need Is Kill	『All You Need Is Kill』 JC 第1巻 カバー用イラスト(2014年)	カラー	297×420
433	ヒカルの碁	『ヒカルの碁』 描き下ろしキービジュアル(2019年)	カラー	A2
434	DEATH NOTE	『DEATH NOTE』 描き下ろしキービジュアル(2019年)	カラー	A2
435	プラチナエンド	『プラチナエンド』 描き下ろしキービジュアル(2019年)	カラー	A2
	〈ZONE3 NEVER COMPLETE〉			
436	プラチナエンド	プラチナエンド制作過程	モノクロ	
437	プラチナエンド	SQ 2015年 12月号 #1 天使の贈り物		(右)226×364(左)227×364
438	プラチナエンド	SQ 2016年 2月号 #3 正義のヒーロー		(右)226×364(左)226×364
439	プラチナエンド	SQ 2016年 8月号 #9 悪夢のタワー		(右)227×364(左)227×364
440,441	プラチナエンド	SQ 2016年 9月号 #10 偶然の産物		B4
442	プラチナエンド	SQ 2017年 4月号 #17 胸のときめき		(右)226×364(左)226×364
443	プラチナエンド	SQ 2018年 12月号 #36 最後の晚餐		(右)227×364(左)227×364
444	プラチナエンド	SQ 2019年 1月号 #37 接触の条件		(右)226×364(左)226×364
445	プラチナエンド	『プラチナエンド』 描き下ろしキービジュアル ラフ絵(2019年)	モノクロ	
446	プラチナエンド	『プラチナエンド』 描き下ろしキービジュアル 線画(2019年)	モノクロ	
447	プラチナエンド	『プラチナエンド』 描き下ろしキービジュアル アナログ着彩(2019年)	カラー	
448	プラチナエンド	『プラチナエンド』 描き下ろしキービジュアル B4 縮小(2019年)	カラー	
449	プラチナエンド	JC 第1巻 カバー用イラスト(2016年)	カラー	355×495
450	プラチナエンド	JC 第2巻 カバー用イラスト(2016年)	カラー	328×470
451	プラチナエンド	JC 第3巻 カバー用イラスト(2016年)	カラー	335×438
452	プラチナエンド	JC 第4巻 カバー用イラスト(2016年)	カラー	297×420
453	プラチナエンド	JC 第5巻 カバー用イラスト(2017年)	カラー	297×420
454	プラチナエンド	JC 第6巻 カバー用イラスト(2017年)	カラー	340×448
455	プラチナエンド	JC 第7巻 カバー用イラスト(2017年)	カラー	297×420
456	プラチナエンド	JC 第8巻 カバー用イラスト(2018年)	カラー	296×418
457	プラチナエンド	JC 第9巻 カバー用イラスト(2018年)	カラー	297×420
458	プラチナエンド	JC 第10巻 カバー用イラスト(2019年)	カラー	257×364
459	プラチナエンド	JC 第11巻 カバー用イラスト(2019年)	カラー	297×420

No.	作品	掲載誌等	原画タイプ	原稿サイズ
460	プラチナエンド	JC 第12巻 カバー用イラスト(2020年)	カラー	
461	プラチナエンド	JC 第13巻 カバー用イラスト(2020年)	カラー	W545×H254
462-464	DEATH NOTE	『DEATH NOTE』特別読切 SQ 2020年3月号	カラー	特寸
465-474	DEATH NOTE	『DEATH NOTE』特別読切 SQ 2020年3月号	モノクロ	B4
475	展覧会特別描きおろし	創作描きおろし NEVER COMPLETE	カラー	特寸

## 2. 教育普及事業

### 講演会

参加人数

年度-no.	開催(公開)日	時間	タイトル	講師	会場	合計
2016-01	7月31日(日)	午後2時~3時30分	森竹巳講演会「百均造形のススメ」 (企画展 森竹巳の百均造形)	森竹巳(造形作家・ 筑波大学大学院教授)	高崎市南公民館	45
2017-01	4月29日 (土・祝)	午後2時~3時30分	講演会「ルネ・ラリックー香水瓶に見る デザインの革命」 (企画展 ルネ・ラリックの香水瓶)	池田まゆみ(北澤美術 館主席学芸員)	高崎市南公民館	50
2017-02	11月5日(日)	午後2時~3時30分	記念講演会「佐藤晃一:人と時代」 (企画展 佐藤晃一展)	佐藤良明 (東京大学名誉教授)	高崎市南公民館	80
2017-03	著名人スライドトーク「あの人トーク!清宮質文」(企画展 清宮質文)				高崎市南公民館	
	12月17日(日)	午後2時~3時	「夕日-昨日と明日の境に立って」	絲山秋子(小説家)		50
	1月14日(日)	午後2時~3時	「物と心のはざまに生まれるイメージ」	山中現(木版画家・画家)		50
2017-04	3月11日(日)	午後2時~5時	スライドトーク「芸術とは無慚なもの」 か。】(特集展示 鶴岡政男)	徳江庸行(群馬県立館林 美術館学芸員)	高崎市南公民館	41
2018-01	4月22日(日)	午後3時~	アーティストトーク(企画展 水野暁)	水野暁(画家)	高崎市南公民館	80
	6月3日(日)	午後3時~				71
2018-02	6月16日(土)	午後2時~	クロストーク(企画展 水野暁)	水野暁、土方明司(平塚 市美術館館長代理)、 江尻潔(足利市立美術館 次長・学芸員)	高崎市南公民館	70
2018-03	8月4日(土)	午後2時~4時	記念イベント 萩尾望都トークショー (企画展 萩尾望都 SF 原画展)	萩尾望都(マンガ家)、 浦沢直樹(マンガ家)	高崎シティギャラ リー コアホール	296
2018-04	10月7日(日)	午後2時~4時	スライドトーク「画家・山口薫ー山口薫 が生まれるとき」 (企画展 山口薫先生からきみたちへ)	黒田亮子(美術史家)	高崎市南公民館	51
2018-05	高崎市美術館シリーズ講座てつがく堂+茶話 (企画展 モダンデザインが結ぶ暮らしの夢)				高崎市南公民館(講座)、 旧井上房一郎邸庭園(茶話)	
	2月24日(日)	午後2時~5時	「空間×生活=デザイン ノエミ・レーモ ンド 美しい暮らしのデザイン」	鈴木敏彦 (工学院大学教授) 茶話(コーヒーサービス): 藤巻傑、清水康子(軽井沢 タリアセン ペイネ美術 館)、当館スタッフ		49
	3月24日(日)	午後2時~5時	「竹皮編をしる×さわる×つくる」	前島美江 (西上州竹皮編でんえもん) 茶話(コーヒーサービス): 当館スタッフ		22
2018-06	3月16日(土)	午後2時~3時30分	水原冬美さんギャラリートーク 「タウト×井上房一郎×父、水原徳言」 (企画展 モダンデザインが結ぶ暮らしの夢)	水原冬美 (水原徳言長女)	高崎市南公民館 (美術館より会場 変更)	88
2019-01	アートレクチャー(企画展 松本忠義・豊田一男 2人展)				高崎市南公民館	
	5月11日(土)	午後2時~	「AOKITはこうして誕生したーフェルメ ル、ゴッホを“再現”すると見えてくる」	青木世一(美術家)		22
	6月16日(日)	午後2時~	「松本忠義と豊田一男ー内なる世界と 外への視線」	染谷滋(元群馬県立近代 美術館学芸員)		32
2019-02	高崎市美術館シリーズ講座てつがく堂+茶話 (企画展 詩をかたどる、詩をきざむ)				高崎市南公民館(講座)、 旧井上房一郎邸庭園(茶話)	
	9月15日(日)	午後2時~5時	「高崎ものがたり」	深井隆(彫刻家)、山下三 郎(デザイナー・元東北工 業大学教授) 茶話(コーヒーサービス): 丸尾康弘(彫刻家)、難波 多輝子(アーティスト・丸尾 康弘夫人)、当館スタッフ		23
	10月20日(日)	午後2時~5時	「高崎ひとがたり」	丸尾康弘、 関口将夫(画家・詩人) 茶話(コーヒーサービス): 当館スタッフ		37
2019-03	9月22日(日)	午後2時~3時	アーティストクロストーク (企画展 詩をかたどる、詩をきざむ)	丸尾康弘、 木村繁之(木版画家)	高崎市南公民館	46
	11月24日(日)	午後2時~3時			深井隆、 山中現(木版画家)	高崎市南公民館

ワークショップ／作家による作品解説会等

参加人数／動画再生数／投句数

年度-no.	開催(公開)日	時間	タイトル	講師／担当	会場	合計
2016-01	4月23日(土)	午後2時～	今森光彦アーティストトーク&サイン会 (企画展 今森光彦展)	今森光彦 (写真家・切り紙作家)	展示室	100
2016-02	4月24日(日)	午前10時～12時	今森光彦切り紙ワークショップ (企画展 今森光彦展)	今森光彦	高崎市南公民館	20
2016-03	5月14日(土)	午後2時～3時30分	親子で楽しむ切り紙ワークショップ (企画展 今森光彦展)	当館スタッフ	高崎市南公民館	20
2016-04	6月11日(土)	午後1時～3時30分	身近な植物をもちいた草木染めワーク ショップ(企画展 今森光彦展)	高崎市染料植物園スタ ッフ	高崎市南公民館	13
2016-05	7月10日(日)	午後2時～3時	森竹巳による「みんなのギャラリート ーク」(企画展 森竹巳の百均造形)	森竹巳(造形作家・筑 波大学大学院教授)	展示室	58
2016-06	7月30日(土)	午前10時30分～ 12時	こどもワークショップ「白色プラ板でパ ジづくり」(企画展 森竹巳の百均造形)	当館スタッフ	高崎市南公民館	20
2016-07	8月6日(土)	午前10時30分～ 12時	親子ワークショップ「ストラート」 (企画展 森竹巳の百均造形)	森竹巳	高崎市南公民館	22
2016-08	アーティストトーク(企画展 愛のなかの女性たち)				展示室	
	10月23日(日)	午後2時～3時	「絵画になった女性たち」	新井コー児(画家)		33
	11月3日 (木・祝)	午後2時～3時	「彫刻になった女性たち」	三輪途道(彫刻家)		29
2016-09	学芸員によるリレーギャラリートーク(収蔵展 5つの部屋+I)				展示室	
	12月3日(土)	午後2時～3時	「動物たちの部屋」「顔のある部屋」	谷津淑恵(当館学芸員)		7
	1月14日(土)	午後2時～3時	「木の部屋-深井隆の世界」 「孔版画の部屋-没後30年 福井良之助」	住田常生(当館学芸員)		21
2016-10	12月10日(日)	午後2時～3時	齋木三男によるギャラリートーク (収蔵展 5つの部屋+I)	齋木三男(彫刻家)	旧井上房一郎邸	15
2016-11	12月11日(日)	午前10時～午後5時	お気に入りスケッチ (収蔵展 5つの部屋+I)		展示室	3
	1月15日(日)	午前10時～午後5時				2
2016-12	12月17日(土)	午後2時～3時30分	ワークショップ「クリスマス・プレスレ ット作り」(収蔵展 5つの部屋+I)	当館スタッフ	高崎市南公民館	10
2016-13	著名人ギャラリートーク「あの人トーク!木村忠太」(企画展 生誕100年 木村忠太展)				展示室	
	2月5日(日)	午後2時～	「絵と歩く一言をもつて、言葉をこえて」	絲山秋子(小説家)		62
	3月5日(日)	午後2時～	「木村忠太作品と風土(フード)」	堀井和子 (テーブルスタイリスト)		58
2016-14	2月25日(土)	午後1時～3時	ワークショップ 「かたちとひかりでかく自画像」 (企画展 生誕100年 木村忠太展)	住田常生	高崎市南公民館	19
2016-15	3月10日(金)	午後6時30分～ 7時30分	対話鑑賞イベント 「金曜夜はおしゃべりミュージアム」 (企画展 生誕100年 木村忠太展)	住田常生	展示室	3
	3月24日(金)	午後6時30分～ 7時30分				7
2016-16	3月26日(日)	午後1時～5時	春のエンディングコーヒーサービス (企画展 生誕100年 木村忠太展)	当館スタッフ	ラウンジ	103
2017-01	6月3日(土)	午後2時～	ガラス作家によるギャラリートーク (企画展 ルネ・ラルリックの香水瓶)	小林大輔 (ガラス工房メルハバ代表)	展示室	41
2017-02	ワークショップ(企画展 ウィリアム・ブレイクと神の世界)				高崎市南公民館	
	7月22日(土)	午後2時～3時30分	「自分だけの天使と悪魔を描こう!」	藤倉美緒 (イラストレーター)		13
	7月29日(土)	午後2時～3時30分	「モンスターのお面をつくって仮装して みよう!」	なかのひろか (アーティスト)		12
2017-03	8月11日 (金・祝)	午後2時～3時	スペシャルギャラリートーク「ウィリアム・ブレイクとは 何者か」(企画展 ウィリアム・ブレイクと神の世界)	菅野洋人 (郡山市立美術館学芸員)	展示室	71
2017-04	10月28日(土)	午後2時～3時30分	佐藤晃一のアシスタントによるギャラ リートーク「佐藤晃一の仕事」 (企画展 佐藤晃一展)	糸藤隆弘、村松文彦 (佐藤晃一アシスタント・ グラフィックデザイナー)	展示室	69
2017-05	1月13日(土)	午後2時～3時	クロストーク (企画展 清宮質文)	絲山秋子、 新井昭彦(所蔵家)	展示室	43
2017-06	ワークショップ「ガラスに透かす思い出のひかり」(企画展 清宮質文)				高崎市南公民館	
	12月24日(日)	午後1時～4時	ガラス絵	住田常生		12
	1月21日(日)	午後1時～4時	モニタイプ			17
2017-07	12月22日(金)	午後6時30分～ 7時30分	対話鑑賞イベント 「金曜夜はおしゃべりミュージアム」 (企画展 清宮質文)	住田常生	展示室	5
	1月12日(金)	午後6時30分～ 7時30分				12
2017-08	ワークショップ「ツルさんへの挑戦状、抽象上等!」(特集展示 鶴岡政男)				高崎市南公民館	
	2月18日(日)	午後1時～3時	「拾った石に抽象ペイント」	泉澤守(画家)		17
	2月25日(日)	午後1時～3時	「パステルで動きを描こう」	住田常生		13
2017-09	3月21日 (水・祝)	午後2時～4時30分	よしだひろこさんクロストーク 「父、鶴岡政男」(特集展示 鶴岡政男)	よしだひろこ(鶴岡政男 長女)、徳江庸行(群馬 県立館林美術館学芸員)	展示室	53

年度-no.	開催(公開)日	時間	タイトル	講師/担当	会場	合計
2018-01	5月4日(金)	午後2時～	公開制作(企画展 水野暁)	水野暁(画家)	旧井上房一郎邸 庭園	152
	5月5日(土)	午後2時～				183
2018-02	5月13日(日)	午後1時～	母の日親子ワークショップ 「見て、触って、親子で描きあってプレゼント!」 (企画展 水野暁)	水野暁	高崎市南公民館	14
2018-03	5月27日(日)	午後3時～	おしゃべりギャラリートツアー (企画展 水野暁)	水野暁	展示室	88
	6月24日(日)	午後3時～				142
2018-04	7月28日(土)	午後2時～3時30分	夏休みイラストワークショップ 「オリジナルキャラを描こう」 (企画展 萩尾望都 SF 原画展)	藤倉美緒(挿絵作家)	高崎市南公民館	13
2018-05	7月29日(日)	午後2時～3時30分	夏休みひょうたんワークショップ 「オリジナルキャラに変身」 (企画展 萩尾望都 SF 原画展)	なかのひろか (アーティスト)	高崎市南公民館	14
2018-06	10月21日(日)	午後2時～3時	詩の朗読&トーク「詩人・山口薫一絵の てまえ、絵のうしろ」 (企画展 山口薫先生からきみたちへ)	関口将夫(詩人・画家)	展示室	36
2018-07	11月18日(日)	午後2時～4時	著名人ギャラリートーク「先生・山口薫 ーやるったら、やらなきやいけなよ」 (企画展 山口薫先生からきみたちへ)	大津英敏(画家)	展示室	58
2018-08	10月14日(日)	午後1時～3時	ワークショップ「かおるさんへ詩と絵の 便り」(企画展 山口薫先生からきみたちへ)	住田常生(当館学芸員)	高崎市南公民館	4
2018-09	10月12日(金)	午後6時30分～ 7時30分	対話鑑賞イベント 「金曜夜はおしゃべりミュージアム」 (企画展 山口薫先生からきみたちへ)	対話型アート鑑賞ラボ	展示室	13
	11月16日(金)	午後6時30分～ 7時30分				20
2018-10	12月24日(月)	午後2時～	アーティストトーク (コレクション展 アナザー・ストーリー)	長野順子(版画家) 大竹夏紀 (ろうけつ染め作家)	展示室 展示室	41
	1月12日(土)	午後2時～				33
2018-11	1月5日(土) 1月6日(日)	午前10時～	新年!! お楽しみ福袋プレゼント (コレクション展 アナザー・ストーリー)	各日先着40名に「美術館の福袋」プレゼント		
2018-12	2月13日(水)	午後1時～3時	竹皮の花かご作り(体験コーナー) (企画展 モダンデザインが結ぶ暮らしの夢)	前島美江 (西上州竹皮編でんえもん) 当館スタッフ	ラウンジ	7
	2月22日(金)					19
	3月6日(水)					12
	3月15日(金)					13
	3月20日(水)					15
	3月27日(水)					17
	3月29日(金)					16
2018-13	2月17日(日)	午後1時～3時	ワークショップ 「紙でつくるタウトの小さなうち」 (企画展 モダンデザインが結ぶ暮らしの夢)	畠山絢乃(当館スタッフ)	高崎市南公民館	20
2019-01	5月12日(日)	午後2時～	ワークショップ「絵のなか探検隊! 立体 モデル AOKIT に入ってみよう」 (企画展 松本忠義・豊田一男 2人展)	青木世一(美術家)	高崎市南公民館	16
2019-02	7月12日(金)	午後2時～	プレイベント トーク&ライブ 「今いるココから」 (企画展 3は魔法の数字)	小林頼司(Raiji & Chips)、 川崎弘紀(three)	展示室	31
2019-03	7月13日(土)	午後2時～	threeによるギャラリートーク (企画展 3は魔法の数字)	川崎弘紀 川崎弘紀、 永田嘉齊(永田ダルマ)	展示室 展示室	34
	7月27日(土)	午後2時～				50
	8月11日 (日・祝)	午後2時～			佐々木周平(three)、 川崎弘紀、永田嘉齊	展示室
2019-04	夏のワークショップ(企画展 3は魔法の数字)			高崎市南公民館		
	8月10日(土)	午後2時～	「three とつろう」	佐々木周平、川崎弘紀		25
	8月24日(土)	午後1時～	「フィギュア de ペイントジオラマ」	奥西麻由子(群馬県立女子 大学文学部准教授)		22
2019-05	アーティストワークショップ(企画展 詩をかたどる、詩をきざむ)			高崎市南公民館		
	9月16日 (月・祝)	午後1時～3時	「木にふれる」	深井隆(彫刻家)		14
	9月23日 (月・祝)	午後1時～3時	「木をする」	木村繁之(木版画家)		17
	10月22日 (火・祝)	午後1時～3時	「木をきざむ」	丸尾康弘(彫刻家)		20
	11月17日(日)	午後1時～4時	「木のはやい年賀状」	山中現(木版画家)		17
2019-06	11月1日(金)	午後6時30分～ 7時30分	対話鑑賞イベント 「金曜夜はおしゃべりミュージアム」 (企画展 詩をかたどる、詩をきざむ)	対話型アート鑑賞ラボ	展示室	8
	11月8日(金)	午後6時30分～ 7時30分				7
2019-07	11月12日(火)	午後4時～8時30分	月の光にさわる句会 (企画展 詩をかたどる、詩をきざむ)	水野真由美(俳人)	高崎市美術館、 高崎市南公民館	11
2019-08	11月23日 (土・祝)	午後2時～3時	深井隆と学芸員によるクロストーク (企画展 詩をかたどる、詩をきざむ)	深井隆、住田常生	旧井上房一郎邸	27

年度-no.	開催(公開)日	時間	タイトル	講師/担当	会場	合計	
2019-09	1月5日(日)	午前10時～	新年!! お楽しみ福袋プレゼント (収蔵展 60s→80s)			各日先着40名に「美術館の福袋」プレゼント	
	1月7日(火)						
2019-10	1月11日(土)	午後2時～4時	ワークショップ「オリジナルロゴを作リステンシルバッグを作ろう」(収蔵展 60s→80s)	なかのひろか (アーティスト)	高崎市南公民館	12	
2020-01	作家解説動画配信(企画展 FLOWER) 月日は公開日、再生数は2020年10月10日現在			高崎市 YouTube チャンネル			
	7月22日(水)	1分20秒	渡辺香奈(画家)				944
		1分50秒					363
		1分31秒					354
		Twitter サムネイル					1885
	7月29日(水)	1分45秒	大竹夏紀(ろうけつ染め作家)				406
		1分58秒					119
		2分19秒					130
		Twitter サムネイル					384
	7月30日(木)	2分8秒	ましもゆき(画家)				385
		1分49秒					159
		1分55秒					147
		Twitter サムネイル					1738
	7月31日(金)	1分48秒	大村雪乃(アーティスト)				472
		2分32秒					149
		2分13秒					154
Twitter サムネイル		483					
2020-02	時代への花束へ一句(企画展 時代への花束) 投句期間 前期10月28日(水)～11月8日(日)、後期11月10日(火)～11月23日(月・祝) 佳作発表 前期11月15日(日)、後期11月29日(日)、 優秀賞発表 12月13日(日)優秀賞5句、佳作10句			水野真由美(俳人)	館内	80	
2020-03	みじかい解説会(企画展 時代への花束)			展示室			
	11月21日(土)	午後2時～2時30分	「戦争と人間」	住田常生(当館学芸員)			8
	12月19日(土)	午後2時～2時30分	「リアリズムと抽象表現」				4
	1月9日(土)	午後2時～2時30分	「内と外」				6

## 美術館コンサート

参加人数

年度-no.	開催(公開)日	時間	タイトル	演奏者	合計
2016-01	12月16日(金)	午後6時30分～ 7時30分	ミュージアムサロンコンサート (コレクション展 5つの部屋+I)	唐澤真幸(ヴァイオリニスト)、 丸山厚子(ピアニスト)	33



## 学校との連携

高崎市美術館では児童への美術普及を目的に、市内小学校を対象とした作家・学芸員による連携授業を行っている。美術界の第一線で活躍する作家を招き、学芸員と学校教諭の連携のもと、美術館・小学校・作家の三者で取り組んでいる。

### 2016 年度

#### 01 高崎市立南小学校連携授業「子どもたちと作品鑑賞」(企画展 愛のなかの女性たち)

- 日 時** 2016年10月11日(火)5時間目～6時間目、10月18日(火)3時間目～6時間目(各組2時間ずつ)
- 対 象** 高崎市立南小学校4年生57名
- 場 所** 高崎市立南小学校、高崎市美術館
- 講 師** 新井コー児(画家)
- 内 容** 14回目となる今回は、画家・新井コー児と子どもたちが一緒に企画展「愛のなかの女性たち」を鑑賞した。事前授業で展覧会出品作の感想をワークシートに記入、本授業では新井自身の出品作を前に、制作への思いを聞くことでアーティストがどのような気持ちで作品に向かっているのかを知ると同時に、子どもたちが自分の好きな作品を選び、友だちとの意見の違いや、画家である新井のコメントを聞いた。こうした活動をとおして、子どもたちが楽しく美術を鑑賞するきっかけをつかんだ。

### 2017 年度

#### 01 高崎市立南小学校連携授業「出前ミュージアム&鑑賞授業」(企画展 清宮質文)

- 日 時** 2018年1月19日(金)5時間目、1月23日(火)3時間目～4時間目
- 対 象** 高崎市立南小学校4年生45名
- 場 所** 高崎市立南小学校、高崎市美術館
- 担 当** 住田常生、谷津淑恵(当館学芸員)
- 内 容** 15回目となる今回は、企画展「生誕100年 清宮質文 あの夕日の彼方へ」について、出前ミュージアム(事前授業)と会場での対話鑑賞を行った。出前ミュージアムでは事前配布した「かんたんガイド」に沿った解説を行い空欄に記入し、本授業では清宮の生涯と作品をたどりながら、ワークシートに記入。子どもたちが自分の好きな作品を発表し、同じ絵について異なる感想を述べあうことができた。また作品と作家の気持ちを学びながら、心の営みとしての美術について鑑賞を深めた。

### 2018 年度

#### 01 高崎市立箕輪小学校連携授業「時をこえて わたしたちの箕郷」(企画展 山口薫先生からきみたちへ)

- 日 時** 2018年5月25日(金)1時間目～6時間目、9月26日(水)2時間目～5時間目(6年生各組1時間ずつ)、11月1日(木)2時間目～5時間目(5年生各組1時間ずつ)
- 対 象** 高崎市立箕輪小学校6年生102名、5年生95名
- 場 所** 高崎市立箕輪小学校、箕輪城址、高崎市美術館
- 講 師** 温井大介(アーティスト)、狩野英子(画家)、住田常生、谷津淑恵
- 内 容** 16回目となる今回は、企画展「没後50年 山口薫先生からきみたちへ」に合わせ、「時をこえて わたしたちの箕郷」として、山口が郷里を描いた《箕輪城跡》の写生地「箕輪城址」で、出身校後輩である高崎市立箕輪小学校6年生がクレヨン写生に挑戦。講師温井大介によるインスタレーションで、参加児童写生100点を、山口の《箕輪城跡》とともに高崎市美術館1階展示室でコラボレーション展示した。また5年生、6年生の会場での鑑賞授業を行った。

#### 02 高崎市立南小学校連携授業「鑑賞授業」(コレクション展 アナザー・ストーリー)

- 日 時** 2019年1月11日(金)3時間目～4時間目
- 対 象** 高崎市立南小学校4年生37名
- 担 当** 柴田純江(当館学芸員)

### 2019 年度

#### 01 高崎市立南小学校連携授業「鑑賞授業」(企画展 松本忠義・豊田一男2人展)

- 日 時** 2019年6月11日(火)6時間目
- 対 象** 高崎市立南小学校4年生38名
- 担 当** 柴田純江

## 学校教育活動による利用状況

2020年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い減少。

利用年度	学校名	人数
2016	高崎市立南小学校ほか 30 団体	839 名
2017	前橋工科大学ほか 21 団体	379 名
2018	高崎市立南小学校ほか 21 団体	507 名
2019	高崎市立南小学校ほか 16 団体	261 名
2020	高崎市立片岡中学校ほか 8 団体	75 名

## 生涯学習活動による利用状況

2020年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い減少。

利用年度	団体名	人数
2016	すみれ幼稚園ほか 39 団体	818 名
2017	高崎市南公民館ほか 19 団体	218 名
2018	若葉保育園ほか 19 団体	276 名
2019	慈光こども園ほか 7 団体	94 名
2020	若葉保育園ほか 3 団体	42 名

## 博物館実習

年度／受入期間	学校名	人数
2016年度 8月23日～27日	金沢美術工芸大学、群馬県立女子大学、大東文化大学	4名
2017年度 8月22日～26日	群馬県立女子大学、中央大学、同志社女子大学、横浜国立大学	4名
2018年度 8月21日～25日	群馬県立女子大学、高崎経済大学	5名
2019年度 8月20日～24日	跡見学園女子大学、群馬県立女子大学	4名
2020年度 8月18日～22日	金沢美術工芸大学、群馬県立女子大学、東京家政大学、東京女子大学、長岡造形大学	5名

## 研修／職場体験／ボランティア等の受入

01 やるベンチャーウィーク(市立中学2年生を対象に、職場体験のための機会を設けている。)

年度／受入期間	学校名／学年	人数
2017年度 6月20日～23日	高崎市立高松中学校	2名
2018年度 6月12日～15日	高崎市立高松中学校	2名
2019年度 11月6日～8日	高崎市立高松中学校	2名
11月12日～15日	高崎市立片岡中学校	2名

02 職場体験／ボランティア活動(市内高等学校生徒等を対象に、職場体験および社会奉仕活動のための機会を設けている。)

年度／受入期間	学校名／学年	人数
2016年度 7月23日、30日～31日 8月7日、14日	群馬県立高崎東高等学校2年生	9名
12月13日～15日	群馬県立吉井高等学校1年生	2名
2017年度 12月12日～14日	群馬県立吉井高等学校1年生	2名
2018年度 7月28日～29日、 8月4日、11日、12日	桐生大学短期大学部2年生	1名
2019年1月22日～24日	群馬県立吉井高等学校1年生	2名
2019年度 11月6日～8日	群馬県立吉井高等学校1年生	2名
2020年2月13日～14日	育英短期大学1年生	1名
2020年度 11月17日～19日	群馬県立吉井高等学校1年生	2名

## 講師派遣

(高崎市の芸術文化向上のため、申請があった施設に職員を派遣し、授業や講座などを開催している。)

派遣日	派遣職員	派遣先	事由
2016年7月20日	柴田純江(学芸員)	高崎市美術館	高崎経済大学博物館実習事前指導講師
2016年10月11日	柴田純江	高崎市立南小学校	連携授業事前指導(4年生)
2017年1月8日	住田常生(学芸員)	群馬県立館林美術館	記念講演会「清宮質文 詩想の彼方へ」講師
2017年2月16日	谷津淑恵(学芸員)	高崎市立箕輪小学校	鑑賞授業講師(5、6年生)
2017年7月26日	柴田純江	高崎市美術館	高崎経済大学博物館実習事前指導講師
2017年11月17日	谷津淑恵	高崎市立箕輪小学校	鑑賞授業講師(5年生)
2018年1月19日	住田常生	高崎市立南小学校	連携授業出前ミュージアム講師(5年生)
2018年1月25日	谷津淑恵	高崎市立西小学校	鑑賞授業講師(4年生)
2018年5月25日	谷津淑恵 住田常生	高崎市立箕輪小学校	連携授業講師(6年生)
2019年3月1日	住田常生	Cafeあすなろ	JIA 群馬クラブまちなか建築展特別ゲストトーク講師
2019年3月8日	谷津淑恵	高崎市立箕輪小学校	鑑賞授業講師(5年生)
2019年12月13日	谷津淑恵	高崎市立箕輪小学校	「母校愛を育むための授業」講師(5年生)
2020年1月19日	住田常生	パナソニック汐留美術館	「モダンデザインが結ぶ暮らしの夢」ギャラリートーク講師

### 3. 収集保存管理事業

#### 収蔵状況(購入/寄贈/管理換作品 2021年3月31日現在)

収蔵品[購入/寄贈/管理換]総計 ( )内はのべ数を示す。組作品(連作)、版画集は1組1点としてカウントし、のべ数を( )内に記載した。

油彩等	水彩・素描	版画	写真	彫刻	ガラス	計
502(529)	150(161)	478(787)	43	71	5	1249(1596)

年度別収蔵作品内訳 組作品(連作)、版画集は1組1点としてカウントした。

年度	購入	寄贈	管理換等	年度別合計
2016	0	10(絵画1、版画1、写真8)	0	10
2017	0	120(版画115、彫刻5)	0	120
2018	0	37(絵画36、版画1)	0	37
2019	0	31(絵画26、版画5)	0	31
2020	0	52(絵画33、版画16、写真2、彫刻1)	0	52

#### 新規収蔵作品一覧

国内作家は50音順、外国作家は姓のアルファベット順で表記した。作品は各作家、分類ごとの制作年順に表記した。各項目の表記は収蔵作品目録に準じた。

年度	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	
2016	伊藤富太郎	のぞき附近	1935	白黒・ネガプリント・クロームSフィルム・半光沢紙	54.6×45.0	
		スカブラを行く	1936	白黒・ネガプリント・クロームSSフィルム・半光沢紙	44.2×54.2	
		海の子等	1937	白黒・ネガプリント・クロームSSフィルム・半光沢紙	33.9×41.1	
		走れ!	1937	白黒・ネガプリント・クロームSSフィルム・半光沢紙	31.6×39.0	
		土手のうた 朝(土手のうたA)	1977	白黒・ネガプリント・クロームSSフィルム・半光沢紙	45.4×55.7	
		土手のうた 朝(土手のうたB)	1977	白黒・ネガプリント・クロームSSフィルム・半光沢紙	45.5×55.7	
		揺れる	1978	カラー・ネガプリント・光沢紙	45.6×56.0	
		コンポジションC	1984	カラー・ポジ(ダイレクトプリント)・光沢紙	55.9×45.7	
		木村忠太	レジエ家の裏のキャベツ畠	1958	油彩・キャンバス	49.6×64.0
			夏	1969	リトグラフ・紙	32.0×41.0
2017	佐藤晃一	イベントポスター 第30回高々美術展	1961	オフセット・紙	54.5×38.6	
		イベントポスター 第31回高々美術展	1962	シルクスクリーン・紙	52.7×37.3	
		演劇ポスター オイディプス王	1968	シルクスクリーン・紙	72.8×52.2	
		演劇ポスター ベール・ギュント	1968	オフセット・紙	72.4×51.9	
		演劇ポスター 蠍を飼う女	1970	オフセット・紙	75.3×53.9	
		演劇ポスター 象	1970	シルクスクリーン・紙	72.8×51.4	
		キャンペーンポスター 資生堂化粧品デー	1971	オフセット・紙	103.0×72.8	
		コンサートポスター ジョイントリサイタル	1971	オフセット・紙	71.9×50.8	
		演劇ポスター 仔猫を抱いたボリスマン	1972	シルクスクリーン・紙	54.1×78.0	
		演劇ポスター 移動	1973	シルクスクリーン・紙	72.6×51.6	
		演劇ポスター 花電車	1973	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	
		演劇ポスター 舟は帆船よ	1973	シルクスクリーン・紙	72.6×51.8	
		演劇ポスター 毒薬と老嬢	1974	オフセット・紙	72.8×51.8	
		コンサートポスター	1974	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	
		NEW MUSIC MEDIA(初版)				
		展覧会出品ポスター 深呼吸	1974	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	
		演劇ポスター 死のう団(初版)	1976	オフセット・紙	103.0×72.8	
		演劇ポスター 桜姫東文章	1976	オフセット・紙	72.8×51.5	
		映画ポスター 火の鳥	1978	オフセット・紙	103.0×72.8	
		演劇ポスター 楽屋	1978	オフセット・紙	72.8×51.5	
		演劇ポスター 肥前松浦兄妹心中	1978	オフセット・紙	72.8×51.5	
		展覧会ポスター IKEBANA from now on	1978	オフセット・紙	72.8×51.5	
		展覧会ポスター きいちのぬりえ展	1978	オフセット・紙	51.5×72.8	
		ブランドイメージポスター ONKYO	1978	オフセット・紙	103.0×72.8	
		ブランドイメージポスター	1978	オフセット・紙	83.8×59.6	
		ヨーガンレール 秋冬コレクション				
		演劇ポスター マッチ売りの少女	1979	オフセット・紙	72.8×51.5	
		キャンペーンポスター 贈る記念日。	1980	オフセット・紙	103.0×72.8	
		イベントポスター 第6回県民芸術祭	1982	オフセット・紙	72.8×51.5	
		演劇ポスター 金剛炎上	1982	オフセット・紙	72.8×51.5	
		演劇ポスター 大脱走	1982	オフセット・紙	72.8×51.5	
		イベントポスター 第7回県民芸術祭	1983	オフセット・紙	72.8×51.5	
		演劇ポスター 悟空、旅はこれからだ	1983	オフセット・紙	72.8×51.5	

年度	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm
2017	佐藤晃一	演劇ポスター バルコン	1983	オフセット・紙	72.8×51.5
		演劇ポスター 地の乳房(初演)	1984	オフセット・紙	72.8×51.5
		コンサートポスター さあ精円音楽会だ。	1984	オフセット・紙	72.8×51.5
		演劇ポスター プンナよ、木からおりてこい(初演)	1985	オフセット・紙	103.0×72.8
		展覧会出品ポスター IMAGE MIRROR	1985	オフセット・紙	93.8×66.2
		//			(2枚構成)
		展覧会ポスター 2つのオーソドックス	1985	オフセット・紙	103.0×72.8
		箱	1985	オフセット・紙	103.0×72.8
		箱	1985	オフセット・紙	103.0×72.8
		演劇ポスター 地の乳房(再演)	1986	オフセット・紙	72.8×51.5
		展覧会ポスター 佐藤晃一展-箱について2	1986	オフセット・紙	103.0×72.8
		イベントポスター 第23回東都のれん会	1987	オフセット・紙	103.0×72.8
		展覧会ポスター 幻想庭園 小原豊雲展	1987	オフセット・紙	72.8×51.5
		展覧会ポスター 日本の、服です。	1987	オフセット・紙	103.0×72.8
		出店告知ポスター こんにちは。	1988	オフセット・紙	103.0×72.8
		ブランドイメージポスター PEARL CITY	1991	オフセット・箔押し・紙	103.0×72.8
		演劇ポスター さよならパーティ	1992	オフセット・紙	103.0×72.8
		展覧会出品ポスター Drinking the Moon(1)	1992	オフセット・紙	51.5×36.4
		展覧会出品ポスター Drinking the Moon(2)	1992	オフセット・紙	51.5×36.4
		展覧会出品ポスター Drinking the Moon(3)	1992	オフセット・紙	51.5×36.4
		展覧会出品ポスター Drinking the Moon(4)	1992	オフセット・紙	51.5×36.4
		展覧会出品ポスター Drinking the Moon(5)	1992	オフセット・紙	51.5×36.4
		演劇ポスター 愛すればこそ	1993	オフセット・紙	72.8×51.5
		展覧会出品ポスター AIDS AID	1993	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8
		演劇ポスター	1994	オフセット・紙	72.8×51.5
		幻に心もそぞろ狂おしのわれら将門			
		コンサートポスター ニッポン音楽の水脈	1994	オフセット・紙	103.0×72.8
		演劇ポスター 廃墟	1996	オフセット・紙	72.8×51.5
		展覧会ポスター 花の宇宙 小原豊雲回顧展	1996	オフセット・紙	72.8×51.5
		演劇ポスター 明治の枢	2000	オフセット・紙	72.8×51.5
		記念ポスター 高崎市制100周年	2000	オフセット・紙	103.0×72.8
		//			(4枚構成)
		//			
		//			
		展覧会ポスター ヨコハマ・コンペ 2000	2000	オフセット・紙	103.0×72.8
		展覧会ポスター ヨコハマ・コンペ 2000(公募)	2000	オフセット・紙	103.0×72.8
		演劇ポスター ベルナルダ・アルバの家	2001	オフセット・紙	103.0×72.8
		講演会ポスター 外国文学講読	2001	オフセット・紙	103.0×72.8
		展覧会出品ポスター JAPAN	2001	インクジェット・紙	103.0×72.8
		雑誌表紙 草月 No.264	2002	オフセット・紙	28.4×21.5
		ブランドイメージポスター	2003	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8
		マナスクリン 25TH ANNIVERSARY			
		雑誌表紙 草月 No.275	2004	オフセット・紙	28.4×21.5
		雑誌表紙 草月 No.277	2004	オフセット・紙	28.4×21.5
		展示会ポスター JAPAN SHOP 2005	2004	オフセット・紙	103.0×72.8
		展覧会ポスター	2005	オフセット・紙	103.0×72.8
		多摩美術大学博士課程展 2005			
		記念ポスター 高崎佐藤学園創立100周年	2006	オフセット・紙	103.0×72.8
		展示会ポスター 建築・建材展 2007	2006	オフセット・紙	103.0×72.8
		展示会ポスター JAPAN SHOP 2007	2006	オフセット・紙	103.0×72.8
		展覧会ポスター	2006	オフセット・紙	103.0×72.8
		AGI日本会員新作ポスター展			
		展覧会ポスター	2006	オフセット・紙	103.0×72.8
		多摩美術大学博士課程展 2006			
		展覧会ポスター FUROSHIKI 展	2006	オフセット・紙	103.0×72.8
		雑誌表紙 草月 No.293	2007	オフセット・紙	28.4×42.6
		展覧会ポスター	2007	オフセット・紙	103.0×72.8
		亀倉雄策没後十年記念展 in 安比			
		展覧会ポスター	2007	オフセット・紙	103.0×72.8
		多摩美術大学博士課程展 2007			
		雑誌表紙 草月 No.298	2008	オフセット・紙	28.4×42.6
		雑誌表紙 草月 No.300	2008	オフセット・紙	28.4×42.6
		展示会ポスター 建築・建材展 2009	2008	オフセット・紙	103.0×72.8
		展覧会ポスター 絵とコトバ 三人展	2008	オフセット・紙	103.0×72.8
		展示会ポスター JAPAN SHOP 2011	2010	オフセット・紙	103.0×72.8
		展覧会ポスター	2010	オフセット・紙	103.0×72.8
		多摩美術大学博士課程展 2010			
		展覧会ポスター	2010	オフセット・紙	103.0×72.8
		20世紀のポスター[タイポグラフィ]			
		展示会ポスター 建築・建材展 2012	2011	オフセット・紙	103.0×72.8

年度	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	
2017	佐藤晃一	展示会ポスター JAPAN SHOP 2012	2011	オフセット・紙	103.0×72.8	
		店舗リニューアルポスター いいデザイン	2011	インクジェット・紙	103.0×145.6	
		展覧会出品ポスター 秀英体 100	2011	オフセット・紙	103.0×72.8	
		展覧会ポスター 佐藤晃一ポスター	2011	オフセット・紙	103.0×72.8	
		展覧会ポスター	2011	オフセット・紙	103.0×72.8	
		多摩美術大学博士課程展 2011				
		演劇ポスター	2012	オフセット・紙	72.8×51.5	
		ブンナよ、木からおりてこい(第5次)				
		展示会ポスター 建築・建材展 2013	2012	オフセット・紙	72.8×51.5	
		展示会ポスター JAPAN SHOP 2013	2012	オフセット・紙	103.0×72.8	
		展覧会ポスター	2012	オフセット・紙	103.0×72.8	
		多摩美術大学博士課程展 2012				
		演劇ポスター 地の乳房	2013	オフセット・紙	72.8×51.5	
		展示会ポスター JAPAN SHOP 2014	2013	オフセット・紙	103.0×72.8	
		展覧会出品ポスター	2013	オフセット・紙	103.0×72.8	
		グラフィックトライアル 2013 かがやく少女-1 あやとり				
		展覧会出品ポスター	2013	オフセット・紙	103.0×72.8	
		グラフィックトライアル 2013 かがやく少女-2 ステレオよ				
		展覧会出品ポスター	2013	オフセット・紙	103.0×72.8	
		グラフィックトライアル 2013 かがやく少女-3 シャボンだま				
		展覧会出品ポスター	2013	オフセット・紙	103.0×72.8	
		グラフィックトライアル 2013 かがやく少女-4 おいけのコイ				
		展覧会出品ポスター	2013	オフセット・紙	103.0×72.8	
		グラフィックトライアル 2013 かがやく少女-5 およめさん				
		展覧会出品ポスター	2013	オフセット・紙	103.0×72.8	
		グラフィックトライアル 2013-燦(さん)-				
		展覧会ポスター	2013	オフセット・紙	103.0×72.8	
		多摩美術大学博士課程展 2013				
		展覧会ポスター	2014	オフセット・紙	103.0×72.8	
		多摩美術大学退職記念 佐藤晃一展(表)				
		展覧会ポスター	2014	オフセット・紙	103.0×72.8	
		多摩美術大学退職記念 佐藤晃一展(裏)				
		展覧会ポスター	2014	オフセット・紙	103.0×72.8	
		多摩美術大学博士課程展 2014(A)				
		展覧会ポスター	2014	オフセット・紙	103.0×72.8	
		多摩美術大学博士課程展 2014(B)				
		展示会ポスター JAPAN SHOP 2016	2015	オフセット・紙	103.0×72.8	
展覧会ポスター	2015	オフセット・紙	103.0×72.8			
多摩美術大学博士課程展 2015						
展覧会ポスター	2015	オフセット・紙	103.0×72.8			
多摩美術大学博士課程展 2015						
展示会ポスター JAPAN SHOP 2017	2016	オフセット・紙	103.0×72.8			
展覧会出品ポスター 日本酒	2016	インクジェット・紙	145.6×103.0			
和南城孝志		プロメテウス	1977	ブロンズ	左 47.0×16.0×15.0 右 44.0×20.0×13.0	
		天の軸	1999	イタリア・カララ白大理石	103.0×24.0×17.0	
		トーラス I	1999	イタリア・ヴェローナ赤大理石	46.0×30.0×7.0	
		トーラス II	1999	樟・モミ・ペイント	34.0×34.0×11.0	
		トーラス III	1999	樟・モミ・ペイント	35.0×35.0×10.0	
2018	木村忠太	河のある風景	1956	油彩・鉛筆・紙	71.0×50.0	
		サン・レミ・レ・シュヴルーズ	1970-75 頃	油彩・キャンバス	37.9×45.5	
		下川勝	何処へ	不詳	ミクストメディア	14.7×11.7
		鶴岡政男	恋人(2)	1946-47 頃	鉛筆・紙	19.0×25.5
			作品	1948	墨・紙	37.0×25.5
			作品	1948	インク・紙	25.5×37.0
			田ノ人(2)	1948	鉛筆・紙	19.0×25.5
			遣ふ幼児と立つ犬	1948	色鉛筆・鉛筆・紙	24.0×37.8
			作品	1948 頃	鉛筆・紙	25.5×19.0
			馬	1940 年代	インク・紙	24.0×28.0
			《物乞う人》下図	1950 頃	鉛筆・紙	36.0×25.0
			とんがり頭と丸頭	1959 頃	インク・紙	14.5×22.0
			とんがり頭と丸頭(スケッチ)	1959 頃	インク・紙	19.0×27.0
			作品	1950 年代	水彩・紙	25.0×23.5
			作品	1964 頃	コンテ・紙	36.0×27.0
			赤テーブル(《青いカーテン》下図)	1960 年代	インク・紙	26.7×38.0
			作品	1960 年代	パステル・紙	36.0×25.5
			ネジ(スケッチ)	1960 年代	インク・紙	38.0×26.7
			ゆみにいわれたのでかいた。	1960 年代	インク・紙	16.0×11.3
		藝のイメージ	1970	パステル・紙	34.5×27.0	
		《ねむる二人》(パステル)下図	1970 頃	インク・紙	26.7×38.0	
		《顔》(ガラス絵)下図	不詳	墨・鉛筆・紙	18.0×25.0	

年度	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm		
2018	鶴岡政男	作品	不詳	水彩・墨・紙	38.0×26.7		
		作品	不詳	インク・紙	38.0×26.7		
		作品	不詳	鉛筆・紙	25.0×36.0		
		作品	不詳	コンテ・紙	37.8×27.0		
		作品	不詳	墨・インク・紙	13.5×19.0		
		作品	不詳	墨・インク・紙	18.0×13.5		
		作品	不詳	インク・紙	16.0×11.7		
		作品	不詳	インク・紙	17.0×13.5		
		作品	不詳	インク・紙	13.5×9.5		
		作品	不詳	インク・紙	13.5×9.5		
		作品	不詳	インク・紙	27.0×35.5		
		顔	1960年代	リトグラフ・紙	19.0×11.5		
		山名將夫	百合	1996-97頃	油彩・キャンバス	90.0×73.0	
裸婦立像	2007頃		油彩・キャンバス	92.0×74.0			
回想のメロディー	2014		油彩・キャンバス	162.0×114.0			
2019	木村忠太	静物	1949	油彩・キャンバス	64.0×78.5		
		卓上静物	1952頃	油彩・キャンバス	44.0×37.5		
		リュクサンプル公園 A	1958	油彩・キャンバス	37.9×45.5		
		牛とリンゴの木	1965	油彩・キャンバス	60.0×81.0		
		リュクサンプル公園	1966	油彩・キャンバス	45.0×65.0		
		チュイレレイ公園の仔馬	1965-70頃	油彩・キャンバス	16.0×22.0		
		風景	1970	油彩・キャンバス	30.0×30.0		
		冬のバリ	1971	油彩・キャンバス	60.0×72.7		
		マルギュリット島へ行く船の中	1971	油彩・キャンバス	19.0×24.0		
		ロケット・シュル・シアニュの柿の木	1971頃	油彩・キャンバス	46.0×54.5		
		カブリ	1973	油彩・キャンバス	46.2×65.0		
		カヌの公園	1975	油彩・キャンバス	40.0×40.0		
		樹	1980	油彩・キャンバス	19.2×27.2		
		南フランスの農家	1980	油彩・キャンバス	22.2×27.3		
		冬のリュクサンプル公園	1981	油彩・キャンバス	24.0×19.0		
		夕日	1981	油彩・キャンバス	50.5×50.0		
		ブラタナス	1985	油彩・キャンバス	19.0×24.0		
		プロヴァンス	1986	油彩・キャンバス	80.0×80.3		
		海辺の家	1987	油彩・キャンバス	30.0×30.0		
		風景	1967	鉛筆・紙	15.5×23.0		
		クロ・サン・ピエール	1974	鉛筆・紙	65.2×50.0		
		風景	1976	パステル・紙	50.2×65.2		
		クロ・サン・ピエール	1977頃	パステル・紙	48.8×63.8		
		クロ・サン・ピエールの庭のベンチ	1982頃	鉛筆・紙	50.0×65.0		
		緑草の人	1975	リトグラフ・紙	38.0×56.0		
		クロ・サン・ピエールの庭	1975	リトグラフ・紙	34.0×53.0		
		ロダン美術館の庭	1976	リトグラフ・紙	51.0×70.5		
		樹々	1977	リトグラフ・紙	57.5×46.0		
		クロ・サン・ピエールの桃の木	1986	リトグラフ・紙	53.5×75.5		
		住谷磐根	ウエーキ島	不詳	油彩・キャンバスボード	27.0×44.0	
		山口薫	(高崎市役所玄関壁画構想)―朝、昼、晩	1955	水彩・鉛筆・紙	19.0×63.8	
		2020	秋山庄太郎	鬼灯	不詳	銀色素漂白方式印画・紙	26.0×23.0
				ホワイトウイングス	不詳	銀色素漂白方式印画・紙	23.0×26.0
			石川寅治	雨後の港	1934頃	木版・紙	30.3×38.0
				地下の市場	1984	インク・水彩・紙	26.5×19.0
			石澤久夫	寝たふりしている従者バクの屏風	1998	檜・漆・白土・彩色	100.0×103.0×23.0
			上原三千代(三輪途道)	織田広喜石版画集 バリの女 5 サンドニの女	1971	リトグラフ・紙	36.0×28.0
〃 7 帽子の女	1971			リトグラフ・紙	40.0×32.0		
〃 8 森と少女	1971			リトグラフ・紙	36.0×27.5		
〃 9 少女	1971			リトグラフ・紙	36.0×28.0		
〃 10 夜のクーボールにて	1971			リトグラフ・紙	33.0×32.0		
〃 11 レストランの女	1971			リトグラフ・紙	29.5×37.0		
赤い帽子の少女	1990			リトグラフ・紙	38.5×32.0		
笠木實	雨あがる遊歩道(みち)			2014	油彩・キャンバス	90.9×72.7	
	散歩道			2015	油彩・キャンバス	100.0×72.7	
	木立(未完)			2016	油彩・キャンバス	100.0×72.7	
香月泰男	石版画集 バリの屋根(10枚組の内)			1971	リトグラフ・紙	31.7×39.8	
	〃		1971	リトグラフ・紙	31.7×39.8		
	〃		1971	リトグラフ・紙	39.8×31.7		
	〃		1971	リトグラフ・紙	39.8×31.7		
	〃		1971	リトグラフ・紙	39.8×31.7		
	〃	1971	リトグラフ・紙	31.7×39.8			
	〃	1971	リトグラフ・紙	39.8×31.7			
	〃	1971	リトグラフ・紙	39.8×31.7			

年度	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(H×W×D)cm	
2020	香月泰男	石版画集 バリの屋根(10枚組の内)	1971	リトグラフ・紙	39.8×31.7	
	狩野守	マスル・エル・カディマのバザール	1977	油彩・キャンバス	80.3×100.0	
	小糸源太郎	三色堇	不詳	油彩・キャンバス	21.5×27.0	
	小杉小二郎	サン・ジュリアンの花	不詳	油彩・キャンバス	41.0×31.8	
		窓辺の瓶	不詳	油彩・キャンバス	38.0×45.5	
	阪倉宜暢	クラマールの古い通り	1973	水彩・紙	29.0×48.5	
	佐藤晃一	募集告知ポスター	1965	鉛筆・インク・トレーシングペーパー	78.8×54.5	
		富士高原に建つ別荘競技設計(原図)				
		募集告知ポスター	1965	複写・紙	78.8×54.5	
		富士高原に建つ別荘競技設計(青図)				
	里見宗次	十二支 卯	1987	木版・紙	27.3×24.2	
		十二支 亥	1995	木版・紙	27.3×24.2	
	芝田米三	湖畔の詩	不詳	油彩・キャンバス	12.9×16.5	
	佃武昭	秋晴	不詳	油彩・キャンバス	31.8×41.0	
		房州太海	不詳	油彩・キャンバス	38.0×45.5	
	中谷泰	民家	不詳	油彩・キャンバス	53.0×41.0	
	中山忠彦	挿花	1988	リトグラフ・紙	49.8×36.0	
	西村計雄	紫陽花	1962	油彩・キャンバス	54.5×45.5	
	深澤孝哉	トルコにて	不詳	油彩・キャンバス	53.0×65.2	
	ましもゆき	白夜迎	2008	インク・紙	91.0×182.0	
	松木重雄	蘇州雨後	不詳	水彩・鉛筆・紙	21.3×26.5	
	森清治郎	アネモネとベルシャ壺	1983	油彩・金箔・キャンバス	24.5×16.8	
		蓼科初夏	不詳	油彩・キャンバス	40.5×52.5	
	森芳雄	日の出	不詳	油彩・キャンバス	31.8×41.9	
		風景(集落)	1964	鉛筆・色鉛筆・紙	28.5×36.5	
		裸婦	1965	鉛筆・紙	32.5×23.5	
		バラ	不詳	鉛筆・紙	30.0×39.3	
		風景	不詳	水彩・鉛筆・紙	19.3×26.9	
		妙ギ	不詳	色鉛筆・紙	20.5×26.7	
	安井曾太郎	湯河原風景	不詳	水彩・鉛筆・紙	25.9×34.2	
	山口薫	妙義遠望	1935	油彩・板	19.0×24.0	
	山口長男	赤い組立	1959	油彩・ボード	30.0×60.2	
	和南城孝志	トーラス A	1999	鉛筆・紙	26.0×37.0	
		トーラス B	1999	鉛筆・紙	32.0×22.5	
	アンドレ・ブラジリエ	風景	1970	リトグラフ・紙	52.5×68.0	
		夕日のバイオリン	1981	リトグラフ・紙	29.0×36.0	
	アンドレ・ドラン	横たわる裸婦	不詳	コンテ・紙	32.5×59.5	
	エミリオ・グレコ	女	1970	エッチング・紙	49.6×32.0	
	リチャード・リンドナー	SHOOT	1971 頃	リトグラフ・紙	61.0×49.0	
	ジョアン・ミロ	10000才の祖母	1981	リトグラフ・紙	55.5×84.0	
	アドルフ・モンティセリ	人物	1870年代	油彩・キャンバス	33.2×23.5	
	ジョルジュ・ルオー	『ミセレーレ』(58枚組の内)56 高慢と無信仰の この暗き時代に、地の果てより聖母は見守る	1927 (1948年刊)	フォトグラヴィール・シュガー・アクアチント・アクアチント・紙	58.5×43.3	
		『流れる星のサーカス』(17枚組の内)	(1938年刊)			
		// 3 苦いレモン	1935	シュガー・アクアチント・アクアチント・紙	30.5×21.0	
		// 11 アーサー親方	1934	シュガー・アクアチント・アクアチント・紙	30.1×20.3	
	ルイス・トホリ	夕日のジャンク	不詳	リトグラフ・紙	68.0×48.0	

## 収蔵作品貸出状況

記載に際して、寄託作品は除外した。

年度	展覧会名／会期／会場名	作家名／作品名
2016	加藤アキラ 孤高のプリコルール アーツ前橋 2017年3月18日～5月30日	加藤アキラ 《レポート EA34》《レポート EA700》《レポート EA900》
2017	ジョアン・ミロ版画展 須坂版画美術館 2017年8月3日～9月24日	ジョアン・ミロ 《縄飛びをする少女と女と鳥》《ポール・エリュアール『書毎に詩一篇』挿画『民衆のバラ』より》 《哲学者I》《星座》《某夫人とその夫》
2018	福沢一郎生誕 120年 - 富岡まるごとフクザワー展 富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館 2018年9月15日～11月11日	福沢一郎 《群像残欠》
	福沢一郎展 このどうしようもない世界を笑いとばせ 東京国立近代美術館 2019年3月12日～5月26日	福沢一郎 《群像残欠》《メキシコの女》
2019	モダンデザインが結ぶ暮らしの夢 東北歴史博物館 2019年7月13日～9月1日 パナソニック汐留美術館 2020年1月11日～3月22日	アントニン・レーモンド 《フレスコ壁画のためのスケッチ》
	ピカソ展 ゲルニカ[タピスリ]をめぐって 群馬県立館林美術館 2019年10月5日～12月8日	パブロ・ピカソ 《貧しき食事》《ポール・エリュアール『書毎に詩一篇』口絵》 《ポール・エリュアール『書毎に詩一篇』挿画『直接の生』より》



#### 4. 入館者統計

##### 年度別入館者一覧表

年度	展覧会名	会期	日数	有料	無料	平均/日	合計
2016	今森光彦展 自然と暮らす切り紙の世界	4/17～6/26	61	2,486	4,554	115	7,040
	森竹巳の百均造形 みぢかなモノでおもしろアート	7/7～9/4	52	3,995	6,757	207	10,752
	愛のなかの女性たち ムンク、ピカソ、山口薫 芸術家が捧げるイメジェリー	9/17～11/18	52	2,190	3,506	110	5,696
	高崎市美術館コレクション 5つの部屋+1	12/2～1/21	37	960	1,450	65	2,410
	生誕100年 木村忠実展 光に抱かれ、光を抱いて。	1/29～3/26	49	1,529	3,676	106	5,205
2016年度合計			251	11,160	19,943	124	31,103
2017	北澤美術館所蔵 ルネ・ラリックの香水瓶 アール・デコ―香りと装いの美―	4/15～6/25	63	3,075	3,838	110	6,913
	ウィリアム・ブレイクと神の世界 郡山市立美術館所蔵 ローダー・コレクションの版画作品を中心に	7/8～8/31	47	2,849	2,938	123	5,787
	グラフィックデザイナー 佐藤晃一展	9/16～11/26	61	1,557	2,928	74	4,485
	生誕100年 清宮質文 あの夕日の彼方へ	12/10～1/31	38	1,497	2,613	108	4,110
	特集展示 生誕110年 人、鶴岡政男	2/10～3/25	37	850	1,686	69	2,536
2017年度合計			246	9,828	14,003	97	23,831
2018	水野暁―リアリティの在りか	4/15～7/1	68	3,949	7,438	167	11,387
	萩尾望都 SF 原画展 宇宙にあそび、異世界にはばたく	7/14～9/9	50	4,822	3,629	169	8,451
	没後50年 山口薫先生からきみたちへ	9/23～12/2	61	1,426	3,881	87	5,307
	アナザー・ストーリー 人の数だけ、物語がある。	12/15～1/20	25	1,287	1,367	106	2,654
	モダンデザインが結ぶ暮らしの夢 生活デザインの原点をめぐる5つの可能性	2/2～3/31	49	2,466	3,060	113	5,526
2018年度合計			253	13,950	19,375	132	33,325
2019	生誕110周年 松本忠義・豊田一男2人展 +AOKIT/3Dになった絵画世界/by 青木世一	4/14～6/23	62	1,208	2,393	58	3,601
	3は魔法の数字 three is a magic number 14 アートユニット 3 とつくる ポップでカラフルがいっぱいの世界	7/13～9/1	44	2,568	3,354	135	5,922
	詩をかたどる。詩をきざむ―祈りの庭へ。	9/14～11/24	62	1,163	2,788	64	3,951
	60s→80s ぼくらのアメリカン・ストーリー	12/7～1/19	31	1,293	1,300	84	2,593
	マルク・シャガール 愛と祈りと冒険と。8つの版画物語	2/1～3/29	49	3,350	3,416	138	6,766
2019年度合計			248	9,582	13,251	92	22,833
2020	秋山コレクション 人間のいる風景 ラインハルト・サビエ、深井克美を中心に	5/16～6/21	32	425	763	37	1,188
	FLOWER 今をいろどる花たち	7/4～8/30	50	2,188	2,340	91	4,528
	特集展示 4つの革命 オーブリー・ビアズリーからサルバドール・ダリまで	9/12～10/18	32	1,531	1,262	87	2,793
	高崎市美術館コレクション 追悼特集 時代への花束 1917→2020	10/28～1/10	58	904	1,341	39	2,245
	画業30周年記念 小畑健展 NEVER COMPLETE	1/17～3/28	59	6,648	2,274	151	8,922
2020年度合計			231	11,696	7,980	85	19,676